

<第8次刈谷市総合計画の策定のための市民意識調査>

令和4年度
市民生活の現状及び児童・生徒の
意識や行動に関するアンケート調査
報告書
【クロス集計版】

令和5年2月

刈谷市

目次

1. 調査の概要.....	1
1 - 1. 調査の概要.....	1
1 - 2. 調査結果の見方.....	1
2. 市民生活の現状についてのアンケート.....	2
2 - 1. 回答者の属性.....	2
2 - 2. 刈谷市の全体的な印象.....	8
2 - 3. 市政に対する現状の評価と今後の期待.....	15
2 - 4. 市民の暮らしの現状など.....	52
2 - 5. 刈谷市のまちの現状.....	80
3. 新型コロナウイルス感染症の影響について.....	104
3 - 1. 回答者の業種.....	104
3 - 2. コロナ禍における「活動」や「場所への外出」に対する意識変化.....	105
3 - 3. コロナ禍における行動変化.....	149
3 - 4. コロナ禍における課題と行政支援.....	167
4. 児童・生徒の意識や行動に関するアンケート.....	173
4 - 1. 回答者の属性.....	173
4 - 2. 刈谷市の全体的な印象.....	174
4 - 3. 個別設問の回答.....	178

1. 調査の概要

1 - 1. 調査の概要

調査目的	「第8次刈谷市総合計画」の策定にあたって、市民や小中学生の意識等を幅広く把握し、「第8次刈谷市総合計画」の指標を設定する上での基礎資料とすることを目的として、以下のとおり市民を対象とした2種類のアンケートと、小中学生を対象としたアンケートを実施しました。		
調査区分	市民生活の現状についてのアンケート 市政に対する評価 (以下「市政評価」という。)	暮らし・まちの現状把握 (以下「現状把握」という。)	児童・生徒の意識や行動に関するアンケート
調査対象	刈谷市内在住の18歳以上の市民から 無作為に抽出した各2,500人(合計5,000人)		刈谷市内の小学5年生、中学2年生 合計2,898人
調査項目	①回答者の属性 ②刈谷市の全体的な印象 ③市政に対する現状の評価と 今後の期待 ④新型コロナウイルス感染症の 影響について ⑤これからの刈谷市のまちづく りについて(自由意見)	①回答者の属性 ②刈谷市の全体的な印象 ③みなさんの暮らしの現状など ④刈谷市のまちの現状 ⑤新型コロナウイルス感染症の 影響について ⑥これからの刈谷市のまちづく りについて(自由意見)	①普段から思っていること、 していることや、刈谷市の まちに対する考えなどについて
調査方法	郵送による調査票の配布 郵送による回収またはインターネットによる回答		学校を通じた依頼 学校タブレット端末による回答
調査期間	令和4年4月5日に配布し、4月28日を回答期限として回収		令和4年4月4日に配布し、 4月28日まで回収
回収状況	<ul style="list-style-type: none"> 配布数 2,500票 有効回収数 1,666票 うち、郵送:1,338票 インターネット:328票 有効回収率 66.6% 	<ul style="list-style-type: none"> 配布数 2,500票 有効回収数 1,725票 うち、郵送:1,380票 インターネット:345票 有効回収率 69.0% 	<ul style="list-style-type: none"> 配布数:2,898票 有効回収数:2,566票 有効回収率:88.5%
	合計(参考:令和2年度) <ul style="list-style-type: none"> 配布数:5,000票(5,000票) 有効回収数:3,391票(3,266票) 有効回収率:67.8%(65.3%) 		(参考:令和2年度) <ul style="list-style-type: none"> 配布数:2,772票 有効回収数:2,632票 有効回収率:94.9%

1 - 2. 調査結果の見方

- ・比率はすべて百分率で示し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。このため、合計が100.0%にならないことがあります。
- ・グラフにおける数値は、回答者数(n)を分母、各項目の回答数を分子としたときの比(相対度数)を百分率で示しています。なお、この回答者数(n)には特記しないかぎり、「無回答」を含みます。
- ・複数回答が可能な設問では、各選択肢の合計が回答者数を上回る場合があります。
- ・報告書では、意味の変わらない範囲で、設問及び選択肢の文章を省略して記載する場合があります。

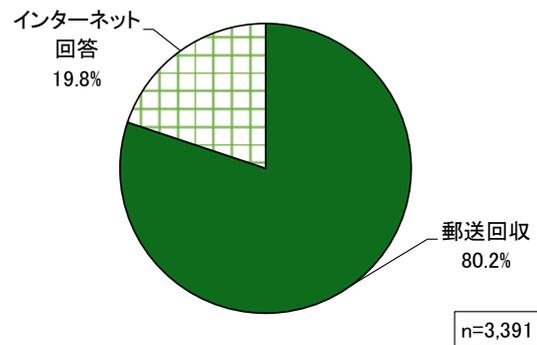
2. 市民生活の現状についてのアンケート

2 - 1. 回答者の属性

「市政評価」「現状把握」：設問 1～9（共通）

(1) アンケートの種類

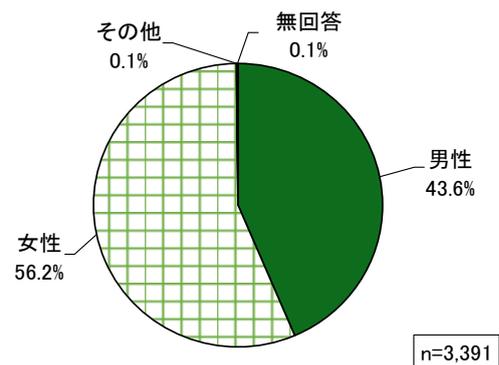
アンケートの種類は、「郵送回収」が 80.2%、「インターネット回答」が 19.8% となっています。



	アンケートの種類		
	合計	郵送回収	インターネット回答
全体	3,391 100.0%	2,718 80.2%	673 19.8%
市政評価	1,666 100.0%	1,338 80.3%	328 19.7%
現状把握	1,725 100.0%	1,380 80.0%	345 20.0%

(2) 性別

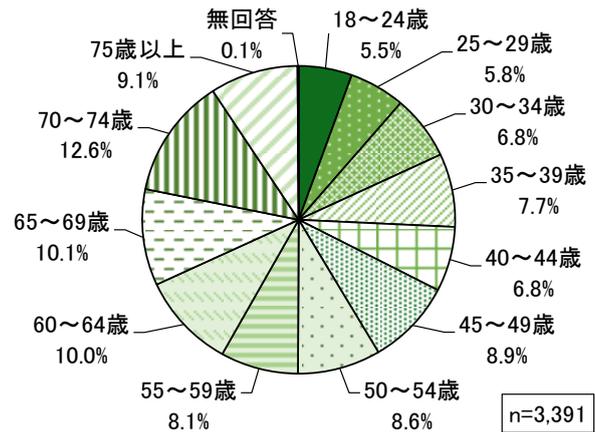
回答者の性別は、「女性」が 56.2%、「男性」が 43.6% となっています。



	設問 1 性別				
	合計	男性	女性	その他	無回答
全体	3,391 100.0%	1,478 43.6%	1,907 56.2%	3 0.1%	3 0.1%
市政評価	1,666 100.0%	737 44.2%	926 55.6%	2 0.1%	1 0.1%
現状把握	1,725 100.0%	741 43.0%	981 56.9%	1 0.1%	2 0.1%

(3) 年齢

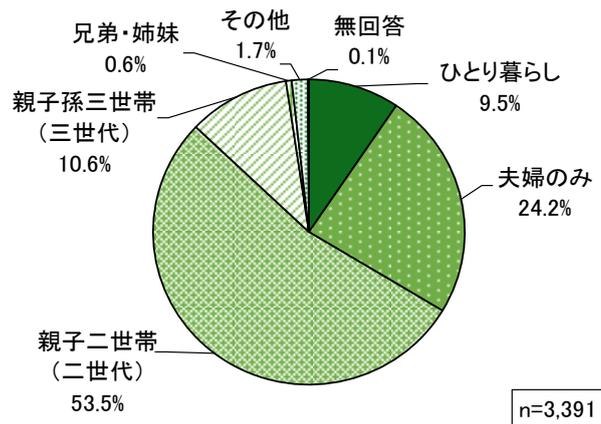
最も多いのは、「70～74歳」で12.6%、次いで「65～69歳」10.1%、「60～64歳」10.0%、「75歳以上」9.1%の順となっています。



	設問2 年齢													
	合計	18～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上	無回答
全体	3,391	187	196	229	261	231	303	291	273	338	343	426	309	4
	100.0%	5.5%	5.8%	6.8%	7.7%	6.8%	8.9%	8.6%	8.1%	10.0%	10.1%	12.6%	9.1%	0.1%
市政評価	1,666	87	89	114	128	107	156	143	136	160	176	212	156	2
	100.0%	5.2%	5.3%	6.8%	7.7%	6.4%	9.4%	8.6%	8.2%	9.6%	10.6%	12.7%	9.4%	0.1%
現状把握	1,725	100	107	115	133	124	147	148	137	178	167	214	153	2
	100.0%	5.8%	6.2%	6.7%	7.7%	7.2%	8.5%	8.6%	7.9%	10.3%	9.7%	12.4%	8.9%	0.1%

(4) 家族構成

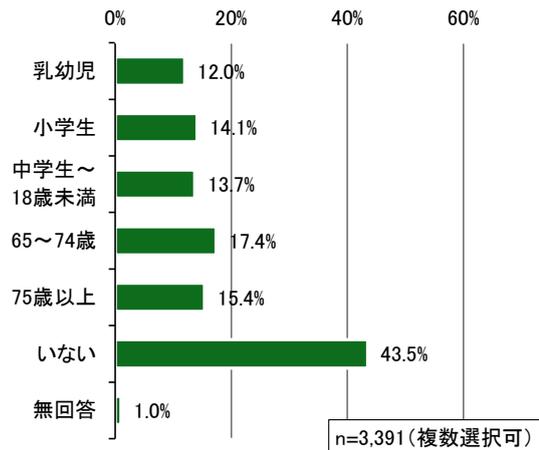
最も多いのは、「親子二世帯（二世代）」で53.5%、次いで「夫婦のみ」24.2%、「親子孫三世帯（三世代）」10.6%の順となっています。



	設問3 家族構成							
	合計	ひとり暮らし	夫婦のみ	親子二世帯（二世代）	親子孫三世帯（三世代）	兄弟・姉妹	その他	無回答
全体	3,391	321	819	1,813	358	20	56	4
	100.0%	9.5%	24.2%	53.5%	10.6%	0.6%	1.7%	0.1%
市政評価	1,666	151	411	878	187	6	32	1
	100.0%	9.1%	24.7%	52.7%	11.2%	0.4%	1.9%	0.1%
現状把握	1,725	170	408	935	171	14	24	3
	100.0%	9.9%	23.7%	54.2%	9.9%	0.8%	1.4%	0.2%

(5) 同居家族

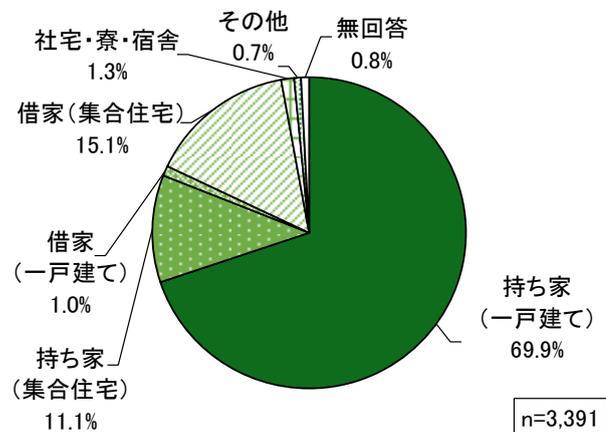
最も多いのは、「65～74歳」で17.4%、次いで「75歳以上」15.4%となっています。



	設問4 同居家族							
	回答者数	乳幼児	小学生	中学生～18歳未満	65～74歳	75歳以上	いない	無回答
全体	3,391	406	478	465	589	522	1,475	34
	100.0%	12.0%	14.1%	13.7%	17.4%	15.4%	43.5%	1.0%
市政評価	1,666	183	235	224	289	287	713	12
	100.0%	11.0%	14.1%	13.4%	17.3%	17.2%	42.8%	0.7%
現状把握	1,725	223	243	241	300	235	762	22
	100.0%	12.9%	14.1%	14.0%	17.4%	13.6%	44.2%	1.3%

(6) 住宅の種類

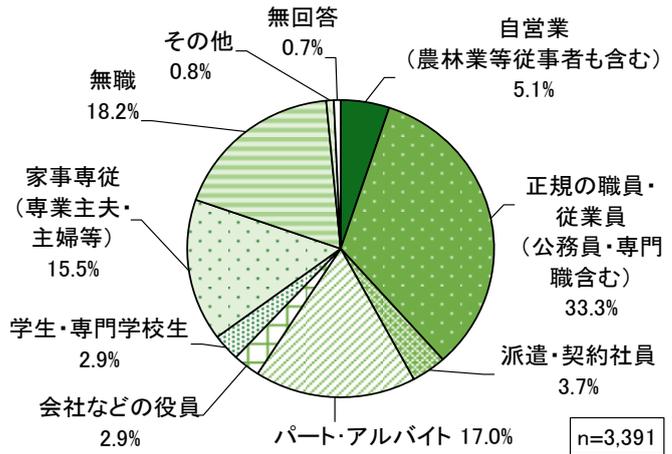
最も多いのは、「持ち家(一戸建て)」で69.9%、次いで「借家(集合住宅)」15.1%の順となっています。



	設問5 住宅の種類							
	合計	持ち家(一戸建て)	持ち家(集合住宅)	借家(一戸建て)	借家(集合住宅)	社宅・寮・宿舎	その他	無回答
全体	3,391	2,369	378	35	512	45	24	28
	100.0%	69.9%	11.1%	1.0%	15.1%	1.3%	0.7%	0.8%
市政評価	1,666	1,182	183	21	244	19	9	8
	100.0%	70.9%	11.0%	1.3%	14.6%	1.1%	0.5%	0.5%
現状把握	1,725	1,187	195	14	268	26	15	20
	100.0%	68.8%	11.3%	0.8%	15.5%	1.5%	0.9%	1.2%

(7) 職業

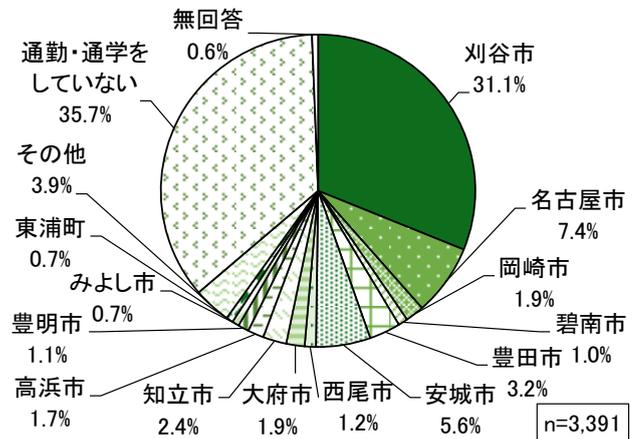
最も多いのは、「正規の職員・従業員（公務員・専門職含む）」で33.3%、次いで「無職」18.2%、「パート・アルバイト」17.0%の順となっています。



	設問6 職業										
	合計	自営業 (農林業等 従事者も含む)	正規の職員・ 従業員 (公務員・ 専門職含む)	派遣・ 契約社員	パート・ アルバイト	会社など の役員	学生・ 専門学校生	家事専従 (専業主夫・ 主婦等)	無職	その他	無回答
全体	3,391	174	1,128	125	577	97	99	524	616	27	24
	100.0%	5.1%	33.3%	3.7%	17.0%	2.9%	2.9%	15.5%	18.2%	0.8%	0.7%
市政評価	1,666	82	541	69	285	44	49	275	302	13	6
	100.0%	4.9%	32.5%	4.1%	17.1%	2.6%	2.9%	16.5%	18.1%	0.8%	0.4%
現状把握	1,725	92	587	56	292	53	50	249	314	14	18
	100.0%	5.3%	34.0%	3.2%	16.9%	3.1%	2.9%	14.4%	18.2%	0.8%	1.0%

(8) 通勤・通学先

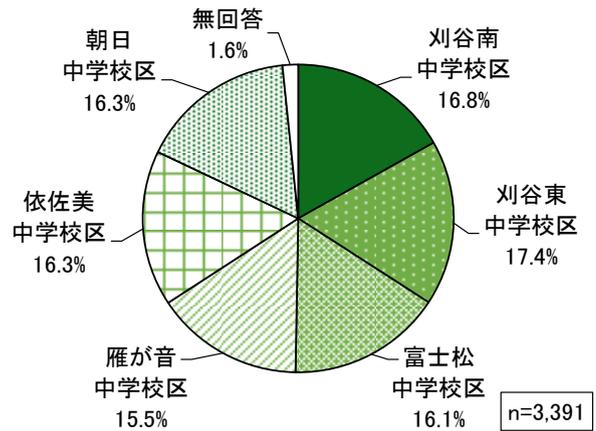
最も多いのは、「刈谷市」で31.1%、次いで「名古屋市」7.4%の順となっています。
なお、「通勤・通学をしていない」は35.7%となっています。



	設問7 通勤・通学先																	
	合計	刈谷市	名古屋市	岡崎市	碧南市	豊田市	安城市	西尾市	大府市	知立市	高浜市	豊明市	みよし市	東浦町	その他	通勤・通学をしていない	無回答	
全体	3,391	1,056	250	65	33	109	190	39	64	82	56	38	24	24	131	1,209	21	
	100.0%	31.1%	7.4%	1.9%	1.0%	3.2%	5.6%	1.2%	1.9%	2.4%	1.7%	1.1%	0.7%	0.7%	3.9%	35.7%	0.6%	
市政評価	1,666	524	127	32	14	52	94	17	33	36	20	21	13	14	62	603	4	
	100.0%	31.5%	7.6%	1.9%	0.8%	3.1%	5.6%	1.0%	2.0%	2.2%	1.2%	1.3%	0.8%	0.8%	3.7%	36.2%	0.2%	
現状把握	1,725	532	123	33	19	57	96	22	31	46	36	17	11	10	69	606	17	
	100.0%	30.8%	7.1%	1.9%	1.1%	3.3%	5.6%	1.3%	1.8%	2.7%	2.1%	1.0%	0.6%	0.6%	4.1%	35.1%	1.0%	

(9) 居住地区

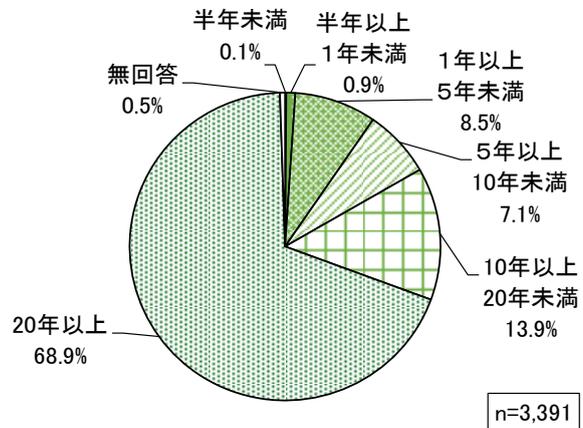
最も多いのは、「刈谷東中学校区」で17.4%、次いで「刈谷南中学校区」16.8%、「依佐美中学校区」、「朝日中学校区」16.3%の順となっています。



	設問8 居住地区							
	合計	刈谷南 中学校区	刈谷東 中学校区	富士松 中学校区	雁が音 中学校区	依佐美 中学校区	朝日 中学校区	無回答
全体	3,391	570	589	546	525	554	552	55
	100.0%	16.8%	17.4%	16.1%	15.5%	16.3%	16.3%	1.6%
市政評価	1,666	286	293	263	270	267	264	23
	100.0%	17.2%	17.6%	15.8%	16.2%	16.0%	15.8%	1.4%
現状把握	1,725	284	296	283	255	287	288	32
	100.0%	16.5%	17.2%	16.4%	14.8%	16.6%	16.7%	1.9%

(10) 居住年数

最も多いのは、「20年以上」で68.9%、次いで「10年以上20年未満」13.9%、「1年以上5年未満」8.5%の順となっています。



	設問9 居住年数							
	合計	半年未満	半年以上 1年未満	1年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 20年未満	20年以上	無回答
全体	3,391	4	32	289	241	472	2,335	18
	100.0%	0.1%	0.9%	8.5%	7.1%	13.9%	68.9%	0.5%
市政評価	1,666	2	13	136	117	234	1,162	2
	100.0%	0.1%	0.8%	8.2%	7.0%	14.0%	69.7%	0.1%
現状把握	1,725	2	19	153	124	238	1,173	16
	100.0%	0.1%	1.1%	8.9%	7.2%	13.8%	68.0%	0.9%

2 - 2. 刈谷市の全体的な印象

市政評価、現状把握：設問 10～14（共通）

(1) 住みやすさの評価

「総合的にみて、刈谷市は住みやすいところだと感じますか。」と尋ねたところ、「たいへん住みやすい」が 32.0%、「どちらかといえば住みやすい」が 53.7%、あわせて 85.7%（男性 85.0%、女性 86.3%）が刈谷市は住みやすいと回答しています。

前回調査（令和2年度）と比べると、住みやすいと回答した割合（「たいへん住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の合計）は 1.0 ポイント増加しています。

年齢別でみると、「住みやすい」と回答した割合は、最も高い 30～39 歳が 91.0%、最も低い 70 歳以上が 81.5% となっています。

中学校区別でみると、「住みやすい」と回答した割合は、最も高い刈谷南中学校区が 89.5%、最も低い富士松中学校区が 79.5% となっています。

居住年数別では、居住年数 1 年以上の回答者に限ってみると、「住みやすい」と回答した割合は、最も高い 10 年以上 20 年未満が 89.2%、最も低い 1 年以上 5 年未満が 81.0% となっています。

居留意向別でみると、居留意向が高いほど「住みやすい」と回答した割合は高くなる傾向があります。「いつまでも住み続けたい」が 95.2%、「当分住み続けたい」が 87.3% となっています。

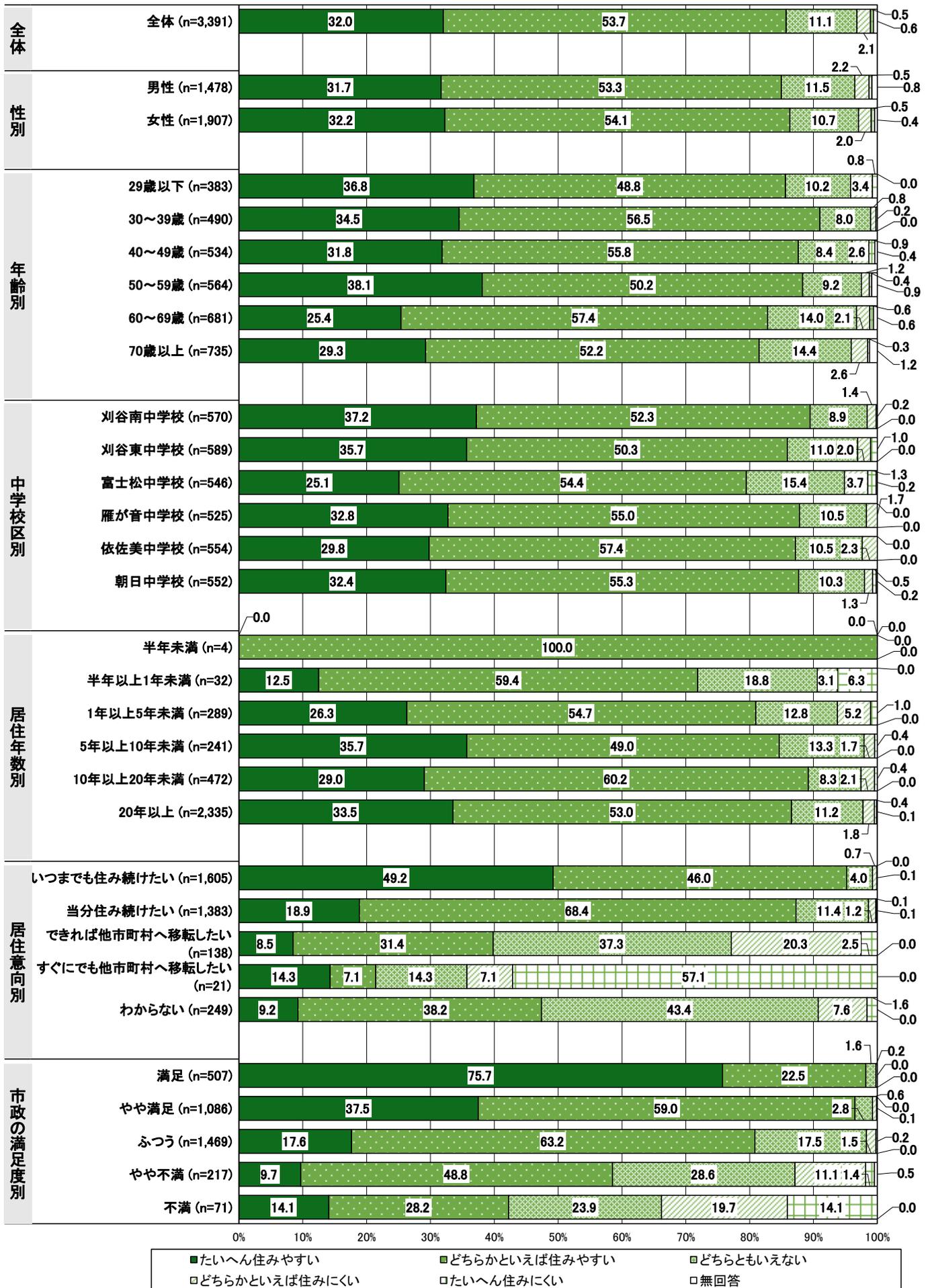
市政の満足度別では、満足度が高いほど「住みやすい」と回答した割合は高くなる傾向があります。「満足」が 98.2%、「やや満足」が 96.5% と、ともに 95% を超えています。

	設問10 住みやすさ						
	合計	たいへん 住みやすい	どちらか といえば 住みやすい	どちらとも いえない	どちらか といえば 住みにくい	たいへん 住みにくい	無回答
全体	3,391	1,086	1,821	376	71	17	20
	100.0%	32.0%	53.7%	11.1%	2.1%	0.5%	0.6%
市政評価	1,666	506	917	194	39	7	3
	100.0%	30.4%	55.0%	11.6%	2.3%	0.4%	0.2%
現状把握	1,725	580	904	182	32	10	17
	100.0%	33.6%	52.4%	10.6%	1.9%	0.6%	1.0%

経年比較

（単位：％）

	平成									令和	
	14年度	16年度	18年度	20年度	22年度	24年度	26年度	28年度	30年度	2年度	4年度
住みやすい	73.9	76.5	78.6	80.5	82.5	84.5	82.4	82.4	82.2	84.7	85.7
どちらとも いえない	19.6	17.2	16.3	14.4	13.5	12.3	13.4	13.5	12.8	11.6	11.1
住みにくい	5.6	5.7	4.4	4.0	3.4	2.6	3.2	3.5	4.1	3.1	2.6



(2) これからの居住意向

「これからも刈谷市に住み続けたいと思いますか。」と尋ねたところ、「いつまでも住み続けたい」が47.3%、「当分住み続けたい」が40.8%、あわせて88.1%（男性88.6%、女性87.7%）がこれからも住み続けたいと回答しています。

前回調査（令和2年度）と比べると、住み続けたいと回答した割合（「いつまでも住み続けたい」と「当分住み続けたい」の合計）は1.1ポイント増加しています。

年齢別でみると、年代が高いほど「住み続けたい」と回答した割合は高くなる傾向があります。最も高い70歳以上が92.3%、最も低い29歳以下が76.5%となっています。

中学校区別でみると、「住み続けたい」と回答した割合は、最も高い依佐美中学校区が90.0%、最も低い富士松中学校区が86.5%となっています。

居住年数別では、居住年数が1年以上の場合に限ってみると、居住年数が長いほど「住み続けたい」と回答する割合は高くなる傾向があります。最も高い20年以上が91.0%、最も低い1年以上5年未満が77.2%となっています。

住みやすさの評価別でみると、住みやすさの評価が高いほど、「住み続けたい」と回答する割合は高く、「たいへん住みやすい」では96.7%、「どちらかといえば住みやすい」でも92.4%と、ともに90%を超えています。

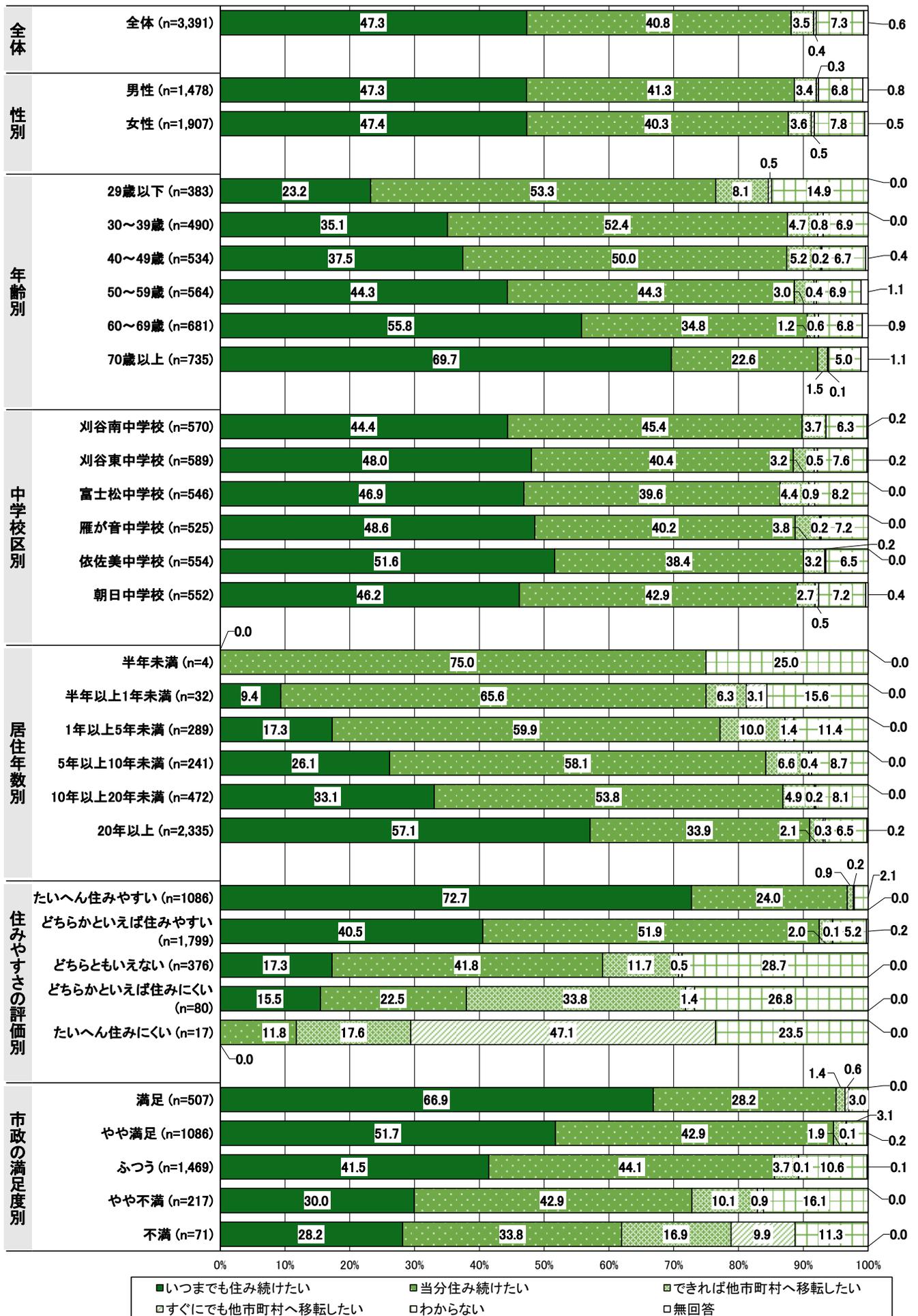
市政の満足度別でみると、市政への満足度が高いほど「住み続けたい」と回答する割合も高くなっており、「満足」では95.1%、「やや満足」でも94.6%と、ともに90%を超えています。

	設問11 刈谷市での居住意向						
	合計	いつまでも 住み 続けたい	当分住み 続けたい	できれば 他市町村へ 移転したい	すぐにでも 他市町村へ 移転したい	わからない	無回答
全体	3,391	1,605	1,383	118	14	249	22
	100.0%	47.3%	40.8%	3.5%	0.4%	7.3%	0.6%
市政評価	1,666	809	670	58	5	121	3
	100.0%	48.6%	40.2%	3.5%	0.3%	7.3%	0.2%
現状把握	1,725	796	713	60	9	128	19
	100.0%	46.1%	41.3%	3.5%	0.5%	7.4%	1.1%

経年比較

(単位：%)

	平成									令和	
	14年度	16年度	18年度	20年度	22年度	24年度	26年度	28年度	30年度	2年度	4年度
住み続けたい	81.4	83.6	84.2	86.1	87.5	89.6	88.7	87.1	86.5	87.0	88.1
移転したい	6.6	6.0	5.6	5.7	4.3	3.2	3.1	3.3	3.7	4.2	3.9



(3) 刈谷市の市政（まちづくり）についての満足度

「刈谷市の市政（まちづくり）について満足していますか。」と尋ねたところ、「満足」が15.0%、「やや満足」が32.0%、あわせて47.0%（男性46.5%、女性47.3%）が刈谷市の市政に満足しています。一方、「不満」は2.1%、「やや不満」は6.4%、あわせて8.5%が不満と回答しています。

前回調査（令和2年度）と比べると、満足と回答した割合（「満足」と「やや満足」の合計）は5.0ポイント増加しています。

年齢別でみると、「市政に満足」と回答した割合は、最も高い29歳以下が56.9%、最も低い60～69歳が39.8%となっています。

中学校区別でみると、「市政に満足」と回答した割合は、最も高い依佐美中学校区が50.0%、最も低い富士松中学校区が40.7%となっています。

居住年数別では、居住年数が1年以上の場合に限ってみると、「市政に満足」と回答した割合は、最も高い1年以上5年未満が56.1%、最も低い20年以上が45.4%となっています。

住みやすさの評価別でみると、住みやすさの評価が高いほど「市政に満足」と回答する割合は高くなっており、「たいへん住みやすい」では72.9%、「どちらかといえば住みやすい」は41.5%となっています。

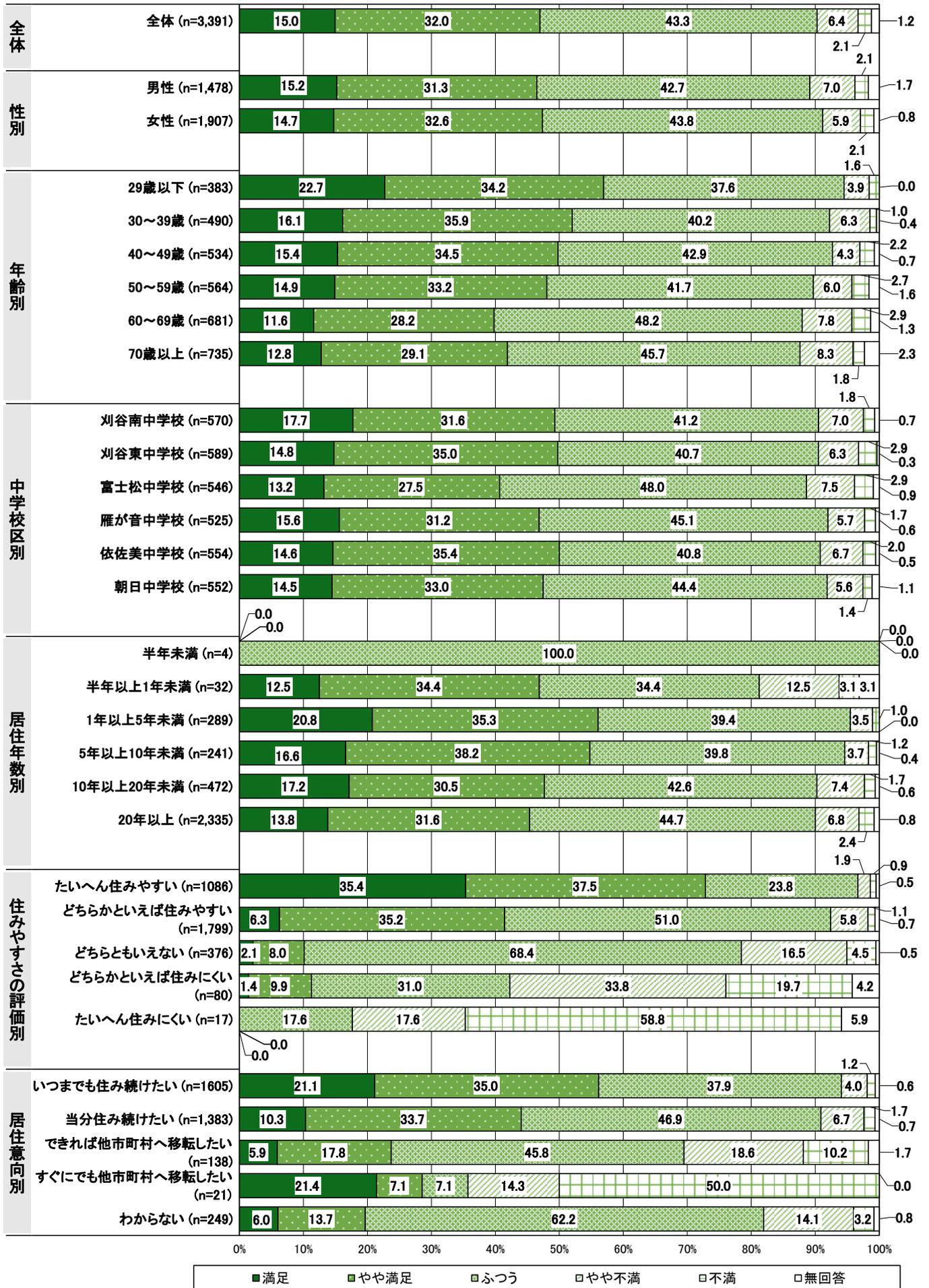
居留意向別でみると、「住み続けたい」と回答した市民は市政に対する満足度も高く、「いつまでも住み続けたい」は56.1%、「当分住み続けたい」は44.0%となっています。

	設問14 刈谷市の市政（まちづくり）についての満足度						
	合計	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
全体	3,391	507	1,086	1,469	217	71	41
	100.0%	15.0%	32.0%	43.3%	6.4%	2.1%	1.2%
市政評価	1,666	242	517	745	111	40	11
	100.0%	14.5%	31.0%	44.7%	6.7%	2.4%	0.7%
現状把握	1,725	265	569	724	106	31	30
	100.0%	15.4%	33.0%	42.0%	6.1%	1.8%	1.7%

経年比較

（単位：％）

	平成								令和	
	16年度	18年度	20年度	22年度	24年度	26年度	28年度	30年度	2年度	4年度
満足、やや満足	34.6	36.1	39.8	41.8	45.1	44.2	44.7	42.7	42.0	47.0
ふつう	43.5	41.2	38.4	43.6	42.8	45.0	44.0	45.0	46.8	43.3
不満、やや不満	20.4	19.3	13.1	13.4	11.0	9.8	10.4	11.0	10.1	8.5



2 - 3. 市政に対する現状の評価と今後の期待

市政評価：設問 15～47

(1) 市政に対する現状の満足度と重要度

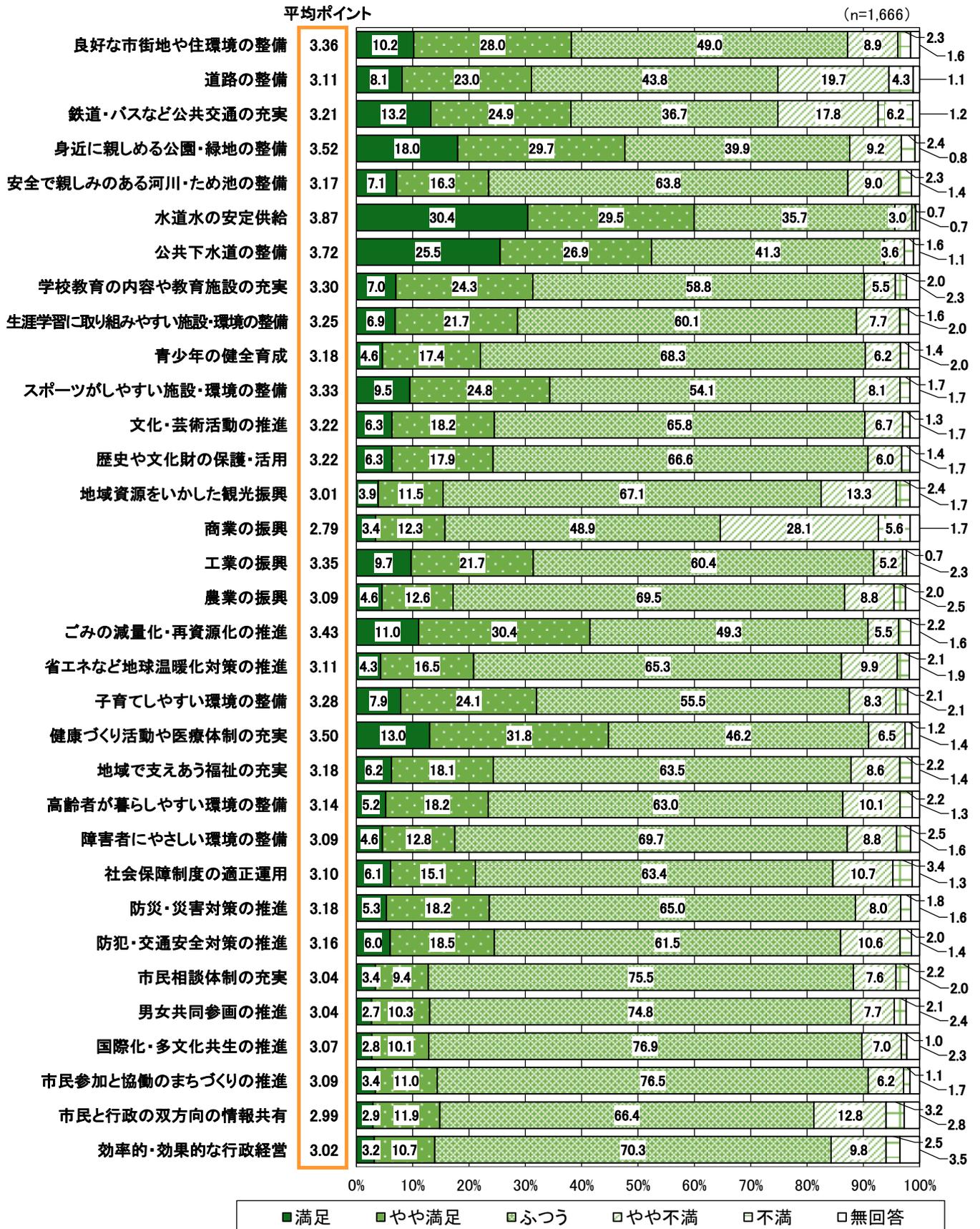
「第8次刈谷市総合計画」の策定に向けた施策体系（案）をもとに設定した33項目に対して、満足度と重要度の評価を次のとおり点数化しました。

表 満足度・重要度の算出方法

満足度	満足度の評価では、「満足」を5点、「やや満足」を4点、「ふつう」を3点、「やや不満」を2点、「不満」を1点とし、各回答の合計値を、無回答を除いた件数で除して、満足度の平均ポイントを算出します。 平均ポイントが5に近いほど満足度が高く、1に近いほど満足度が低いことを示します。
重要度	重要度の評価では、「高い」を5点、「やや高い」を4点、「ふつう」を3点、「やや低い」を2点、「低い」を1点とし、各回答の合計値を、無回答を除いた件数で除して、重要度の平均ポイントを算出します。 平均ポイントが5に近いほど重要度が高く、1に近いほど重要度が低いことを示します。

① 市政に対する現状の満足度評価

図 市政に対する現状の満足度評価

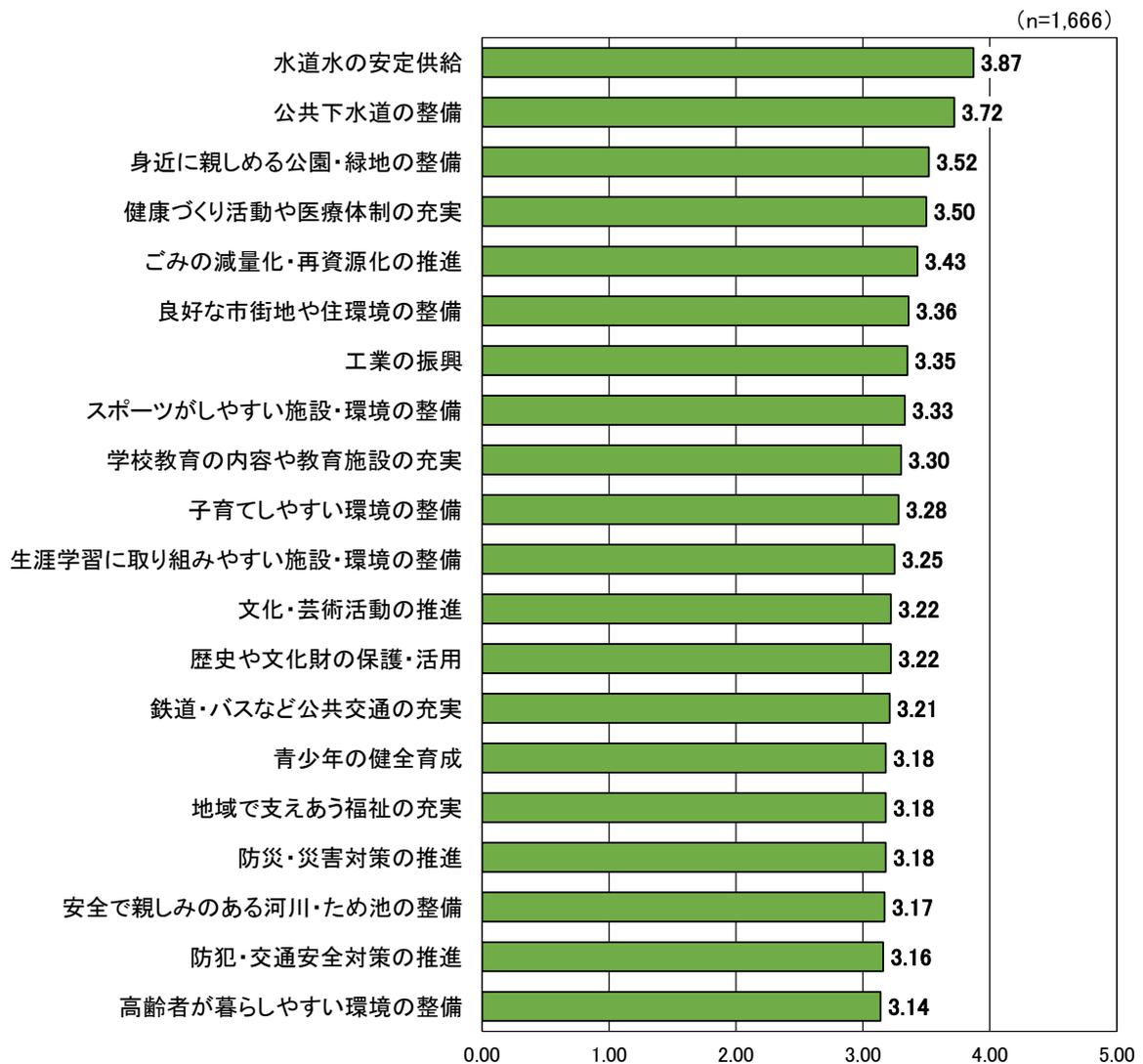


満足度の平均ポイントの上位項目は、次のようになっています。

表 満足度平均ポイント 上位項目

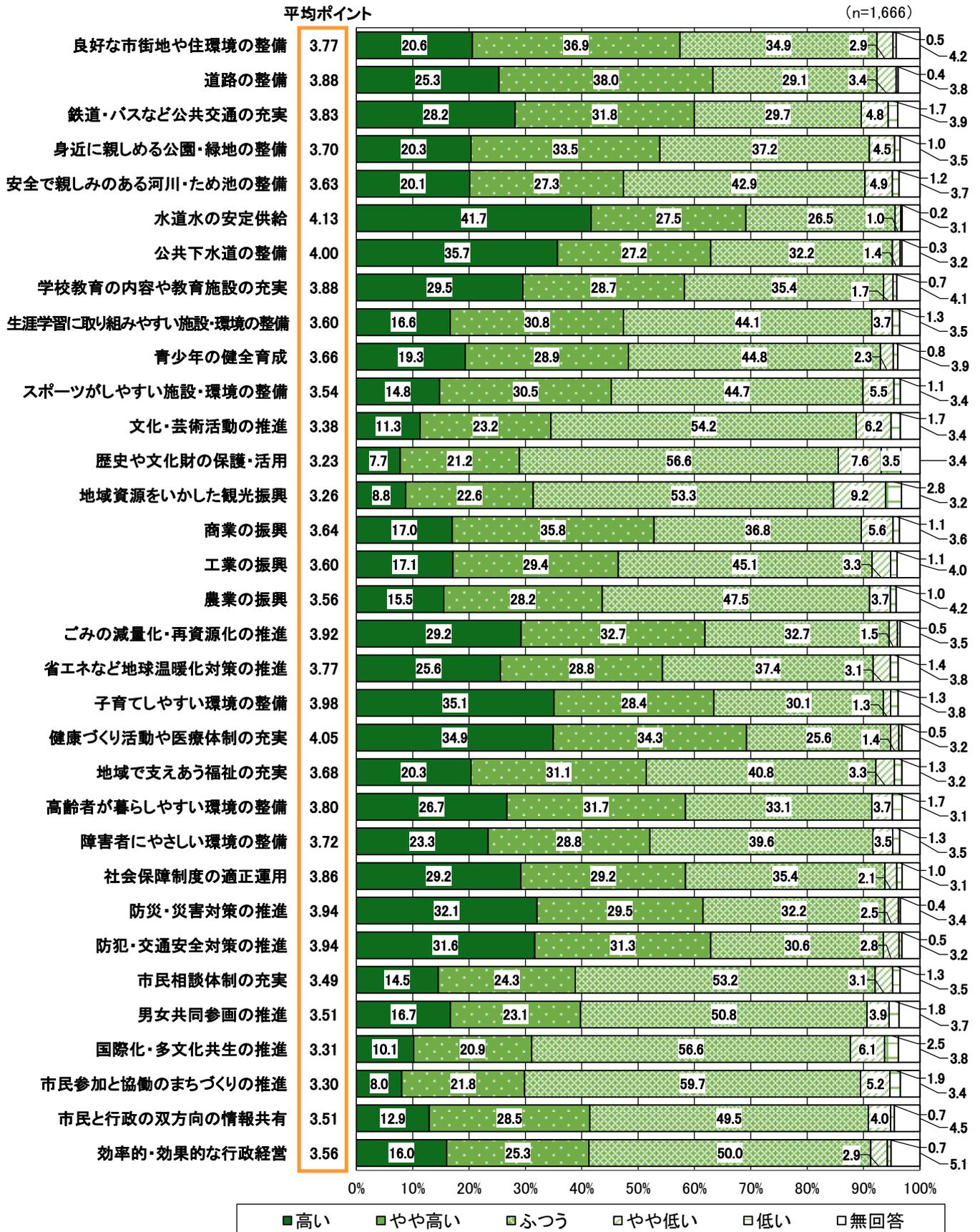
順位	項目	平均ポイント
1位	水道水の安定供給	3.87
2位	公共下水道の整備	3.72
3位	身近に親しめる公園・緑地の整備	3.52
4位	健康づくり活動や医療体制の充実	3.50
5位	ごみの減量化・再資源化の推進	3.43

図 満足度平均ポイント 上位 20 項目



②市政に対する現状の重要度評価

図 市政に対する現状の重要度評価

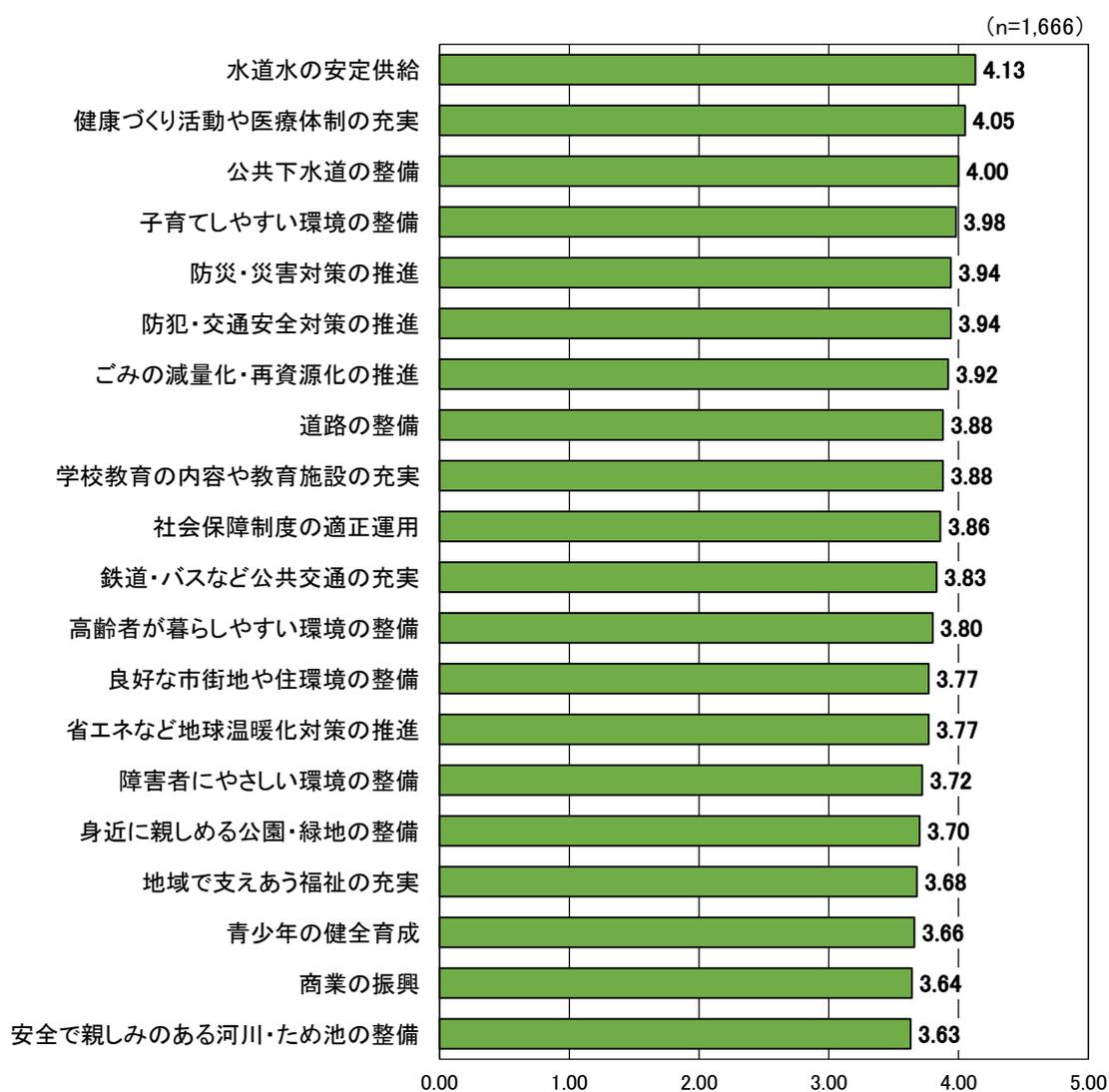


重要度の平均ポイントの上位項目は、次のようになっています。

表 重要度平均ポイント 上位項目

順位	項目	平均ポイント
1位	水道水の安定供給	4.13
2位	健康づくり活動や医療体制の充実	4.05
3位	公共下水道の整備	4.00
4位	子育てしやすい環境の整備	3.98
5位	防災・災害対策の推進 防犯・交通安全対策の推進	3.94

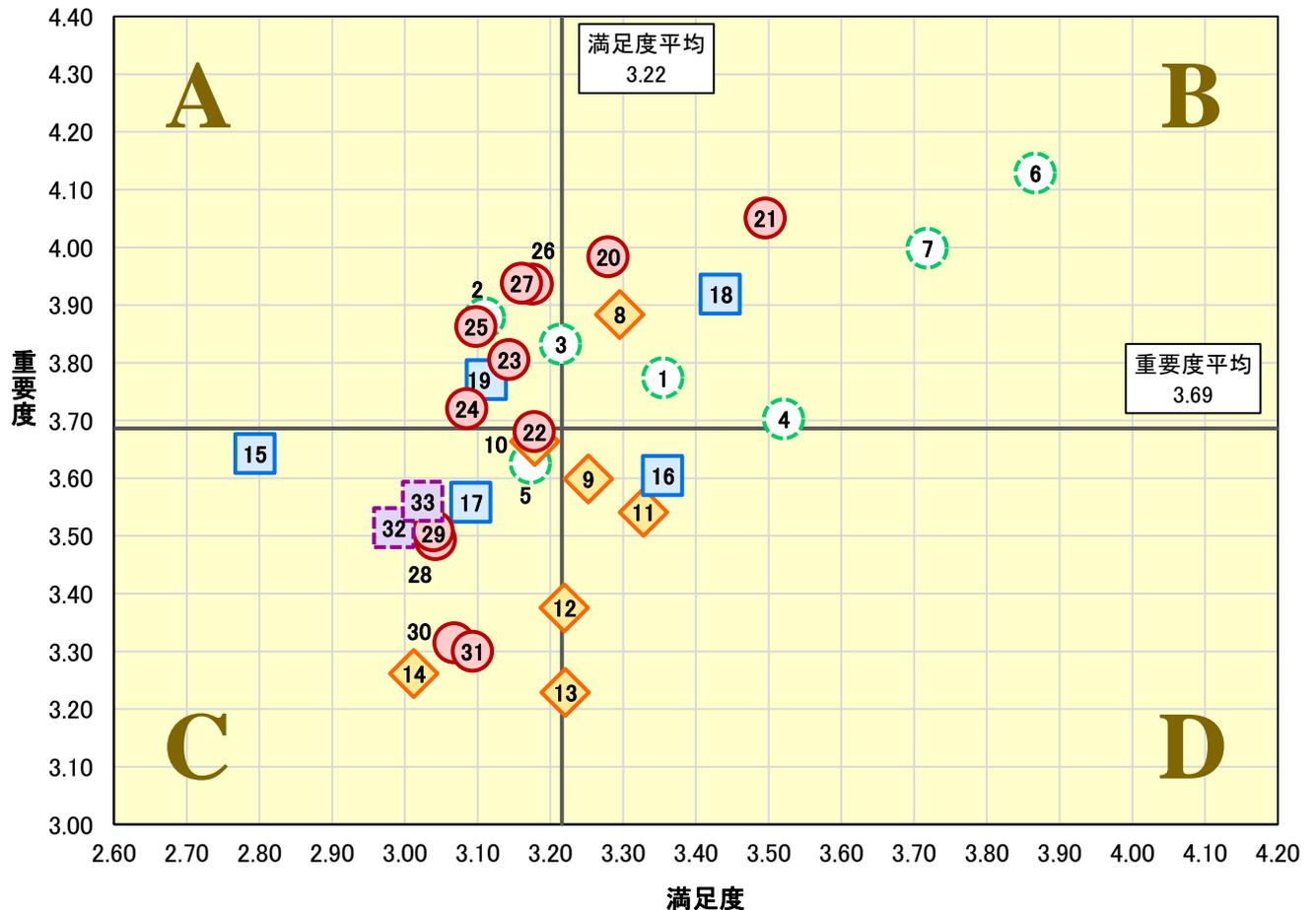
図 重要度平均ポイント 上位 20 項目



③満足度・重要度の平均ポイント

満足度を横軸、重要度を縦軸としてグラフ化した図を用いて分析すると、満足度が低く重要度が高い施策（Aゾーン）として、「26 防災・災害対策の推進」、「27 防犯・交通安全対策の推進」、「2 道路の整備」や「25 社会保障制度の適正運用」をはじめとする8項目があげられています。

図 満足度・重要度の平均ポイントによる散布図



分野	番号	項目
都市基盤	1	良好な市街地や住環境の整備
	2	道路の整備
	3	鉄道・バスなど公共交通の充実
	4	身近に親しめる公園・緑地の整備
	5	安全で親しみのある河川・ため池の整備
	6	水道水の安定供給
	7	公共下水道の整備
教育文化	8	学校教育の内容や教育施設の充実
	9	生涯学習に取り組みやすい施設・環境の整備
	10	青少年の健全育成
	11	スポーツがしやすい施設・環境の整備
	12	文化・芸術活動の推進
	13	歴史や文化財の保護・活用
	14	地域資源をいかした観光振興

分野	番号	項目
産業環境	15	商業の振興
	16	工業の振興
	17	農業の振興
	18	ごみの減量化・再資源化の推進
	19	省エネなど地球温暖化対策の推進
	20	子育てしやすい環境の整備
	21	健康づくり活動や医療体制の充実
福祉安心	22	地域で支えあう福祉の充実
	23	高齢者が暮らしやすい環境の整備
	24	障害者にやさしい環境の整備
	25	社会保障制度の適正運用
	26	防災・災害対策の推進
	27	防犯・交通安全対策の推進
	28	市民相談体制の充実
	29	男女共同参画の推進
	30	国際化・多文化共生の推進
	31	市民参加と協働のまちづくりの推進
	32	市民と行政の双方向の情報共有
マネジメント方針	33	効率的・効果的な行政経営

表 満足度・重要度の平均ポイントによる散布図での位置（散布図位置別、重要度順）

番号	項目	満足度	重要度	散布図での位置
	平均値	3.22	3.69	-
26	防災・災害対策の推進	3.18	3.94	A
27	防犯・交通安全対策の推進	3.16	3.94	A
2	道路の整備	3.11	3.88	A
25	社会保障制度の適正運用	3.10	3.86	A
3	鉄道・バスなど公共交通の充実	3.21	3.83	A
23	高齢者が暮らしやすい環境の整備	3.14	3.80	A
19	省エネなど地球温暖化対策の推進	3.11	3.77	A
24	障害者にやさしい環境の整備	3.09	3.72	A
6	水道水の安定供給	3.87	4.13	B
21	健康づくり活動や医療体制の充実	3.50	4.05	B
7	公共下水道の整備	3.72	4.00	B
20	子育てしやすい環境の整備	3.28	3.98	B
18	ごみの減量化・再資源化の推進	3.43	3.92	B
8	学校教育の内容や教育施設の充実	3.30	3.88	B
1	良好な市街地や住環境の整備	3.36	3.77	B
4	身近に親しめる公園・緑地の整備	3.52	3.70	B
22	地域で支えあう福祉の充実	3.18	3.68	C
10	青少年の健全育成	3.18	3.66	C
15	商業の振興	2.79	3.64	C
5	安全で親しみのある河川・ため池の整備	3.17	3.63	C
17	農業の振興	3.09	3.56	C
33	効率的・効果的な行政経営	3.02	3.56	C
29	男女共同参画の推進	3.04	3.51	C
32	市民と行政の双方向の情報共有	2.99	3.51	C
28	市民相談体制の充実	3.04	3.49	C
30	国際化・多文化共生の推進	3.07	3.31	C
31	市民参加と協働のまちづくりの推進	3.09	3.30	C
14	地域資源をいかした観光振興	3.01	3.26	C
16	工業の振興	3.35	3.60	D
9	生涯学習に取り組みやすい施設・環境の整備	3.25	3.60	D
11	スポーツがしやすい施設・環境の整備	3.33	3.54	D
12	文化・芸術活動の推進	3.22	3.38	D
13	歴史や文化財の保護・活用	3.22	3.23	D

④ニーズ得点

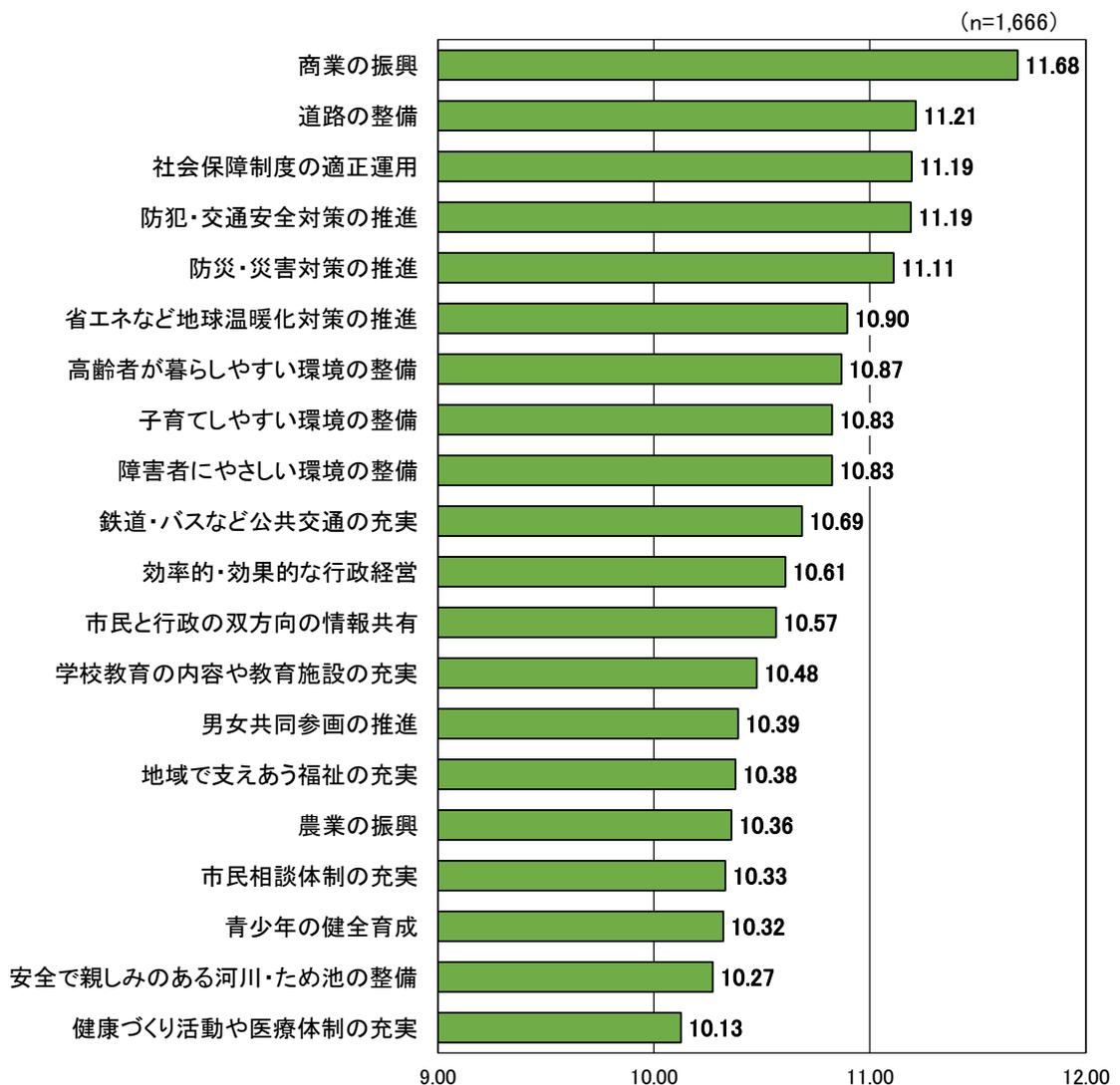
満足度と重要度から「ニーズ得点」を算出し、施策に対する市民のニーズについて分析します。ニーズ得点とは、重要度が高いほど、かつ満足度が低いほど、点数が高くなる指標であり、重要度得点と満足度得点を算出した上で、次のとおりニーズ得点を設定しています。

$$\text{ニーズ得点} = \text{重要度得点} \times (6 - \text{満足度得点})$$

表 ニーズ得点 上位5項目

順位	項目	ニーズ得点
1位	商業の振興	11.68
2位	道路の整備	11.21
3位	社会保障制度の適正運用	11.19
4位	防犯・交通安全対策の推進	11.19
5位	防災・災害対策の推進	11.11

図 ニーズ得点 上位20項目



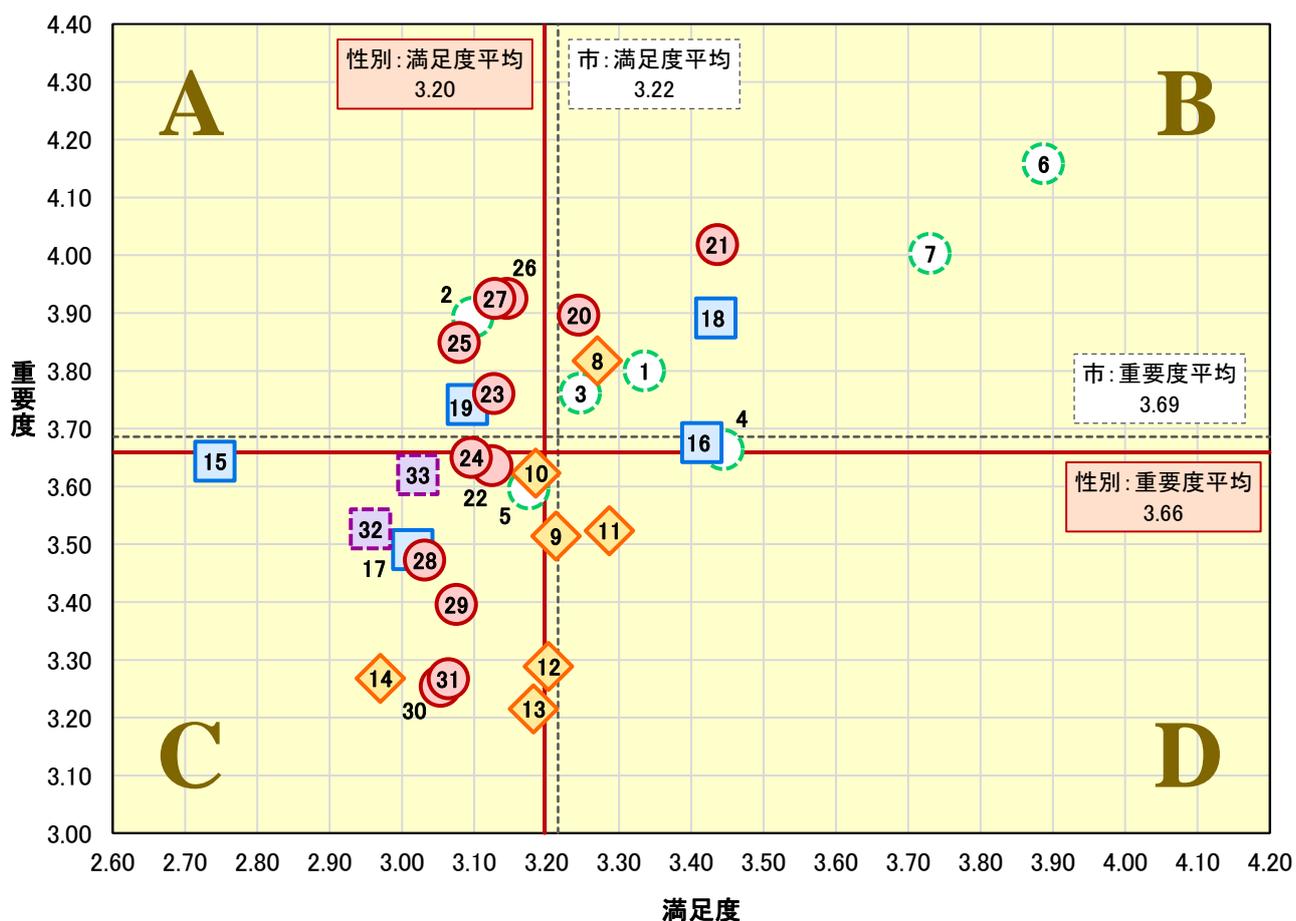
(2) 市政に対する現状の満足度と重要度（性別）

①男性

市全体の平均と比較すると、満足度平均、重要度平均ともにやや低くなっています。

満足度が低く重要度が高い施策（Aの領域）として、「26 防災・災害対策の推進」、「27 防犯・交通安全対策の推進」、「2 道路の整備」、「25 社会保障制度の適正適用」をはじめとする6項目があげられています。

図 満足度・重要度の平均ポイントによる散布図



分野	番号	項目
都市 基盤	1	良好な市街地や住環境の整備
	2	道路の整備
	3	鉄道・バスなど公共交通の充実
	4	身近に親しめる公園・緑地の整備
	5	安全で親しみのある河川・ため池の整備
	6	水道水の安定供給
	7	公共下水道の整備
教育 文化	8	学校教育の内容や教育施設の充実
	9	生涯学習に取り組みやすい施設・環境の整備
	10	青少年の健全育成
	11	スポーツがしやすい施設・環境の整備
	12	文化・芸術活動の推進
	13	歴史や文化財の保護・活用
	14	地域資源をいかした観光振興

分野	番号	項目
産業 環境	15	商業の振興
	16	工業の振興
	17	農業の振興
	18	ごみの減量化・再資源化の推進
	19	省エネなど地球温暖化対策の推進
福祉 安心	20	子育てしやすい環境の整備
	21	健康づくり活動や医療体制の充実
	22	地域で支えあう福祉の充実
	23	高齢者が暮らしやすい環境の整備
	24	障害者にやさしい環境の整備
	25	社会保障制度の適正運用
	26	防災・災害対策の推進
	27	防犯・交通安全対策の推進
	28	市民相談体制の充実
	29	男女共同参画の推進
	30	国際化・多文化共生の推進
31	市民参加と協働のまちづくりの推進	
マネジメント 方針	32	市民と行政の双方向の情報共有
	33	効率的・効果的な行政経営

表 満足度・重要度の平均ポイントによる散布図での位置（散布図位置別、重要度順）

番号	項目	満足度	重要度	散布図での位置
	平均値	3.20 (3.22)	3.66 (3.69)	-
26	防災・災害対策の推進	3.15 (3.18)	3.92 (3.94)	A (A)
27	防犯・交通安全対策の推進	3.13 (3.16)	3.92 (3.94)	A (A)
2	道路の整備	3.10 (3.11)	3.89 (3.88)	A (A)
25	社会保障制度の適正運用	3.08 (3.10)	3.85 (3.86)	A (A)
23	高齢者が暮らしやすい環境の整備	3.13 (3.14)	3.76 (3.80)	A (A)
19	省エネなど地球温暖化対策の推進	3.09 (3.11)	3.74 (3.77)	A (A)
6	水道水の安定供給	3.89 (3.87)	4.16 (4.13)	B (B)
21	健康づくり活動や医療体制の充実	3.44 (3.50)	4.02 (4.05)	B (B)
7	公共下水道の整備	3.73 (3.72)	4.00 (4.00)	B (B)
20	子育てしやすい環境の整備	3.24 (3.28)	3.90 (3.98)	B (B)
18	ごみの減量化・再資源化の推進	3.43 (3.43)	3.89 (3.92)	B (B)
8	学校教育の内容や教育施設の充実	3.27 (3.30)	3.82 (3.88)	B (B)
1	良好な市街地や住環境の整備	3.34 (3.36)	3.80 (3.77)	B (B)
3	鉄道・バスなど公共交通の充実	3.25 (3.21)	3.76 (3.83)	B (A)
16	工業の振興	3.41 (3.35)	3.68 (3.60)	B (D)
4	身近に親しめる公園・緑地の整備	3.44 (3.52)	3.66 (3.70)	B (B)
24	障害者にやさしい環境の整備	3.10 (3.09)	3.65 (3.72)	C (A)
22	地域で支えあう福祉の充実	3.12 (3.18)	3.64 (3.68)	C (C)
15	商業の振興	2.74 (2.79)	3.64 (3.64)	C (C)
10	青少年の健全育成	3.18 (3.18)	3.62 (3.66)	C (C)
33	効率的・効果的な行政経営	3.02 (3.02)	3.62 (3.56)	C (C)
5	安全で親しみのある河川・ため池の整備	3.18 (3.17)	3.60 (3.63)	C (C)
32	市民と行政の双方向の情報共有	2.96 (2.99)	3.53 (3.51)	C (C)
17	農業の振興	3.02 (3.09)	3.49 (3.56)	C (C)
28	市民相談体制の充実	3.03 (3.04)	3.47 (3.49)	C (C)
29	男女共同参画の推進	3.08 (3.04)	3.40 (3.51)	C (C)
31	市民参加と協働のまちづくりの推進	3.06 (3.09)	3.27 (3.30)	C (C)
14	地域資源をいかした観光振興	2.97 (3.01)	3.27 (3.26)	C (C)
30	国際化・多文化共生の推進	3.05 (3.07)	3.25 (3.31)	C (C)
13	歴史や文化財の保護・活用	3.18 (3.22)	3.22 (3.23)	C (D)
11	スポーツがしやすい施設・環境の整備	3.29 (3.33)	3.52 (3.54)	D (D)
9	生涯学習に取り組みやすい施設・環境の整備	3.21 (3.25)	3.51 (3.60)	D (D)
12	文化・芸術活動の推進	3.20 (3.22)	3.29 (3.38)	D (D)

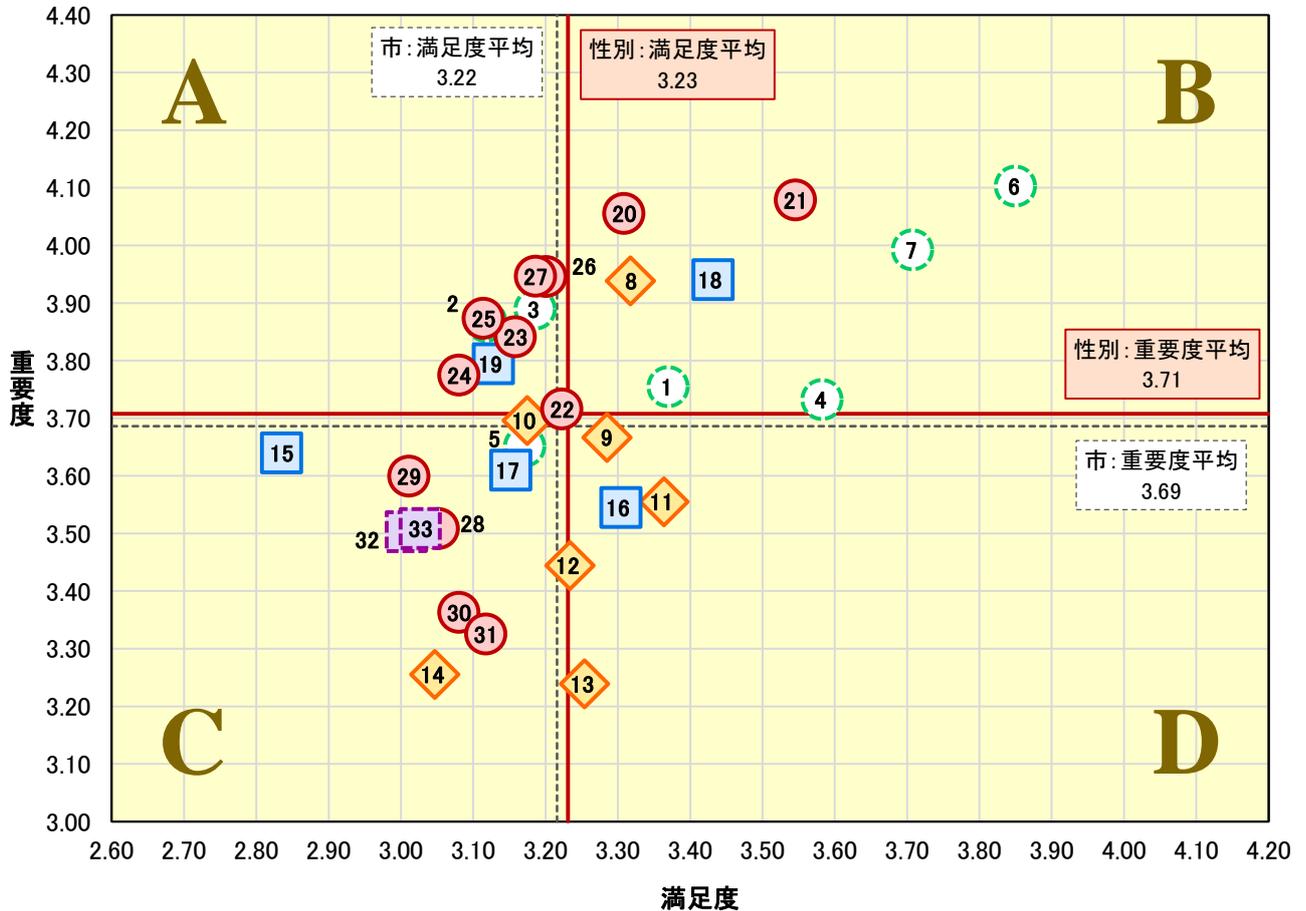
※カッコ内は市全体の値（散布図位置）を示す。

②女性

市全体の平均と比較すると、満足度平均は同水準、重要度平均はやや高くなっています。

満足度が低く重要度が高い施策（Aの領域）として、「26 防災・災害対策の推進」、「27 防犯・交通安全対策の推進」、「3 鉄道・バスなど公共交通の充実」、「2 道路の整備」をはじめとする9項目があげられています。

図 満足度・重要度の平均ポイントによる散布図



分野	番号	項目
都市基盤	1	良好な市街地や住環境の整備
	2	道路の整備
	3	鉄道・バスなど公共交通の充実
	4	身近に親しめる公園・緑地の整備
	5	安全で親しみのある河川・ため池の整備
	6	水道水の安定供給
	7	公共下水道の整備
教育文化	8	学校教育の内容や教育施設の充実
	9	生涯学習に取り組みやすい施設・環境の整備
	10	青少年の健全育成
	11	スポーツがしやすい施設・環境の整備
	12	文化・芸術活動の推進
	13	歴史や文化財の保護・活用
	14	地域資源をいかした観光振興

分野	番号	項目	
産業環境	15	商業の振興	
	16	工業の振興	
	17	農業の振興	
	18	ごみの減量化・再資源化の推進	
	19	省エネなど地球温暖化対策の推進	
	福祉安心	20	子育てしやすい環境の整備
		21	健康づくり活動や医療体制の充実
22		地域で支えあう福祉の充実	
23		高齢者が暮らしやすい環境の整備	
24		障害者にやさしい環境の整備	
25		社会保障制度の適正運用	
26		防災・災害対策の推進	
27		防犯・交通安全対策の推進	
28		市民相談体制の充実	
29		男女共同参画の推進	
30		国際化・多文化共生の推進	
マネジメント方針	31	市民参加と協働のまちづくりの推進	
	32	市民と行政の双方向の情報共有	
	33	効率的・効果的な行政経営	

表 満足度・重要度の平均ポイントによる散布図での位置（散布図位置別、重要度順）

番号	項目	満足度	重要度	散布図での位置
	平均値	3.23 (3.22)	3.71 (3.69)	-
26	防災・災害対策の推進	3.20 (3.18)	3.95 (3.94)	A (A)
27	防犯・交通安全対策の推進	3.19 (3.16)	3.95 (3.94)	A (A)
3	鉄道・バスなど公共交通の充実	3.19 (3.21)	3.89 (3.83)	A (A)
2	道路の整備	3.12 (3.11)	3.87 (3.88)	A (A)
25	社会保障制度の適正運用	3.11 (3.10)	3.87 (3.86)	A (A)
23	高齢者が暮らしやすい環境の整備	3.16 (3.14)	3.84 (3.80)	A (A)
19	省エネなど地球温暖化対策の推進	3.13 (3.11)	3.79 (3.77)	A (A)
24	障害者にやさしい環境の整備	3.08 (3.09)	3.77 (3.72)	A (A)
22	地域で支えあう福祉の充実	3.22 (3.18)	3.72 (3.68)	A (C)
6	水道水の安定供給	3.85 (3.87)	4.10 (4.13)	B (B)
21	健康づくり活動や医療体制の充実	3.55 (3.50)	4.08 (4.05)	B (B)
20	子育てしやすい環境の整備	3.31 (3.28)	4.06 (3.98)	B (B)
7	公共下水道の整備	3.71 (3.72)	3.99 (4.00)	B (B)
18	ごみの減量化・再資源化の推進	3.43 (3.43)	3.94 (3.92)	B (B)
8	学校教育の内容や教育施設の充実	3.32 (3.30)	3.94 (3.88)	B (B)
1	良好な市街地や住環境の整備	3.37 (3.36)	3.75 (3.77)	B (B)
4	身近に親しめる公園・緑地の整備	3.58 (3.52)	3.73 (3.70)	B (B)
10	青少年の健全育成	3.17 (3.18)	3.70 (3.66)	C (C)
5	安全で親しみのある河川・ため池の整備	3.17 (3.17)	3.65 (3.63)	C (C)
15	商業の振興	2.84 (2.79)	3.64 (3.64)	C (C)
17	農業の振興	3.15 (3.09)	3.61 (3.56)	C (C)
29	男女共同参画の推進	3.01 (3.04)	3.60 (3.51)	C (C)
28	市民相談体制の充実	3.05 (3.04)	3.51 (3.49)	C (C)
33	効率的・効果的な行政経営	3.03 (3.02)	3.51 (3.56)	C (C)
32	市民と行政の双方向の情報共有	3.01 (2.99)	3.50 (3.51)	C (C)
30	国際化・多文化共生の推進	3.08 (3.07)	3.36 (3.31)	C (C)
31	市民参加と協働のまちづくりの推進	3.12 (3.09)	3.33 (3.30)	C (C)
14	地域資源をいかした観光振興	3.05 (3.01)	3.26 (3.26)	C (C)
9	生涯学習に取り組みやすい施設・環境の整備	3.28 (3.25)	3.67 (3.60)	D (D)
11	スポーツがしやすい施設・環境の整備	3.36 (3.33)	3.56 (3.54)	D (D)
16	工業の振興	3.30 (3.35)	3.54 (3.60)	D (D)
12	文化・芸術活動の推進	3.23 (3.22)	3.44 (3.38)	D (D)
13	歴史や文化財の保護・活用	3.25 (3.22)	3.24 (3.23)	D (D)

※カッコ内は市全体の値（散布図位置）を示す。

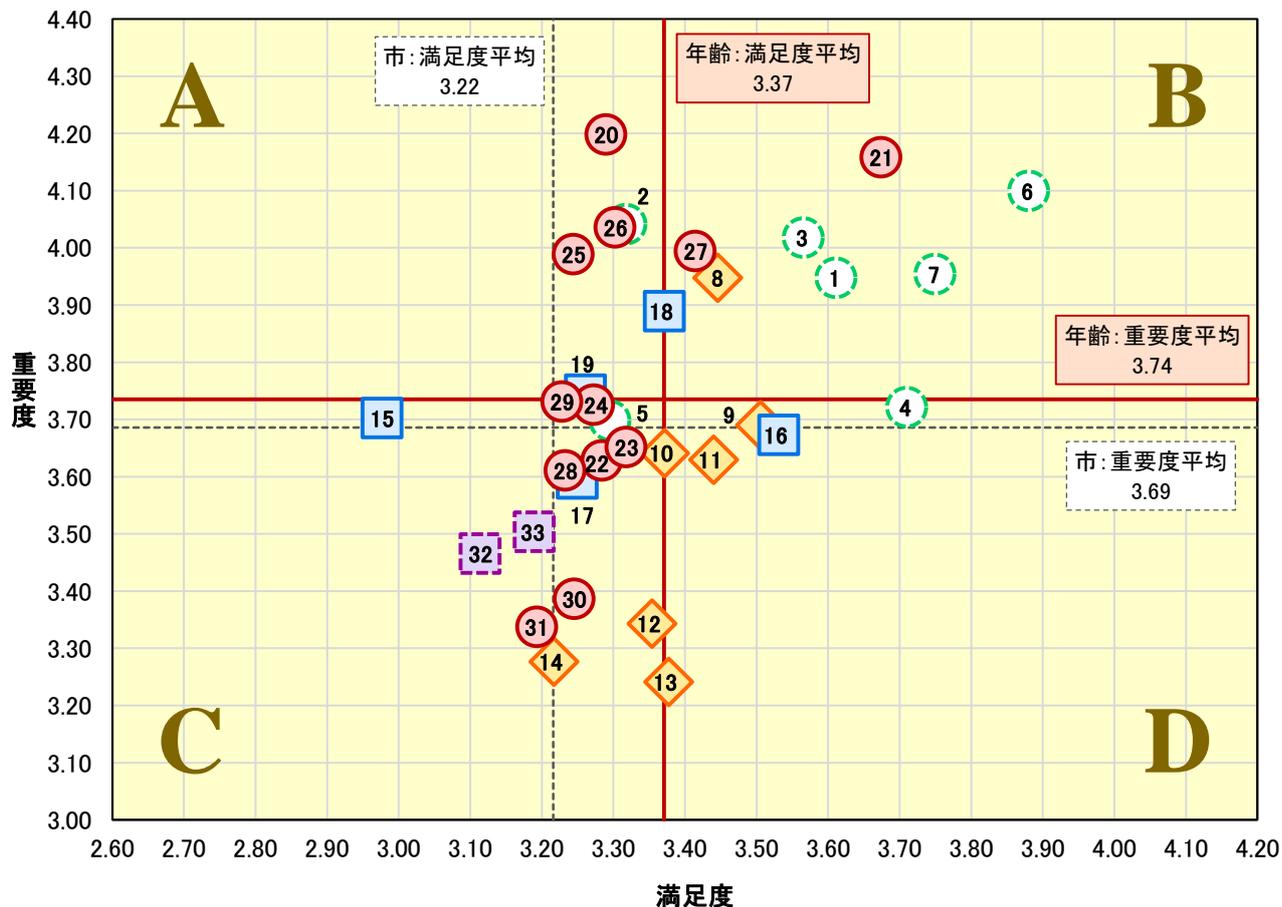
(3) 市政に対する現状の満足度と重要度（年齢別）

①29歳以下

市全体の平均と比較すると、満足度平均、重要度平均ともに高くなっています。

満足度が低く重要度が高い施策（Aの領域）として、「20 子育てしやすい環境の整備」、「2 道路の整備」、「26 防災・災害対策の推進」をはじめとする5項目があげられています。

図 満足度・重要度の平均ポイントによる散布図



分野	番号	項目
都市 基盤	1	良好な市街地や住環境の整備
	2	道路の整備
	3	鉄道・バスなど公共交通の充実
	4	身近に親しめる公園・緑地の整備
	5	安全で親しみのある河川・ため池の整備
	6	水道水の安定供給
	7	公共下水道の整備
教育 文化	8	学校教育の内容や教育施設の充実
	9	生涯学習に取り組みやすい施設・環境の整備
	10	青少年の健全育成
	11	スポーツがしやすい施設・環境の整備
	12	文化・芸術活動の推進
	13	歴史や文化財の保護・活用
	14	地域資源をいかした観光振興

分野	番号	項目
産業 環境	15	商業の振興
	16	工業の振興
	17	農業の振興
	18	ごみの減量化・再資源化の推進
	19	省エネなど地球温暖化対策の推進
福祉 安心	20	子育てしやすい環境の整備
	21	健康づくり活動や医療体制の充実
	22	地域で支えあう福祉の充実
	23	高齢者が暮らしやすい環境の整備
	24	障害者にやさしい環境の整備
	25	社会保障制度の適正運用
	26	防災・災害対策の推進
	27	防犯・交通安全対策の推進
	28	市民相談体制の充実
	29	男女共同参画の推進
	30	国際化・多文化共生の推進
	31	市民参加と協働のまちづくりの推進
マネジ メント方針	32	市民と行政の双方向の情報共有
	33	効率的・効果的な行政経営

表 満足度・重要度の平均ポイントによる散布図での位置（散布図位置別、重要度順）

番号	項目	満足度	重要度	散布図での位置
	平均値	3.37 (3.22)	3.74 (3.69)	-
20	子育てしやすい環境の整備	3.29 (3.28)	4.20 (3.98)	A (B)
2	道路の整備	3.32 (3.11)	4.04 (3.88)	A (A)
26	防災・災害対策の推進	3.30 (3.18)	4.04 (3.94)	A (A)
25	社会保障制度の適正運用	3.24 (3.10)	3.99 (3.86)	A (A)
19	省エネなど地球温暖化対策の推進	3.26 (3.11)	3.74 (3.77)	A (A)
21	健康づくり活動や医療体制の充実	3.67 (3.50)	4.16 (4.05)	B (B)
6	水道水の安定供給	3.88 (3.87)	4.10 (4.13)	B (B)
3	鉄道・バスなど公共交通の充実	3.57 (3.21)	4.02 (3.83)	B (A)
27	防犯・交通安全対策の推進	3.41 (3.16)	3.99 (3.94)	B (A)
7	公共下水道の整備	3.75 (3.72)	3.95 (4.00)	B (B)
1	良好な市街地や住環境の整備	3.61 (3.36)	3.95 (3.77)	B (B)
8	学校教育の内容や教育施設の充実	3.45 (3.30)	3.95 (3.88)	B (B)
18	ごみの減量化・再資源化の推進	3.37 (3.43)	3.89 (3.92)	B (B)
24	障害者にやさしい環境の整備	3.27 (3.09)	3.73 (3.72)	C (A)
29	男女共同参画の推進	3.23 (3.04)	3.73 (3.51)	C (C)
5	安全で親しみのある河川・ため池の整備	3.30 (3.17)	3.70 (3.63)	C (C)
15	商業の振興	2.98 (2.79)	3.70 (3.64)	C (C)
23	高齢者が暮らしやすい環境の整備	3.32 (3.14)	3.65 (3.80)	C (A)
22	地域で支えあう福祉の充実	3.28 (3.18)	3.63 (3.68)	C (C)
28	市民相談体制の充実	3.23 (3.04)	3.61 (3.49)	C (C)
17	農業の振興	3.25 (3.09)	3.60 (3.56)	C (C)
33	効率的・効果的な行政経営	3.19 (3.02)	3.50 (3.56)	C (C)
32	市民と行政の双方向の情報共有	3.11 (2.99)	3.47 (3.51)	C (C)
30	国際化・多文化共生の推進	3.25 (3.07)	3.39 (3.31)	C (C)
12	文化・芸術活動の推進	3.35 (3.22)	3.34 (3.38)	C (D)
31	市民参加と協働のまちづくりの推進	3.19 (3.09)	3.34 (3.30)	C (C)
14	地域資源をいかした観光振興	3.22 (3.01)	3.28 (3.26)	C (C)
4	身近に親しめる公園・緑地の整備	3.71 (3.52)	3.72 (3.70)	D (B)
9	生涯学習に取り組みやすい施設・環境の整備	3.51 (3.25)	3.69 (3.60)	D (D)
16	工業の振興	3.53 (3.35)	3.67 (3.60)	D (D)
10	青少年の健全育成	3.37 (3.18)	3.64 (3.66)	D (C)
11	スポーツがしやすい施設・環境の整備	3.44 (3.33)	3.63 (3.54)	D (D)
13	歴史や文化財の保護・活用	3.38 (3.22)	3.24 (3.23)	D (D)

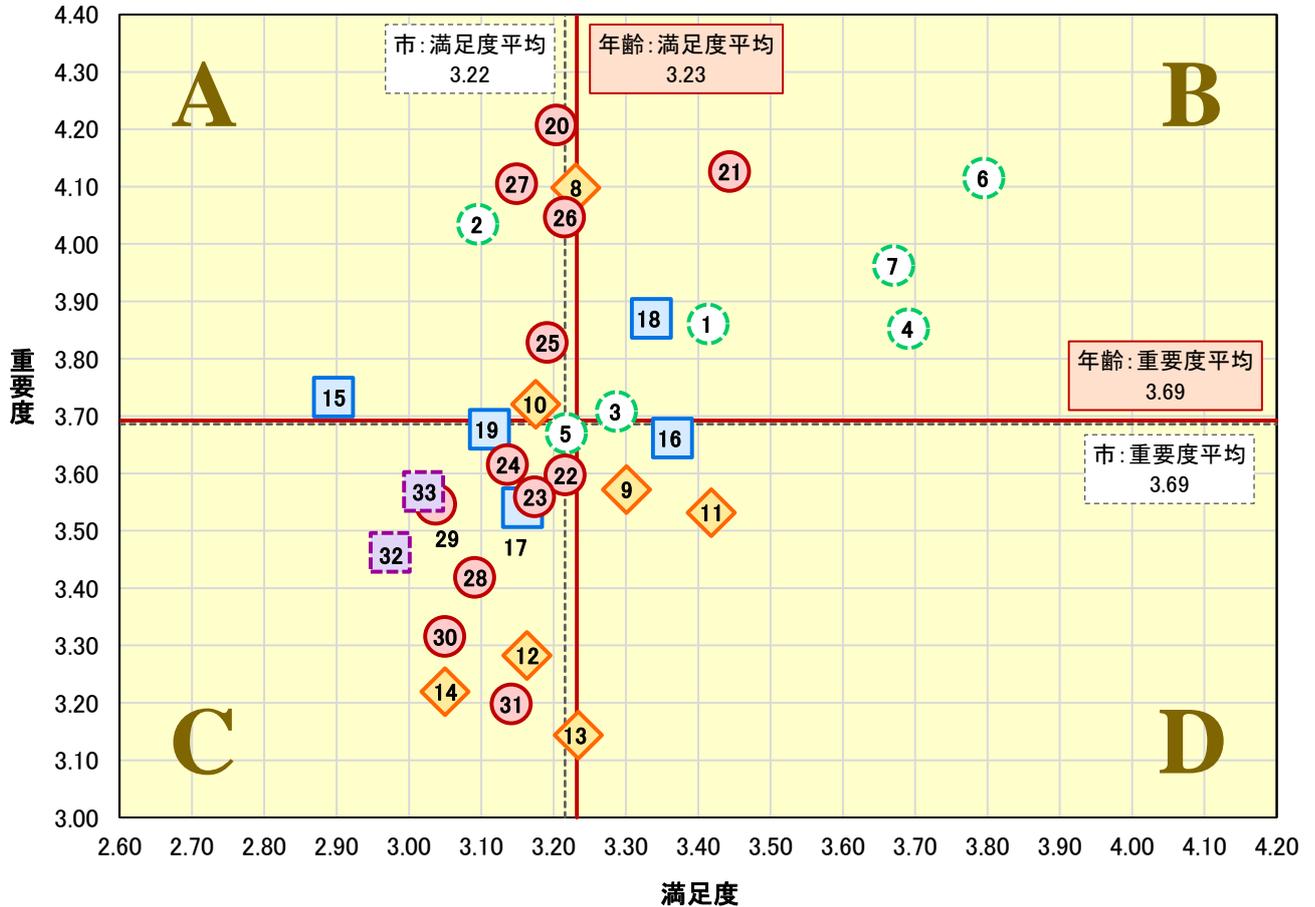
※カッコ内は市全体の値（散布図位置）を示す。

②30～39 歳

市全体の平均と比較すると、満足度平均、重要度平均ともに同水準となっています。

満足度が低く重要度が高い施策（Aの領域）として、「20 子育てしやすい環境の整備」、「8 学校教育の内容や教育施設の充実」、「27 防犯・交通安全対策の推進」、「26 防災・災害対策の推進」をはじめとする8項目があげられています。

図 満足度・重要度の平均ポイントによる散布図



分野	番号	項目
都市 基盤	1	良好な市街地や住環境の整備
	2	道路の整備
	3	鉄道・バスなど公共交通の充実
	4	身近に親しめる公園・緑地の整備
	5	安全で親しみのある河川・ため池の整備
	6	水道水の安定供給
	7	公共下水道の整備
教育 文化	8	学校教育の内容や教育施設の充実
	9	生涯学習に取り組みやすい施設・環境の整備
	10	青少年の健全育成
	11	スポーツがしやすい施設・環境の整備
	12	文化・芸術活動の推進
	13	歴史や文化財の保護・活用
	14	地域資源をいかした観光振興

分野	番号	項目
産業 環境	15	商業の振興
	16	工業の振興
	17	農業の振興
	18	ごみの減量化・再資源化の推進
	19	省エネなど地球温暖化対策の推進
	福祉 安心	20
21		健康づくり活動や医療体制の充実
22		地域で支えあう福祉の充実
23		高齢者が暮らしやすい環境の整備
24		障害者にやさしい環境の整備
25		社会保障制度の適正運用
26		防災・災害対策の推進
27		防犯・交通安全対策の推進
28		市民相談体制の充実
29		男女共同参画の推進
30		国際化・多文化共生の推進
31	市民参加と協働のまちづくりの推進	
マネジ メント方針	32	市民と行政の双方向の情報共有
	33	効率的・効果的な行政経営

表 満足度・重要度の平均ポイントによる散布図での位置（散布図位置別、重要度順）

番号	項目	満足度	重要度	散布図での位置
	平均値	3.23 (3.22)	3.69 (3.69)	-
20	子育てしやすい環境の整備	3.20 (3.28)	4.21 (3.98)	A (B)
8	学校教育の内容や教育施設の充実	3.23 (3.30)	4.10 (3.88)	A (B)
27	防犯・交通安全対策の推進	3.15 (3.16)	4.10 (3.94)	A (A)
26	防災・災害対策の推進	3.22 (3.18)	4.05 (3.94)	A (A)
2	道路の整備	3.10 (3.11)	4.03 (3.88)	A (A)
25	社会保障制度の適正運用	3.19 (3.10)	3.83 (3.86)	A (A)
15	商業の振興	2.90 (2.79)	3.73 (3.64)	A (C)
10	青少年の健全育成	3.18 (3.18)	3.72 (3.66)	A (C)
21	健康づくり活動や医療体制の充実	3.44 (3.50)	4.13 (4.05)	B (B)
6	水道水の安定供給	3.80 (3.87)	4.11 (4.13)	B (B)
7	公共下水道の整備	3.67 (3.72)	3.96 (4.00)	B (B)
18	ごみの減量化・再資源化の推進	3.34 (3.43)	3.87 (3.92)	B (B)
1	良好な市街地や住環境の整備	3.41 (3.36)	3.86 (3.77)	B (B)
4	身近に親しめる公園・緑地の整備	3.69 (3.52)	3.85 (3.70)	B (B)
3	鉄道・バスなど公共交通の充実	3.29 (3.21)	3.71 (3.83)	B (A)
19	省エネなど地球温暖化対策の推進	3.11 (3.11)	3.68 (3.77)	C (A)
5	安全で親しみのある河川・ため池の整備	3.22 (3.17)	3.67 (3.63)	C (C)
24	障害者にやさしい環境の整備	3.14 (3.09)	3.62 (3.72)	C (A)
22	地域で支えあう福祉の充実	3.22 (3.18)	3.60 (3.68)	C (C)
33	効率的・効果的な行政経営	3.02 (3.02)	3.57 (3.56)	C (C)
23	高齢者が暮らしやすい環境の整備	3.17 (3.14)	3.56 (3.80)	C (A)
29	男女共同参画の推進	3.04 (3.04)	3.55 (3.51)	C (C)
17	農業の振興	3.16 (3.09)	3.54 (3.56)	C (C)
32	市民と行政の双方向の情報共有	2.97 (2.99)	3.46 (3.51)	C (C)
28	市民相談体制の充実	3.09 (3.04)	3.42 (3.49)	C (C)
30	国際化・多文化共生の推進	3.05 (3.07)	3.32 (3.31)	C (C)
12	文化・芸術活動の推進	3.16 (3.22)	3.28 (3.38)	C (D)
14	地域資源をいかした観光振興	3.05 (3.01)	3.22 (3.26)	C (C)
31	市民参加と協働のまちづくりの推進	3.14 (3.09)	3.20 (3.30)	C (C)
16	工業の振興	3.37 (3.35)	3.66 (3.60)	D (D)
9	生涯学習に取り組みやすい施設・環境の整備	3.30 (3.25)	3.57 (3.60)	D (D)
11	スポーツがしやすい施設・環境の整備	3.42 (3.33)	3.53 (3.54)	D (D)
13	歴史や文化財の保護・活用	3.23 (3.22)	3.14 (3.23)	D (D)

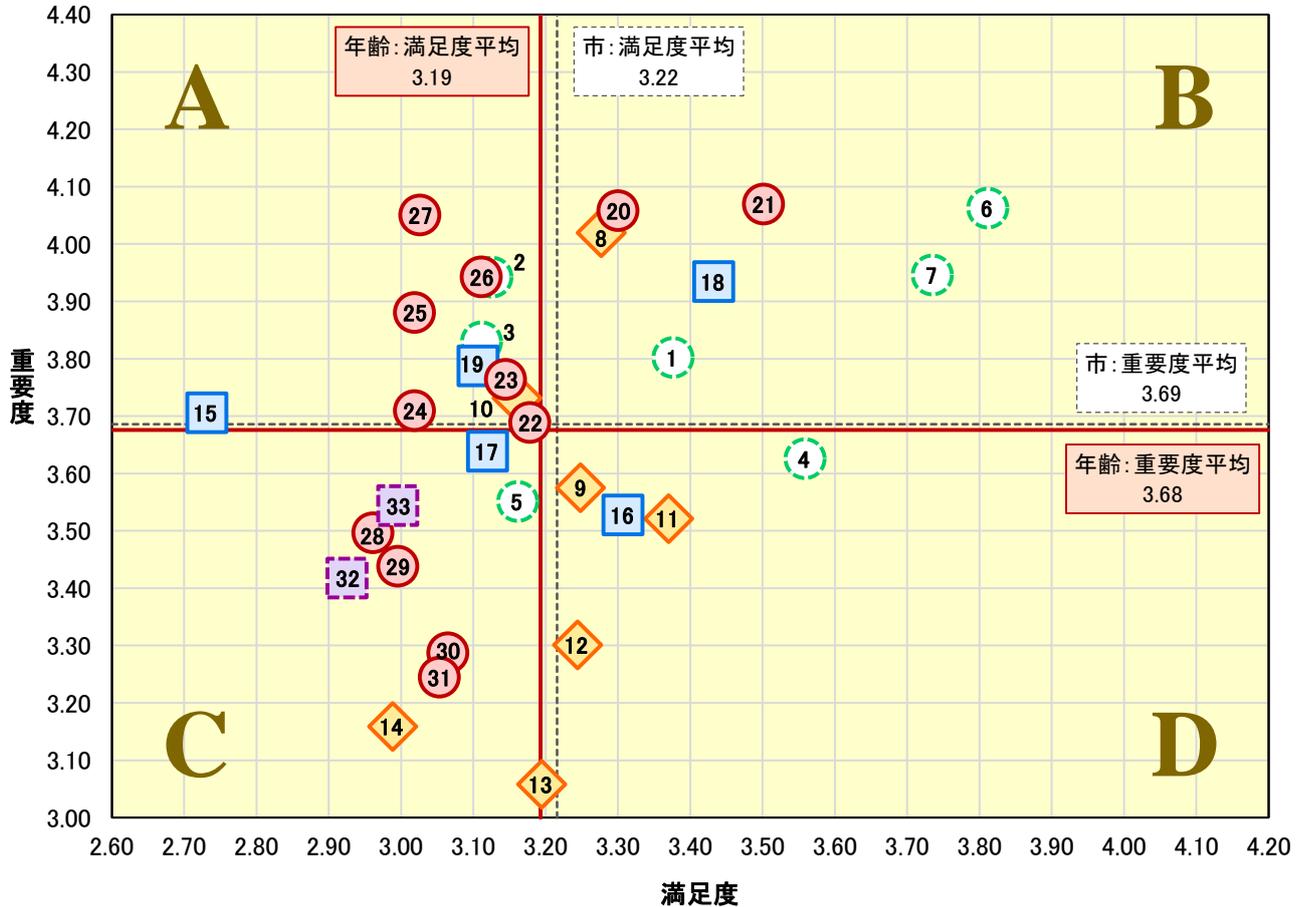
※カッコ内は市全体の値（散布図位置）を示す。

③40～49 歳

市全体の平均と比較すると、満足度平均はやや低く、重要度平均は同水準となっています。

満足度が低く重要度が高い施策（Aの領域）として、「27 防犯・交通安全対策の推進」、「2 道路の整備」、「26 防災・災害対策の推進」、「25 社会保障制度の適正運用」をはじめとする 11 項目があげられています。

図 満足度・重要度の平均ポイントによる散布図



分野	番号	項目
都市基盤	1	良好な市街地や住環境の整備
	2	道路の整備
	3	鉄道・バスなど公共交通の充実
	4	身近に親しめる公園・緑地の整備
	5	安全で親しみのある河川・ため池の整備
	6	水道水の安定供給
	7	公共下水道の整備
教育文化	8	学校教育の内容や教育施設の充実
	9	生涯学習に取り組みやすい施設・環境の整備
	10	青少年の健全育成
	11	スポーツがしやすい施設・環境の整備
	12	文化・芸術活動の推進
	13	歴史や文化財の保護・活用
	14	地域資源をいかした観光振興

分野	番号	項目	
産業環境	15	商業の振興	
	16	工業の振興	
	17	農業の振興	
	18	ごみの減量化・再資源化の推進	
	19	省エネなど地球温暖化対策の推進	
	福祉安心	20	子育てしやすい環境の整備
		21	健康づくり活動や医療体制の充実
22		地域で支えあう福祉の充実	
23		高齢者が暮らしやすい環境の整備	
24		障害者にやさしい環境の整備	
25		社会保障制度の適正運用	
26		防災・災害対策の推進	
27		防犯・交通安全対策の推進	
28		市民相談体制の充実	
29		男女共同参画の推進	
30		国際化・多文化共生の推進	
31		市民参加と協働のまちづくりの推進	
マネジメント方針		32	市民と行政の双方向の情報共有
		33	効率的・効果的な行政経営

表 満足度・重要度の平均ポイントによる散布図での位置（散布図位置別、重要度順）

番号	項目	満足度	重要度	散布図での位置
	平均値	3.19 (3.22)	3.68 (3.69)	-
27	防犯・交通安全対策の推進	3.03 (3.16)	4.05 (3.94)	A (A)
2	道路の整備	3.13 (3.11)	3.94 (3.88)	A (A)
26	防災・災害対策の推進	3.11 (3.18)	3.94 (3.94)	A (A)
25	社会保障制度の適正運用	3.02 (3.10)	3.88 (3.86)	A (A)
3	鉄道・バスなど公共交通の充実	3.11 (3.21)	3.83 (3.83)	A (A)
19	省エネなど地球温暖化対策の推進	3.11 (3.11)	3.79 (3.77)	A (A)
23	高齢者が暮らしやすい環境の整備	3.15 (3.14)	3.76 (3.80)	A (A)
10	青少年の健全育成	3.16 (3.18)	3.73 (3.66)	A (C)
24	障害者にやさしい環境の整備	3.02 (3.09)	3.71 (3.72)	A (A)
15	商業の振興	2.73 (2.79)	3.71 (3.64)	A (C)
22	地域で支えあう福祉の充実	3.18 (3.18)	3.69 (3.68)	A (C)
21	健康づくり活動や医療体制の充実	3.50 (3.50)	4.07 (4.05)	B (B)
6	水道水の安定供給	3.81 (3.87)	4.06 (4.13)	B (B)
20	子育てしやすい環境の整備	3.30 (3.28)	4.06 (3.98)	B (B)
8	学校教育の内容や教育施設の充実	3.28 (3.30)	4.02 (3.88)	B (B)
7	公共下水道の整備	3.74 (3.72)	3.95 (4.00)	B (B)
18	ごみの減量化・再資源化の推進	3.43 (3.43)	3.93 (3.92)	B (B)
1	良好な市街地や住環境の整備	3.38 (3.36)	3.80 (3.77)	B (B)
17	農業の振興	3.12 (3.09)	3.64 (3.56)	C (C)
5	安全で親しみのある河川・ため池の整備	3.16 (3.17)	3.55 (3.63)	C (C)
33	効率的・効果的な行政経営	3.00 (3.02)	3.54 (3.56)	C (C)
28	市民相談体制の充実	2.96 (3.04)	3.50 (3.49)	C (C)
29	男女共同参画の推進	3.00 (3.04)	3.44 (3.51)	C (C)
32	市民と行政の双方向の情報共有	2.93 (2.99)	3.42 (3.51)	C (C)
30	国際化・多文化共生の推進	3.07 (3.07)	3.29 (3.31)	C (C)
31	市民参加と協働のまちづくりの推進	3.05 (3.09)	3.24 (3.30)	C (C)
14	地域資源をいかした観光振興	2.99 (3.01)	3.16 (3.26)	C (C)
4	身近に親しめる公園・緑地の整備	3.56 (3.52)	3.63 (3.70)	D (B)
9	生涯学習に取り組みやすい施設・環境の整備	3.25 (3.25)	3.58 (3.60)	D (D)
16	工業の振興	3.31 (3.35)	3.53 (3.60)	D (D)
11	スポーツがしやすい施設・環境の整備	3.37 (3.33)	3.52 (3.54)	D (D)
12	文化・芸術活動の推進	3.24 (3.22)	3.30 (3.38)	D (D)
13	歴史や文化財の保護・活用	3.19 (3.22)	3.06 (3.23)	D (D)

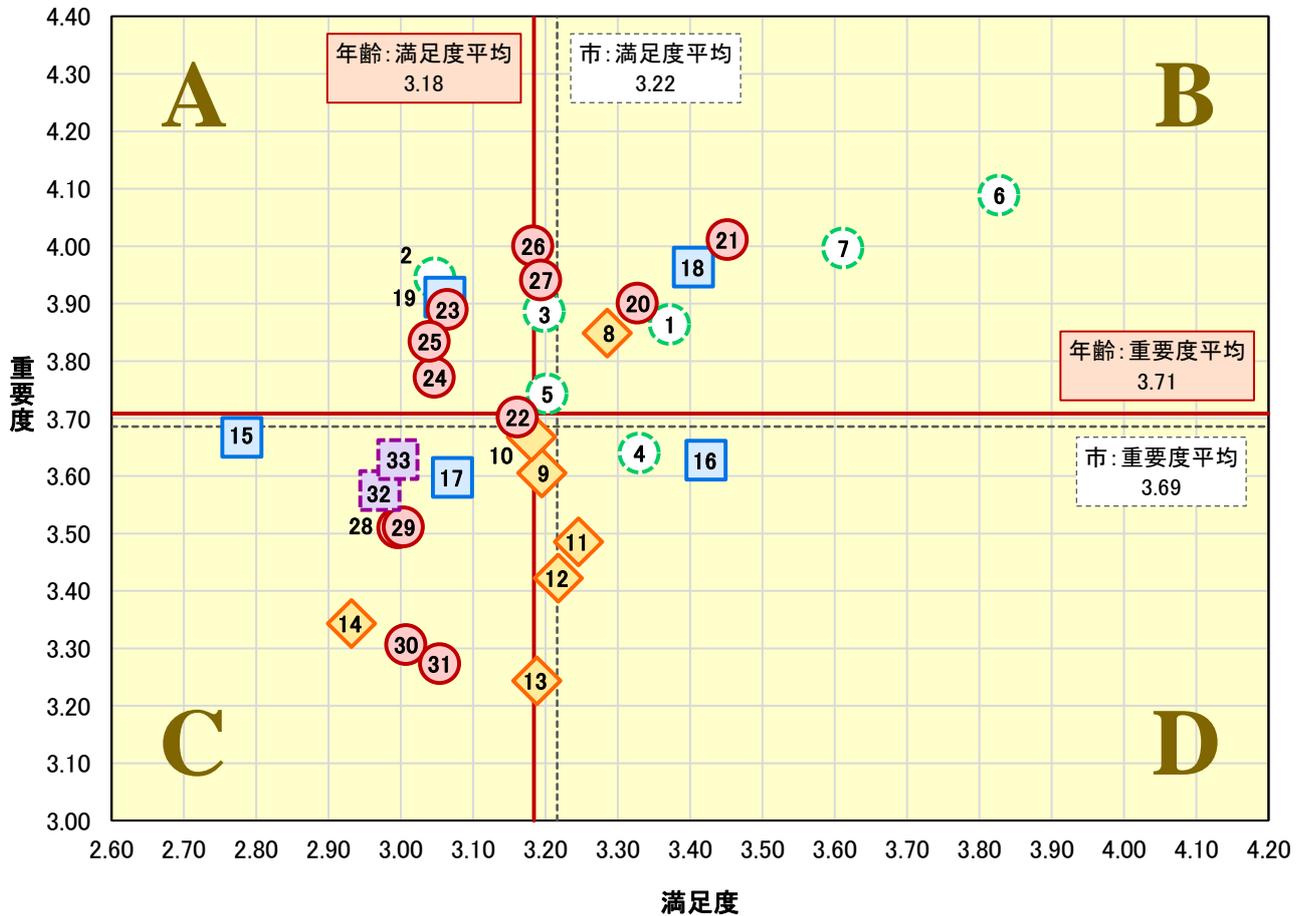
※カッコ内は市全体の値（散布図位置）を示す。

④50～59 歳

市全体の平均と比較すると、満足度平均はやや低く、重要度平均はやや高くなっています。

満足度が低く重要度が高い施策（Aの領域）として、「26 防災・災害対策の推進」、「2 道路の整備」、「19 省エネなど地球温暖化対策の推進」、「23 高齢者が暮らしやすい環境の整備」をはじめとする6項目があげられています。

図 満足度・重要度の平均ポイントによる散布図



分野	番号	項目
都市 基盤	1	良好な市街地や住環境の整備
	2	道路の整備
	3	鉄道・バスなど公共交通の充実
	4	身近に親しめる公園・緑地の整備
	5	安全で親しみのある河川・ため池の整備
	6	水道水の安定供給
	7	公共下水道の整備
教育 文化	8	学校教育の内容や教育施設の充実
	9	生涯学習に取り組みやすい施設・環境の整備
	10	青少年の健全育成
	11	スポーツがしやすい施設・環境の整備
	12	文化・芸術活動の推進
	13	歴史や文化財の保護・活用
	14	地域資源をいかした観光振興

分野	番号	項目	
産業 環境	15	商業の振興	
	16	工業の振興	
	17	農業の振興	
	18	ごみの減量化・再資源化の推進	
	19	省エネなど地球温暖化対策の推進	
	福祉 安心	20	子育てしやすい環境の整備
		21	健康づくり活動や医療体制の充実
22		地域で支えあう福祉の充実	
23		高齢者が暮らしやすい環境の整備	
24		障害者にやさしい環境の整備	
25		社会保障制度の適正運用	
26		防災・災害対策の推進	
27		防犯・交通安全対策の推進	
28		市民相談体制の充実	
29		男女共同参画の推進	
30		国際化・多文化共生の推進	
31		市民参加と協働のまちづくりの推進	
マネジ メント方針		32	市民と行政の双方向の情報共有
		33	効率的・効果的な行政経営

罫線表 満足度・重要度の平均ポイントによる散布図での位置（散布図位置別、重要度順）

番号	項目	満足度	重要度	散布図での位置
	平均値	3.18 (3.22)	3.71 (3.69)	-
26	防災・災害対策の推進	3.18 (3.18)	4.00 (3.94)	A (A)
2	道路の整備	3.05 (3.11)	3.94 (3.88)	A (A)
19	省エネなど地球温暖化対策の推進	3.06 (3.11)	3.91 (3.77)	A (A)
23	高齢者が暮らしやすい環境の整備	3.06 (3.14)	3.89 (3.80)	A (A)
25	社会保障制度の適正運用	3.04 (3.10)	3.83 (3.86)	A (A)
24	障害者にやさしい環境の整備	3.05 (3.09)	3.77 (3.72)	A (A)
6	水道水の安定供給	3.83 (3.87)	4.09 (4.13)	B (B)
21	健康づくり活動や医療体制の充実	3.45 (3.50)	4.01 (4.05)	B (B)
7	公共下水道の整備	3.61 (3.72)	4.00 (4.00)	B (B)
18	ごみの減量化・再資源化の推進	3.41 (3.43)	3.96 (3.92)	B (B)
27	防犯・交通安全対策の推進	3.19 (3.16)	3.94 (3.94)	B (A)
20	子育てしやすい環境の整備	3.33 (3.28)	3.90 (3.98)	B (B)
3	鉄道・バスなど公共交通の充実	3.20 (3.21)	3.89 (3.83)	B (A)
1	良好な市街地や住環境の整備	3.37 (3.36)	3.86 (3.77)	B (B)
8	学校教育の内容や教育施設の充実	3.29 (3.30)	3.85 (3.88)	B (B)
5	安全で親しみのある河川・ため池の整備	3.20 (3.17)	3.74 (3.63)	B (C)
22	地域で支えあう福祉の充実	3.16 (3.18)	3.70 (3.68)	C (C)
10	青少年の健全育成	3.18 (3.18)	3.67 (3.66)	C (C)
15	商業の振興	2.78 (2.79)	3.67 (3.64)	C (C)
33	効率的・効果的な行政経営	3.00 (3.02)	3.63 (3.56)	C (C)
17	農業の振興	3.07 (3.09)	3.60 (3.56)	C (C)
32	市民と行政の双方向の情報共有	2.97 (2.99)	3.57 (3.51)	C (C)
28	市民相談体制の充実	3.00 (3.04)	3.51 (3.49)	C (C)
29	男女共同参画の推進	3.00 (3.04)	3.51 (3.51)	C (C)
14	地域資源をいかした観光振興	2.93 (3.01)	3.34 (3.26)	C (C)
30	国際化・多文化共生の推進	3.01 (3.07)	3.31 (3.31)	C (C)
31	市民参加と協働のまちづくりの推進	3.05 (3.09)	3.27 (3.30)	C (C)
4	身近に親しめる公園・緑地の整備	3.33 (3.52)	3.64 (3.70)	D (B)
16	工業の振興	3.42 (3.35)	3.63 (3.60)	D (D)
9	生涯学習に取り組みやすい施設・環境の整備	3.19 (3.25)	3.61 (3.60)	D (D)
11	スポーツがしやすい施設・環境の整備	3.25 (3.33)	3.49 (3.54)	D (D)
12	文化・芸術活動の推進	3.22 (3.22)	3.42 (3.38)	D (D)
13	歴史や文化財の保護・活用	3.19 (3.22)	3.24 (3.23)	D (D)

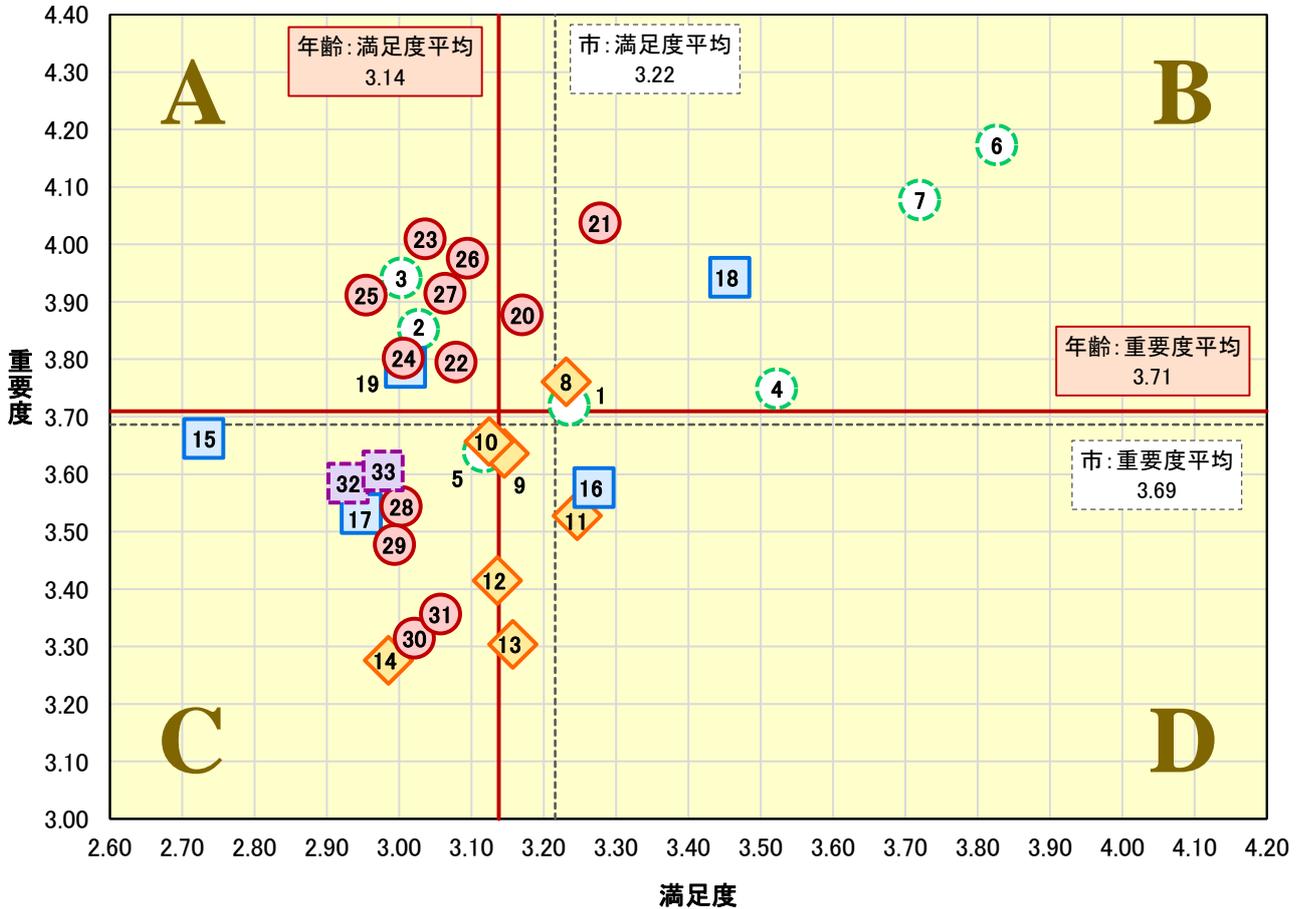
※カッコ内は市全体の値（散布図位置）を示す。

⑤60～69 歳

市全体の平均と比較して、満足度平均は低く、重要度平均はやや高くなっています。

満足度が低く重要度が高い施策（Aの領域）として、「23 高齢者が暮らしやすい環境の整備」、「26 防災・災害対策の推進」、「3 鉄道・バスなど公共交通の充実」、「27 防犯・交通安全対策の推進」をはじめとした9項目があげられています。

図 満足度・重要度の平均ポイントによる散布図



分野	番号	項目
都市 基盤	1	良好な市街地や住環境の整備
	2	道路の整備
	3	鉄道・バスなど公共交通の充実
	4	身近に親しめる公園・緑地の整備
	5	安全で親しみのある河川・ため池の整備
	6	水道水の安定供給
	7	公共下水道の整備
教育 文化	8	学校教育の内容や教育施設の充実
	9	生涯学習に取り組みやすい施設・環境の整備
	10	青少年の健全育成
	11	スポーツがしやすい施設・環境の整備
	12	文化・芸術活動の推進
	13	歴史や文化財の保護・活用
	14	地域資源をいかした観光振興

分野	番号	項目	
産業 環境	15	商業の振興	
	16	工業の振興	
	17	農業の振興	
	18	ごみの減量化・再資源化の推進	
	19	省エネなど地球温暖化対策の推進	
	福祉 安心	20	子育てしやすい環境の整備
		21	健康づくり活動や医療体制の充実
22		地域で支えあう福祉の充実	
23		高齢者が暮らしやすい環境の整備	
24		障害者にやさしい環境の整備	
25		社会保障制度の適正運用	
26		防災・災害対策の推進	
27		防犯・交通安全対策の推進	
28		市民相談体制の充実	
29		男女共同参画の推進	
30		国際化・多文化共生の推進	
31		市民参加と協働のまちづくりの推進	
マネジ メント方針		32	市民と行政の双方向の情報共有
		33	効率的・効果的な行政経営

表 満足度・重要度の平均ポイントによる散布図での位置（散布図位置別、重要度順）

番号	項目	満足度	重要度	散布図での位置
	平均値	3.14 (3.22)	3.71 (3.69)	-
23	高齢者が暮らしやすい環境の整備	3.04 (3.14)	4.01 (3.80)	A (A)
26	防災・災害対策の推進	3.09 (3.18)	3.98 (3.94)	A (A)
3	鉄道・バスなど公共交通の充実	3.00 (3.21)	3.94 (3.83)	A (A)
27	防犯・交通安全対策の推進	3.06 (3.16)	3.91 (3.94)	A (A)
25	社会保障制度の適正運用	2.95 (3.10)	3.91 (3.86)	A (A)
2	道路の整備	3.03 (3.11)	3.85 (3.88)	A (A)
24	障害者にやさしい環境の整備	3.01 (3.09)	3.80 (3.72)	A (A)
22	地域で支えあう福祉の充実	3.08 (3.18)	3.79 (3.68)	A (C)
19	省エネなど地球温暖化対策の推進	3.01 (3.11)	3.79 (3.77)	A (A)
6	水道水の安定供給	3.83 (3.87)	4.17 (4.13)	B (B)
7	公共下水道の整備	3.72 (3.72)	4.08 (4.00)	B (B)
21	健康づくり活動や医療体制の充実	3.28 (3.50)	4.04 (4.05)	B (B)
18	ごみの減量化・再資源化の推進	3.46 (3.43)	3.94 (3.92)	B (B)
20	子育てしやすい環境の整備	3.17 (3.28)	3.88 (3.98)	B (B)
8	学校教育の内容や教育施設の充実	3.23 (3.30)	3.76 (3.88)	B (B)
4	身近に親しめる公園・緑地の整備	3.52 (3.52)	3.75 (3.70)	B (B)
1	良好な市街地や住環境の整備	3.24 (3.36)	3.72 (3.77)	B (B)
10	青少年の健全育成	3.12 (3.18)	3.66 (3.66)	C (C)
15	商業の振興	2.73 (2.79)	3.66 (3.64)	C (C)
5	安全で親しみのある河川・ため池の整備	3.12 (3.17)	3.64 (3.63)	C (C)
33	効率的・効果的な行政経営	2.98 (3.02)	3.61 (3.56)	C (C)
32	市民と行政の双方向の情報共有	2.93 (2.99)	3.58 (3.51)	C (C)
28	市民相談体制の充実	3.00 (3.04)	3.54 (3.49)	C (C)
17	農業の振興	2.95 (3.09)	3.53 (3.56)	C (C)
29	男女共同参画の推進	2.99 (3.04)	3.48 (3.51)	C (C)
12	文化・芸術活動の推進	3.14 (3.22)	3.41 (3.38)	C (D)
31	市民参加と協働のまちづくりの推進	3.06 (3.09)	3.36 (3.30)	C (C)
30	国際化・多文化共生の推進	3.02 (3.07)	3.31 (3.31)	C (C)
14	地域資源をいかした観光振興	2.98 (3.01)	3.28 (3.26)	C (C)
9	生涯学習に取り組みやすい施設・環境の整備	3.15 (3.25)	3.64 (3.60)	D (D)
16	工業の振興	3.27 (3.35)	3.58 (3.60)	D (D)
11	スポーツがしやすい施設・環境の整備	3.25 (3.33)	3.53 (3.54)	D (D)
13	歴史や文化財の保護・活用	3.16 (3.22)	3.30 (3.23)	D (D)

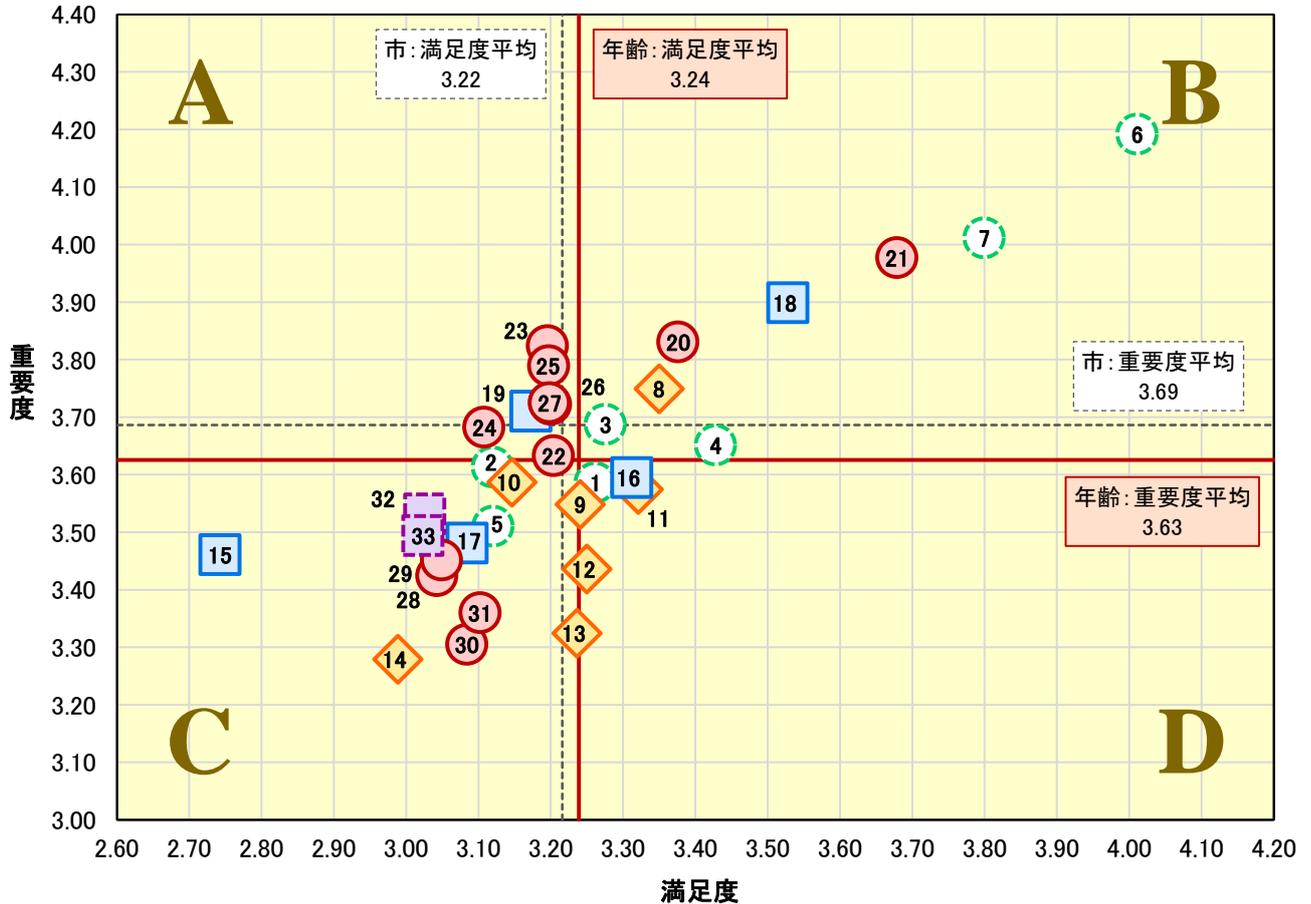
※カッコ内は市全体の値（散布図位置）を示す。

⑥70 歳以上

市全体の平均と比較して、満足度平均はやや高く、重要度は低くなっています。

満足度が低く重要度が高い施策（Aの領域）として、「23 高齢者が暮らしやすい環境の整備」、「25 社会保障制度の適正運用」、「26 防災・災害対策の推進」、「27 防犯・交通安全対策の推進」をはじめとした7項目があげられています。

図 満足度・重要度の平均ポイントによる散布図



分野	番号	項目
都市 基盤	1	良好な市街地や住環境の整備
	2	道路の整備
	3	鉄道・バスなど公共交通の充実
	4	身近に親しめる公園・緑地の整備
	5	安全で親しみのある河川・ため池の整備
	6	水道水の安定供給
	7	公共下水道の整備
教育 文化	8	学校教育の内容や教育施設の充実
	9	生涯学習に取り組みやすい施設・環境の整備
	10	青少年の健全育成
	11	スポーツがしやすい施設・環境の整備
	12	文化・芸術活動の推進
	13	歴史や文化財の保護・活用
	14	地域資源をいかした観光振興

分野	番号	項目
産業 環境	15	商業の振興
	16	工業の振興
	17	農業の振興
	18	ごみの減量化・再資源化の推進
	19	省エネなど地球温暖化対策の推進
	20	子育てしやすい環境の整備
	21	健康づくり活動や医療体制の充実
福祉 安心	22	地域で支えあう福祉の充実
	23	高齢者が暮らしやすい環境の整備
	24	障害者にやさしい環境の整備
	25	社会保障制度の適正運用
	26	防災・災害対策の推進
	27	防犯・交通安全対策の推進
	28	市民相談体制の充実
	29	男女共同参画の推進
	30	国際化・多文化共生の推進
	31	市民参加と協働のまちづくりの推進
	32	市民と行政の双方向の情報共有
マネジメント 方針	33	効率的・効果的な行政経営

表 満足度・重要度の平均ポイントによる散布図での位置（散布図位置別、重要度順）

番号	項目	満足度	重要度	散布図での位置
	平均値	3.24 (3.22)	3.63 (3.69)	-
23	高齢者が暮らしやすい環境の整備	3.20 (3.14)	3.82 (3.80)	A (A)
25	社会保障制度の適正運用	3.20 (3.10)	3.79 (3.86)	A (A)
26	防災・災害対策の推進	3.20 (3.18)	3.72 (3.94)	A (A)
27	防犯・交通安全対策の推進	3.20 (3.16)	3.72 (3.94)	A (A)
19	省エネなど地球温暖化対策の推進	3.17 (3.11)	3.71 (3.77)	A (A)
24	障害者にやさしい環境の整備	3.11 (3.09)	3.68 (3.72)	A (A)
22	地域で支えあう福祉の充実	3.20 (3.18)	3.63 (3.68)	A (C)
6	水道水の安定供給	4.01 (3.87)	4.19 (4.13)	B (B)
7	公共下水道の整備	3.80 (3.72)	4.01 (4.00)	B (B)
21	健康づくり活動や医療体制の充実	3.68 (3.50)	3.98 (4.05)	B (B)
18	ごみの減量化・再資源化の推進	3.53 (3.43)	3.90 (3.92)	B (B)
20	子育てしやすい環境の整備	3.38 (3.28)	3.83 (3.98)	B (B)
8	学校教育の内容や教育施設の充実	3.35 (3.30)	3.75 (3.88)	B (B)
3	鉄道・バスなど公共交通の充実	3.28 (3.21)	3.69 (3.83)	B (A)
4	身近に親しめる公園・緑地の整備	3.43 (3.52)	3.65 (3.70)	B (B)
2	道路の整備	3.12 (3.11)	3.61 (3.88)	C (A)
10	青少年の健全育成	3.15 (3.18)	3.59 (3.66)	C (C)
32	市民と行政の双方向の情報共有	3.03 (2.99)	3.53 (3.51)	C (C)
5	安全で親しみのある河川・ため池の整備	3.12 (3.17)	3.51 (3.63)	C (C)
33	効率的・効果的な行政経営	3.02 (3.02)	3.49 (3.56)	C (C)
17	農業の振興	3.08 (3.09)	3.48 (3.56)	C (C)
15	商業の振興	2.74 (2.79)	3.46 (3.64)	C (C)
29	男女共同参画の推進	3.05 (3.04)	3.45 (3.51)	C (C)
28	市民相談体制の充実	3.04 (3.04)	3.42 (3.49)	C (C)
31	市民参加と協働のまちづくりの推進	3.10 (3.09)	3.36 (3.30)	C (C)
13	歴史や文化財の保護・活用	3.24 (3.22)	3.32 (3.23)	C (D)
30	国際化・多文化共生の推進	3.08 (3.07)	3.30 (3.31)	C (C)
14	地域資源をいかした観光振興	2.99 (3.01)	3.28 (3.26)	C (C)
16	工業の振興	3.31 (3.35)	3.59 (3.60)	D (D)
1	良好な市街地や住環境の整備	3.26 (3.36)	3.59 (3.77)	D (B)
11	スポーツがしやすい施設・環境の整備	3.32 (3.33)	3.57 (3.54)	D (D)
9	生涯学習に取り組みやすい施設・環境の整備	3.24 (3.25)	3.55 (3.60)	D (D)
12	文化・芸術活動の推進	3.25 (3.22)	3.44 (3.38)	D (D)

※カッコ内は市全体の値（散布図位置）を示す。

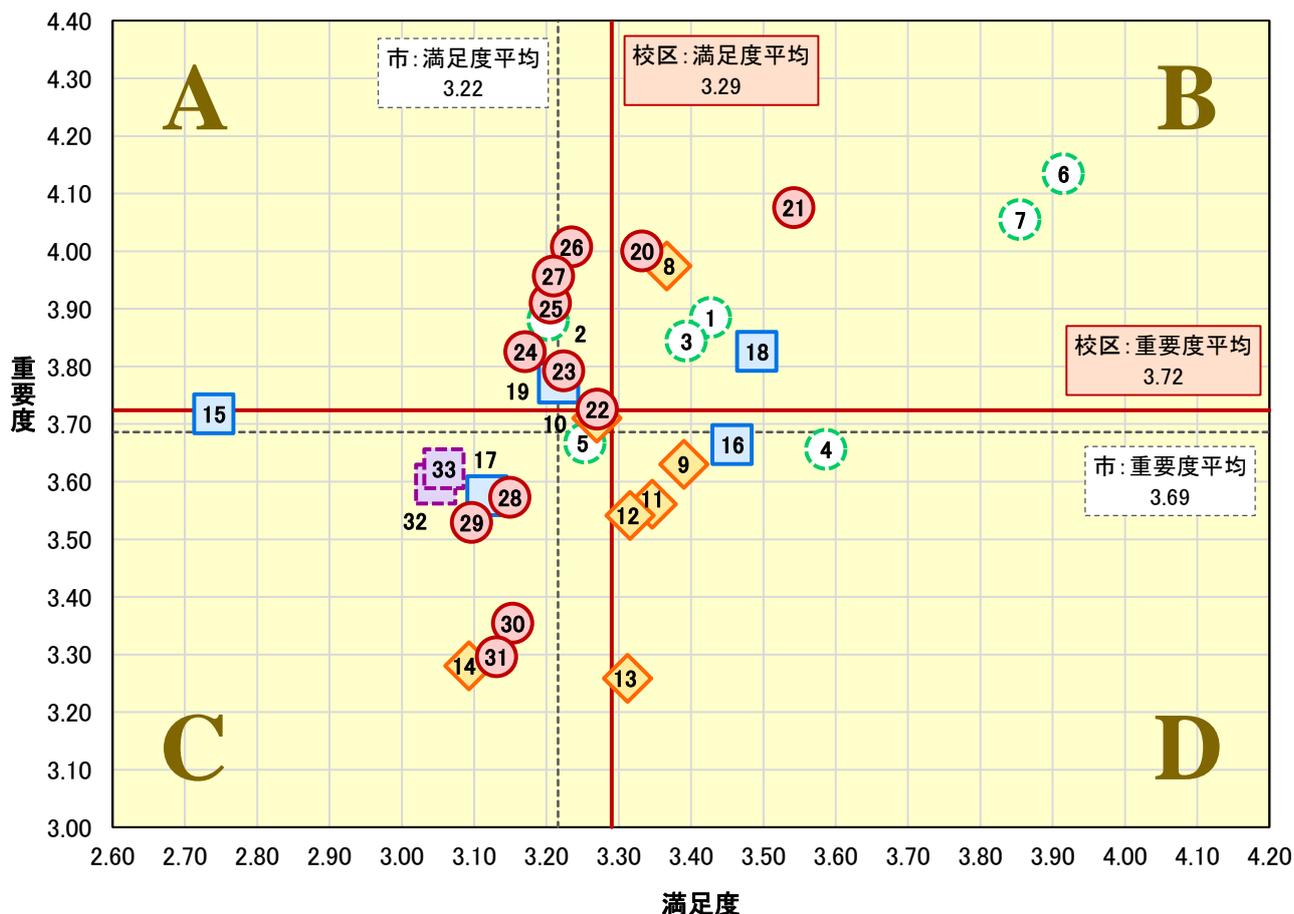
(4) 市政に対する現状の満足度と重要度（中学校区別）

① 刈谷南中学校区

市全体の平均と比較すると、満足度平均は高く、重要度平均もやや高くなっています。

満足度が低く重要度が高い施策（Aの領域）として、「26 防災・災害対策の推進」、「27 防犯・交通安全対策の推進」、「25 社会保障制度の適正運用」、「2 道路の整備」をはじめとする8項目があげられています。

図 満足度・重要度の平均ポイントによる散布図



分野	番号	項目
都市 基盤	1	良好な市街地や住環境の整備
	2	道路の整備
	3	鉄道・バスなど公共交通の充実
	4	身近に親しめる公園・緑地の整備
	5	安全で親しみのある河川・ため池の整備
	6	水道水の安定供給
	7	公共下水道の整備
教育 文化	8	学校教育の内容や教育施設の充実
	9	生涯学習に取り組みやすい施設・環境の整備
	10	青少年の健全育成
	11	スポーツがしやすい施設・環境の整備
	12	文化・芸術活動の推進
	13	歴史や文化財の保護・活用
	14	地域資源をいかした観光振興

分野	番号	項目
産業 環境	15	商業の振興
	16	工業の振興
	17	農業の振興
	18	ごみの減量化・再資源化の推進
	19	省エネなど地球温暖化対策の推進
福祉 安心	20	子育てしやすい環境の整備
	21	健康づくり活動や医療体制の充実
	22	地域で支えあう福祉の充実
	23	高齢者が暮らしやすい環境の整備
	24	障害者にやさしい環境の整備
	25	社会保障制度の適正運用
	26	防災・災害対策の推進
	27	防犯・交通安全対策の推進
	28	市民相談体制の充実
	29	男女共同参画の推進
	30	国際化・多文化共生の推進
	31	市民参加と協働のまちづくりの推進
マネジメント 方針	32	市民と行政の双方向の情報共有
	33	効率的・効果的な行政経営

表 満足度・重要度の平均ポイントによる散布図での位置（散布図位置別、重要度順）

番号	項目	満足度	重要度	散布図での位置
	平均値	3.29 (3.22)	3.72 (3.69)	-
26	防災・災害対策の推進	3.23 (3.18)	4.01 (3.94)	A (A)
27	防犯・交通安全対策の推進	3.21 (3.16)	3.96 (3.94)	A (A)
25	社会保障制度の適正運用	3.21 (3.10)	3.91 (3.86)	A (A)
2	道路の整備	3.20 (3.11)	3.88 (3.88)	A (A)
24	障害者にやさしい環境の整備	3.17 (3.09)	3.83 (3.72)	A (A)
23	高齢者が暮らしやすい環境の整備	3.22 (3.14)	3.79 (3.80)	A (A)
19	省エネなど地球温暖化対策の推進	3.22 (3.11)	3.77 (3.77)	A (A)
22	地域で支えあう福祉の充実	3.27 (3.18)	3.73 (3.68)	A (C)
6	水道水の安定供給	3.92 (3.87)	4.13 (4.13)	B (B)
21	健康づくり活動や医療体制の充実	3.54 (3.50)	4.08 (4.05)	B (B)
7	公共下水道の整備	3.86 (3.72)	4.05 (4.00)	B (B)
20	子育てしやすい環境の整備	3.33 (3.28)	4.00 (3.98)	B (B)
8	学校教育の内容や教育施設の充実	3.37 (3.30)	3.97 (3.88)	B (B)
1	良好な市街地や住環境の整備	3.43 (3.36)	3.88 (3.77)	B (B)
3	鉄道・バスなど公共交通の充実	3.39 (3.21)	3.84 (3.83)	B (A)
18	ごみの減量化・再資源化の推進	3.49 (3.43)	3.83 (3.92)	B (B)
15	商業の振興	2.74 (2.79)	3.72 (3.64)	C (C)
10	青少年の健全育成	3.27 (3.18)	3.71 (3.66)	C (C)
5	安全で親しみのある河川・ため池の整備	3.25 (3.17)	3.67 (3.63)	C (C)
33	効率的・効果的な行政経営	3.06 (3.02)	3.62 (3.56)	C (C)
32	市民と行政の双方向の情報共有	3.05 (2.99)	3.60 (3.51)	C (C)
17	農業の振興	3.12 (3.09)	3.58 (3.56)	C (C)
28	市民相談体制の充実	3.15 (3.04)	3.57 (3.49)	C (C)
29	男女共同参画の推進	3.10 (3.04)	3.53 (3.51)	C (C)
30	国際化・多文化共生の推進	3.15 (3.07)	3.35 (3.31)	C (C)
31	市民参加と協働のまちづくりの推進	3.13 (3.09)	3.30 (3.30)	C (C)
14	地域資源をいかした観光振興	3.09 (3.01)	3.28 (3.26)	C (C)
4	身近に親しめる公園・緑地の整備	3.59 (3.52)	3.66 (3.70)	D (B)
16	工業の振興	3.46 (3.35)	3.66 (3.60)	D (D)
9	生涯学習に取り組みやすい施設・環境の整備	3.39 (3.25)	3.63 (3.60)	D (D)
11	スポーツがしやすい施設・環境の整備	3.35 (3.33)	3.56 (3.54)	D (D)
12	文化・芸術活動の推進	3.32 (3.22)	3.54 (3.38)	D (D)
13	歴史や文化財の保護・活用	3.31 (3.22)	3.26 (3.23)	D (D)

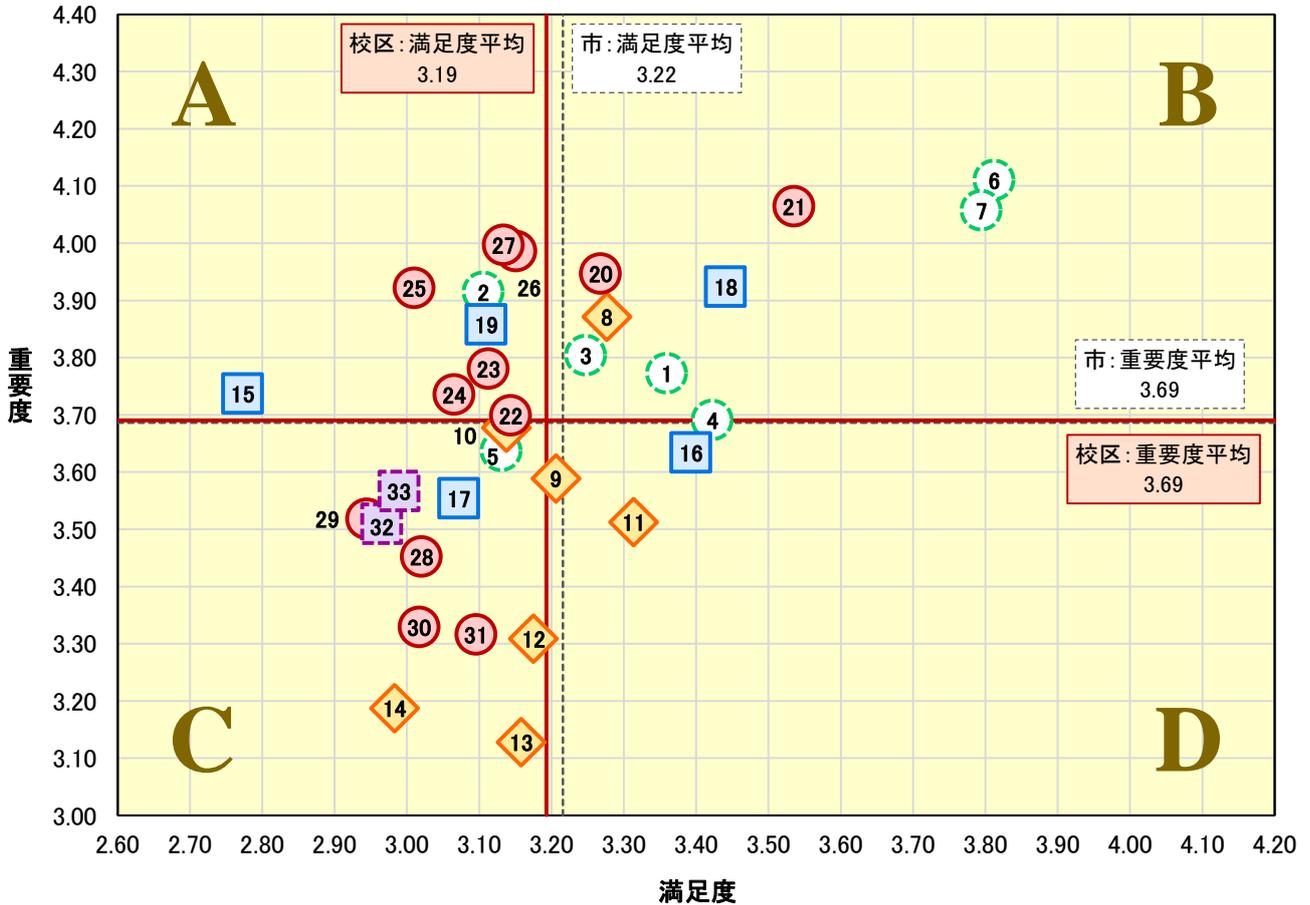
※カッコ内は市全体の値（散布図位置）を示す。

②刈谷東中学校区

市全体の平均と比較すると、満足度平均はやや低く、重要度平均は同水準となっています。

満足度が低く重要度が高い施策（Aの領域）として、「27 防犯・交通安全対策の推進」、「26 防災・災害対策の推進」、「25 社会保障制度の適正運用」、「2 道路の整備」をはじめとする9項目があげられています。

図 満足度・重要度の平均ポイントによる散布図



分野	番号	項目
都市 基盤	1	良好な市街地や住環境の整備
	2	道路の整備
	3	鉄道・バスなど公共交通の充実
	4	身近に親しめる公園・緑地の整備
	5	安全で親しみのある河川・ため池の整備
	6	水道水の安定供給
	7	公共下水道の整備
教育 文化	8	学校教育の内容や教育施設の充実
	9	生涯学習に取り組みやすい施設・環境の整備
	10	青少年の健全育成
	11	スポーツがしやすい施設・環境の整備
	12	文化・芸術活動の推進
	13	歴史や文化財の保護・活用
	14	地域資源をいかした観光振興

分野	番号	項目
産業 環境	15	商業の振興
	16	工業の振興
	17	農業の振興
	18	ごみの減量化・再資源化の推進
	19	省エネなど地球温暖化対策の推進
	20	子育てしやすい環境の整備
	21	健康づくり活動や医療体制の充実
福祉 安心	22	地域で支えあう福祉の充実
	23	高齢者が暮らしやすい環境の整備
	24	障害者にやさしい環境の整備
	25	社会保障制度の適正運用
	26	防災・災害対策の推進
	27	防犯・交通安全対策の推進
	28	市民相談体制の充実
	29	男女共同参画の推進
	30	国際化・多文化共生の推進
	31	市民参加と協働のまちづくりの推進
	32	市民と行政の双方向の情報共有
マネジメント 方針	33	効率的・効果的な行政経営

表 満足度・重要度の平均ポイントによる散布図での位置（散布図位置別、重要度順）

番号	項目	満足度	重要度	散布図での位置
	平均値	3.19 (3.22)	3.69 (3.69)	-
27	防犯・交通安全対策の推進	3.13 (3.16)	4.00 (3.94)	A (A)
26	防災・災害対策の推進	3.15 (3.18)	3.99 (3.94)	A (A)
25	社会保障制度の適正運用	3.01 (3.10)	3.92 (3.86)	A (A)
2	道路の整備	3.11 (3.11)	3.91 (3.88)	A (A)
19	省エネなど地球温暖化対策の推進	3.11 (3.11)	3.86 (3.77)	A (A)
23	高齢者が暮らしやすい環境の整備	3.11 (3.14)	3.78 (3.80)	A (A)
15	商業の振興	2.77 (2.79)	3.74 (3.64)	A (C)
24	障害者にやさしい環境の整備	3.07 (3.09)	3.73 (3.72)	A (A)
22	地域で支えあう福祉の充実	3.14 (3.18)	3.70 (3.68)	A (C)
6	水道水の安定供給	3.81 (3.87)	4.11 (4.13)	B (B)
7	公共下水道の整備	3.79 (3.72)	4.06 (4.00)	B (B)
21	健康づくり活動や医療体制の充実	3.54 (3.50)	4.06 (4.05)	B (B)
20	子育てしやすい環境の整備	3.27 (3.28)	3.95 (3.98)	B (B)
18	ごみの減量化・再資源化の推進	3.44 (3.43)	3.92 (3.92)	B (B)
8	学校教育の内容や教育施設の充実	3.28 (3.30)	3.87 (3.88)	B (B)
3	鉄道・バスなど公共交通の充実	3.25 (3.21)	3.80 (3.83)	B (A)
1	良好な市街地や住環境の整備	3.36 (3.36)	3.77 (3.77)	B (B)
4	身近に親しめる公園・緑地の整備	3.42 (3.52)	3.69 (3.70)	B (B)
10	青少年の健全育成	3.14 (3.18)	3.68 (3.66)	C (C)
5	安全で親しみのある河川・ため池の整備	3.13 (3.17)	3.64 (3.63)	C (C)
33	効率的・効果的な行政経営	2.99 (3.02)	3.57 (3.56)	C (C)
17	農業の振興	3.07 (3.09)	3.55 (3.56)	C (C)
29	男女共同参画の推進	2.94 (3.04)	3.52 (3.51)	C (C)
32	市民と行政の双方向の情報共有	2.97 (2.99)	3.51 (3.51)	C (C)
28	市民相談体制の充実	3.02 (3.04)	3.45 (3.49)	C (C)
30	国際化・多文化共生の推進	3.02 (3.07)	3.33 (3.31)	C (C)
31	市民参加と協働のまちづくりの推進	3.10 (3.09)	3.32 (3.30)	C (C)
12	文化・芸術活動の推進	3.18 (3.22)	3.31 (3.38)	C (D)
14	地域資源をいかした観光振興	2.98 (3.01)	3.19 (3.26)	C (C)
13	歴史や文化財の保護・活用	3.16 (3.22)	3.13 (3.23)	C (D)
16	工業の振興	3.39 (3.35)	3.63 (3.60)	D (D)
9	生涯学習に取り組みやすい施設・環境の整備	3.21 (3.25)	3.59 (3.60)	D (D)
11	スポーツがしやすい施設・環境の整備	3.31 (3.33)	3.51 (3.54)	D (D)

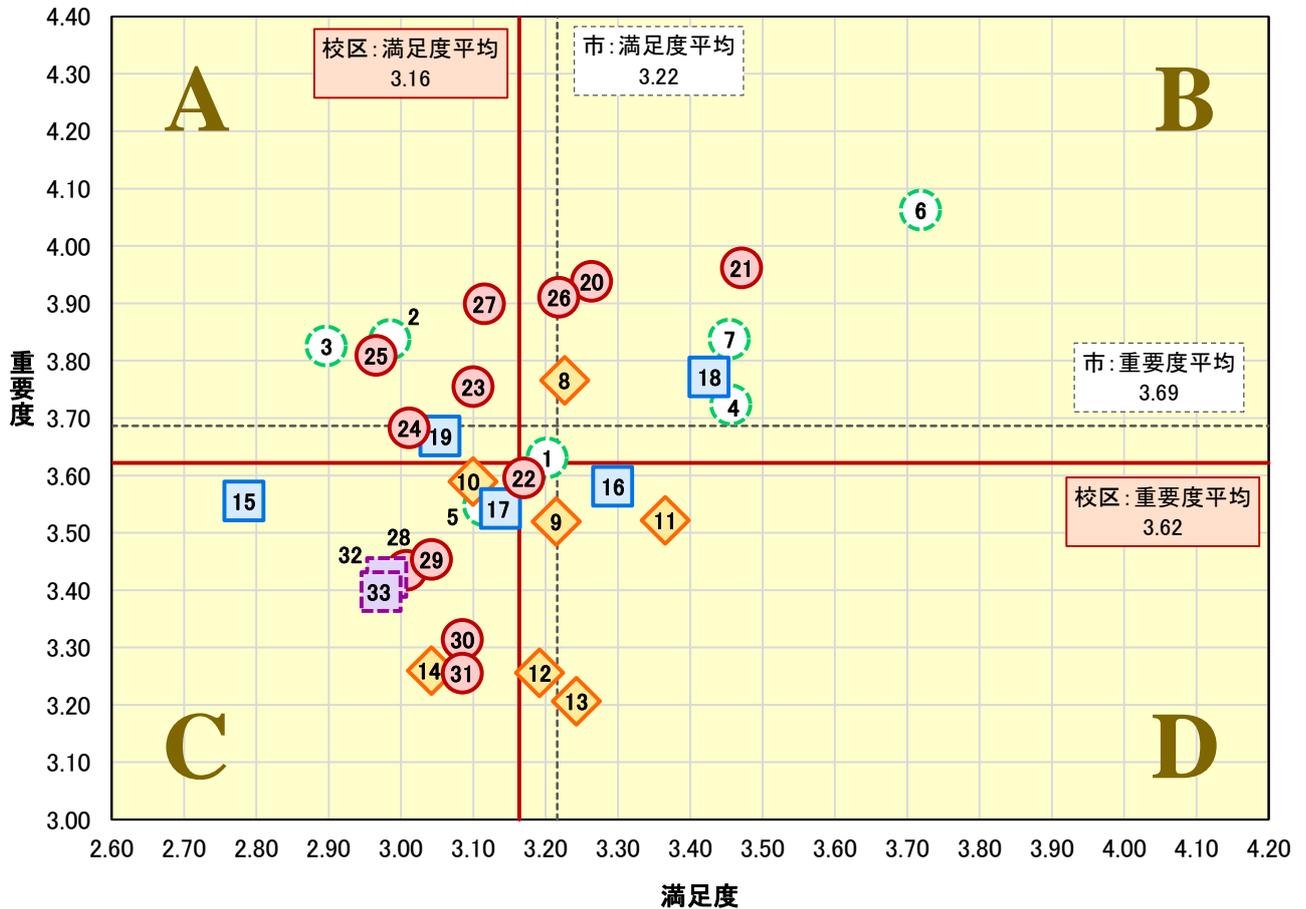
※カッコ内は市全体の値（散布図位置）を示す。

③富士松中学校区

市全体の平均と比較すると、満足度平均、重要度平均ともに低くなっています。

満足度が低く重要度が高い施策（Aの領域）として、「27 防犯・交通安全対策の推進」、「2 道路の整備」、「3 鉄道・バスなど公共交通の充実」、「25 社会保障制度の適正運用」をはじめとする7項目があげられています。

図 満足度・重要度の平均ポイントによる散布図



分野	番号	項目
都市基盤	1	良好な市街地や住環境の整備
	2	道路の整備
	3	鉄道・バスなど公共交通の充実
	4	身近に親しめる公園・緑地の整備
	5	安全で親しみのある河川・ため池の整備
	6	水道水の安定供給
	7	公共下水道の整備
教育文化	8	学校教育の内容や教育施設の充実
	9	生涯学習に取り組みやすい施設・環境の整備
	10	青少年の健全育成
	11	スポーツがしやすい施設・環境の整備
	12	文化・芸術活動の推進
	13	歴史や文化財の保護・活用
	14	地域資源をいかした観光振興

分野	番号	項目
産業環境	15	商業の振興
	16	工業の振興
	17	農業の振興
	18	ごみの減量化・再資源化の推進
	19	省エネなど地球温暖化対策の推進
	20	子育てしやすい環境の整備
	21	健康づくり活動や医療体制の充実
福祉安心	22	地域で支えあう福祉の充実
	23	高齢者が暮らしやすい環境の整備
	24	障害者にやさしい環境の整備
	25	社会保障制度の適正運用
	26	防災・災害対策の推進
	27	防犯・交通安全対策の推進
	28	市民相談体制の充実
	29	男女共同参画の推進
	30	国際化・多文化共生の推進
	31	市民参加と協働のまちづくりの推進
	32	市民と行政の双方向の情報共有
マネジメント方針	33	効率的・効果的な行政経営

表 満足度・重要度の平均ポイントによる散布図での位置（散布図位置別、重要度順）

番号	項目	満足度	重要度	散布図での位置
	平均値	3.16 (3.22)	3.62 (3.69)	-
27	防犯・交通安全対策の推進	3.12 (3.16)	3.90 (3.94)	A (A)
2	道路の整備	2.98 (3.11)	3.84 (3.88)	A (A)
3	鉄道・バスなど公共交通の充実	2.90 (3.21)	3.82 (3.83)	A (A)
25	社会保障制度の適正運用	2.97 (3.10)	3.81 (3.86)	A (A)
23	高齢者が暮らしやすい環境の整備	3.10 (3.14)	3.75 (3.80)	A (A)
24	障害者にやさしい環境の整備	3.01 (3.09)	3.68 (3.72)	A (A)
19	省エネなど地球温暖化対策の推進	3.05 (3.11)	3.67 (3.77)	A (A)
6	水道水の安定供給	3.72 (3.87)	4.06 (4.13)	B (B)
21	健康づくり活動や医療体制の充実	3.47 (3.50)	3.96 (4.05)	B (B)
20	子育てしやすい環境の整備	3.26 (3.28)	3.94 (3.98)	B (B)
26	防災・災害対策の推進	3.22 (3.18)	3.91 (3.94)	B (A)
7	公共下水道の整備	3.45 (3.72)	3.84 (4.00)	B (B)
18	ごみの減量化・再資源化の推進	3.43 (3.43)	3.77 (3.92)	B (B)
8	学校教育の内容や教育施設の充実	3.23 (3.30)	3.77 (3.88)	B (B)
4	身近に親しめる公園・緑地の整備	3.46 (3.52)	3.72 (3.70)	B (B)
1	良好な市街地や住環境の整備	3.20 (3.36)	3.63 (3.77)	B (B)
10	青少年の健全育成	3.10 (3.18)	3.59 (3.66)	C (C)
5	安全で親しみのある河川・ため池の整備	3.11 (3.17)	3.55 (3.63)	C (C)
15	商業の振興	2.78 (2.79)	3.55 (3.64)	C (C)
17	農業の振興	3.14 (3.09)	3.54 (3.56)	C (C)
29	男女共同参画の推進	3.04 (3.04)	3.45 (3.51)	C (C)
28	市民相談体制の充実	3.01 (3.04)	3.43 (3.49)	C (C)
32	市民と行政の双方向の情報共有	2.98 (2.99)	3.42 (3.51)	C (C)
33	効率的・効果的な行政経営	2.97 (3.02)	3.40 (3.56)	C (C)
30	国際化・多文化共生の推進	3.08 (3.07)	3.31 (3.31)	C (C)
14	地域資源をいかした観光振興	3.04 (3.01)	3.26 (3.26)	C (C)
31	市民参加と協働のまちづくりの推進	3.08 (3.09)	3.25 (3.30)	C (C)
22	地域で支えあう福祉の充実	3.17 (3.18)	3.60 (3.68)	D (C)
16	工業の振興	3.29 (3.35)	3.58 (3.60)	D (D)
11	スポーツがしやすい施設・環境の整備	3.37 (3.33)	3.52 (3.54)	D (D)
9	生涯学習に取り組みやすい施設・環境の整備	3.21 (3.25)	3.52 (3.60)	D (D)
12	文化・芸術活動の推進	3.19 (3.22)	3.26 (3.38)	D (D)
13	歴史や文化財の保護・活用	3.24 (3.22)	3.21 (3.23)	D (D)

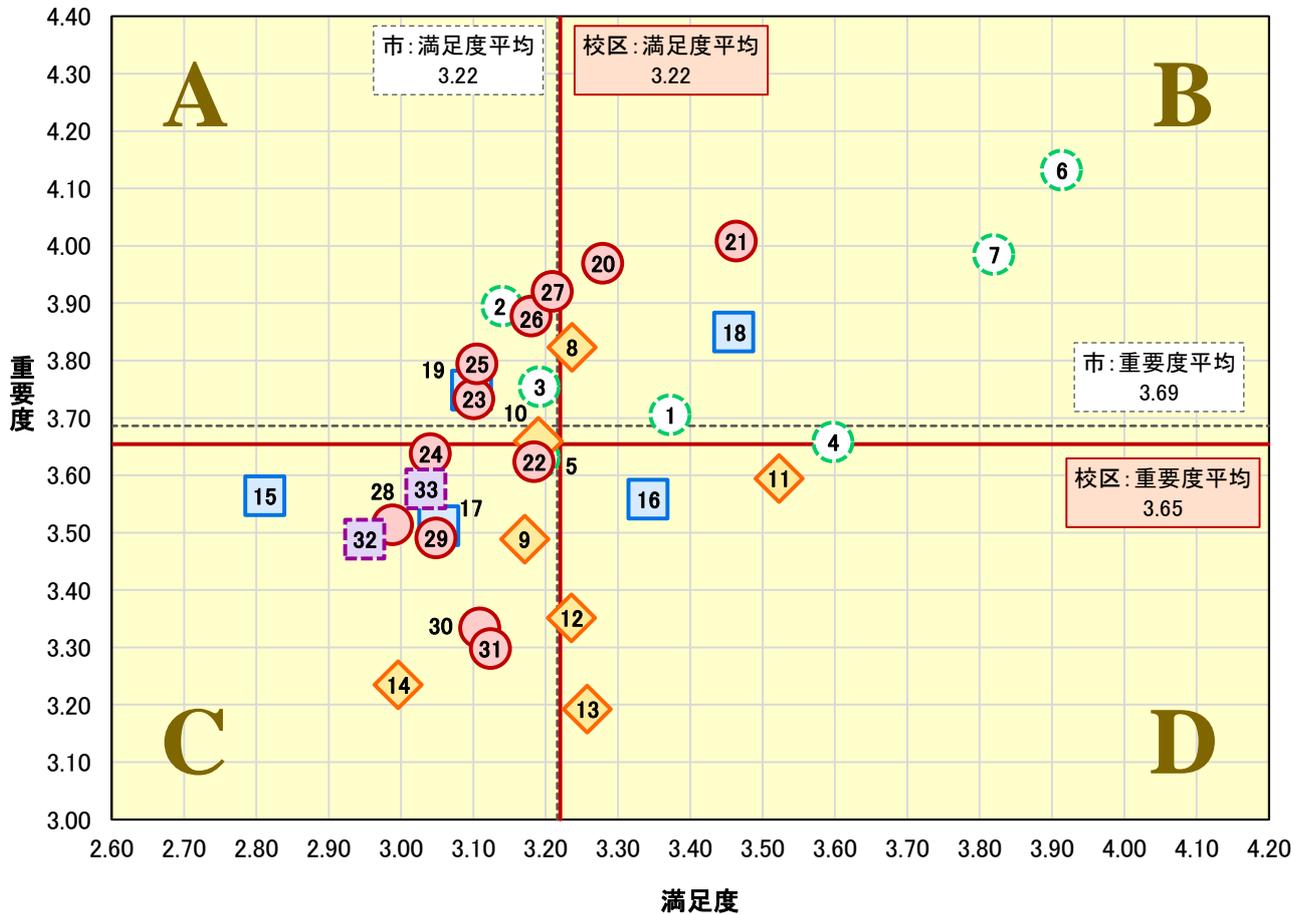
※カッコ内は市全体の値（散布図位置）を示す。

④雁が音中学校区

市全体の平均と比較すると、満足度平均は同水準、重要度平均はやや低くなっています。

満足度が低く重要度が高い施策（Aの領域）として、「27 防犯・交通安全対策の推進」、「2 道路の整備」、「26 防災・災害対策の推進」、「25 社会保障制度の適正運用」をはじめとする8項目があげられています。

図 満足度・重要度の平均ポイントによる散布図



分野	番号	項目
都市 基盤	1	良好な市街地や住環境の整備
	2	道路の整備
	3	鉄道・バスなど公共交通の充実
	4	身近に親しめる公園・緑地の整備
	5	安全で親しみのある河川・ため池の整備
	6	水道水の安定供給
	7	公共下水道の整備
教育 文化	8	学校教育の内容や教育施設の充実
	9	生涯学習に取り組みやすい施設・環境の整備
	10	青少年の健全育成
	11	スポーツがしやすい施設・環境の整備
	12	文化・芸術活動の推進
	13	歴史や文化財の保護・活用
	14	地域資源をいかした観光振興

分野	番号	項目	
産業 環境	15	商業の振興	
	16	工業の振興	
	17	農業の振興	
	18	ごみの減量化・再資源化の推進	
	19	省エネなど地球温暖化対策の推進	
	福祉 安心	20	子育てしやすい環境の整備
		21	健康づくり活動や医療体制の充実
22		地域で支えあう福祉の充実	
23		高齢者が暮らしやすい環境の整備	
24		障害者にやさしい環境の整備	
25		社会保障制度の適正運用	
26		防災・災害対策の推進	
27		防犯・交通安全対策の推進	
28		市民相談体制の充実	
29		男女共同参画の推進	
30		国際化・多文化共生の推進	
31		市民参加と協働のまちづくりの推進	
マネジ メント方針		32	市民と行政の双方向の情報共有
	33	効率的・効果的な行政経営	

表 満足度・重要度の平均ポイントによる散布図での位置（散布図位置別、重要度順）

番号	項目	満足度	重要度	散布図での位置
	平均値	3.22 (3.22)	3.65 (3.69)	-
27	防犯・交通安全対策の推進	3.21 (3.16)	3.92 (3.94)	A (A)
2	道路の整備	3.14 (3.11)	3.89 (3.88)	A (A)
26	防災・災害対策の推進	3.18 (3.18)	3.88 (3.94)	A (A)
25	社会保障制度の適正運用	3.11 (3.10)	3.79 (3.86)	A (A)
3	鉄道・バスなど公共交通の充実	3.19 (3.21)	3.75 (3.83)	A (A)
19	省エネなど地球温暖化対策の推進	3.10 (3.11)	3.75 (3.77)	A (A)
23	高齢者が暮らしやすい環境の整備	3.10 (3.14)	3.73 (3.80)	A (A)
10	青少年の健全育成	3.19 (3.18)	3.66 (3.66)	A (C)
6	水道水の安定供給	3.91 (3.87)	4.13 (4.13)	B (B)
21	健康づくり活動や医療体制の充実	3.46 (3.50)	4.01 (4.05)	B (B)
7	公共下水道の整備	3.82 (3.72)	3.98 (4.00)	B (B)
20	子育てしやすい環境の整備	3.28 (3.28)	3.97 (3.98)	B (B)
18	ごみの減量化・再資源化の推進	3.46 (3.43)	3.85 (3.92)	B (B)
8	学校教育の内容や教育施設の充実	3.24 (3.30)	3.82 (3.88)	B (B)
1	良好な市街地や住環境の整備	3.37 (3.36)	3.70 (3.77)	B (B)
4	身近に親しめる公園・緑地の整備	3.60 (3.52)	3.66 (3.70)	B (B)
24	障害者にやさしい環境の整備	3.04 (3.09)	3.64 (3.72)	C (A)
5	安全で親しみのある河川・ため池の整備	3.19 (3.17)	3.63 (3.63)	C (C)
22	地域で支えあう福祉の充実	3.18 (3.18)	3.62 (3.68)	C (C)
33	効率的・効果的な行政経営	3.03 (3.02)	3.58 (3.56)	C (C)
15	商業の振興	2.81 (2.79)	3.56 (3.64)	C (C)
17	農業の振興	3.05 (3.09)	3.51 (3.56)	C (C)
28	市民相談体制の充実	2.99 (3.04)	3.51 (3.49)	C (C)
9	生涯学習に取り組みやすい施設・環境の整備	3.17 (3.25)	3.49 (3.60)	C (D)
29	男女共同参画の推進	3.05 (3.04)	3.49 (3.51)	C (C)
32	市民と行政の双方向の情報共有	2.95 (2.99)	3.49 (3.51)	C (C)
30	国際化・多文化共生の推進	3.11 (3.07)	3.33 (3.31)	C (C)
31	市民参加と協働のまちづくりの推進	3.12 (3.09)	3.30 (3.30)	C (C)
14	地域資源をいかした観光振興	3.00 (3.01)	3.23 (3.26)	C (C)
11	スポーツがしやすい施設・環境の整備	3.52 (3.33)	3.59 (3.54)	D (D)
16	工業の振興	3.34 (3.35)	3.56 (3.60)	D (D)
12	文化・芸術活動の推進	3.24 (3.22)	3.35 (3.38)	D (D)
13	歴史や文化財の保護・活用	3.26 (3.22)	3.19 (3.23)	D (D)

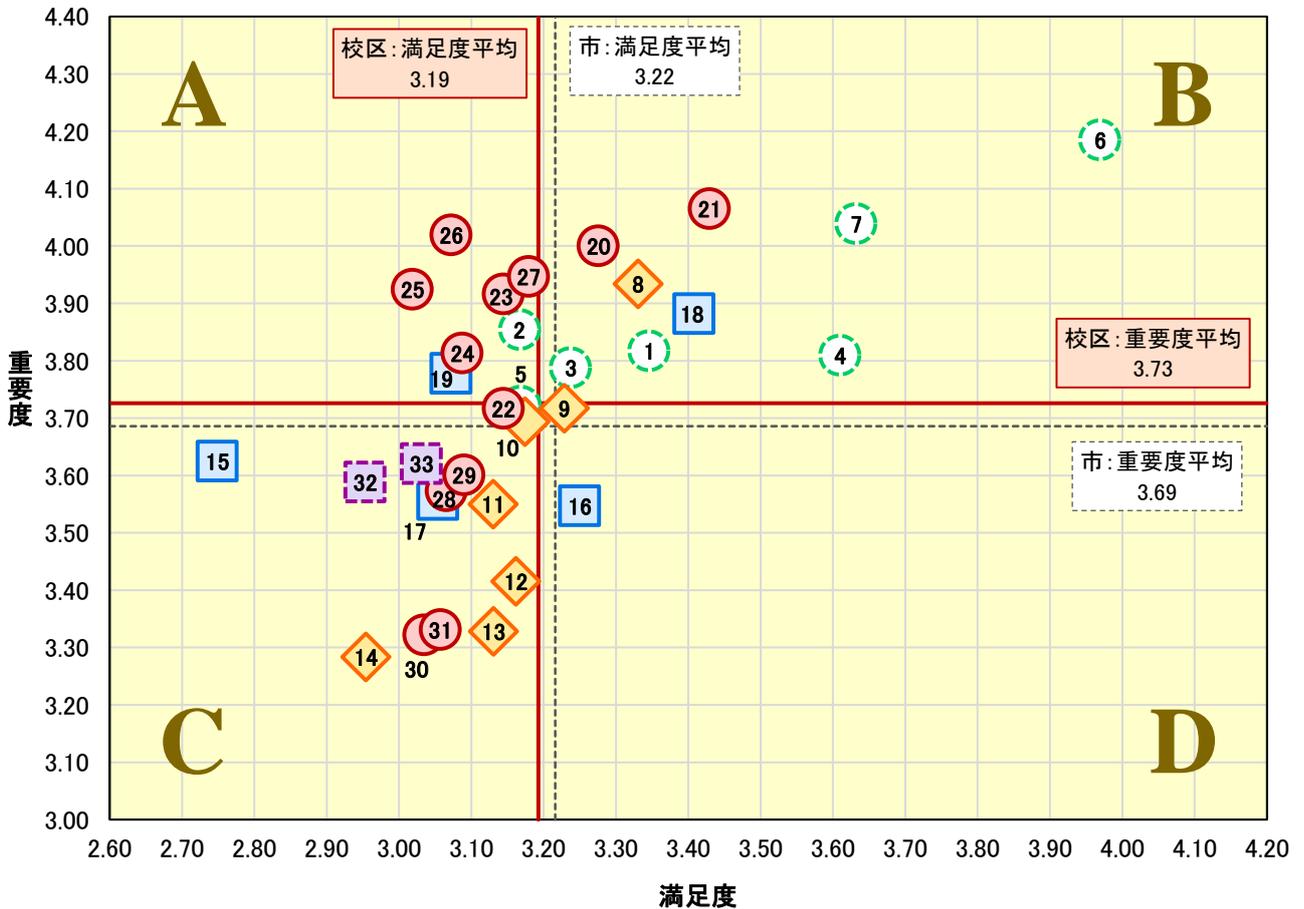
※カッコ内は市全体の値（散布図位置）を示す。

⑤依佐美中学校区

市全体の平均と比較して、満足度平均はやや低く、重要度平均はやや高くなっています。

満足度が低く重要度が高い施策（Aの領域）として、「26 防災・災害対策の推進」、「27 防犯・交通安全対策の推進」、「23 高齢者が暮らしやすい環境の整備」、「25 社会保障制度の適正運用」をはじめとした7項目があげられています。

図 満足度・重要度の平均ポイントによる散布図



分野	番号	項目
都市 基盤	1	良好な市街地や住環境の整備
	2	道路の整備
	3	鉄道・バスなど公共交通の充実
	4	身近に親しめる公園・緑地の整備
	5	安全で親しみのある河川・ため池の整備
	6	水道水の安定供給
	7	公共下水道の整備
教育 文化	8	学校教育の内容や教育施設の充実
	9	生涯学習に取り組みやすい施設・環境の整備
	10	青少年の健全育成
	11	スポーツがしやすい施設・環境の整備
	12	文化・芸術活動の推進
	13	歴史や文化財の保護・活用
	14	地域資源をいかした観光振興

分野	番号	項目
産業 環境	15	商業の振興
	16	工業の振興
	17	農業の振興
	18	ごみの減量化・再資源化の推進
	19	省エネなど地球温暖化対策の推進
	20	子育てしやすい環境の整備
	21	健康づくり活動や医療体制の充実
福祉 安心	22	地域で支えあう福祉の充実
	23	高齢者が暮らしやすい環境の整備
	24	障害者にやさしい環境の整備
	25	社会保障制度の適正運用
	26	防災・災害対策の推進
	27	防犯・交通安全対策の推進
	28	市民相談体制の充実
	29	男女共同参画の推進
	30	国際化・多文化共生の推進
	31	市民参加と協働のまちづくりの推進
	32	市民と行政の双方向の情報共有
マネジメント方針	33	効率的・効果的な行政経営

表 満足度・重要度の平均ポイントによる散布図での位置（散布図位置別、重要度順）

番号	項目	満足度	重要度	散布図での位置
	平均値	3.19 (3.22)	3.73 (3.69)	-
26	防災・災害対策の推進	3.07 (3.18)	4.02 (3.94)	A (A)
27	防犯・交通安全対策の推進	3.18 (3.16)	3.95 (3.94)	A (A)
23	高齢者が暮らしやすい環境の整備	3.14 (3.14)	3.92 (3.80)	A (A)
25	社会保障制度の適正運用	3.02 (3.10)	3.92 (3.86)	A (A)
2	道路の整備	3.17 (3.11)	3.85 (3.88)	A (A)
24	障害者にやさしい環境の整備	3.09 (3.09)	3.81 (3.72)	A (A)
19	省エネなど地球温暖化対策の推進	3.07 (3.11)	3.78 (3.77)	A (A)
6	水道水の安定供給	3.97 (3.87)	4.18 (4.13)	B (B)
21	健康づくり活動や医療体制の充実	3.43 (3.50)	4.06 (4.05)	B (B)
7	公共下水道の整備	3.63 (3.72)	4.04 (4.00)	B (B)
20	子育てしやすい環境の整備	3.28 (3.28)	4.00 (3.98)	B (B)
8	学校教育の内容や教育施設の充実	3.33 (3.30)	3.93 (3.88)	B (B)
18	ごみの減量化・再資源化の推進	3.41 (3.43)	3.88 (3.92)	B (B)
1	良好な市街地や住環境の整備	3.35 (3.36)	3.82 (3.77)	B (B)
4	身近に親しめる公園・緑地の整備	3.61 (3.52)	3.81 (3.70)	B (B)
3	鉄道・バスなど公共交通の充実	3.24 (3.21)	3.79 (3.83)	B (A)
5	安全で親しみのある河川・ため池の整備	3.17 (3.17)	3.72 (3.63)	C (C)
22	地域で支えあう福祉の充実	3.14 (3.18)	3.72 (3.68)	C (C)
10	青少年の健全育成	3.17 (3.18)	3.69 (3.66)	C (C)
33	効率的・効果的な行政経営	3.03 (3.02)	3.62 (3.56)	C (C)
15	商業の振興	2.75 (2.79)	3.62 (3.64)	C (C)
29	男女共同参画の推進	3.09 (3.04)	3.60 (3.51)	C (C)
32	市民と行政の双方向の情報共有	2.95 (2.99)	3.59 (3.51)	C (C)
28	市民相談体制の充実	3.07 (3.04)	3.57 (3.49)	C (C)
17	農業の振興	3.05 (3.09)	3.56 (3.56)	C (C)
11	スポーツがしやすい施設・環境の整備	3.13 (3.33)	3.55 (3.54)	C (D)
12	文化・芸術活動の推進	3.16 (3.22)	3.42 (3.38)	C (D)
13	歴史や文化財の保護・活用	3.13 (3.22)	3.33 (3.23)	C (D)
31	市民参加と協働のまちづくりの推進	3.06 (3.09)	3.33 (3.30)	C (C)
30	国際化・多文化共生の推進	3.04 (3.07)	3.32 (3.31)	C (C)
14	地域資源をいかした観光振興	2.95 (3.01)	3.28 (3.26)	C (C)
9	生涯学習に取り組みやすい施設・環境の整備	3.23 (3.25)	3.72 (3.60)	D (D)
16	工業の振興	3.25 (3.35)	3.55 (3.60)	D (D)

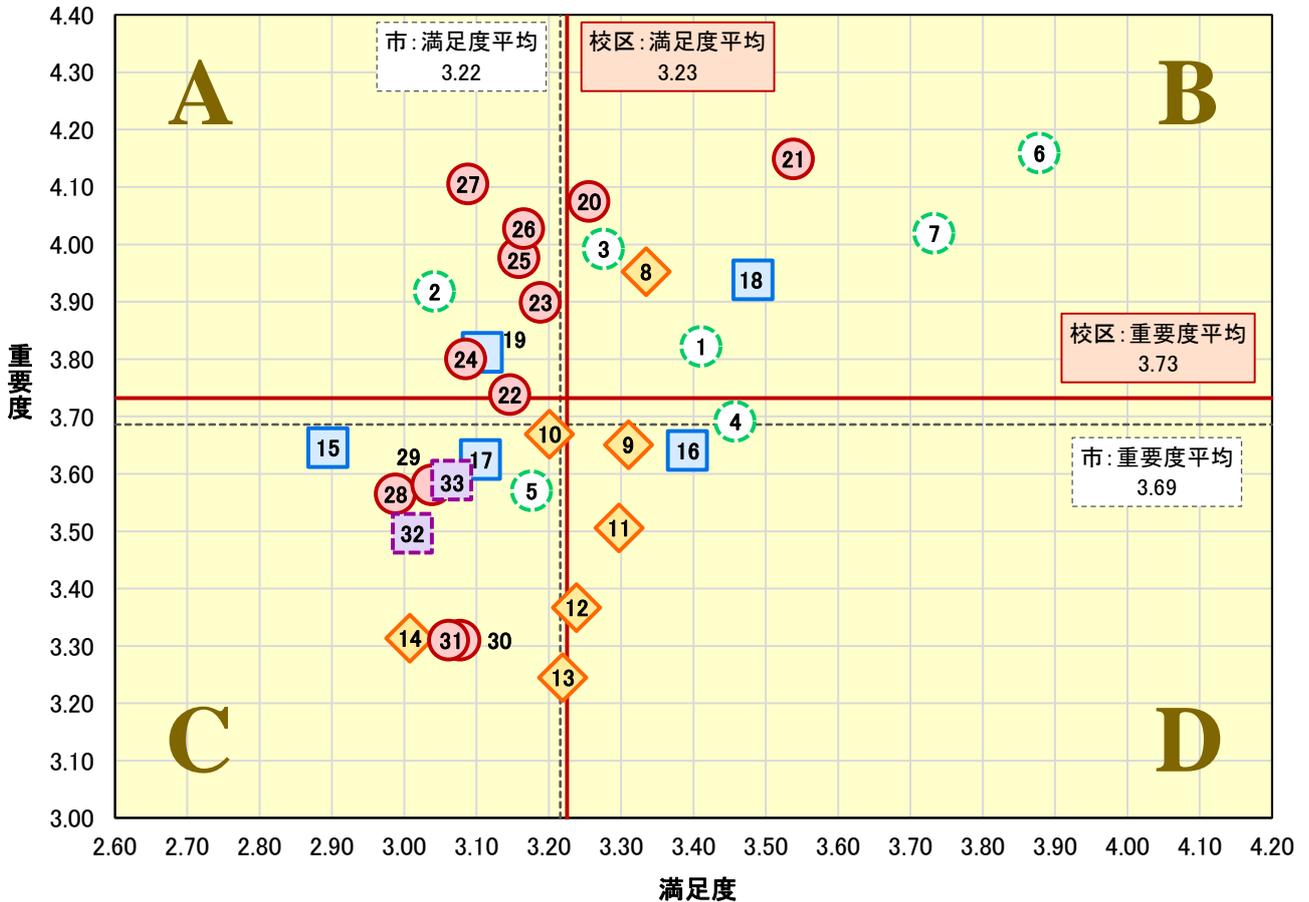
※カッコ内は市全体の値（散布図位置）を示す。

⑥朝日中学校区

市全体の平均と比較して、満足度平均は同水準、重要度はやや高くなっています。

満足度が低く重要度が高い施策（Aの領域）として、「27 防犯・交通安全対策の推進」、「26 防災・災害対策の推進」、「25 社会保障の適正運用」、「2 道路の整備」をはじめとした8項目があげられています。

図 満足度・重要度の平均ポイントによる散布図



分野	番号	項目
都市 基盤	1	良好な市街地や住環境の整備
	2	道路の整備
	3	鉄道・バスなど公共交通の充実
	4	身近に親しめる公園・緑地の整備
	5	安全で親しみのある河川・ため池の整備
	6	水道水の安定供給
	7	公共下水道の整備
教育 文化	8	学校教育の内容や教育施設の充実
	9	生涯学習に取り組みやすい施設・環境の整備
	10	青少年の健全育成
	11	スポーツがしやすい施設・環境の整備
	12	文化・芸術活動の推進
	13	歴史や文化財の保護・活用
	14	地域資源をいかした観光振興

分野	番号	項目	
産業 環境	15	商業の振興	
	16	工業の振興	
	17	農業の振興	
	18	ごみの減量化・再資源化の推進	
	19	省エネなど地球温暖化対策の推進	
	福祉 安心	20	子育てしやすい環境の整備
		21	健康づくり活動や医療体制の充実
22		地域で支えあう福祉の充実	
23		高齢者が暮らしやすい環境の整備	
24		障害者にやさしい環境の整備	
25		社会保障制度の適正運用	
26		防災・災害対策の推進	
27		防犯・交通安全対策の推進	
28		市民相談体制の充実	
29		男女共同参画の推進	
30		国際化・多文化共生の推進	
31		市民参加と協働のまちづくりの推進	
マネジ メント方針		32	市民と行政の双方向の情報共有
	33	効率的・効果的な行政経営	

表 満足度・重要度の平均ポイントによる散布図での位置（散布図位置別、重要度順）

番号	項目	満足度	重要度	散布図での位置
	平均値	3.23 (3.22)	3.73 (3.69)	-
27	防犯・交通安全対策の推進	3.09 (3.16)	4.11 (3.94)	A (A)
26	防災・災害対策の推進	3.17 (3.18)	4.03 (3.94)	A (A)
25	社会保障制度の適正運用	3.16 (3.10)	3.98 (3.86)	A (A)
2	道路の整備	3.04 (3.11)	3.92 (3.88)	A (A)
23	高齢者が暮らしやすい環境の整備	3.19 (3.14)	3.90 (3.80)	A (A)
19	省エネなど地球温暖化対策の推進	3.11 (3.11)	3.81 (3.77)	A (A)
24	障害者にやさしい環境の整備	3.09 (3.09)	3.80 (3.72)	A (A)
22	地域で支えあう福祉の充実	3.15 (3.18)	3.74 (3.68)	A (C)
6	水道水の安定供給	3.88 (3.87)	4.16 (4.13)	B (B)
21	健康づくり活動や医療体制の充実	3.54 (3.50)	4.15 (4.05)	B (B)
20	子育てしやすい環境の整備	3.26 (3.28)	4.07 (3.98)	B (B)
7	公共下水道の整備	3.73 (3.72)	4.02 (4.00)	B (B)
3	鉄道・バスなど公共交通の充実	3.28 (3.21)	3.99 (3.83)	B (A)
8	学校教育の内容や教育施設の充実	3.33 (3.30)	3.95 (3.88)	B (B)
18	ごみの減量化・再資源化の推進	3.48 (3.43)	3.94 (3.92)	B (B)
1	良好な市街地や住環境の整備	3.41 (3.36)	3.82 (3.77)	B (B)
10	青少年の健全育成	3.20 (3.18)	3.67 (3.66)	C (C)
15	商業の振興	2.89 (2.79)	3.65 (3.64)	C (C)
17	農業の振興	3.11 (3.09)	3.62 (3.56)	C (C)
33	効率的・効果的な行政経営	3.07 (3.02)	3.59 (3.56)	C (C)
29	男女共同参画の推進	3.04 (3.04)	3.58 (3.51)	C (C)
5	安全で親しみのある河川・ため池の整備	3.18 (3.17)	3.57 (3.63)	C (C)
28	市民相談体制の充実	2.99 (3.04)	3.56 (3.49)	C (C)
32	市民と行政の双方向の情報共有	3.01 (2.99)	3.50 (3.51)	C (C)
30	国際化・多文化共生の推進	3.08 (3.07)	3.31 (3.31)	C (C)
31	市民参加と協働のまちづくりの推進	3.06 (3.09)	3.31 (3.30)	C (C)
14	地域資源をいかした観光振興	3.01 (3.01)	3.31 (3.26)	C (C)
13	歴史や文化財の保護・活用	3.22 (3.22)	3.25 (3.23)	C (D)
4	身近に親しめる公園・緑地の整備	3.46 (3.52)	3.69 (3.70)	D (B)
9	生涯学習に取り組みやすい施設・環境の整備	3.31 (3.25)	3.65 (3.60)	D (D)
16	工業の振興	3.39 (3.35)	3.64 (3.60)	D (D)
11	スポーツがしやすい施設・環境の整備	3.30 (3.33)	3.51 (3.54)	D (D)
12	文化・芸術活動の推進	3.24 (3.22)	3.37 (3.38)	D (D)

※カッコ内は市全体の値（散布図位置）を示す。

2 - 4. 市民の暮らしの現状など

現状把握：設問 15～40

図 普段の生活について（設問 15～31）調査結果比較

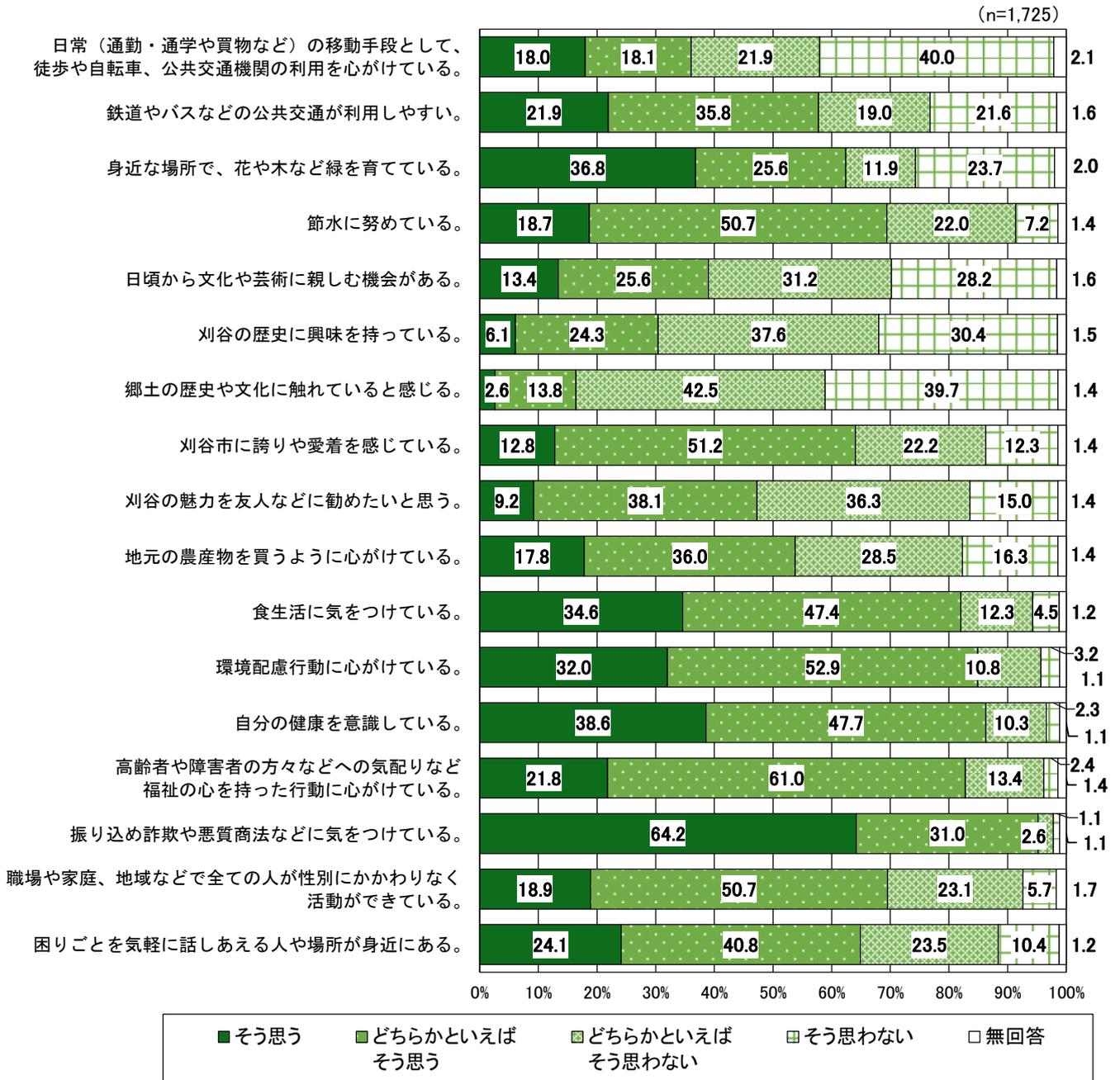
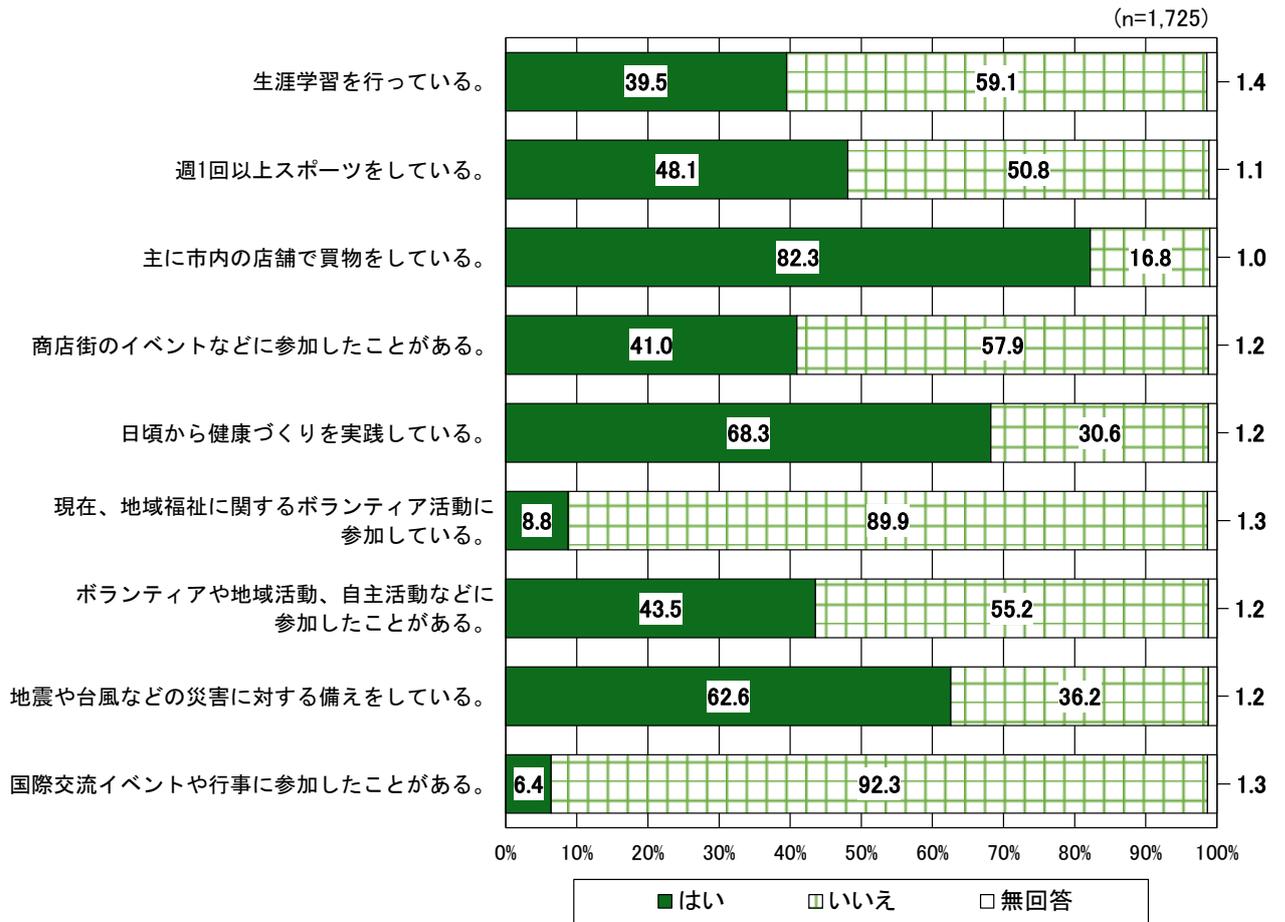


図 普段の生活について（設問 32～40） 調査結果比較

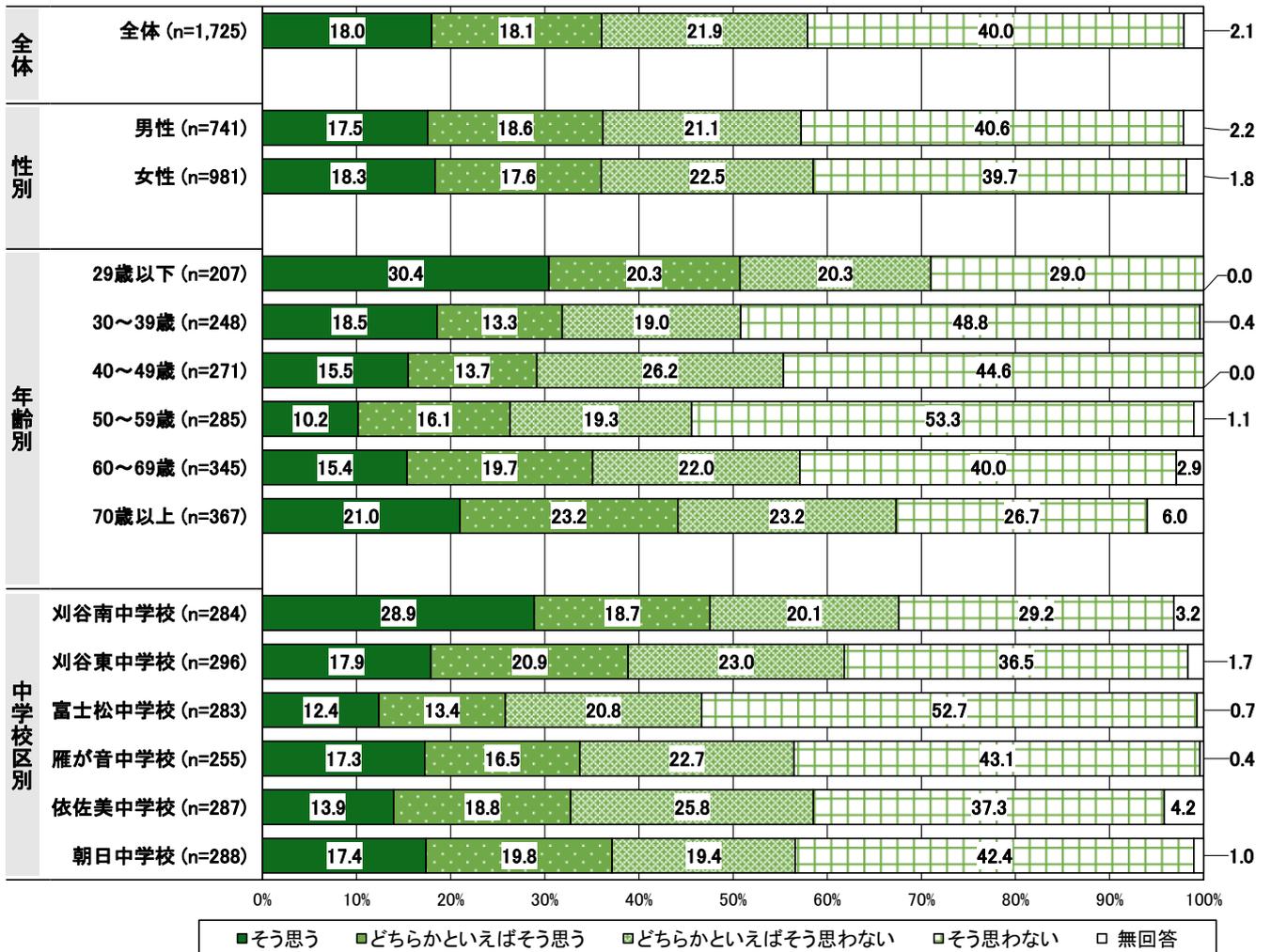


(1) 日常の移動手段

「日常の移動手段として、徒歩や自転車、公共交通機関の利用を心がけている」市民の割合は、「そう思う」が18.0%、「どちらかといえばそう思う」が18.1%、あわせて36.1%（男性36.1%、女性35.9%）となっています。

年齢別でみると、最も高い29歳以下が50.7%、最も低い50歳～59歳が26.3%となっており、20ポイント以上の差が生じています。

中学校区別でみると、最も高い刈谷南中学校区が47.6%、最も低い富士松中学校区が25.8%となっており、20ポイント以上の差が生じています。

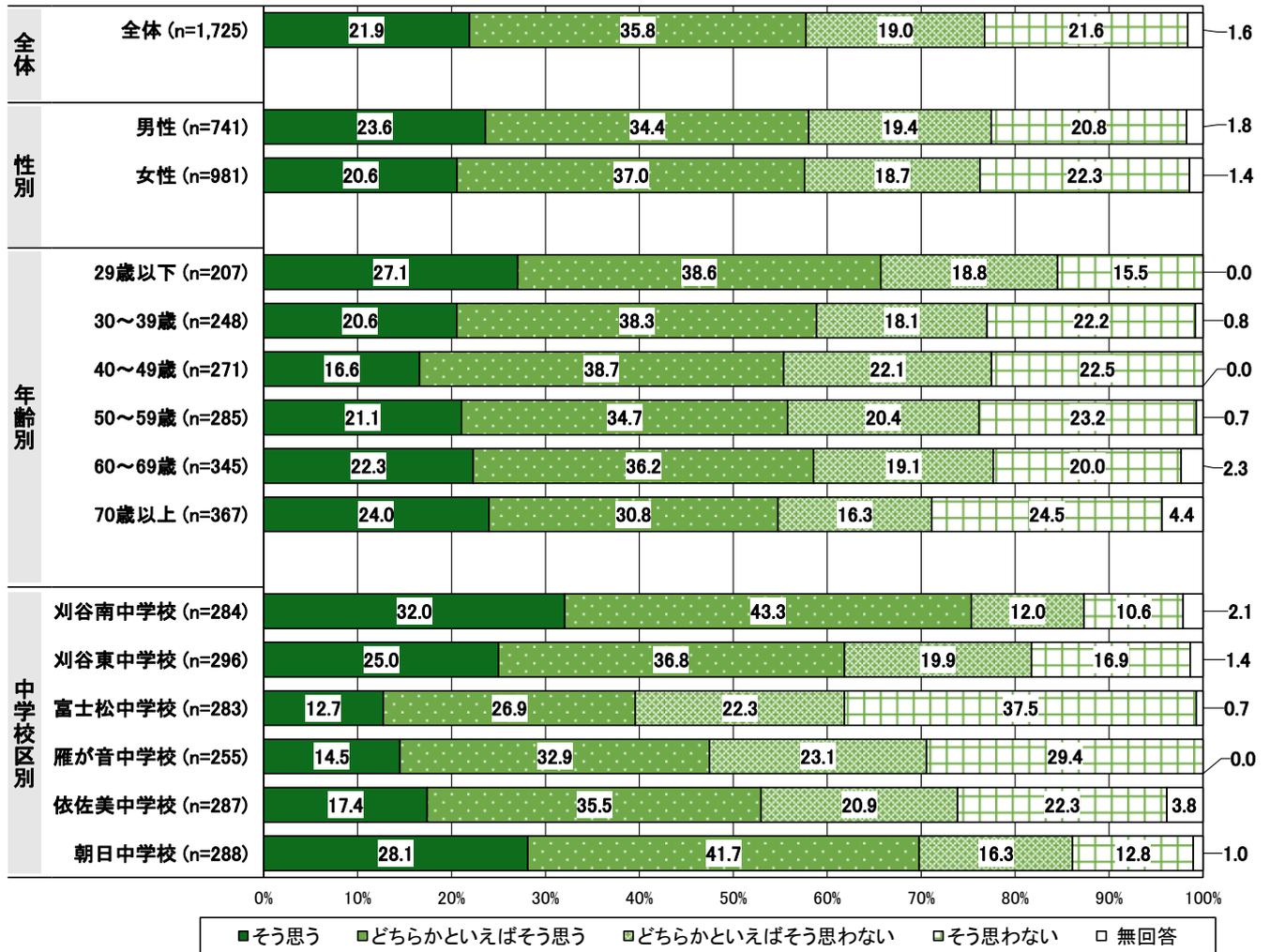


(2) 公共交通機関の利用のしやすさ

「鉄道やバスなどの公共交通が利用しやすい」と感じる市民の割合は、「そう思う」が21.9%、「どちらかといえばそう思う」が35.8%、あわせて57.7%（男性58.0%、女性57.6%）となっています。

年齢別でみると、最も高い29歳以下が65.7%、最も低い70歳以上が54.8%となっています。

中学校区別でみると、最も高い刈谷南中学校区が75.3%、最も低い富士松中学校区が39.6%となっており、30ポイント以上の差が生じています。

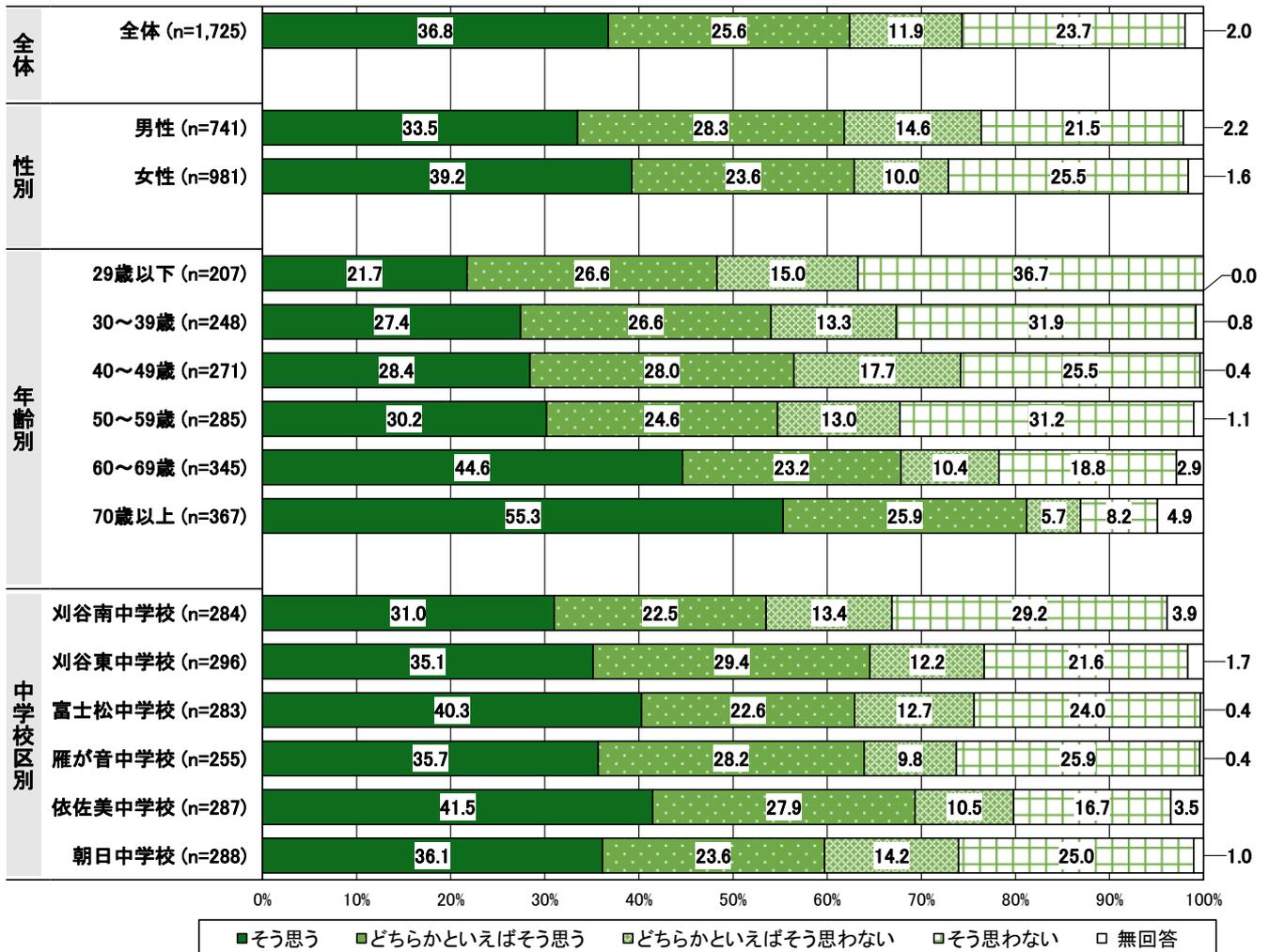


(3) 身近な場所での緑化

庭やベランダの植栽、地域や職場での緑化活動など「身近な場所で、花や木など緑を育てている」市民の割合は、「そう思う」が36.8%、「どちらかといえばそう思う」が25.6%、あわせて62.4%（男性61.8%、女性62.8%）となっています。

年齢別でみると、年代が高いほど割合は高くなる傾向があります。最も高い70歳以上が81.2%、最も低い29歳以下が48.3%となっており、30ポイント以上の差が生じています。

中学校区別でみると、最も高い依佐美中学校区が69.4%、最も低い刈谷南中学校区が53.5%となっており、10ポイント以上の差が生じています。

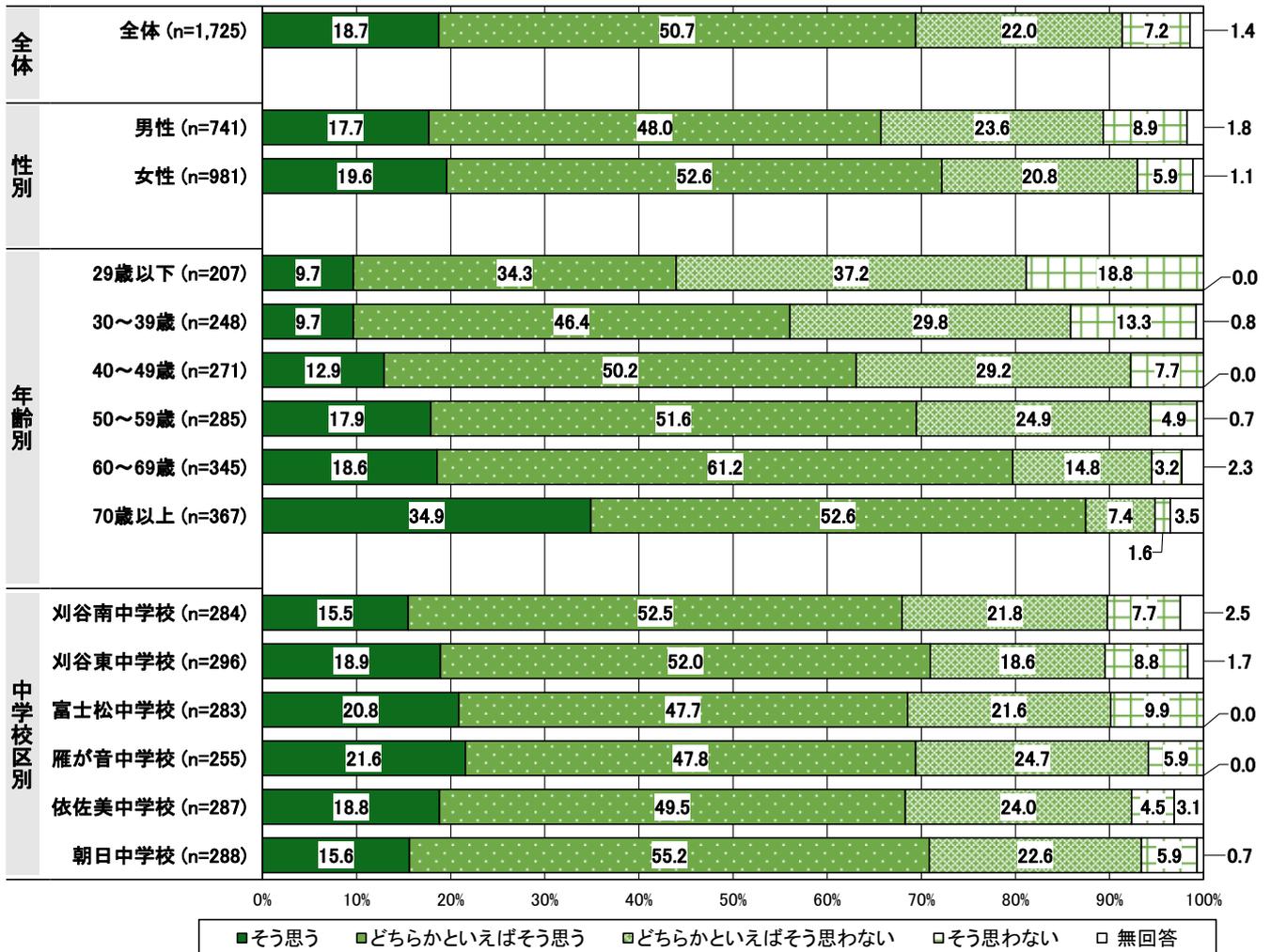


(4) 節水の心がけ

「節水に努めている」市民の割合は、「そう思う」が18.7%、「どちらかといえばそう思う」が50.7%、あわせて69.4%（男性65.7%、女性72.2%）となっています。

年齢別でみると、年代が高いほど割合は高くなる傾向があります。最も高い70歳以上が87.5%、最も低い29歳以下が44.0%となっており、40ポイント以上の差が生じています。

中学校区別でみると、最も高い刈谷東中学校区が70.9%、最も低い刈谷南中学校区が68.0%となっています。

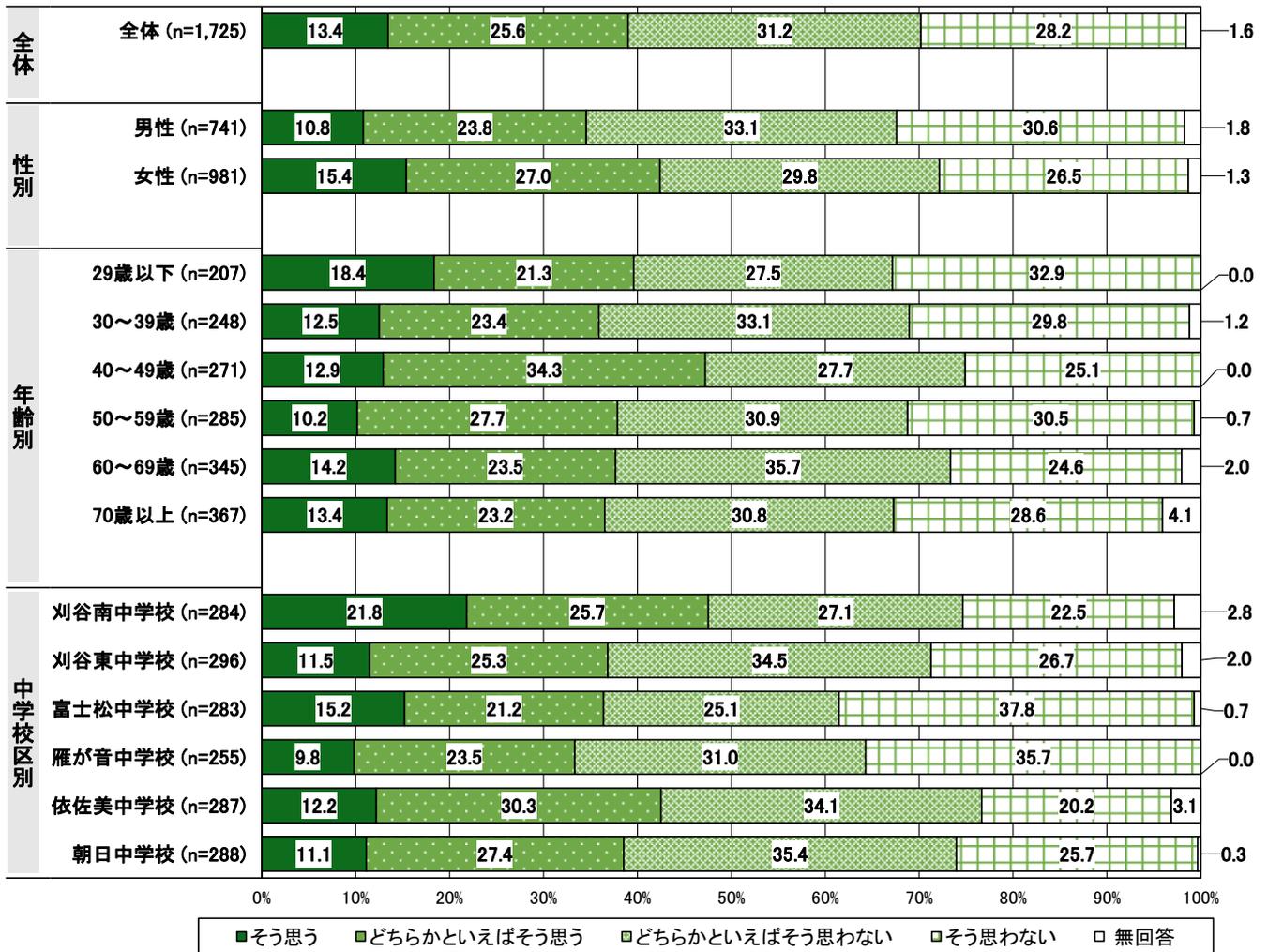


(5) 文化や芸術への親しみ

読書、書道、絵画、コンサート、音楽鑑賞など「日頃から文化や芸術に親しむ機会がある」市民の割合は、「そう思う」が13.4%、「どちらかといえばそう思う」が25.6%、あわせて39.0%（男性34.6%、女性42.4%）となっています。

年齢別でみると、最も高い40～49歳が47.2%、最も低い30～39歳が35.9%となっており、10ポイント以上の差が生じています。

中学校区別でみると、最も高い刈谷南中学校区が47.5%、最も低い雁が音中学校区が33.3%となっており、10ポイント以上の差が生じています。

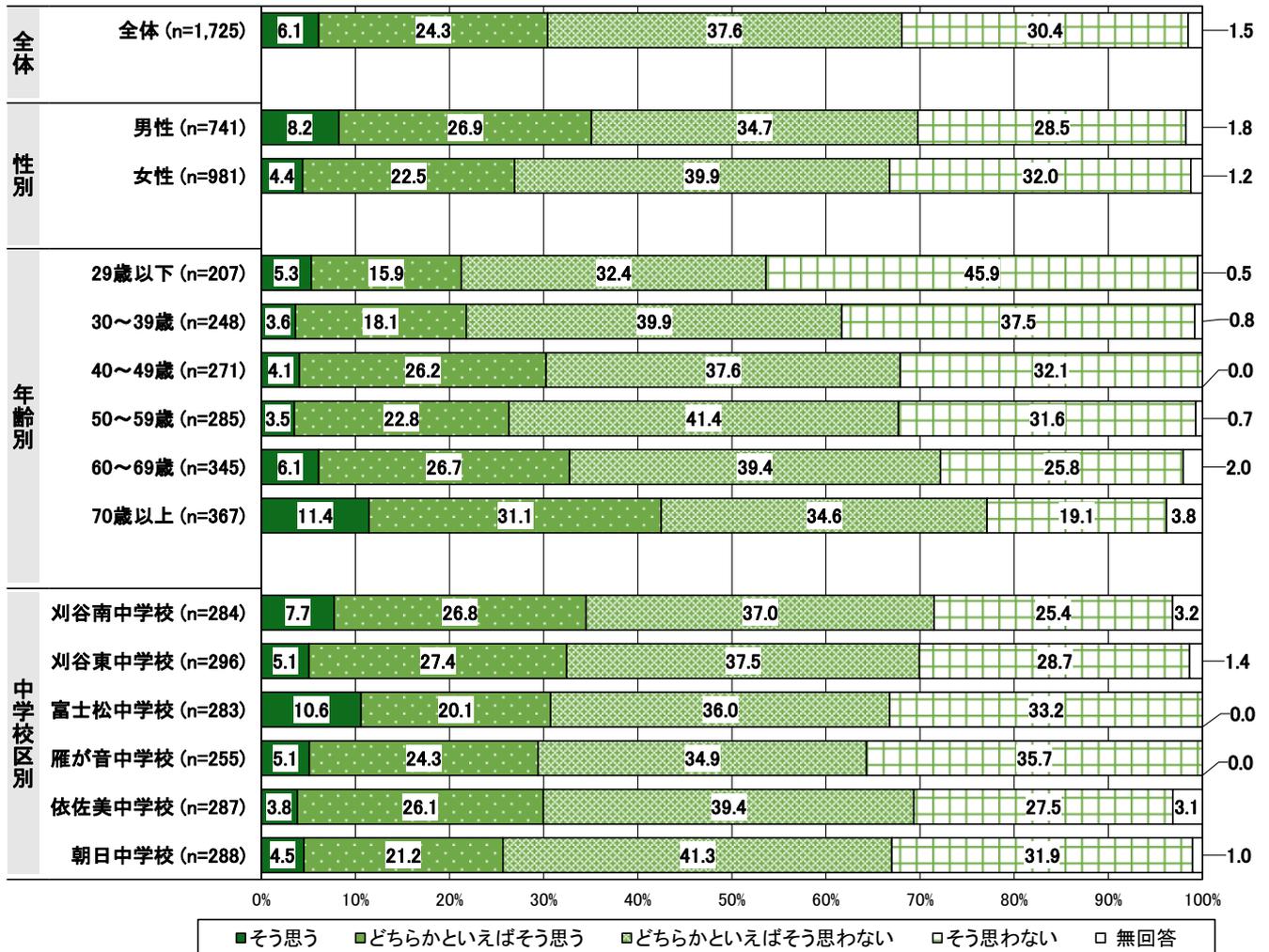


(6) 刈谷の歴史への興味

「刈谷の歴史に興味を持っている」市民の割合は、「そう思う」が6.1%、「どちらかといえばそう思う」が24.3%、あわせて30.4%（男性35.1%、女性26.9%）となっています。

年齢別でみると、年代が高いほど割合は高くなる傾向があります。最も高い70歳以上が42.5%、最も低い29歳以下が21.2%となっており、20ポイント以上の差が生じています。

中学校区別でみると、最も高い刈谷南中学校区が34.5%、最も低い朝日中学校区が25.7%となっています。

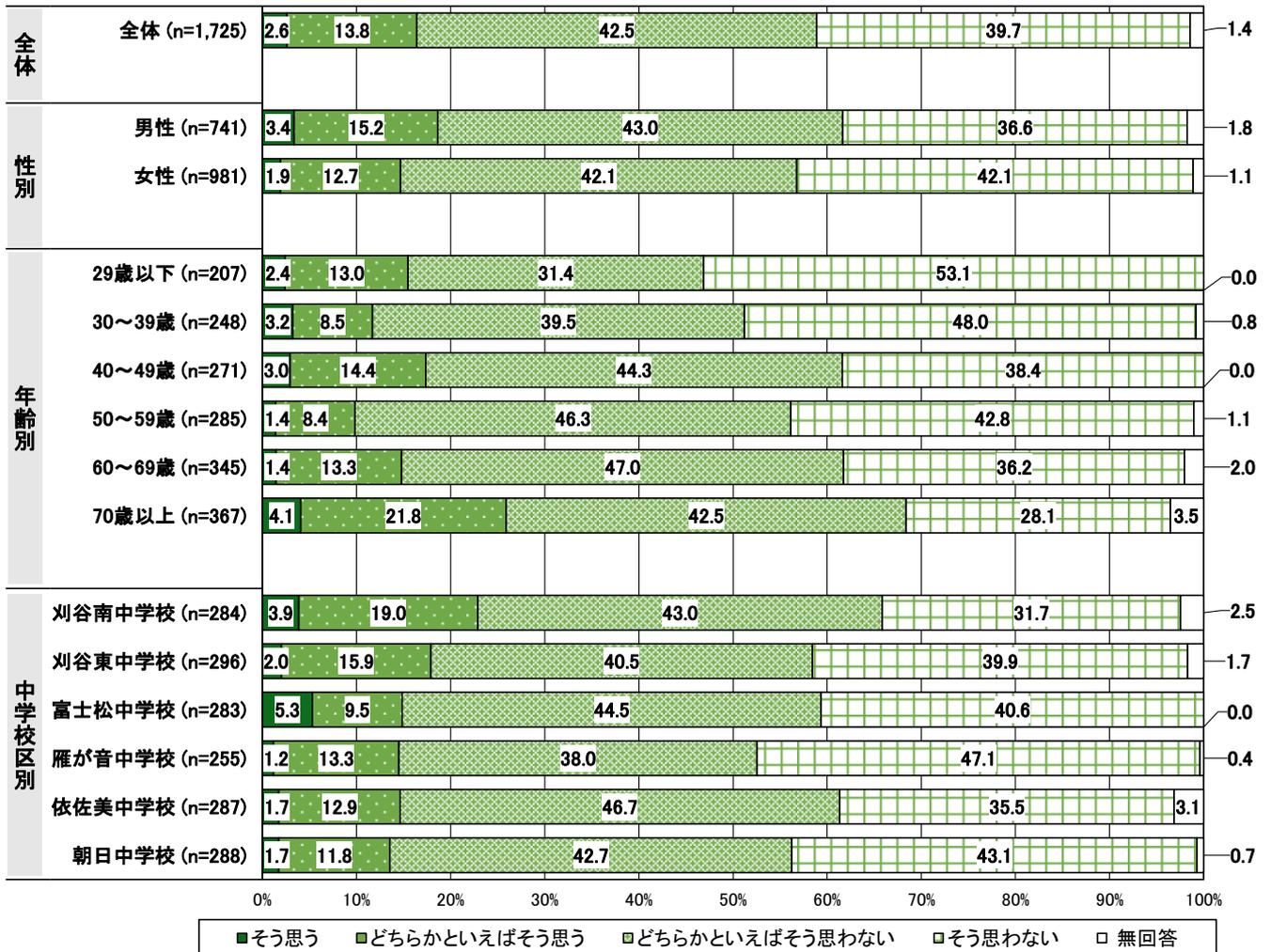


(7) 郷土の歴史や文化

「郷土の歴史や文化に触れていると感じる」市民の割合は、「そう思う」が2.6%、「どちらかといえばそう思う」が13.8%、あわせて16.4%（男性18.6%、女性14.6%）となっています。

年齢別でみると、年代が高いほど割合は高くなる傾向があります。最も高い70歳以上が25.9%、最も低い50～59歳が9.8%となっており、10ポイント以上の差が生じています。

中学校区別でみると、最も高い刈谷南中学校区が22.9%、最も低い朝日中学校区が13.5%となっています。

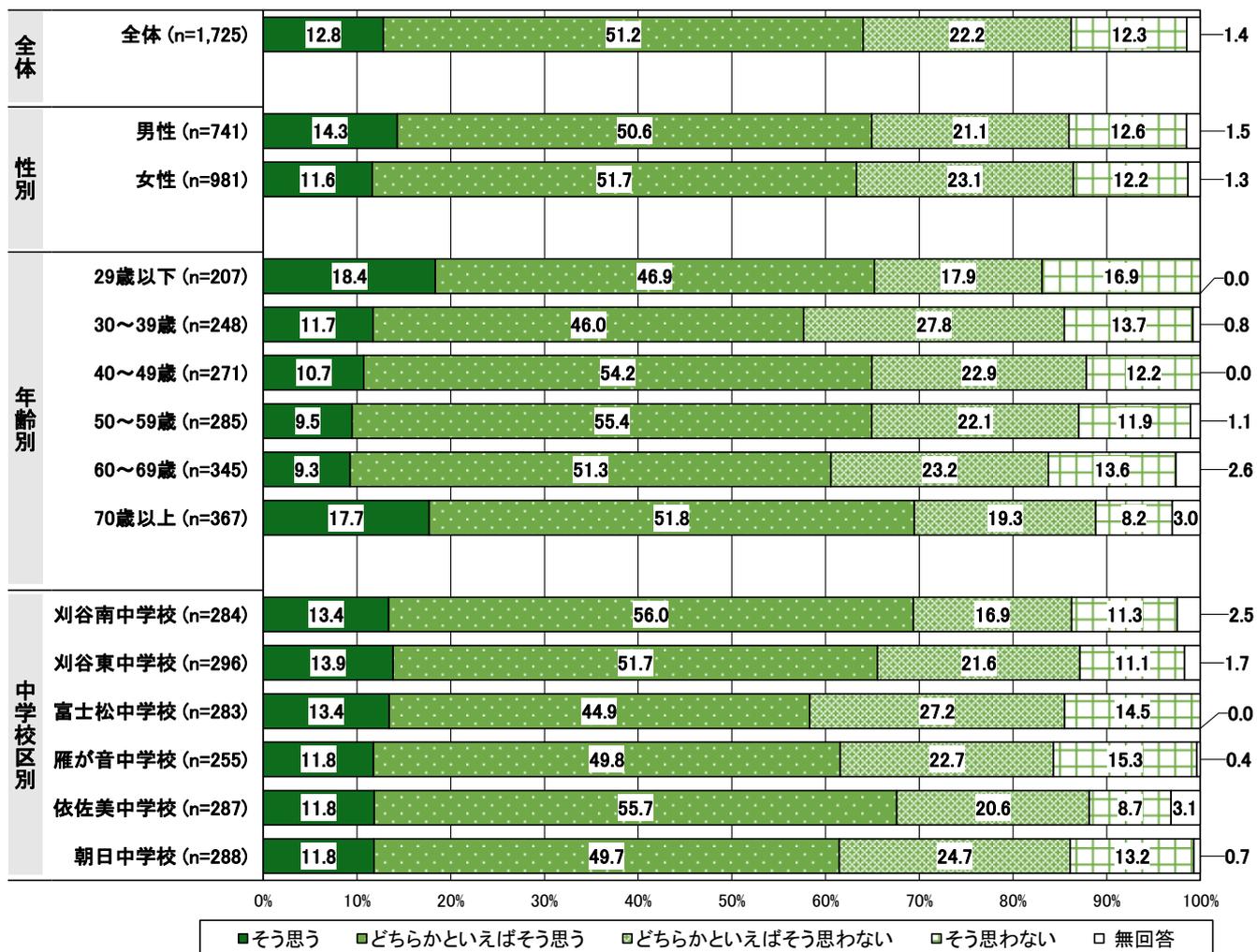


(8) 刈谷市への誇りや愛着

「刈谷市に誇りや愛着を感じている」市民の割合は、「そう思う」が12.8%、「どちらかといえばそう思う」が51.2%、あわせて64.0%（男性64.9%、女性63.3%）となっています。

年齢別でみると、最も高い70歳以上が69.5%、最も低い30～39歳が57.7%となっており、10ポイント以上の差が生じています。

中学校区別でみると、最も高い刈谷南中学校区が69.4%、最も低い富士松中学校区が58.3%となっており、10ポイント以上の差が生じています。

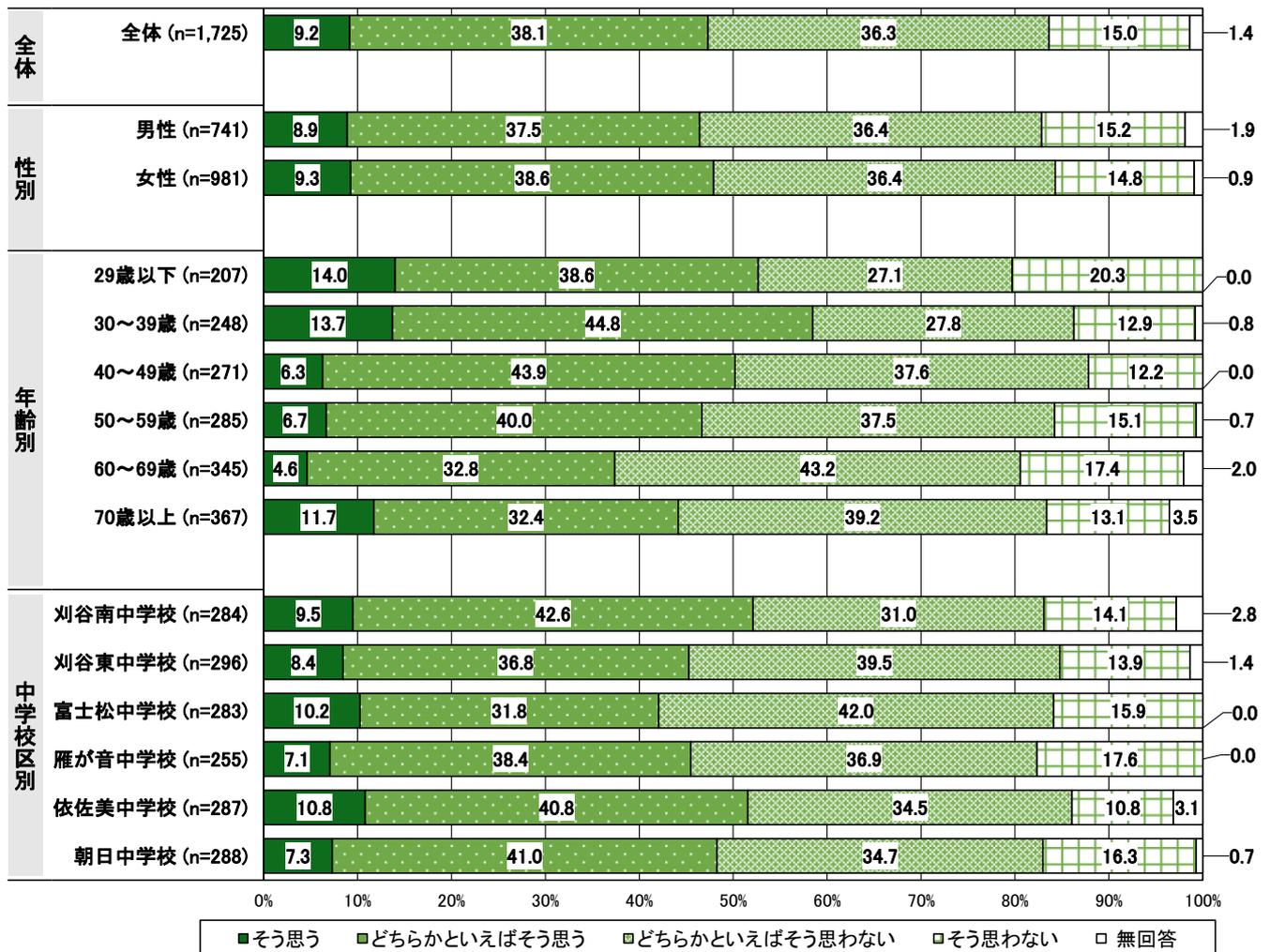


(9) 刈谷の魅力の発信

遊ぶ場所がある、おいしいグルメがある、スポーツが盛んなど「刈谷の魅力友人などに勧めたいと思う」市民の割合は、「そう思う」が9.2%、「どちらかといえばそう思う」が38.1%、あわせて47.3%（男性46.4%、女性47.9%）となっています。

年齢別でみると、最も高い30～39歳が58.5%、最も低い60～69歳が37.4%となっており、20ポイント以上の差が生じています。

中学校区別でみると、最も高い刈谷南中学校区が52.1%、最も低い富士松中学校区が42.0%となっており、10ポイント以上の差が生じています。

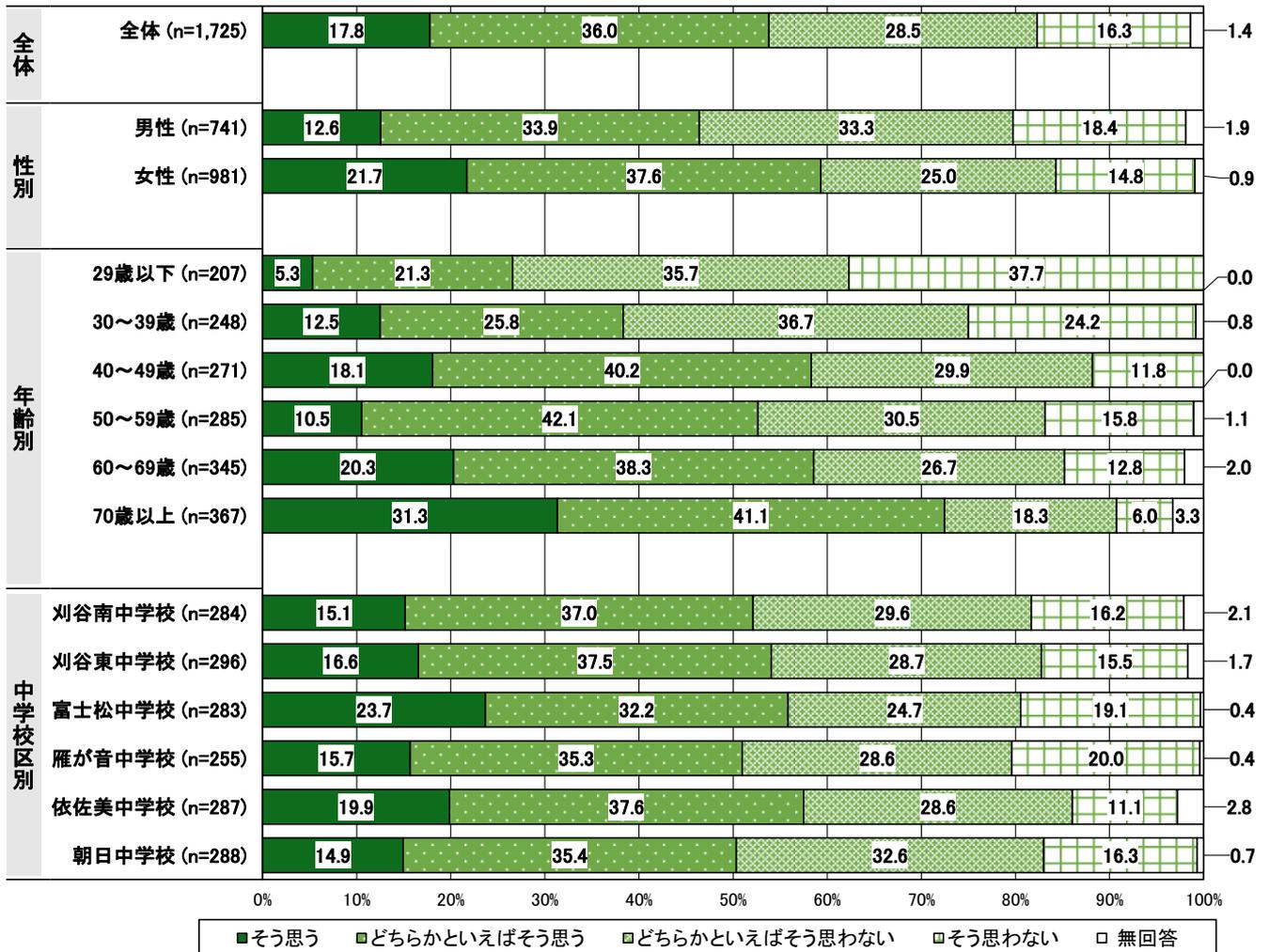


(10) 地元農産物の購入

「地元の農産物を買うように心がけている」市民の割合は、「そう思う」が17.8%、「どちらかといえばそう思う」が36.0%、あわせて53.8%（男性46.5%、女性59.3%）となっています。

年齢別でみると、年代が高いほど割合は高くなる傾向があります。最も高い70歳以上が72.4%、最も低い29歳以下が26.6%となっており、40ポイント以上の差が生じています。

中学校区別でみると、最も高い依佐美中学校区が57.5%、最も低い朝日中学校区が50.3%となっています。

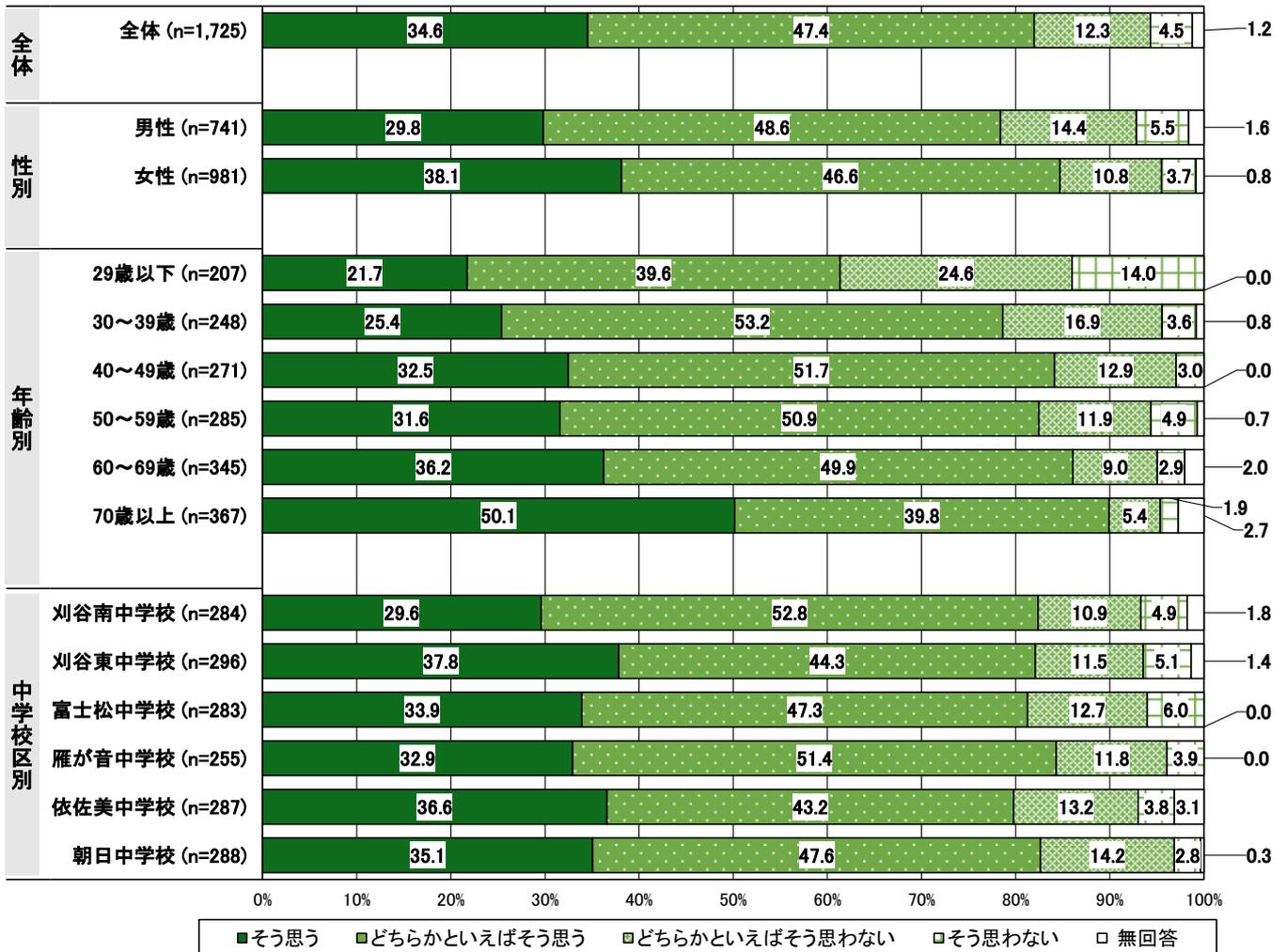


(11) 食生活の心がけ

栄養バランス、朝食をとるなど「食生活に気をつけている」市民の割合は、「そう思う」が34.6%、「どちらかといえばそう思う」が47.4%、あわせて82.0%（男性78.4%、女性84.7%）となっています。

年齢別でみると、最も高い70歳以上が89.9%、最も低い29歳以下が61.3%となっており、20ポイント以上の差が生じています。

中学校区別でみると、最も高い雁が音中学校区が84.3%、最も低い依佐美中学校区が79.8%となっています。

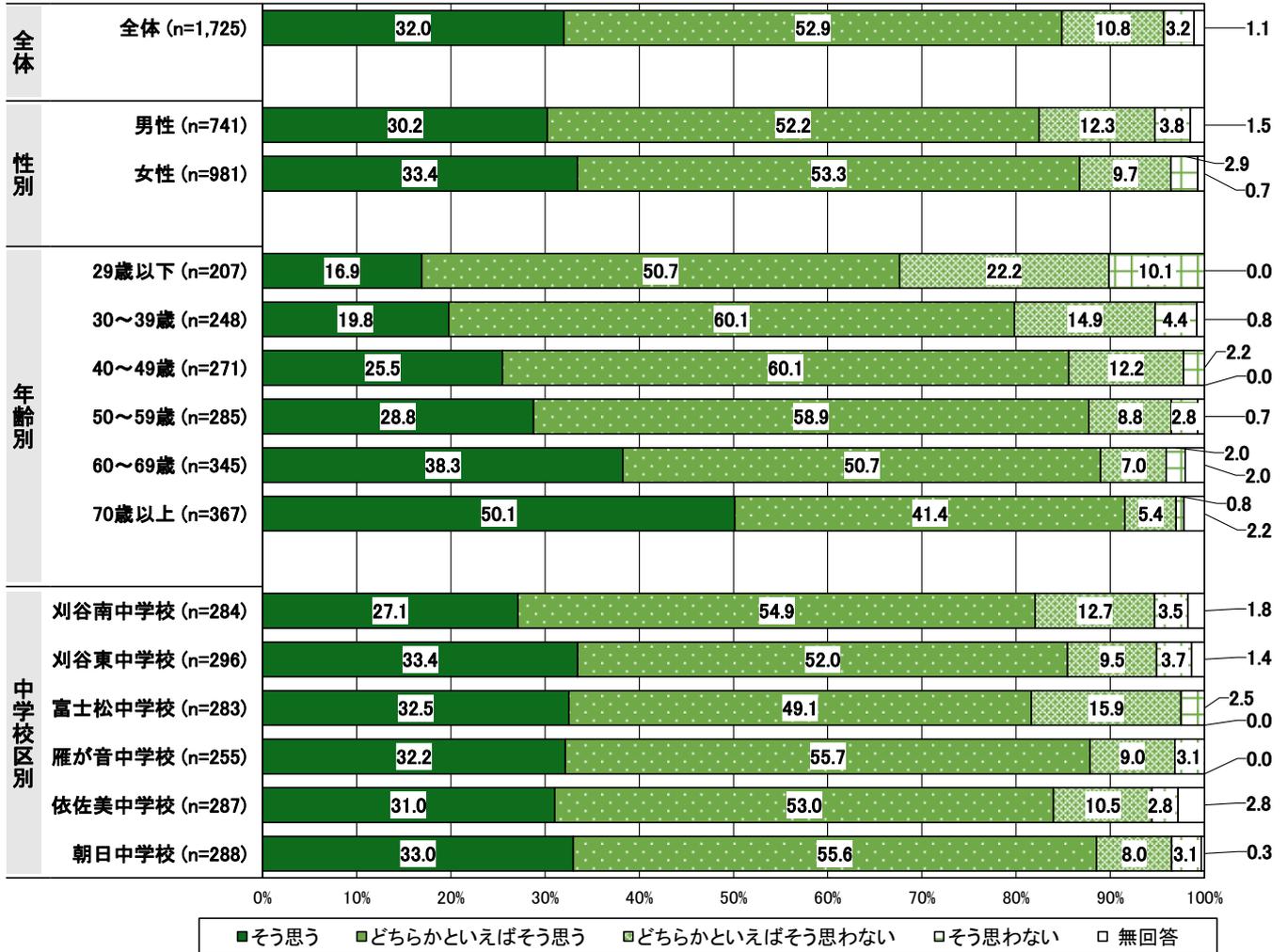


(12) 環境配慮行動の心がけ

節電、ごみの排出抑制、リユース・リサイクル、ごみの分別、節水、省エネ家電の選択など「環境配慮行動に心がけている」市民の割合は、「そう思う」が32.0%、「どちらかといえばそう思う」が52.9%、あわせて84.9%（男性82.4%、女性86.7%）となっています。

年齢別でみると、年代が高いほど割合は高くなる傾向があります。最も高い70歳以上が91.5%、最も低い29歳以下が67.6%となっており、20ポイント以上の差が生じています。

中学校区別でみると、最も高い朝日中学校区が88.6%、最も低い富士松中学校区が81.6%となっています。

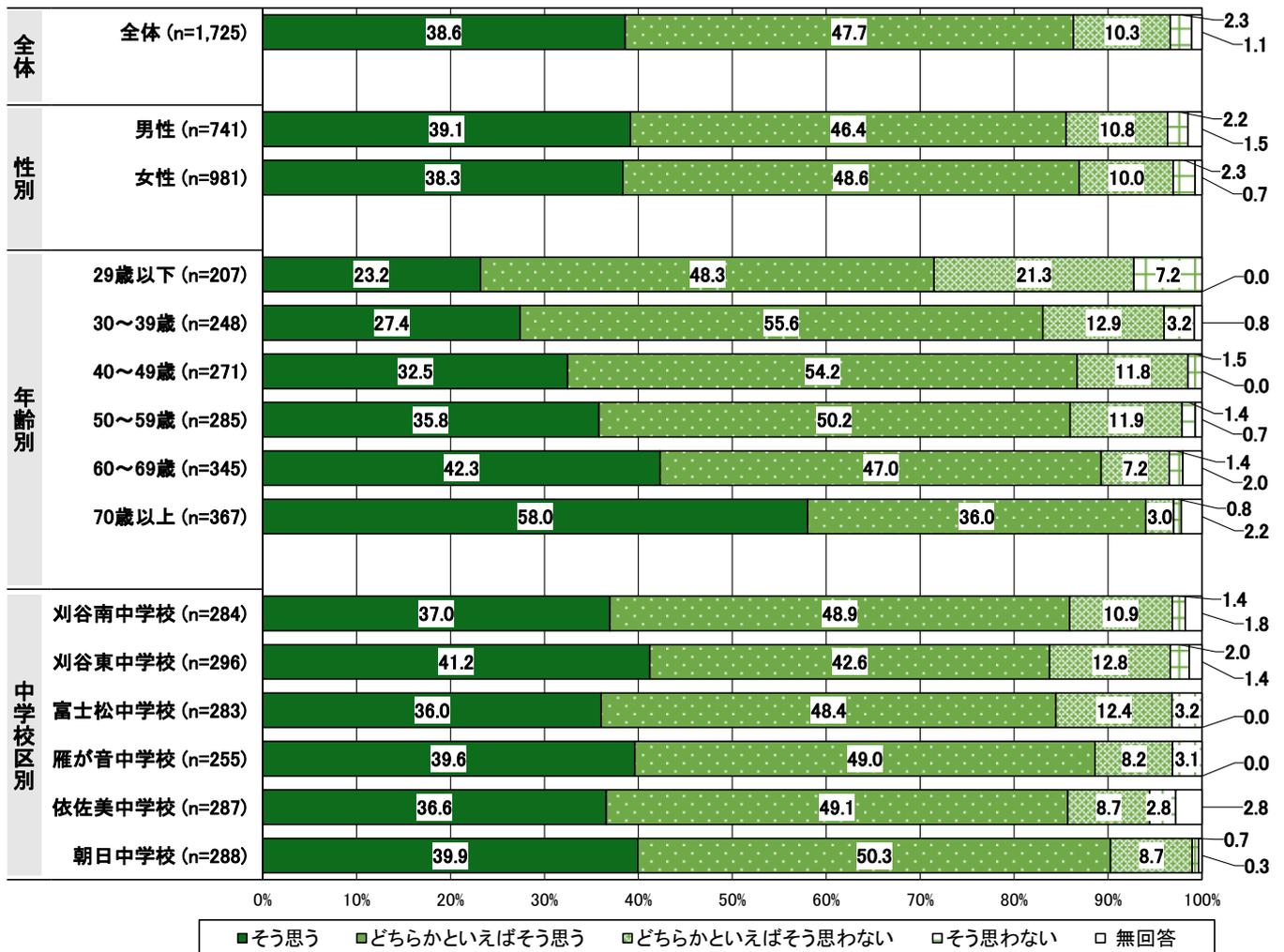


(13) 健康への意識

「自分の健康を意識している」市民の割合は、「そう思う」が38.6%、「どちらかといえばそう思う」が47.7%、あわせて86.3%（男性85.5%、女性86.9%）となっています。

年齢別でみると、年代が高いほど割合は高くなる傾向があります。最も高い70歳以上が94.0%、最も低い29歳以下が71.5%となっており、20ポイント以上の差が生じています。

中学校区別でみると、最も高い朝日中学校区が90.2%、最も低い刈谷東中学校区が83.8%となっています。

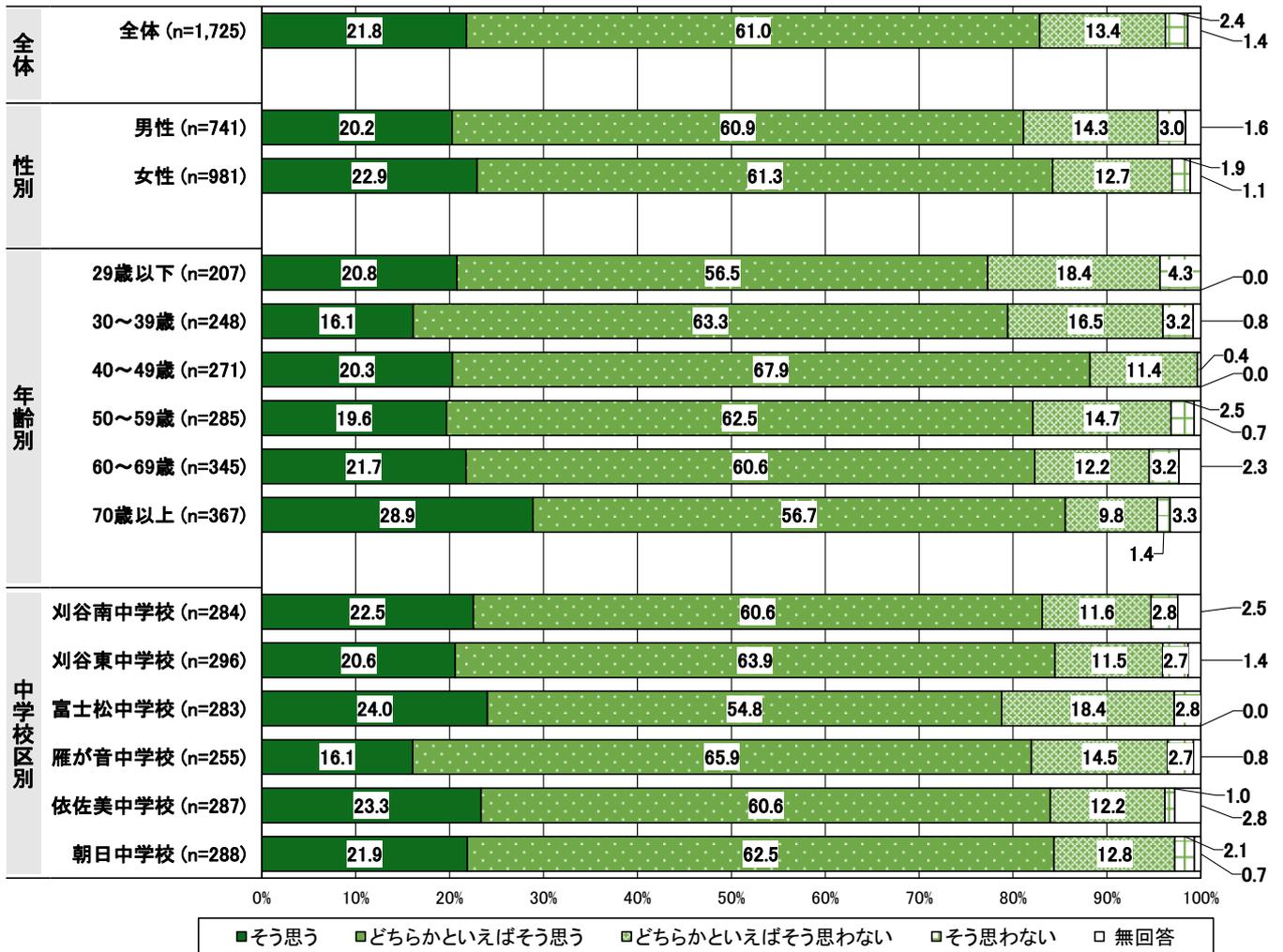


(14) 福祉への心がけ

「高齢者や障害者の方々などへの気配りなど福祉の心を持った行動に心がけている」市民の割合は、「そう思う」が21.8%、「どちらかといえばそう思う」が61.0%、あわせて82.8%（男性81.1%、女性84.2%）となっています。

年齢別でみると、最も高い40～49歳以上が88.2%、最も低い29歳以下が77.3%となっており、10ポイント以上の差が生じています。

中学校区別でみると、最も高い刈谷東中学校区が84.5%、最も低い富士松中学校区が78.8%となっています。

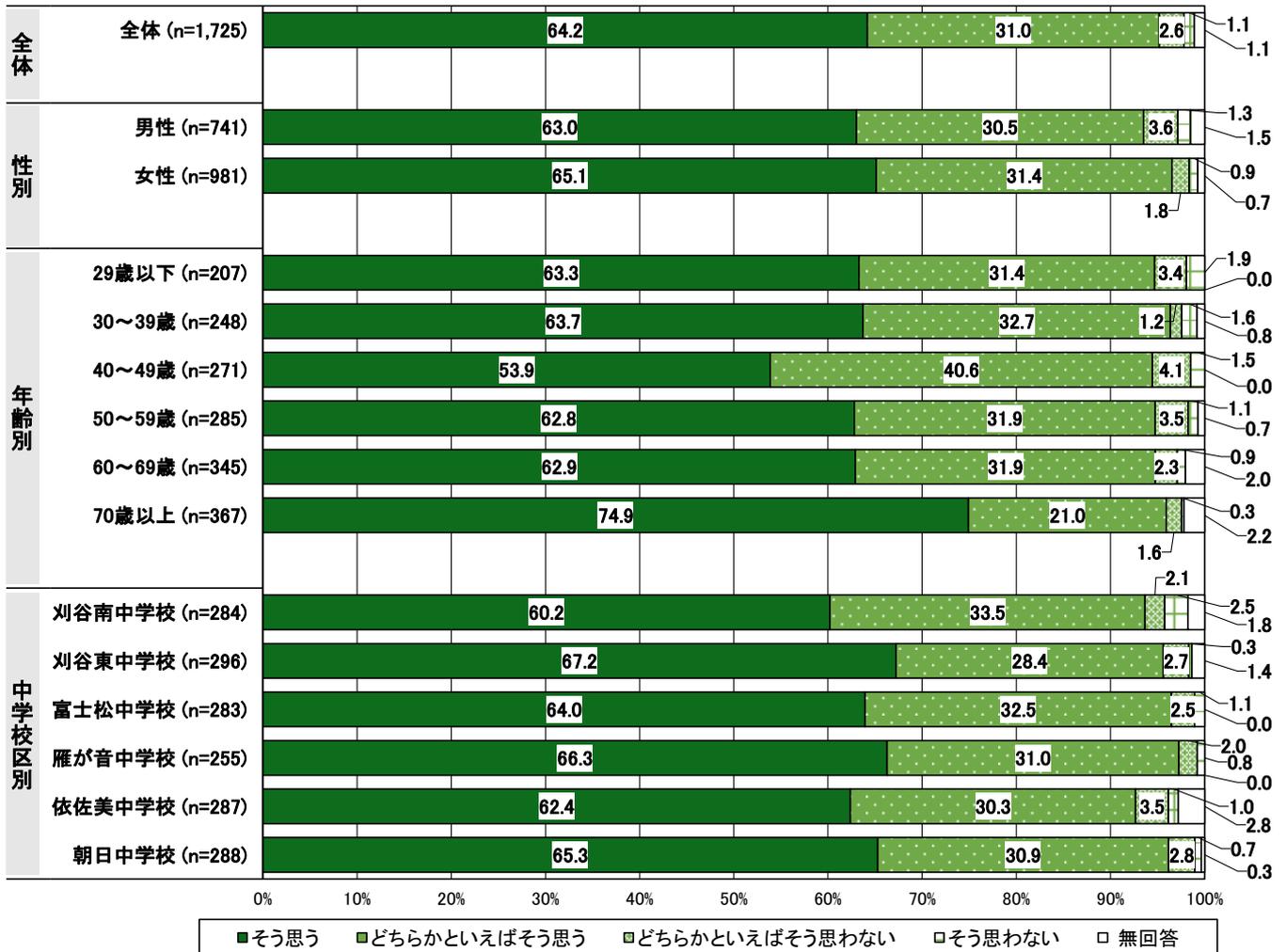


(15) 振り込め詐欺や悪質商法などへの注意

「振り込め詐欺や悪質商法などに気をつけている」市民の割合は、「そう思う」が64.2%、「どちらかといえばそう思う」が31.0%、あわせて95.2%（男性93.5%、女性96.5%）となっています。

年齢別でみると、最も高い30～39歳が96.4%、最も低い40～49歳が94.5%となっています。

中学校区別でみると、最も高い雁が音中学校区が97.3%、最も低い依佐美中学校が92.7%となっています。

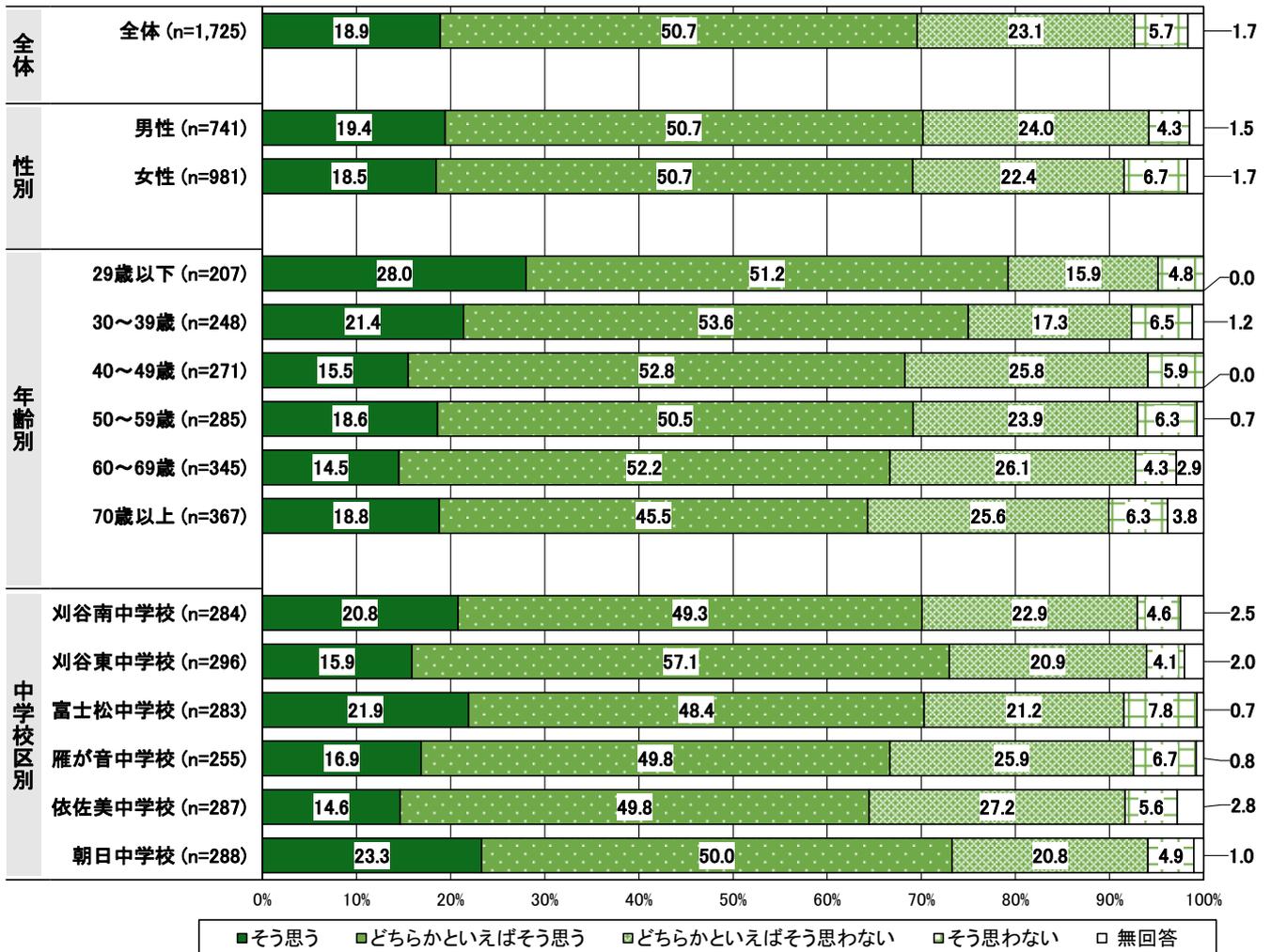


(16) 職場や家庭、地域などでの男女共同参画

「職場や家庭、地域などで全ての人が性別にかかわらず活動ができている」市民の割合は、「そう思う」が18.9%、「どちらかといえばそう思う」が50.7%、あわせて69.6%（男性70.1%、女性69.2%）となっています。

年齢別でみると、最も高い29歳以下が79.2%、最も低い70歳以上が64.3%となっており、10ポイント以上の差が生じています。

中学校区別でみると、最も高い朝日中学校区が73.3%、最も低い依佐美中学校区が64.4%となっています。

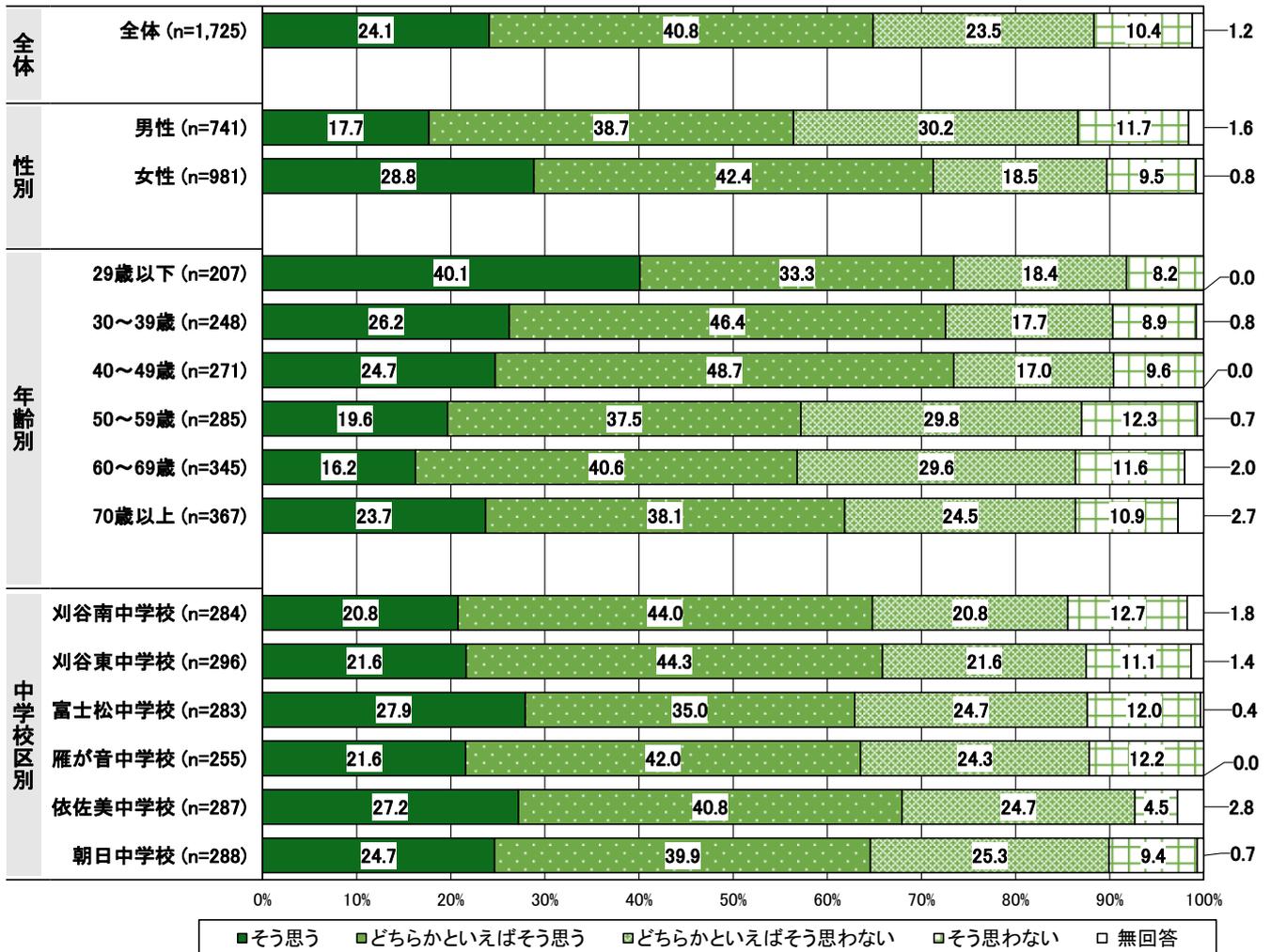


(17) 気軽に相談できる人や場所

「困りごとを気軽に話しあえる人や場所が身近にある」市民の割合は、「そう思う」が24.1%、「どちらかといえばそう思う」が40.8%、あわせて64.9%（男性56.4%、女性71.2%）となっています。

年齢別でみると、最も高い29歳以下と40～49歳が73.4%、最も低い60歳～69歳が56.8%となっており、10ポイント以上の差が生じています。

中学校区別でみると、最も高い依佐美中学校区が68.0%、最も低い富士松中学校区が62.9%となっています。

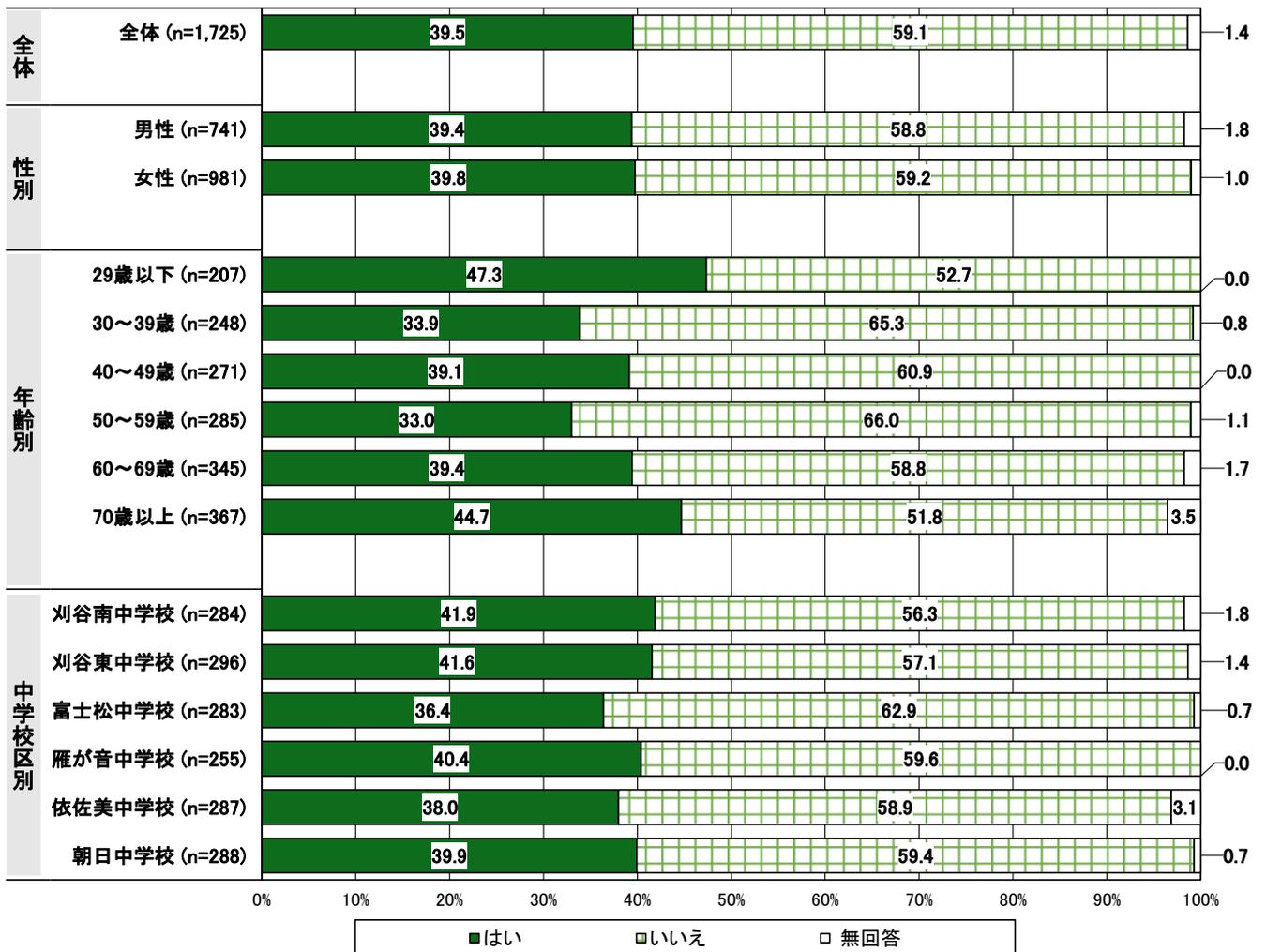


(18) 生涯学習の実践

趣味・教養、講座やイベント、文化観賞、スポーツ、地域活動など「生涯学習を行っている」市民の割合は39.5%（男性39.4%、女性39.8%）となっています。

年齢別でみると、最も高い29歳以下が47.3%、最も低い50歳～59歳が33.0%となっており、10ポイント以上の差が生じています。

中学校区別でみると、最も高い刈谷南中学校区が41.9%、最も低い富士松中学校区が36.4%となっています。

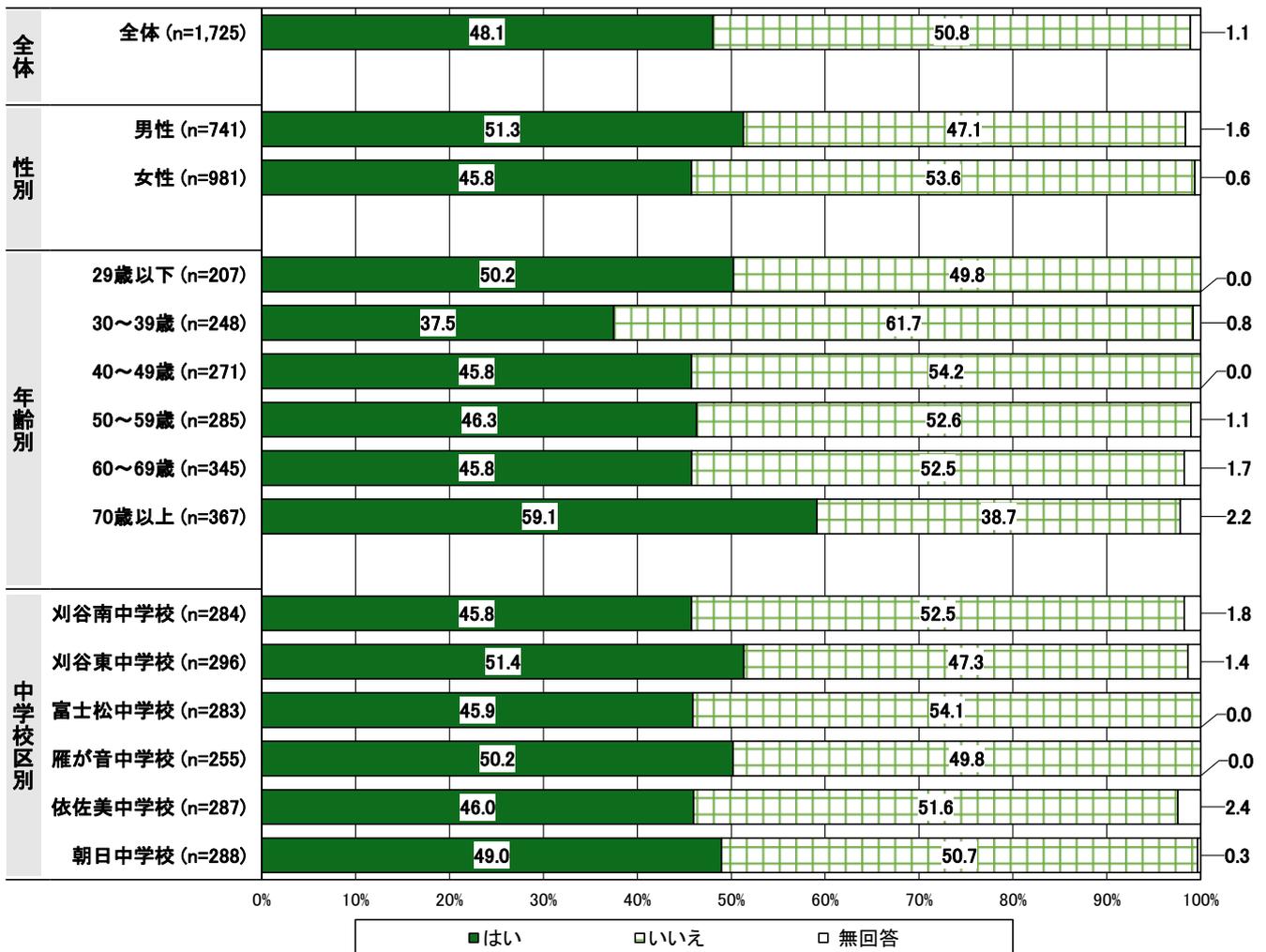


(19) スポーツの実践

ウォーキング、ジョギング、テニス、水泳、体操、徒歩や自転車での通勤・通学など「週1回以上スポーツをしている」市民の割合は48.1%（男性51.3%、女性45.8%）となっています。

年齢別でみると、最も高い70歳以上が59.1%、最も低い30歳～39歳以上が37.5%となっており、20ポイント以上の差が生じています。

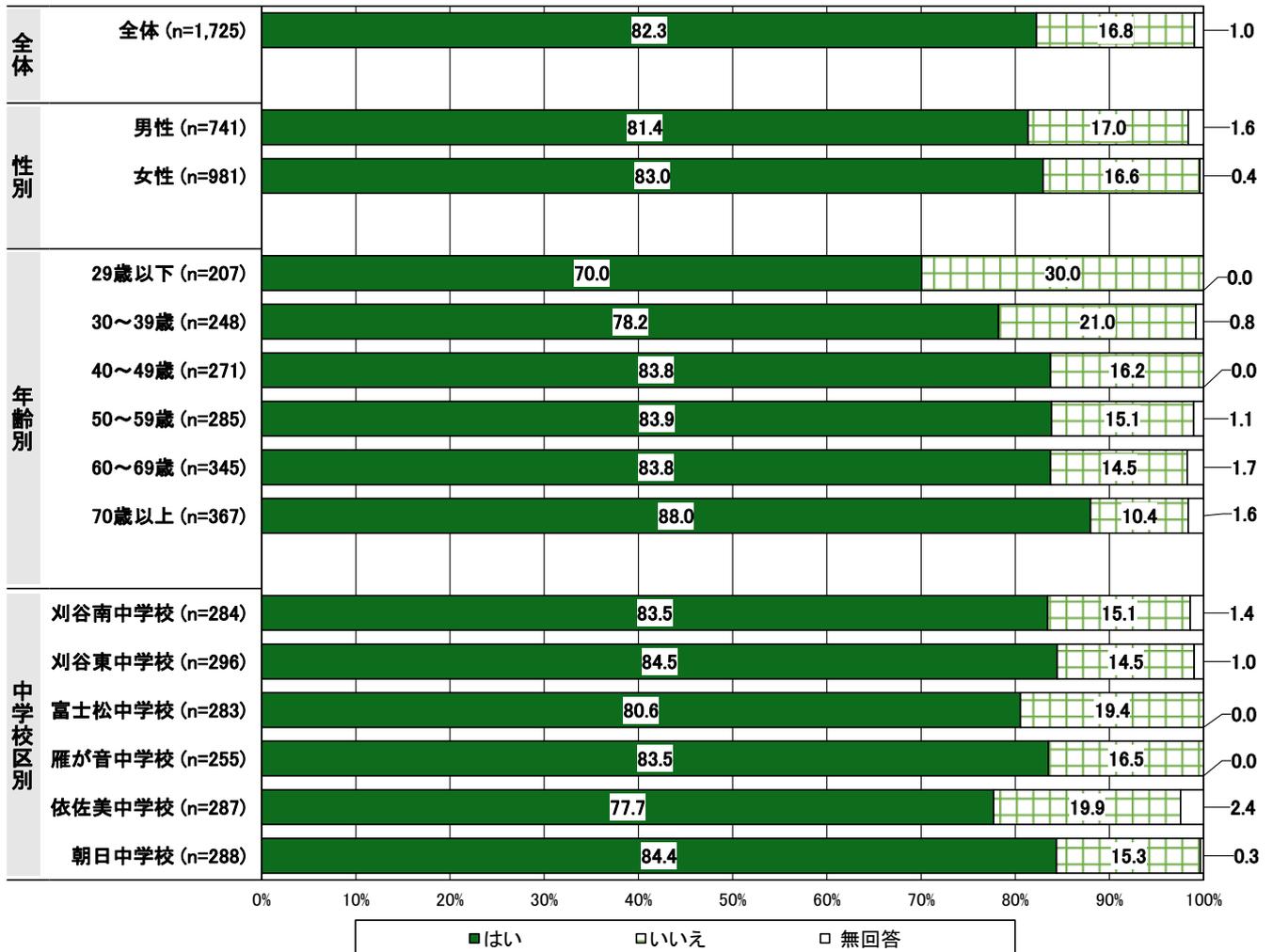
中学校区別でみると、最も高い刈谷東中学校区が51.4%、最も低い刈谷南中学校区は45.8%となっています。



(20) 市内の店舗での買物

「主に市内の店舗で買物をしている」市民の割合は82.3%（男性81.4%、女性83.0%）となっています。年齢別でみると、最も高い70歳以上が88.0%、最も低い29歳以下が70.0%となっており、10ポイント以上の差が生じています。

中学校区別でみると、最も高い刈谷東中学校区が84.5%、最も低い依佐美中学校区が77.7%となっています。

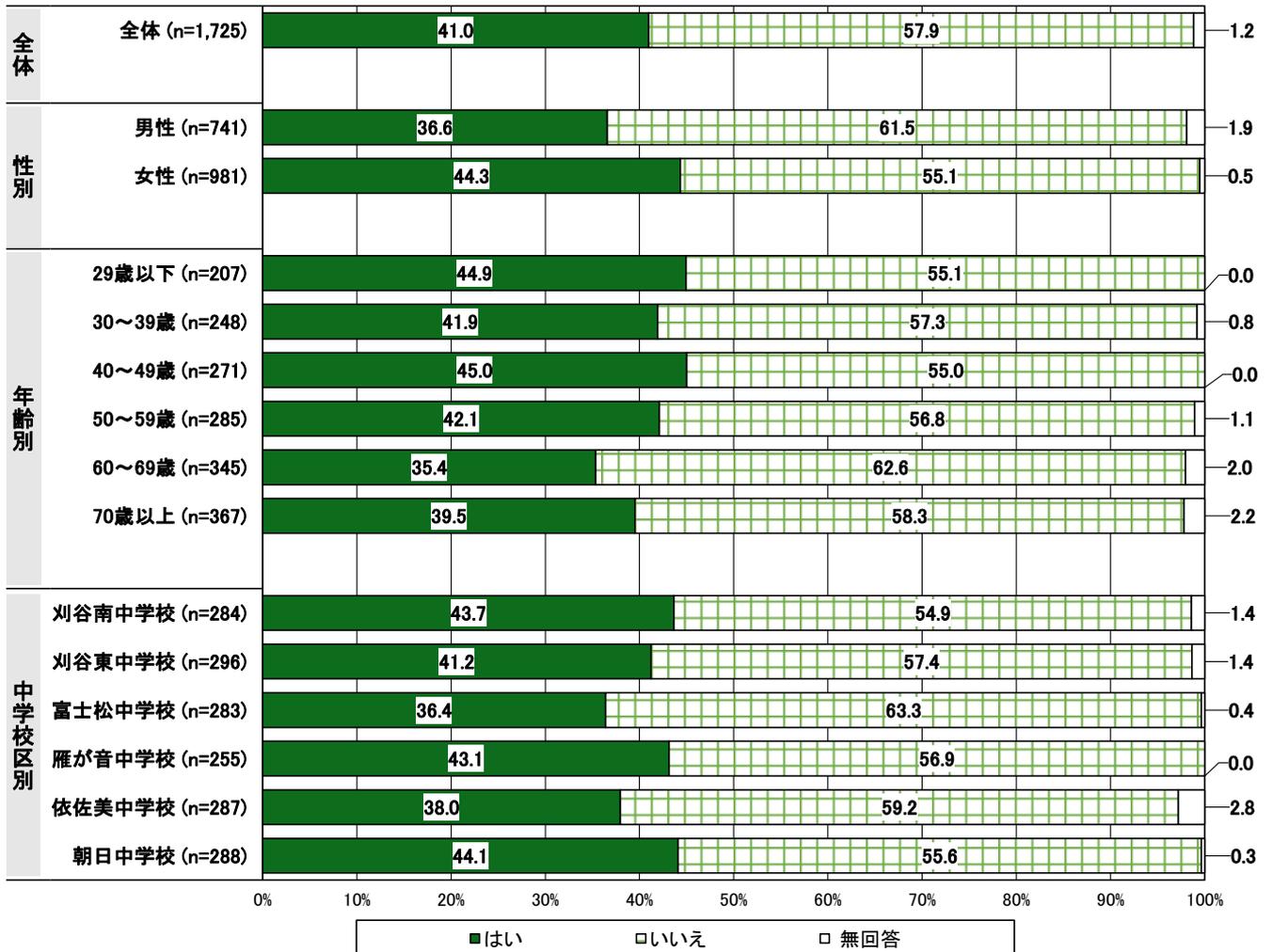


(21) 商店街のイベントへの参加

お祭り、朝市、クリスマスイベントなど「商店街のイベントなどに参加したことがある」市民の割合は41.0%（男性36.6%、女性44.3%）となっています。

年齢別でみると、最も高い40歳～49歳が45.0%、最も低い60～69歳が35.4%となっています。

中学校区別でみると、最も高い朝日中学校区が44.1%、最も低い富士松中学校区が36.4%となっています。

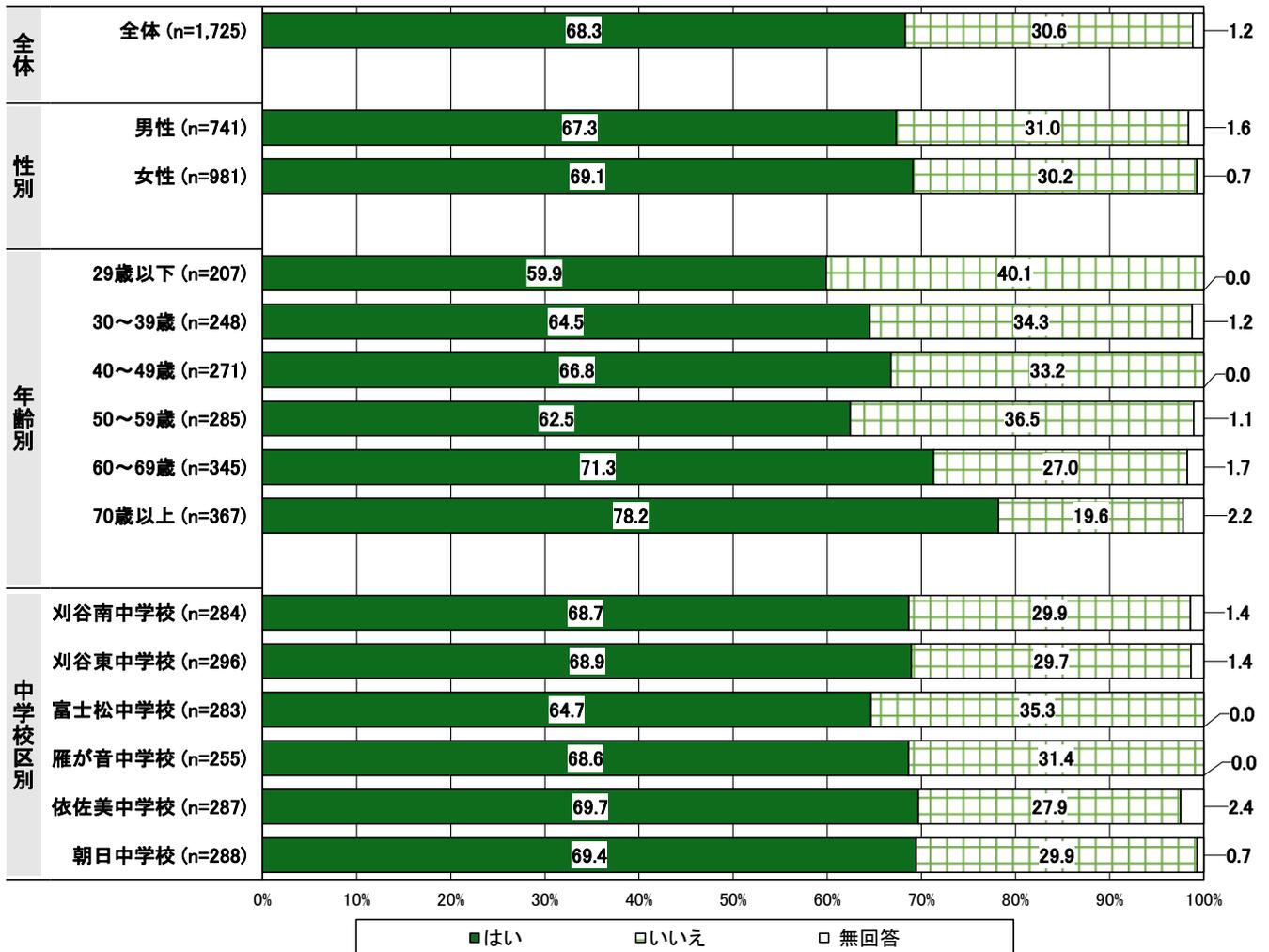


(22) 健康づくりの実践

バランスの良い食生活、適度な運動、十分な睡眠と休養など「日頃から健康づくりを実践している」市民の割合は68.3%（男性67.3%、女性69.1%）となっています。

年齢別でみると、最も高い70歳以上が78.2%、最も低い29歳以下が59.9%となっており、10ポイント以上の差が生じています。

中学校区別でみると、最も高い依佐美中学校区の69.7%、最も低い富士松中学校区が64.7%となっています。

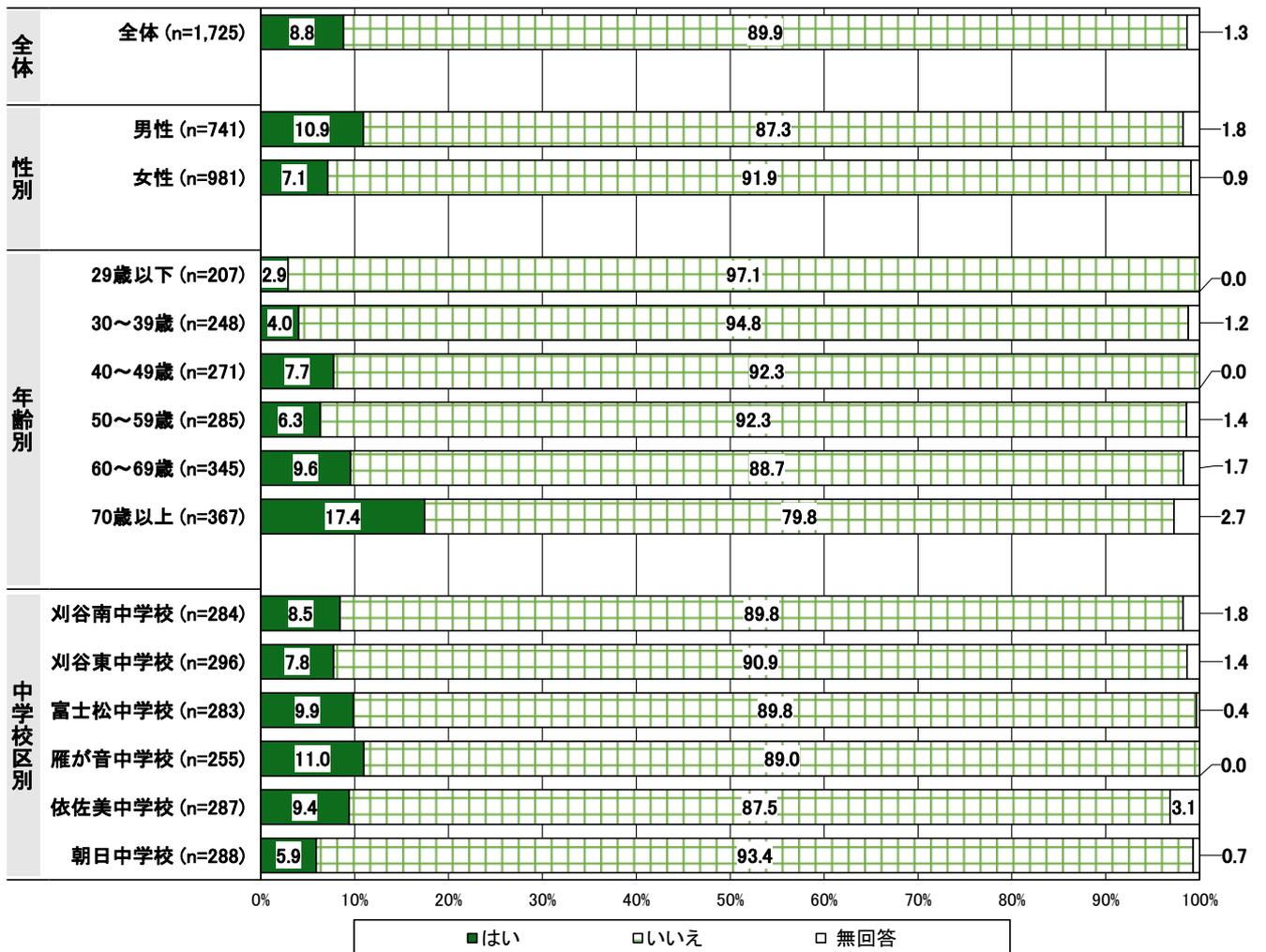


(23) 地域福祉に関するボランティア活動への参加

高齢者や障害者の方々への支援など「現在、地域福祉に関するボランティア活動に参加している」市民の割合は8.8%（男性10.9%、女性7.1%）となっている。

年齢別で見ると、最も高い70歳以上が17.4%、最も低い29歳以下が2.9%となっており、10ポイント以上の差が生じています。

中学校区別で見ると、最も高い雁が音中学校区が11.0%、最も低い朝日中学校区が5.9%となっています。

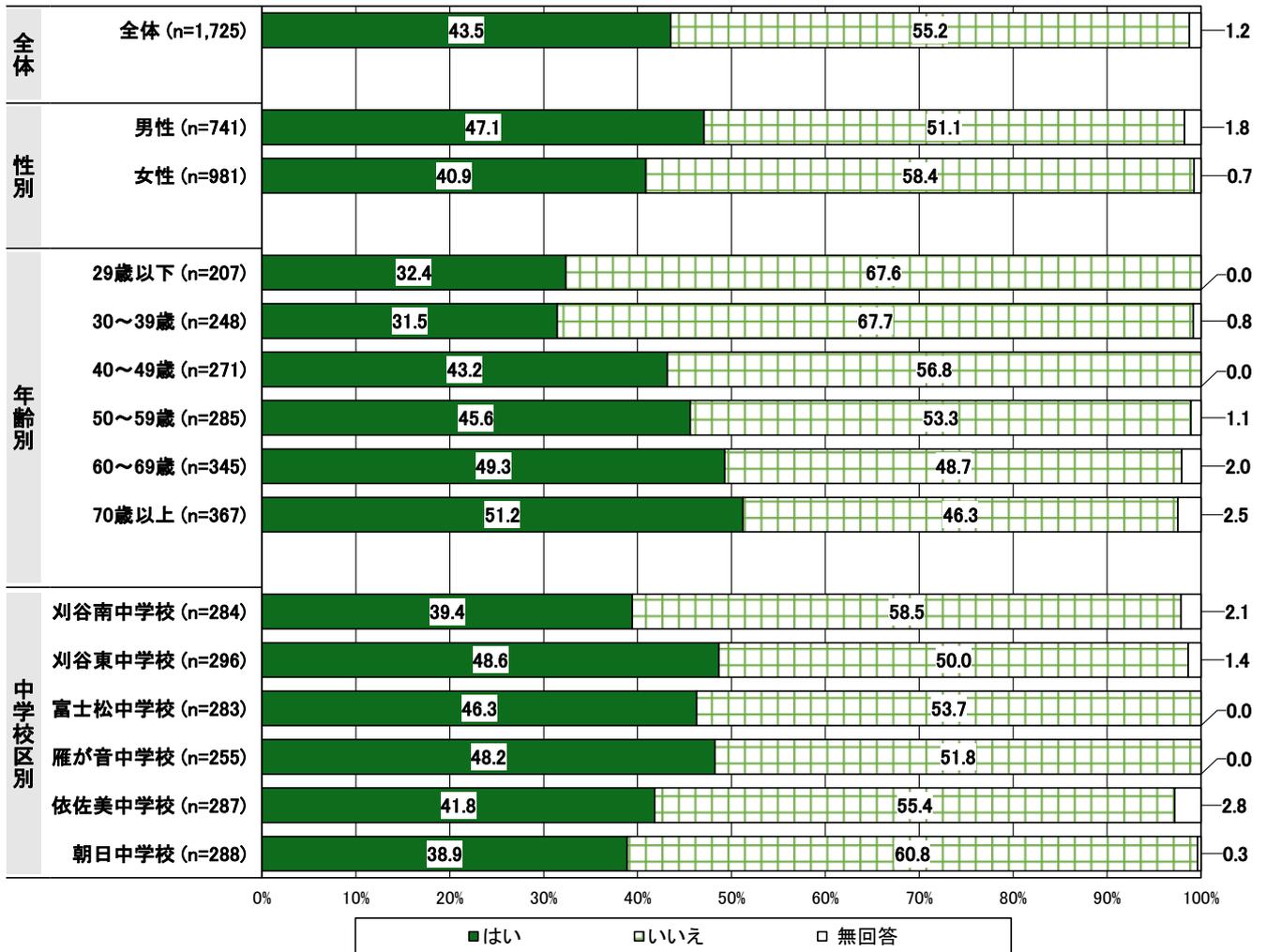


(24) ボランティアや地域活動への参加

自治会活動、防犯活動、環境美化活動など「ボランティアや地域活動、自主活動に参加したことがある」市民の割合は43.5%（男性47.1%、女性40.9%）となっています。

年齢別でみると、最も高い70歳以上が51.2%、最も低い30～39歳が31.5%となっており、10ポイント以上の差が生じています。

中学校区別でみると、最も高い刈谷東中学校区が48.6%、最も低い朝日中学校区が38.9%となっています。

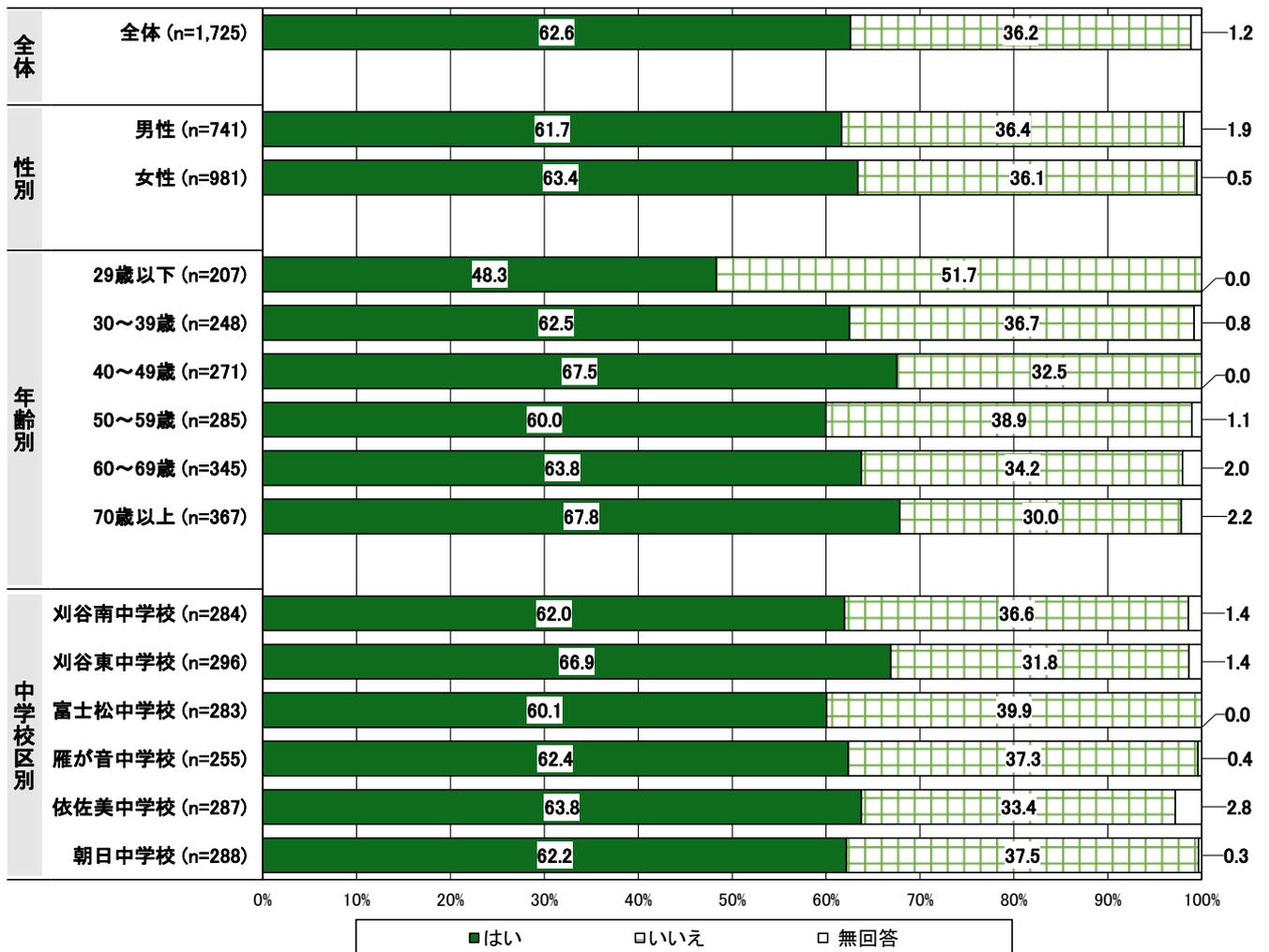


(25) 災害に対する備え

避難場所の確認、水や食料等の備蓄、家具の転倒防止など「地震や台風などの災害に対する備えをしている」市民の割合は62.6%（男性61.7%、女性63.4%）となっています。

年齢別でみると、最も高い70歳以上が67.8%、最も低い29歳以下が48.3%となっており、20ポイント以上の差が生じています。

中学校区別でみると、最も高い刈谷東中学校区が66.9%、最も低い富士松中学校区が60.1%となっています。

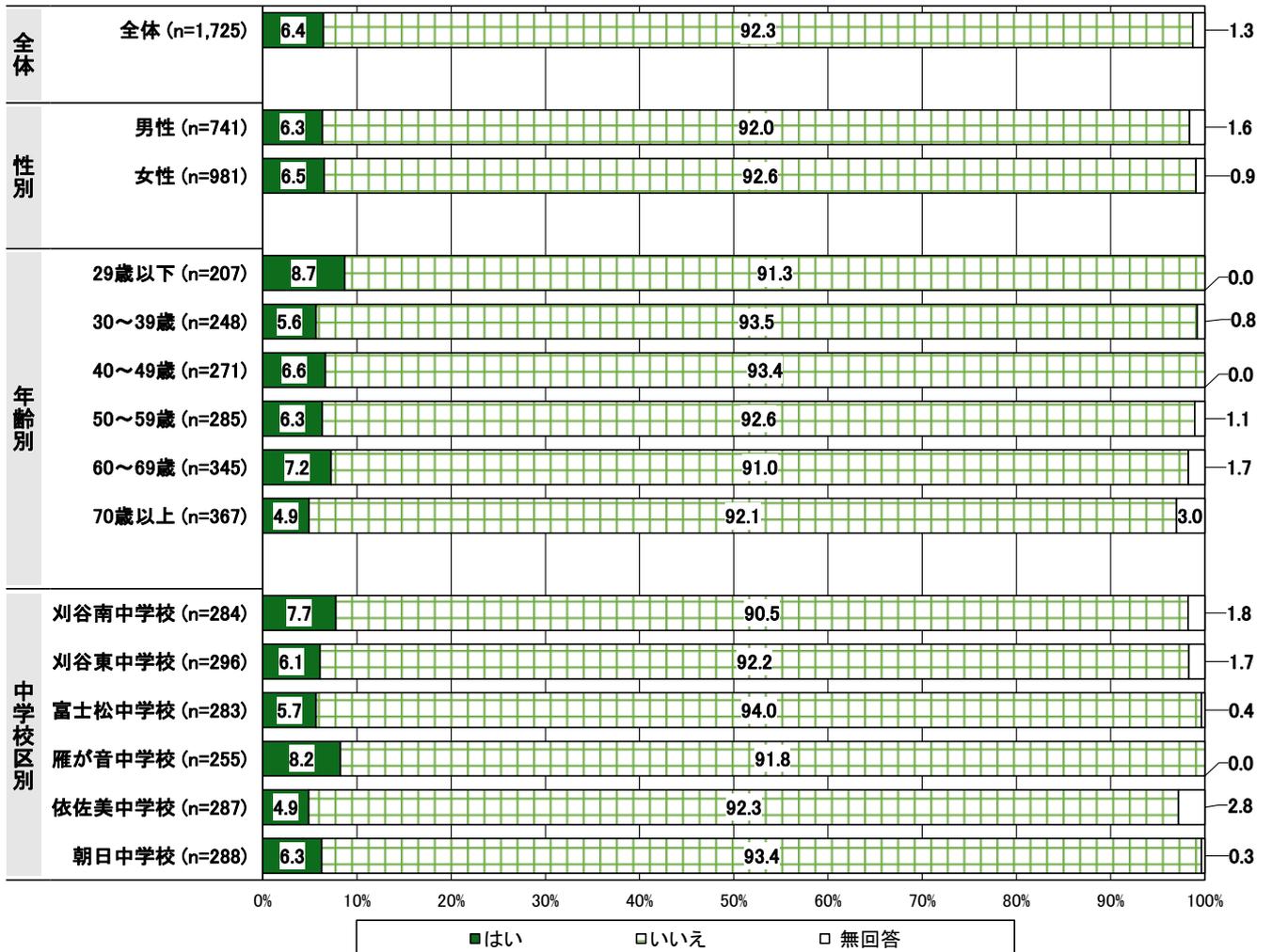


(26) 国際交流イベントへの参加

外国人との交流・共生、国際理解講座、外国語教室など「国際交流イベントや行事に参加したことがある」市民の割合は6.4%（男性6.3%、女性6.5%）となっています。

年齢別でみると、最も高い29歳以下が8.7%、最も低い70歳以上が4.9%となっています。

中学校区別でみると、最も高い雁が音中学校区が8.2%、最も低い依佐美中学校区が4.9%となっています。

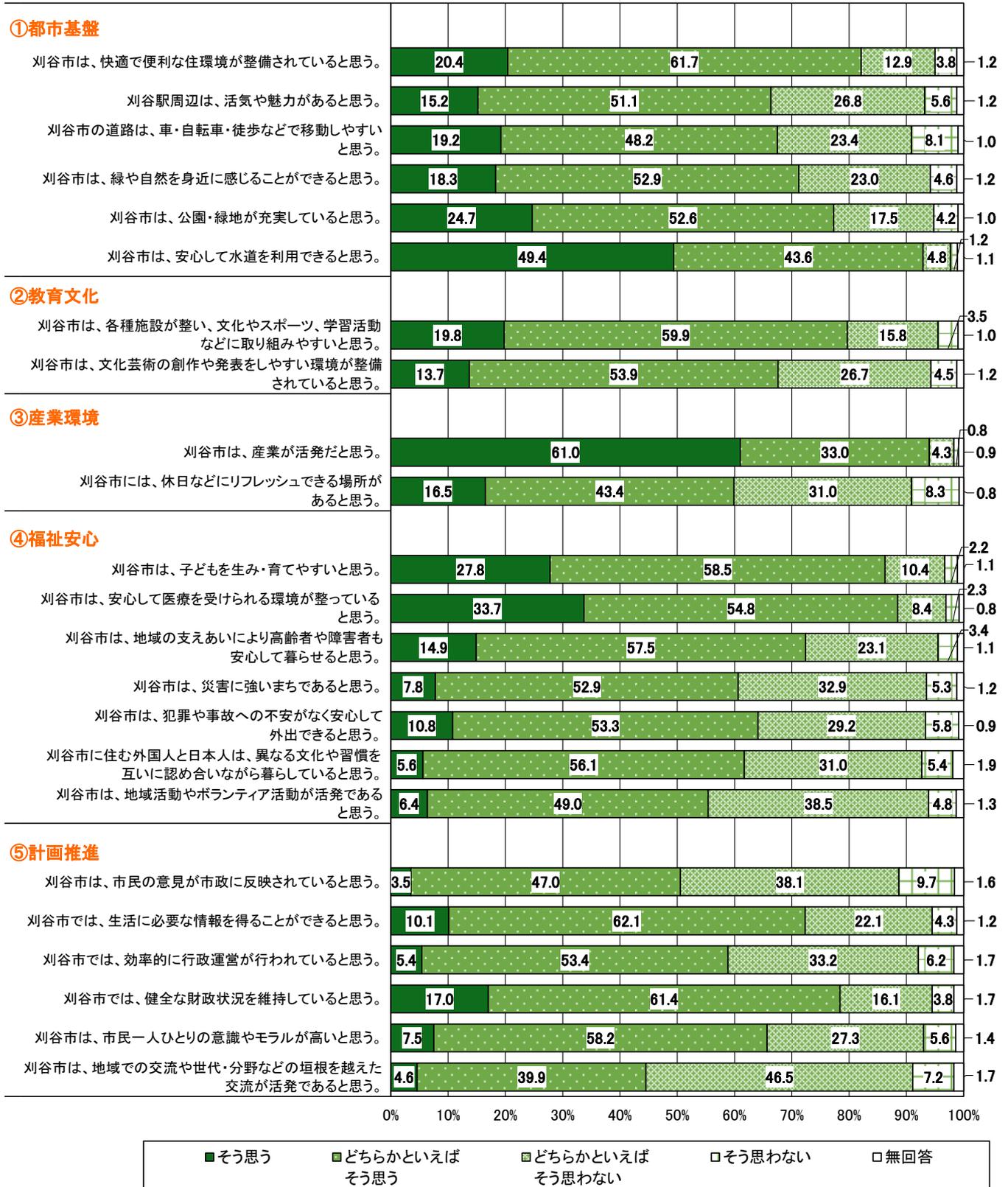


2 - 5. 刈谷市のまちの現状

現状把握：設問 41～63

図 刈谷市のまちの現状の調査結果比較

(n=1,725)



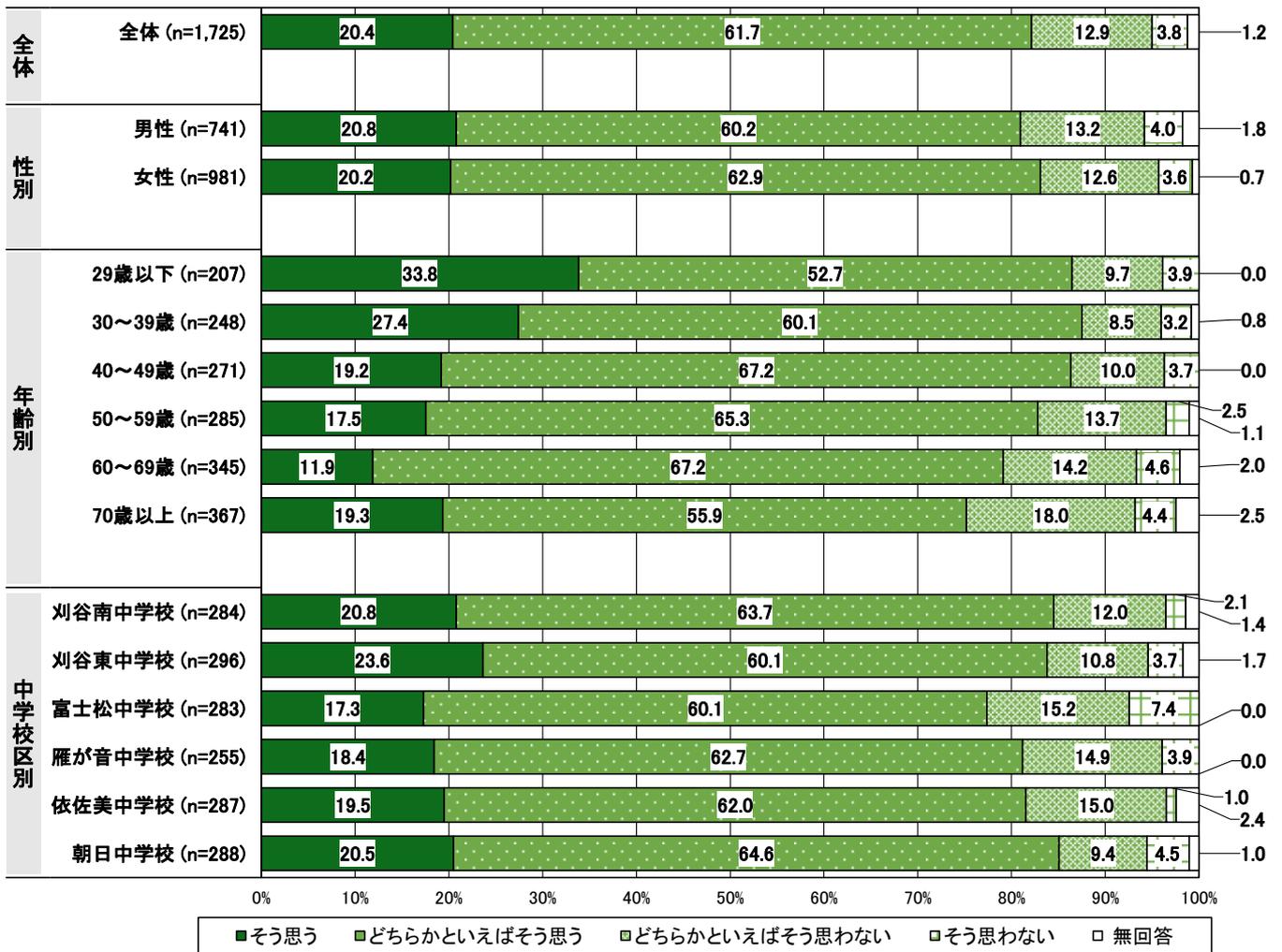
(1) 都市基盤について

①快適で便利な住環境

「刈谷市は、快適で便利な住環境が整備されていると思う」市民の割合は、「そう思う」が20.4%、「どちらかといえばそう思う」が61.7%、あわせて82.1%（男性81.0%、女性83.1%）となっています。

年齢別でみると、最も高い30～39歳が87.5%、最も低い70歳以上が75.2%となっており、10ポイント以上の差が生じています。

中学校区別でみると、最も高い朝日中学校区が85.1%、最も低い富士松中学校区が77.4%となっています。

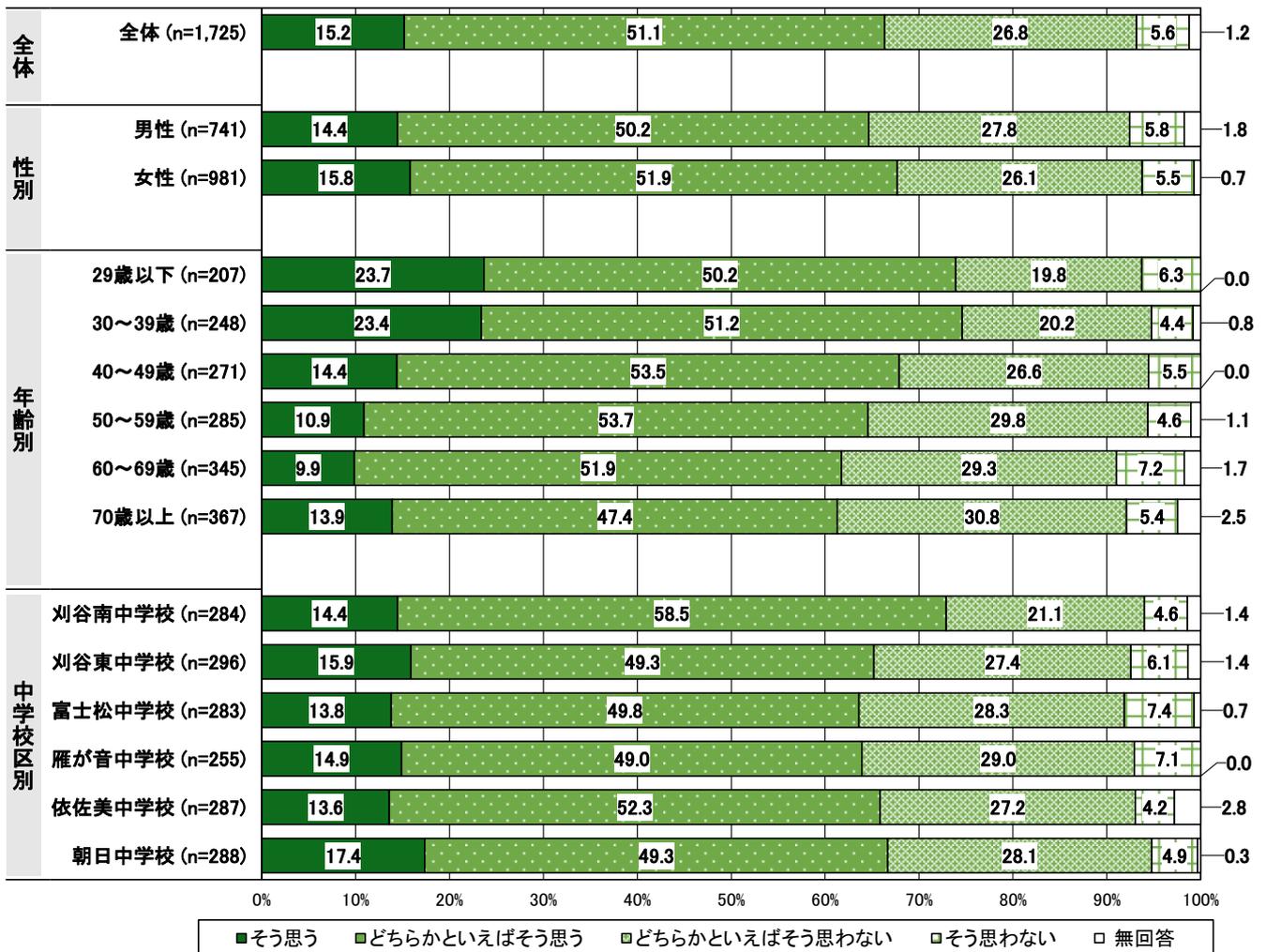


②刈谷駅周辺の活気や魅力

「刈谷駅周辺は、活気や魅力があると思う」市民の割合は、「そう思う」が15.2%、「どちらかといえばそう思う」が51.1%、あわせて66.3%（男性64.6%、女性67.7%）となっています。

年齢別でみると、年代が低いほど割合は高くなる傾向があります。最も高い30～39歳が74.6%、最も低い70歳以上が61.3%となっており、10ポイント以上の差が生じています。

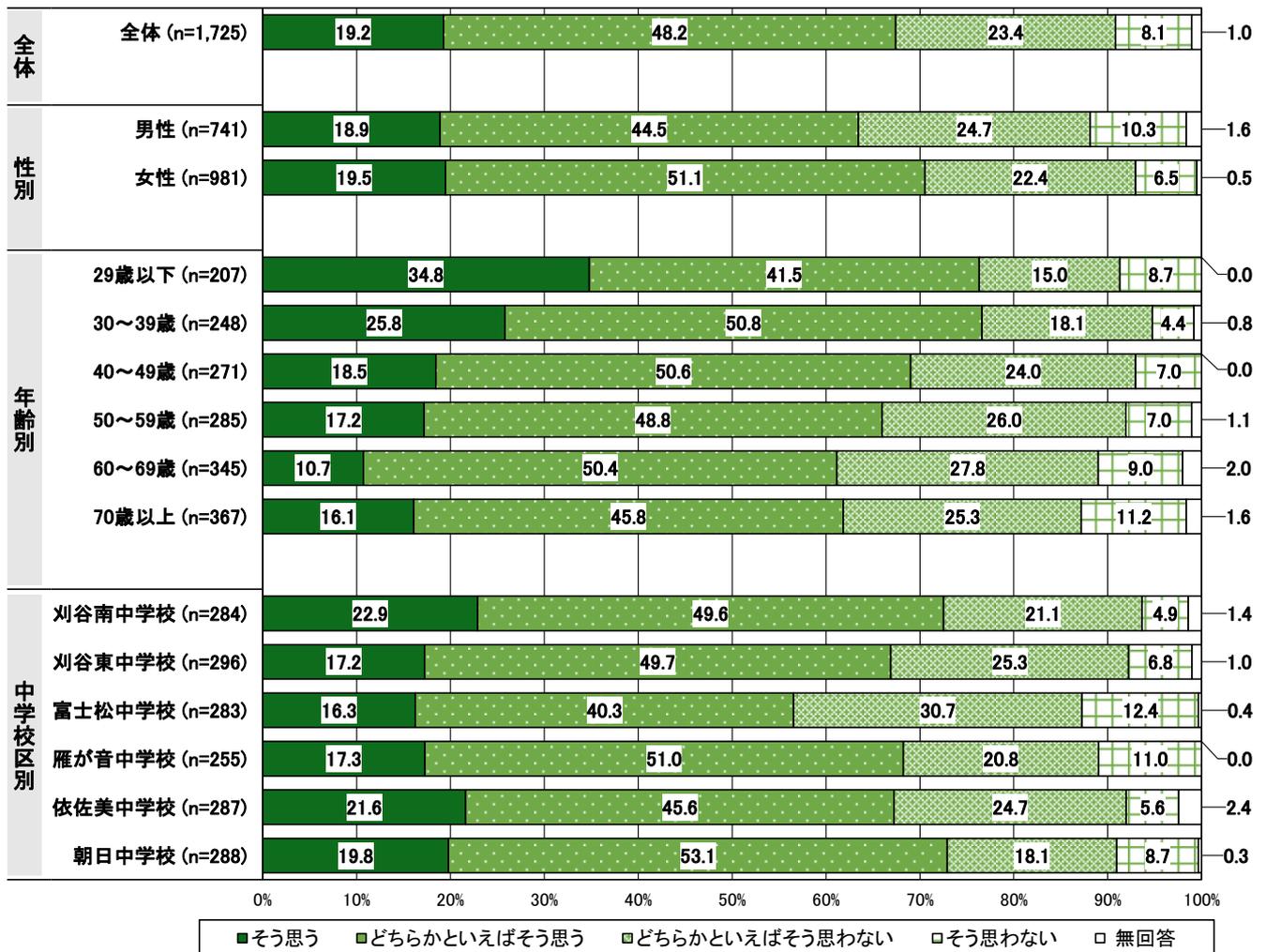
中学校区別でみると、最も高い刈谷南中学校区が72.9%、最も低い富士松中学校が63.6%となっています。



③道路の移動しやすさ

「刈谷市の道路は、車・自転車・徒歩などで移動しやすいと思う」市民の割合は、「そう思う」が19.2%、「どちらかといえばそう思う」が48.2%、あわせて67.4%（男性63.4%、女性70.6%）となっています。
 年齢別でみると、最も高い30～39歳が76.6%、最も低い60～69歳が61.1%となっており、10ポイント以上の差が生じています。

中学校区別でみると、最も高い朝日中学校区が72.9%、最も低い富士松中学校区が56.6%となっており、10ポイント以上の差が生じています。

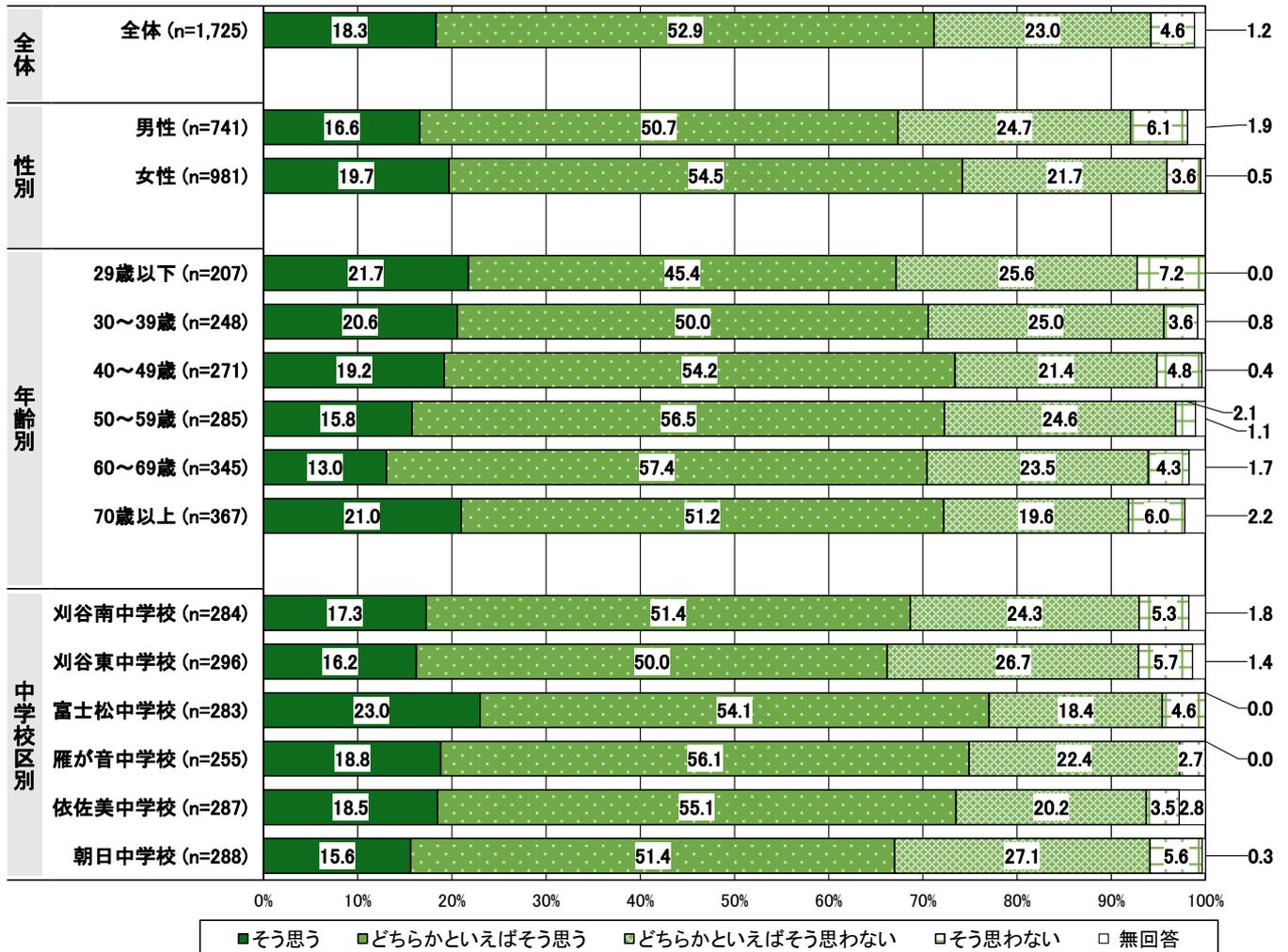


④身近な緑や自然

「刈谷市は、緑や自然を身近に感じることができると思う」市民の割合は、「そう思う」が18.3%、「どちらかといえばそう思う」が52.9%、あわせて71.2%（男性67.3%、女性74.2%）となっています。

年齢別でみると、最も高い40～49歳が73.4%、最も低い29歳以下が67.1%となっています。

中学校区別でみると、最も高い富士松中学校区が77.1%、最も低い刈谷東中学校区が66.2%となっており、10ポイント以上の差が生じています。

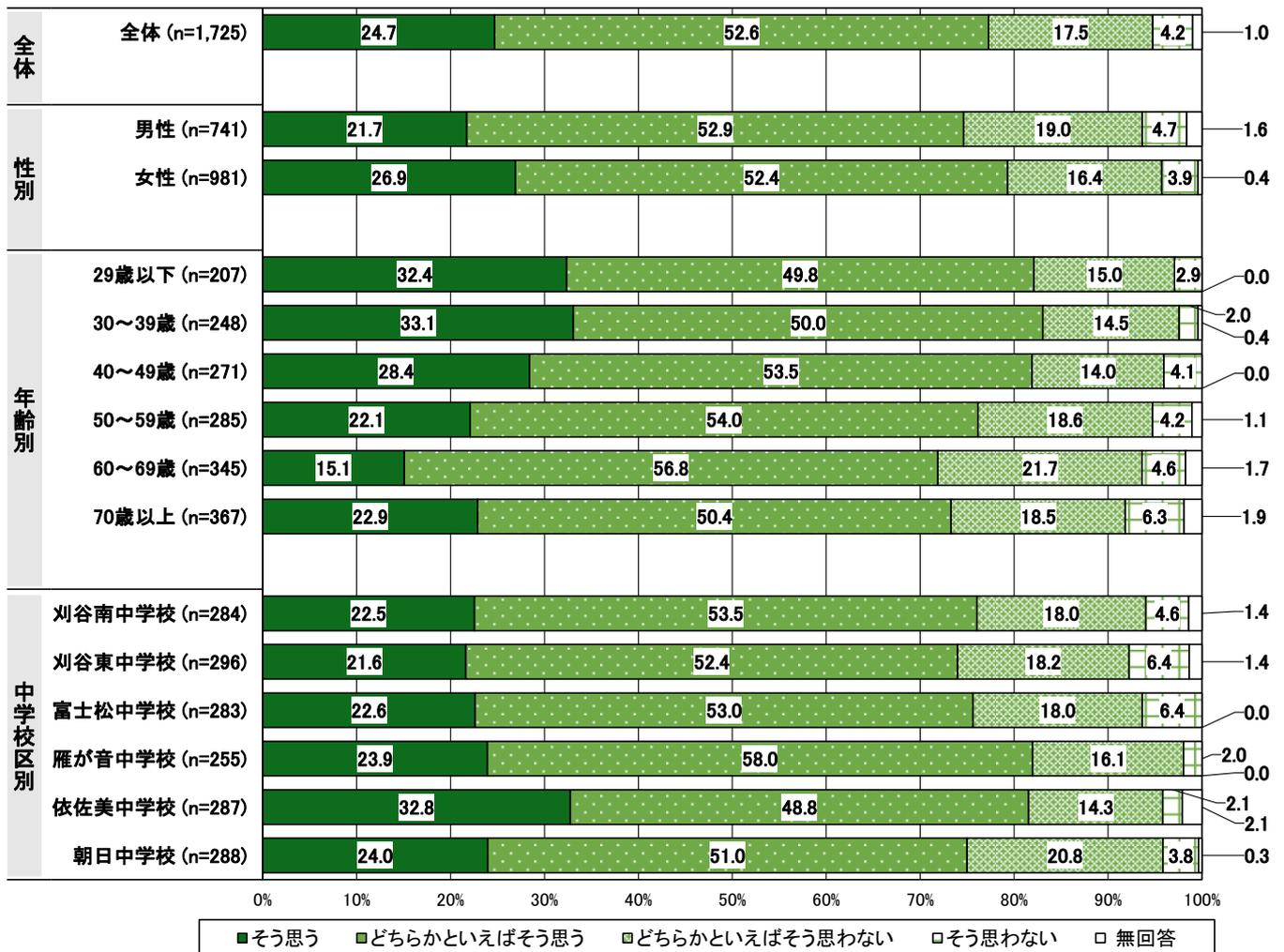


⑤公園・緑地の充実

「刈谷市は、公園・緑地が充実していると思う」市民の割合は、「そう思う」が24.7%、「どちらかといえばそう思う」が52.6%、あわせて77.3%（男性74.6%、女性79.3%）となっています。

年齢別でみると、最も高い30～39歳が83.1%、最も低い60～69歳が71.9%となっており、10ポイント以上の差が生じています。

中学校区別でみると、最も高い雁が音中学校区が81.9%、最も低い刈谷東中学校区が74.0%となっています。

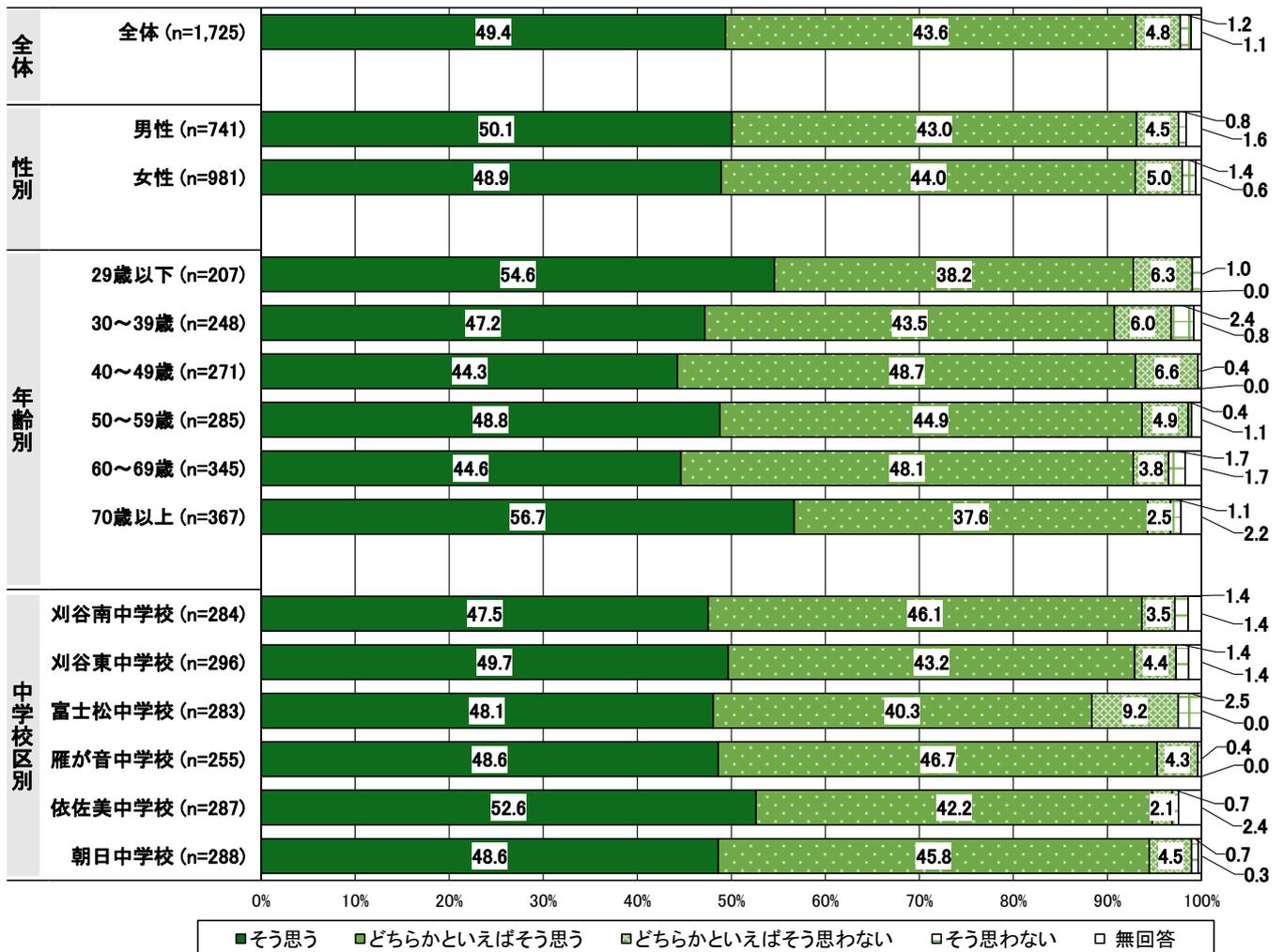


⑥水道の利用

「刈谷市は、安心して水道が利用できると思う」市民の割合は、「そう思う」が49.4%、「どちらかといえばそう思う」が43.6%、あわせて93.0%（男性93.1%、女性92.9%）となっています。

年齢別でみると、最も高い70歳以上が94.3%、最も低い30～39歳が90.7%となっています。

中学校区別でみると、最も高い雁が音中学校区が95.3%、最も低い富士松中学校が88.4%となっています。



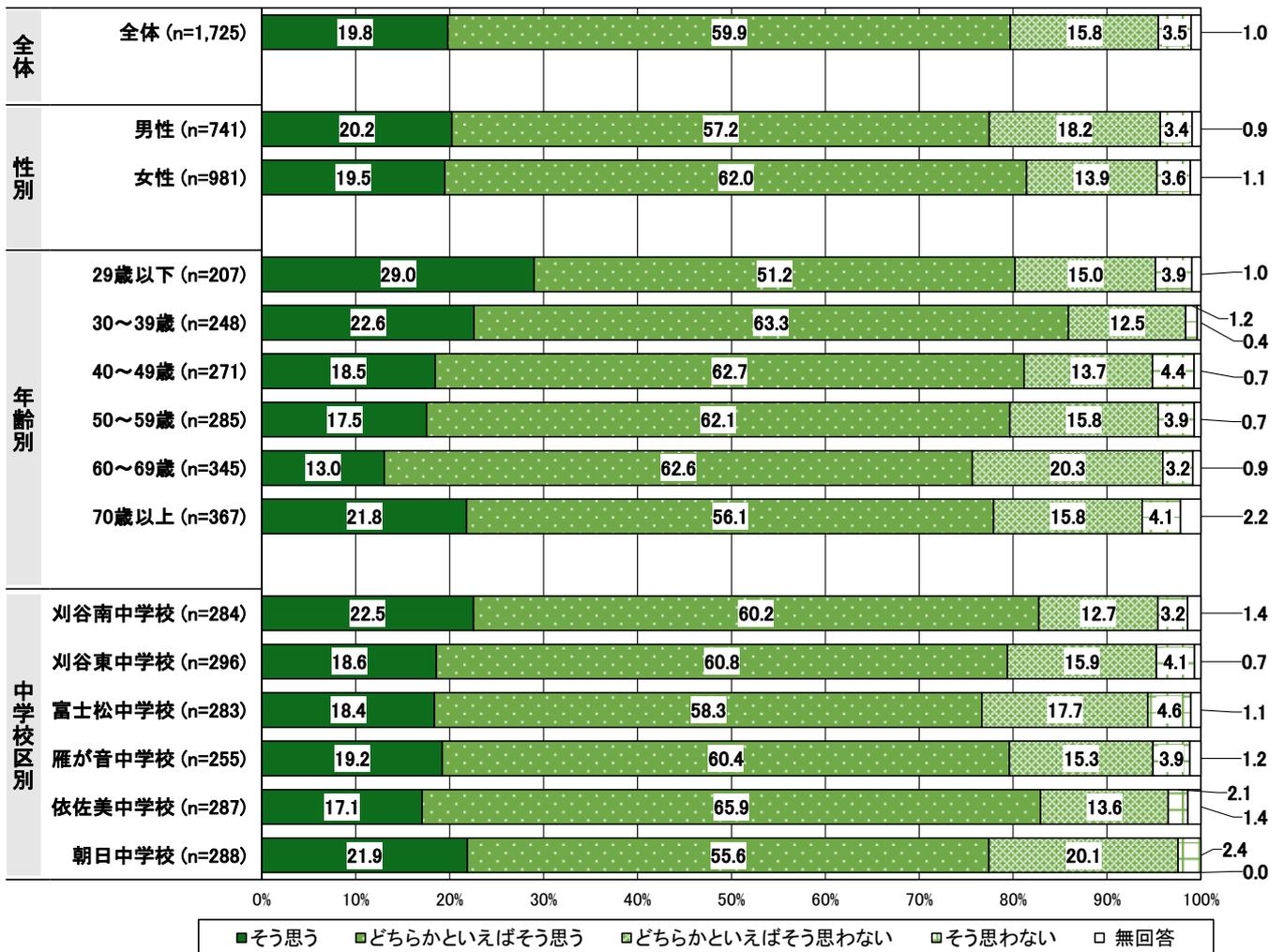
(2) 教育・文化について

①文化やスポーツ、学習活動などの取り組みやすさ

「刈谷市は、各種施設が整い、文化やスポーツ、学習活動などに取り組みやすいと思う」市民の割合は、「そう思う」が19.8%、「どちらかといえばそう思う」が59.9%、あわせて79.7%（男性77.4%、女性81.5%）となっています。

年齢別で見ると、最も高い30～39歳が85.9%、最も低い60～69歳で75.6%となっており、10ポイント以上の差が生じています。

中学校区別で見ると、最も高い依佐美中学校区が83.0%、最も低い富士松中学校区が76.7%となっています。

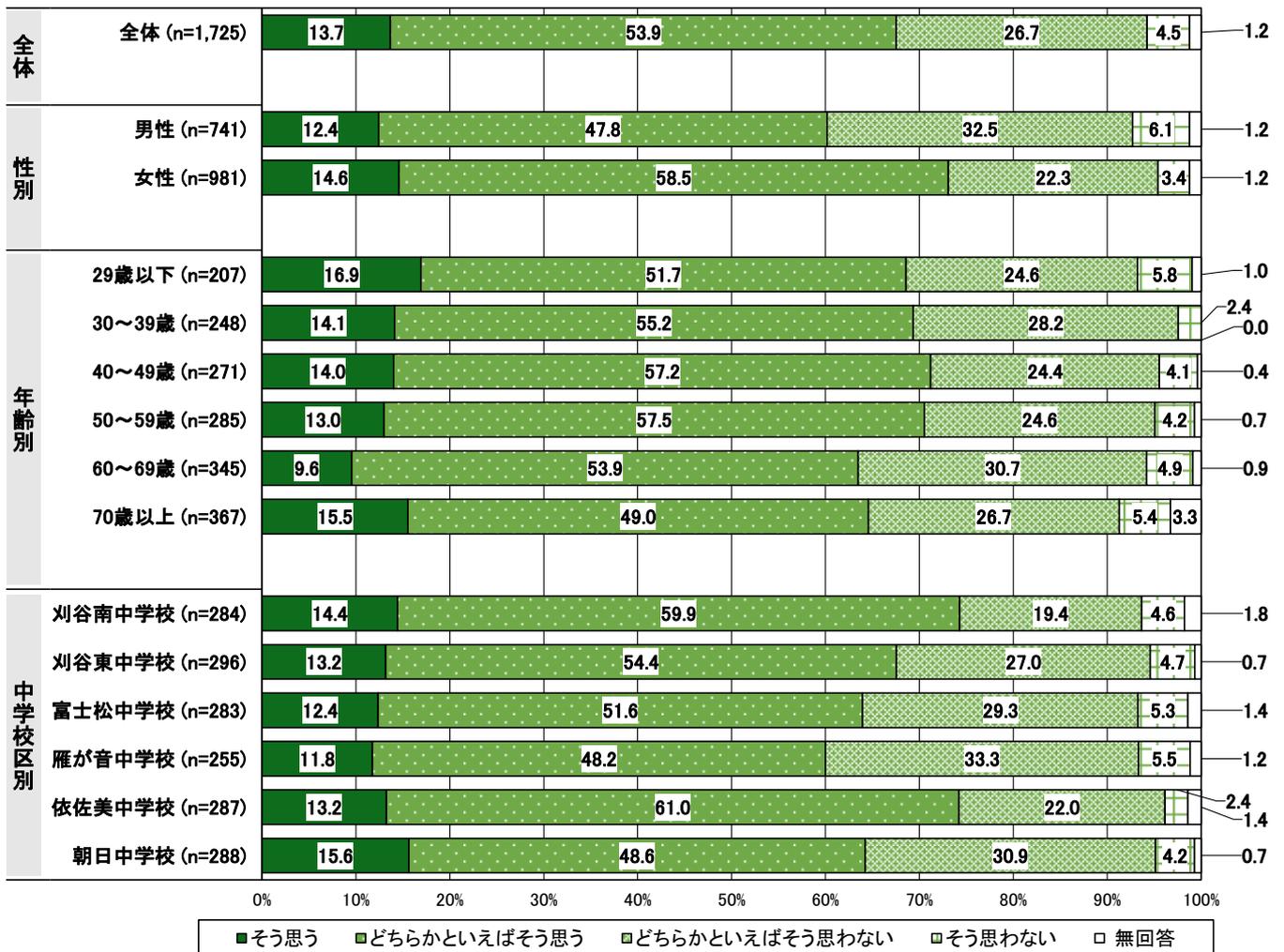


②文化芸術の創作や発表のしやすさ

「刈谷市は、文化芸術の創作や発表をしやすい環境が整備されていると思う」市民の割合は、「そう思う」が13.7%、「どちらかといえばそう思う」が53.9%、あわせて67.6%（男性60.2%、女性73.1%）となっています。

年齢別でみると、最も高い40～49歳が71.2%、最も低い60～69歳が63.5%となっています。

中学校区別でみると、最も高い刈谷南中学校区が74.3%、最も低い雁が音中学校区が60.0%となっており、10ポイント以上の差が生じています。



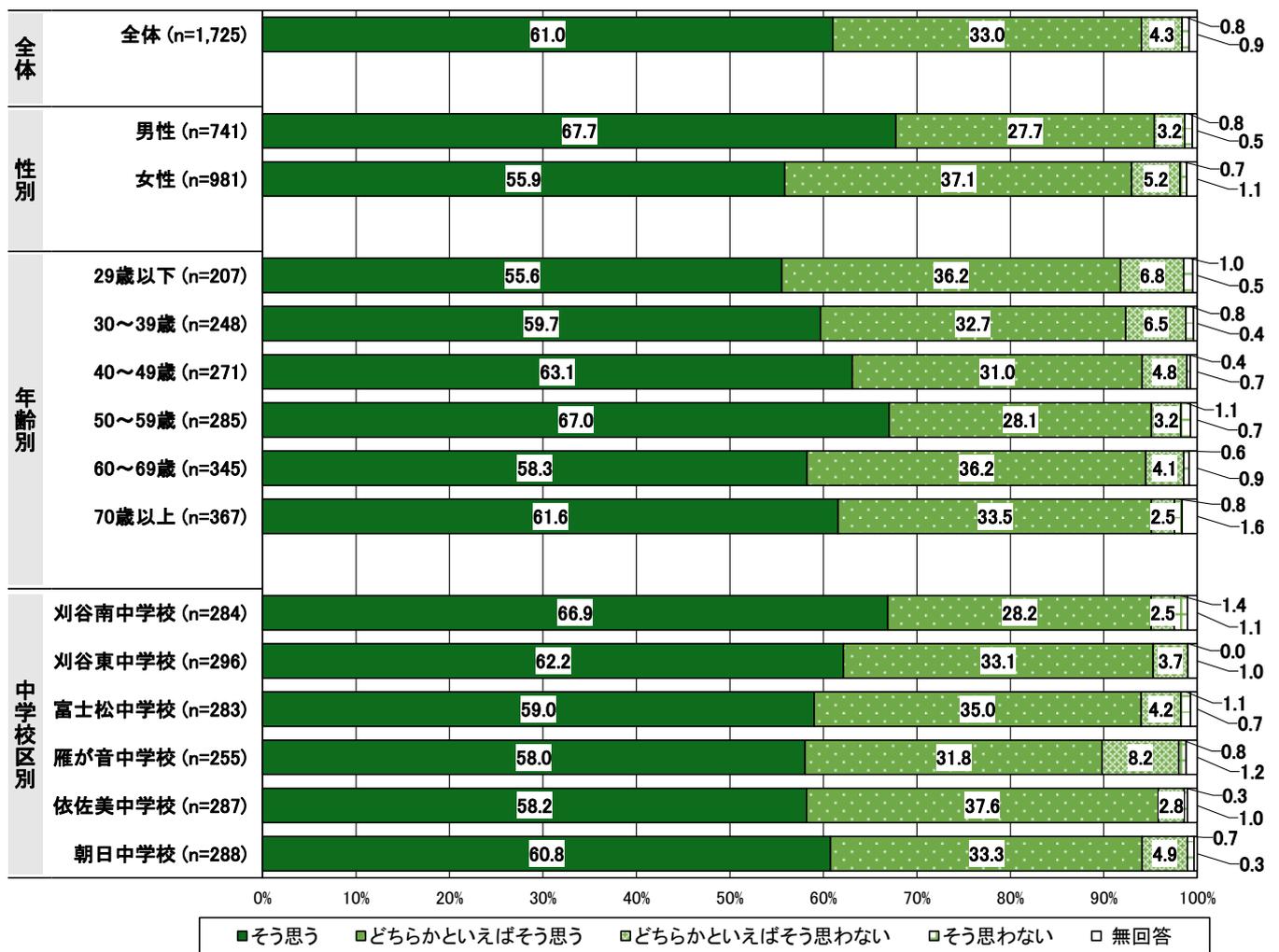
(3) 産業環境について

①産業の活発さ

「刈谷市は、産業が活発だと思う」市民の割合は、「そう思う」が61.0%、「どちらかといえばそう思う」が33.0%、あわせて94.0%（男性95.4%、女性93.0%）となっています。

年齢別でみると、最も高い50～59歳と70歳以上が95.1%、最も低い29歳以下が91.8%となっています。

中学校区別でみると、最も高い依佐美中学校区が95.8%、最も低い雁が音中学校区が89.8%となっています。

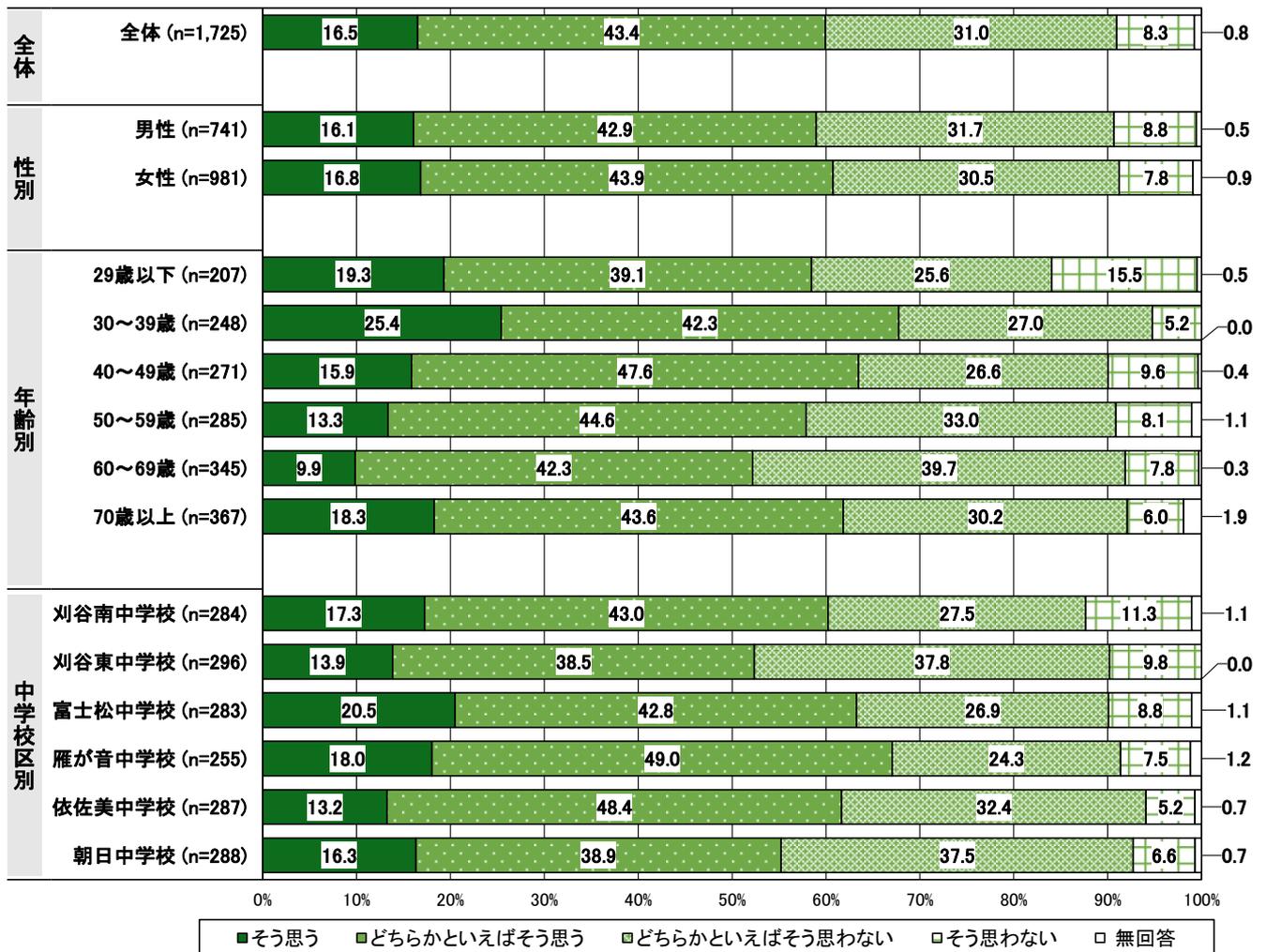


②休日などにリフレッシュできる場所

「刈谷市には、休日などにリフレッシュできる場所があると思う」市民の割合は、「そう思う」が16.5%、「どちらかといえばそう思う」が43.4%、あわせて59.9%（男性59.0%、女性60.7%）となっています。

年齢別でみると、最も高い30～39歳が67.7%、最も低い60～69歳が52.2%となっており、10ポイント以上の差が生じています。

中学校区別でみると、最も高い雁が音中学校区が67.0%、最も低い刈谷東中学校区が52.4%となっており、10ポイント以上の差が生じています。



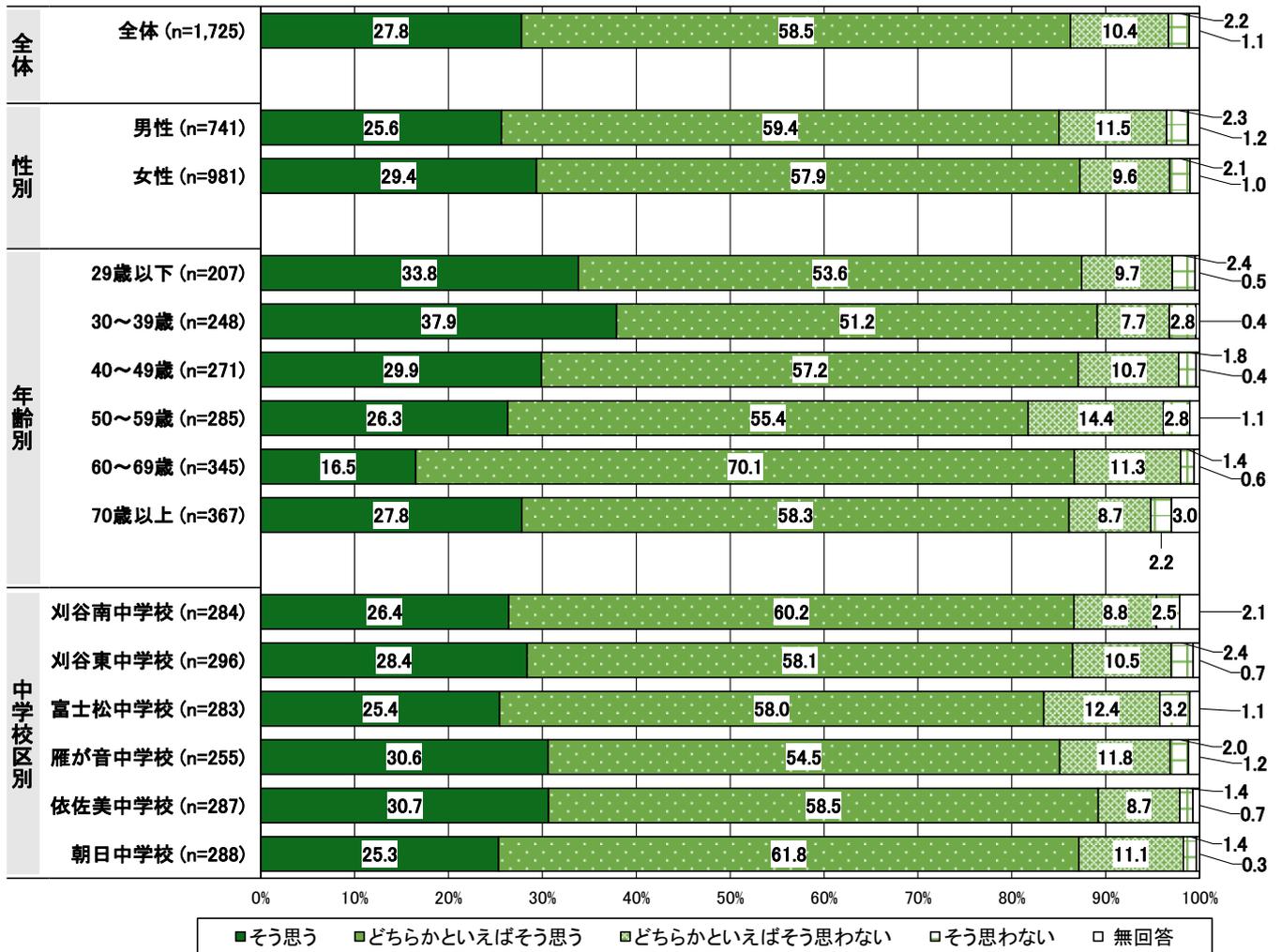
(4) 福祉安心について

①子どもの生み・育てやすさ

「刈谷市は、子どもを生み・育てやすいと思う」市民の割合は、「そう思う」が27.8%、「どちらかといえばそう思う」が58.5%、あわせて86.3%（男性85.0%、女性87.3%）となっています。

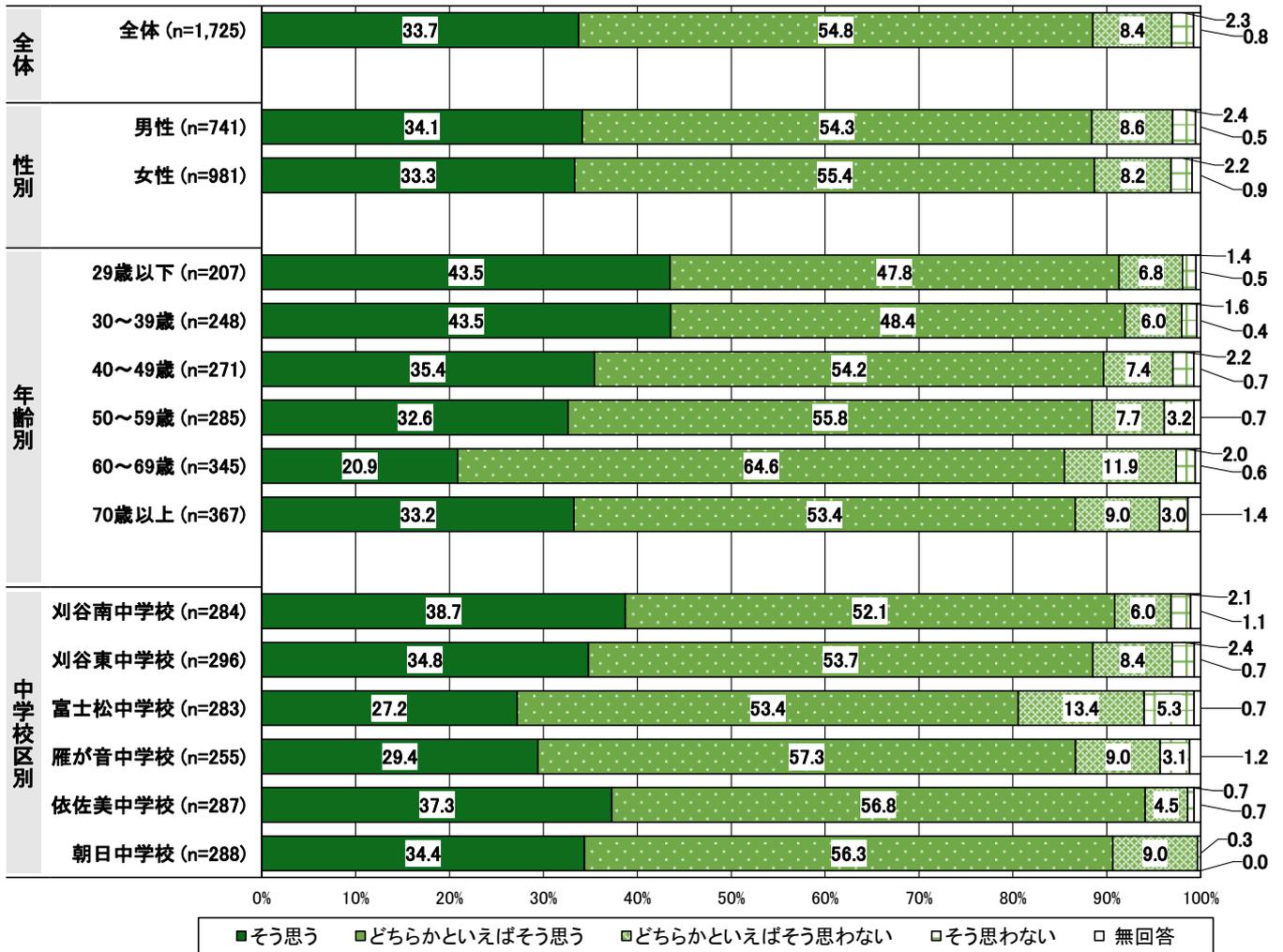
年齢別でみると、最も高い30～39歳が89.1%、最も低い50～59歳が81.7%となっています。

中学校区別でみると、最も高い依佐美中学校区が89.2%、最も低い富士松中学校区が83.4%となっています。



②医療環境

「刈谷市は、安心して医療が受けられる環境が整っていると思う」市民の割合は、「そう思う」が33.7%、「どちらかといえばそう思う」が54.8%、あわせて88.5%（男性88.4%、女性88.7%）となっています。年齢別でみると、最も高い30～39歳が91.9%、最も低い60～69歳が85.5%となっています。中学校区別でみると、最も高い依佐美中学校区が94.1%、最も低い富士松中学校区が80.6%となっており、10ポイント以上の差が生じています。

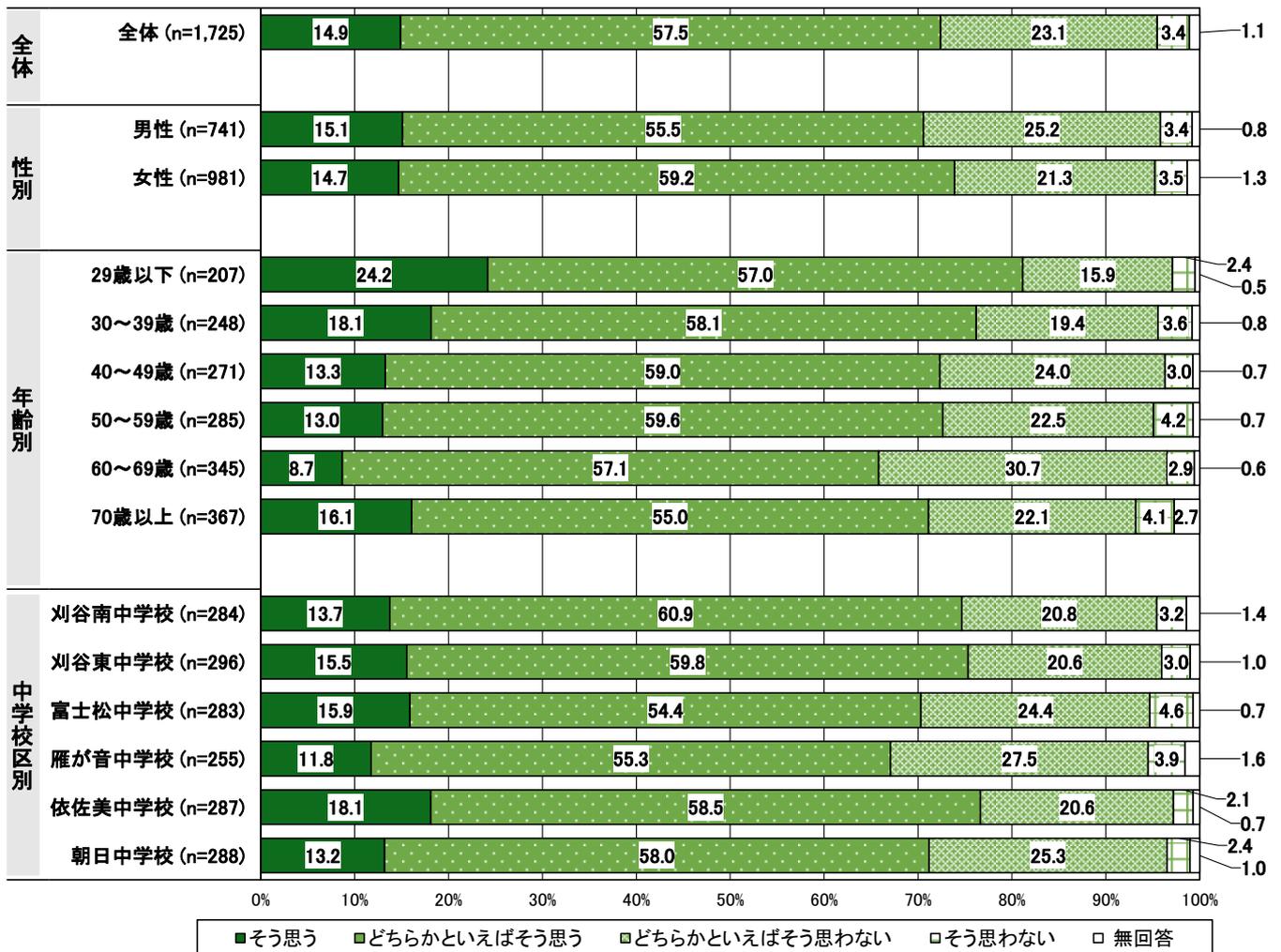


③高齢者や障害者の安心した暮らし

「刈谷市は、地域の支えあいにより高齢者や障害者も安心して暮らせると思う」市民の割合は、「そう思う」が14.9%、「どちらかといえばそう思う」が57.5%、あわせて72.4%（男性70.6%、女性73.9%）となっています。

年齢別でみると、最も高い29歳以下が81.2%、最も低い60～69歳が65.8%となっており、10ポイント以上の差が生じています。

中学校区別でみると、最も高い依佐美中学校区が76.6%、最も低い雁が音中学校区が67.1%となっています。

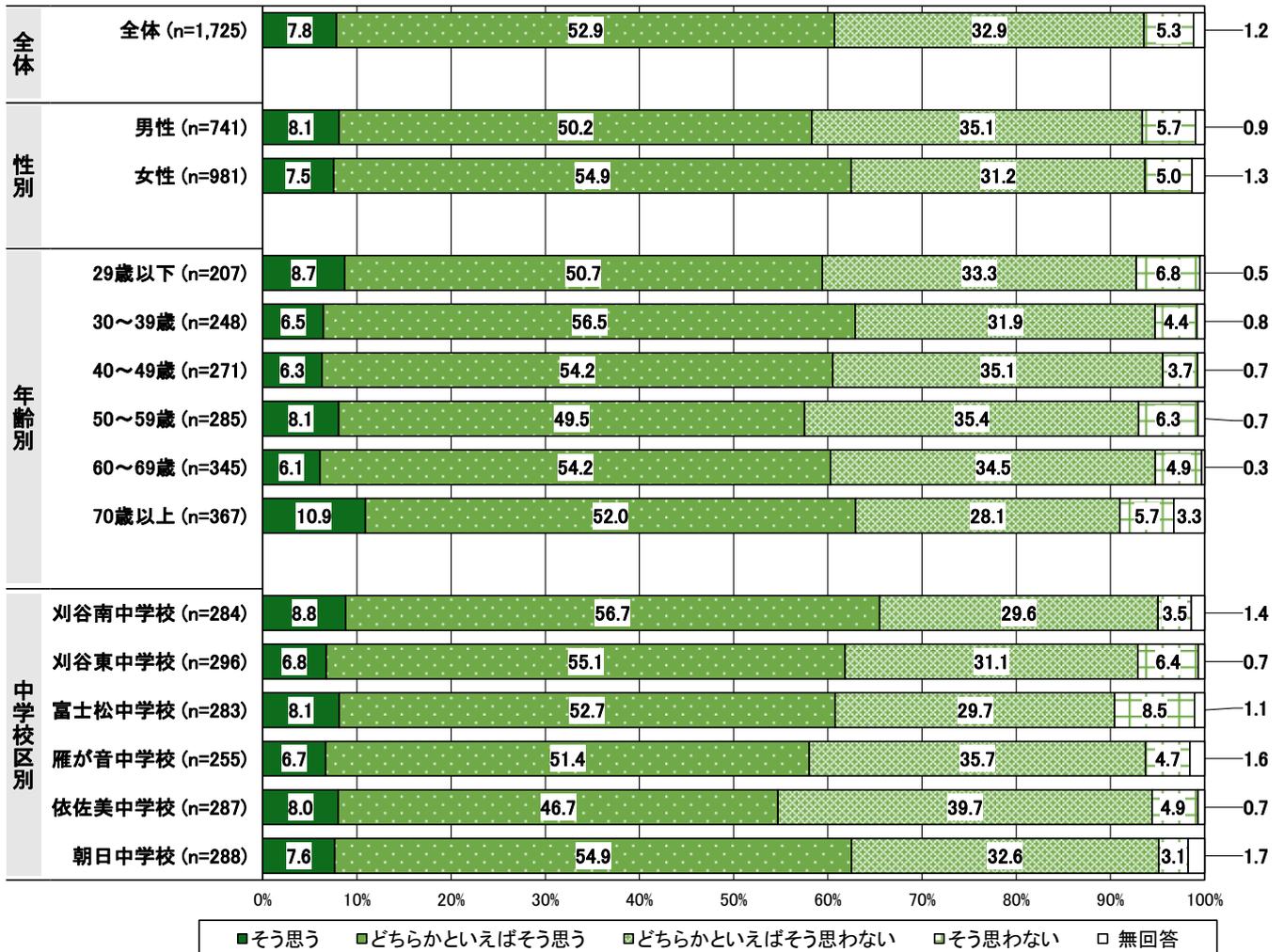


④災害への強さ

「刈谷市は、災害に強いまちであると思う」市民の割合は、「そう思う」が7.8%、「どちらかといえばそう思う」が52.9%、あわせて60.7%（男性58.3%、女性62.4%）となっています。

年齢別でみると、最も高い30歳～39歳が63.0%、最も低い50～59歳の57.6%となっています。

中学校区別でみると、最も高い刈谷南中学校区が65.5%、最も低い富士松中学校区が54.7%となっており、10ポイント以上の差が生じています。

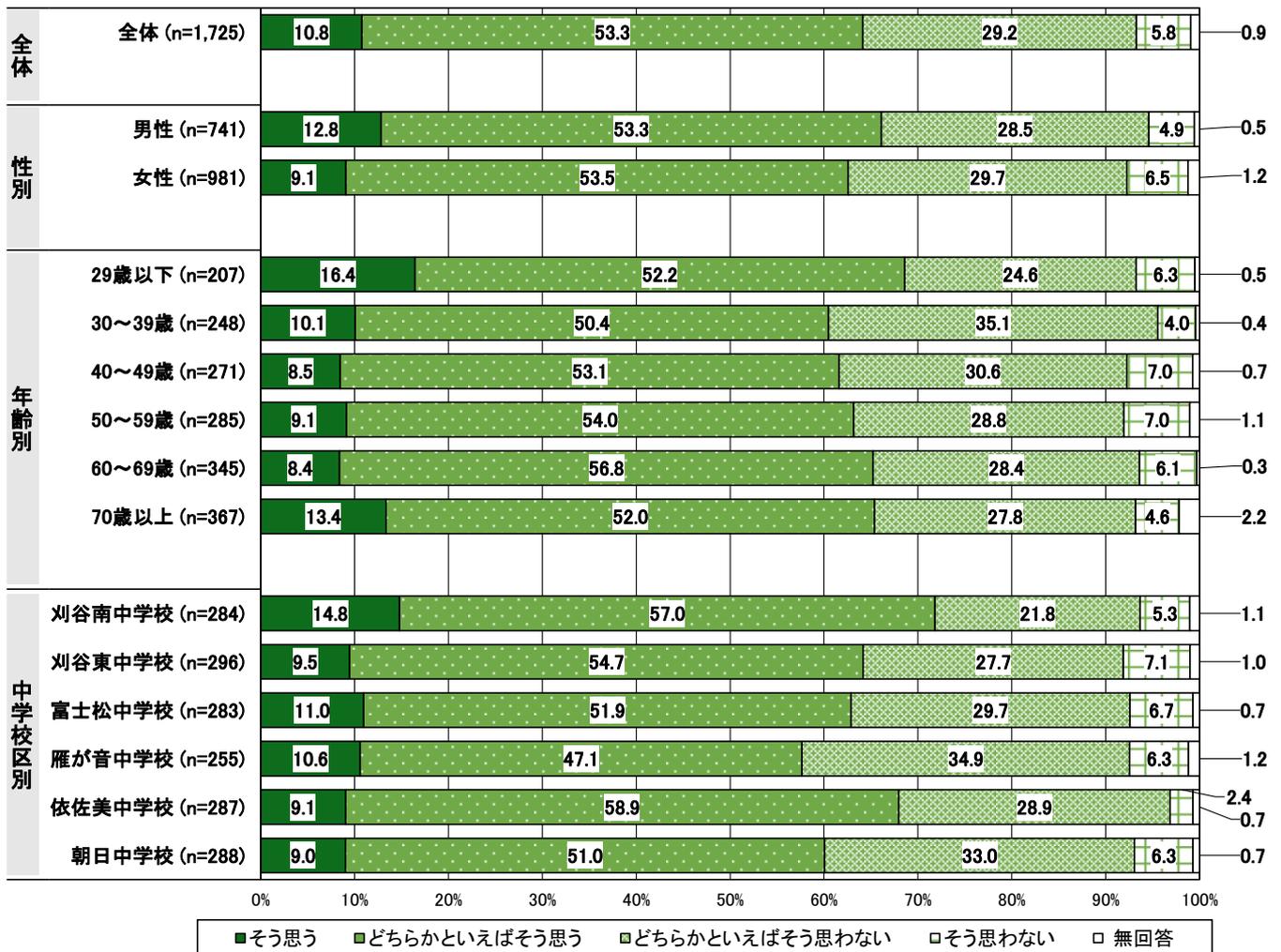


⑤犯罪や事故への不安

「刈谷市は、犯罪や事故への不安がなく安心して外出ができると思う」市民の割合は、「そう思う」が10.8%、「どちらかといえばそう思う」が53.3%、あわせて64.1%（男性66.1%、女性62.6%）となっています。

年齢別でみると、最も高い29歳以下が68.6%、最も低い30～39歳が60.5%となっています。

中学校区別でみると、最も高い刈谷南中学校区が71.8%、最も低い雁が音中学校区が57.7%となっており、10ポイント以上の差が生じています。

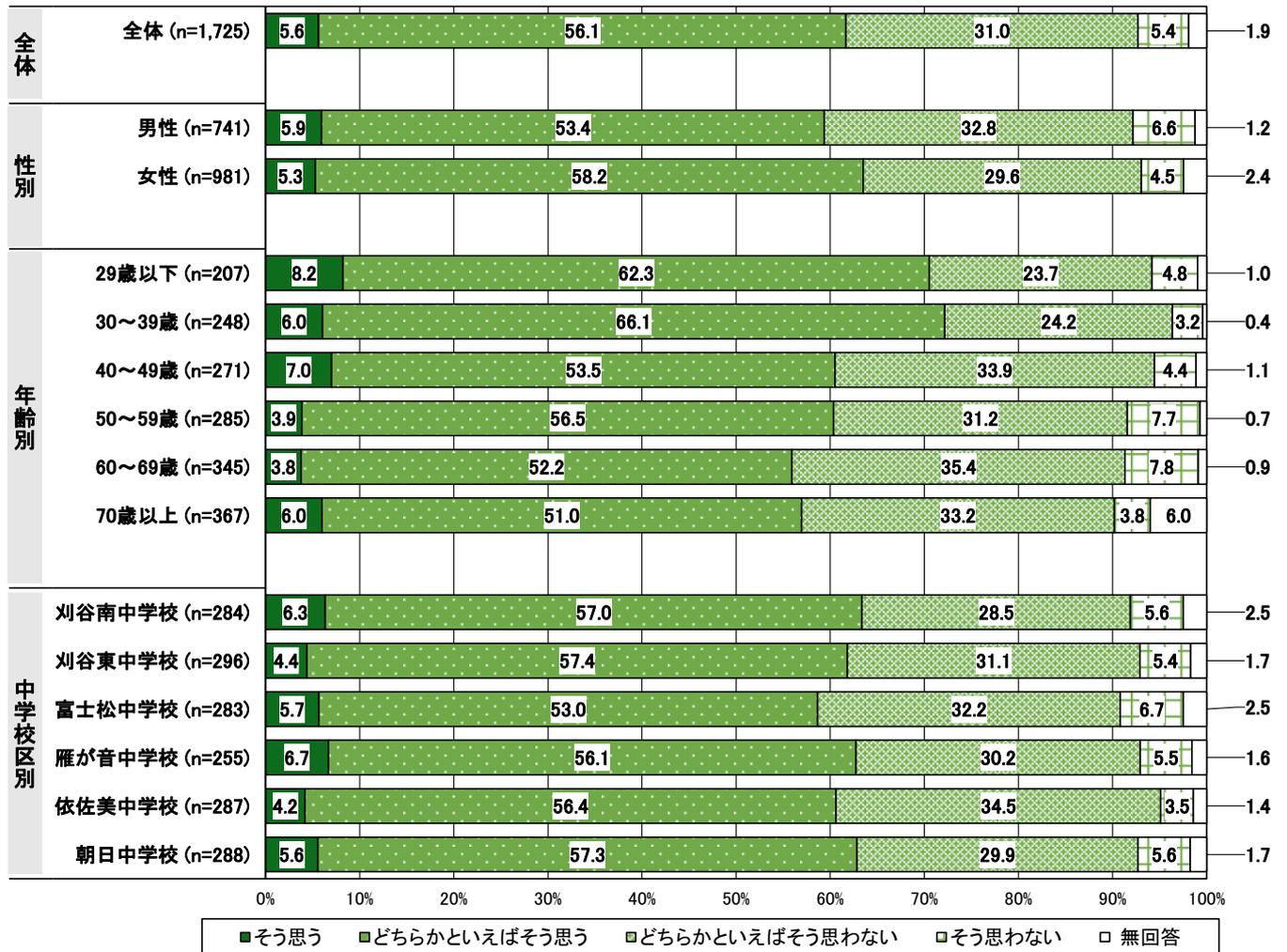


⑥外国人との共生

「刈谷市に住む外国人と日本人は、異なる文化や習慣を互いに認め合いながら暮らしていると思う」市民の割合は、「そう思う」が5.6%、「どちらかといえばそう思う」が56.1%、あわせて61.7%（男性59.3%、女性63.5%）となっています。

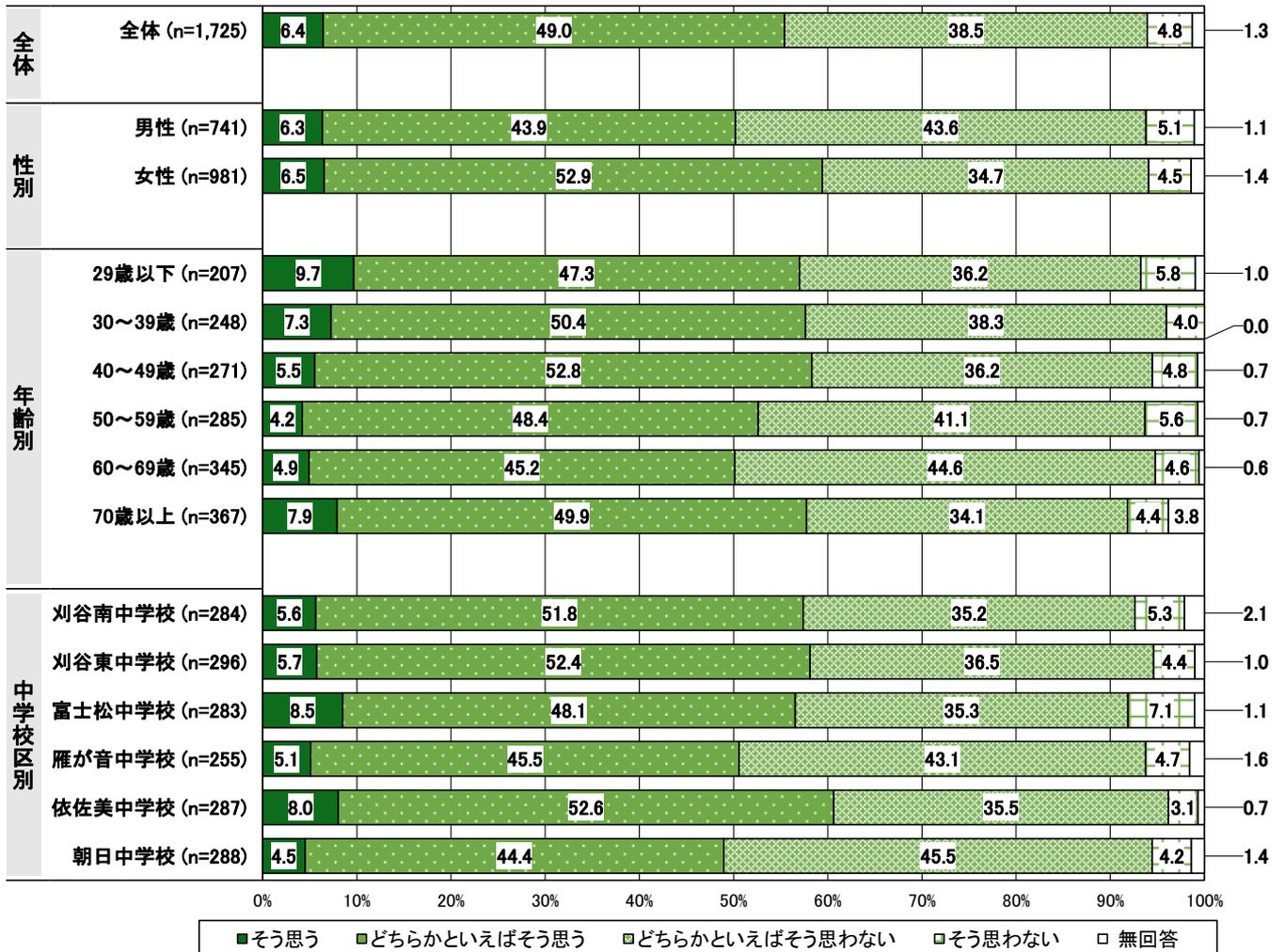
年齢別でみると、最も高い30～39歳が72.1%、最も低い60～69歳が56.0%となっており、10ポイント以上の差が生じています。

中学校区別でみると、最も高い刈谷南中学校区が63.3%、最も低い富士松中学校区が58.7%となっています。



⑦地域活動やボランティア活動の活発さ

「刈谷市は、地域活動やボランティア活動が活発であると思う」市民の割合は、「そう思う」が 6.4%、「どちらかといえばそう思う」が 49.0%、あわせて 55.4%（男性 50.2%、女性 59.4%）となっています。年齢別でみると、最も高い 40 歳～49 歳が 58.3%、最も低い 60～69 歳が 50.1%となっています。中学校区別でみると、最も高い依佐美中学校区が 60.6%、最も低い朝日中学校区が 48.9%と、10 ポイント以上の差が生じています。



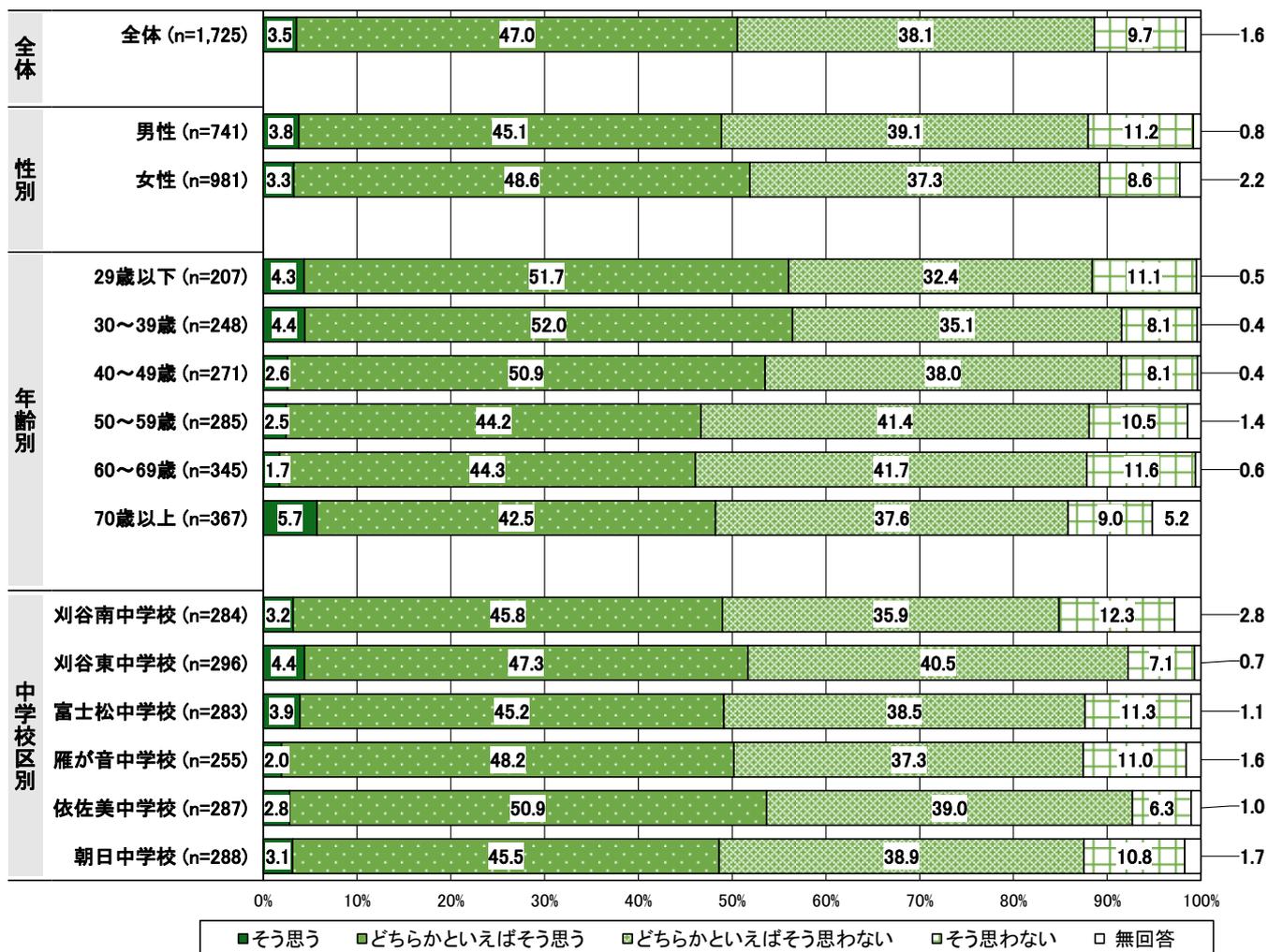
(5) 計画推進について

①市民意見の市政への反映

「刈谷市は、市民の意見が市政に反映されていると思う」市民の割合は、「そう思う」が3.5%、「どちらかといえばそう思う」が47.0%、あわせて50.5%（男性48.9%、女性51.9%）となっています。

年齢別でみると、最も高い30～39歳が56.4%、最も低い60～69歳が46.0%となっており、10ポイント以上の差が生じています。

中学校区別でみると、最も高い依佐美中学校区が53.7%、最も低い朝日中学校区が48.6%となっています。

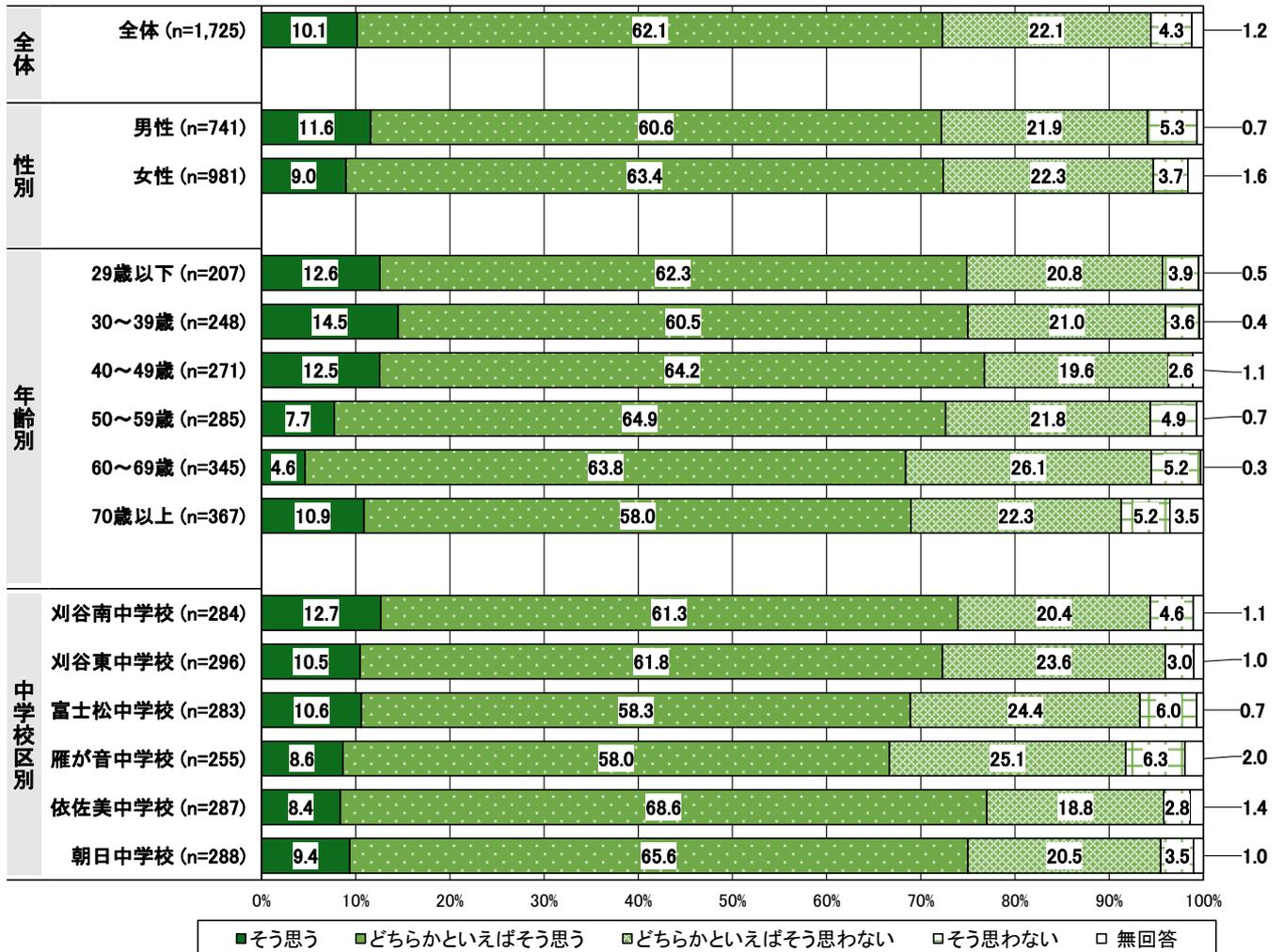


②生活に必要な情報

「刈谷市では、生活に必要な情報を得ることができると思う」市民の割合は、「そう思う」が10.1%、「どちらかといえばそう思う」が62.1%、あわせて72.2%（男性72.2%、女性72.4%）となっています。

年齢別でみると、最も高い40～49歳が、76.7%、最も低い60～69歳の68.4%となっています。

中学校区別でみると、最も高い依佐美中学校区が77.0%、最も低い雁が音中学校区が66.6%となっており、10ポイント以上の差が生じています。

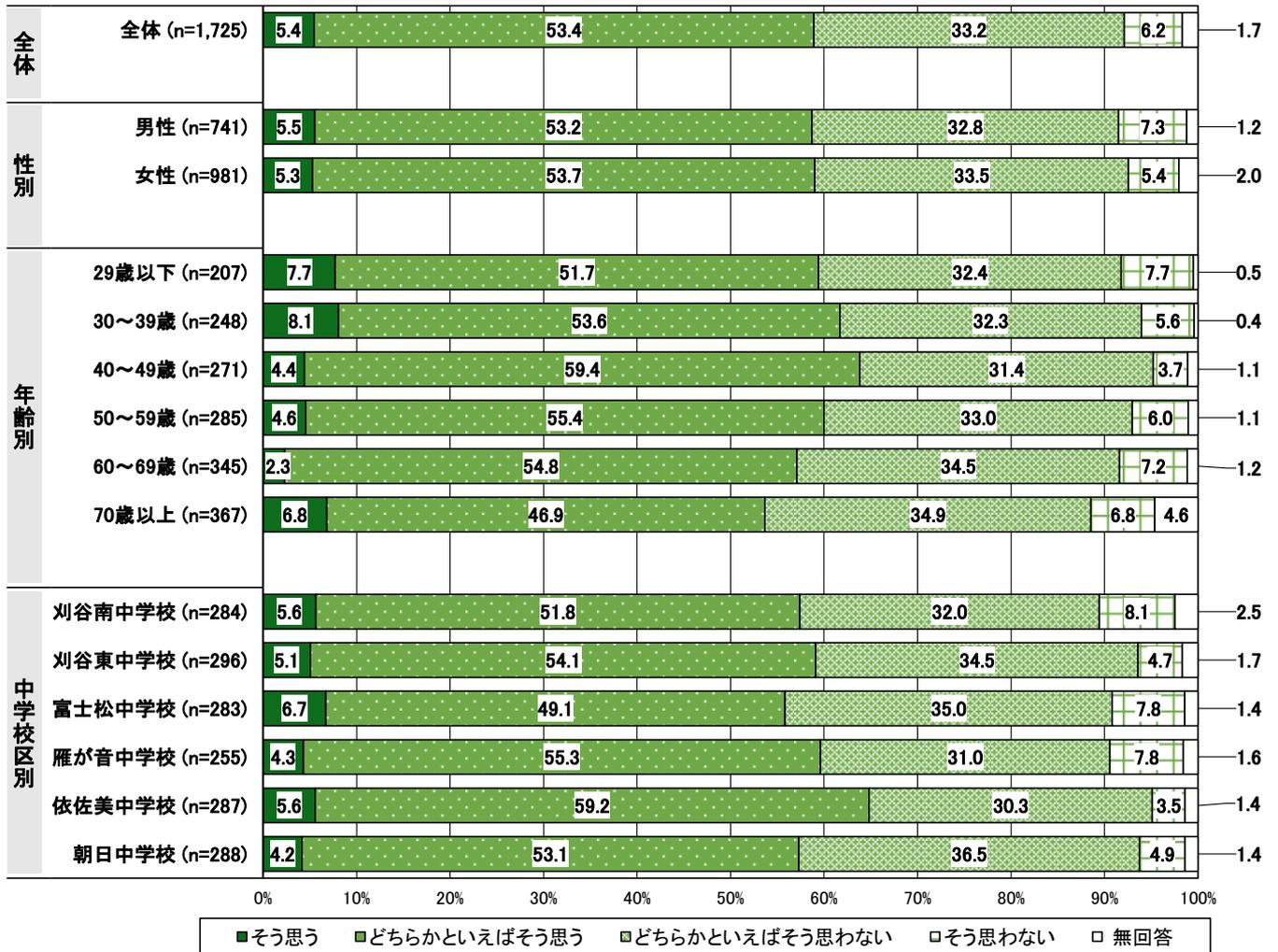


③効率的な行政運営

「刈谷市では、効率的に行政運営が行われていると思う」市民の割合は、「そう思う」が5.4%、「どちらかといえばそう思う」が53.4%、あわせて58.8%（男性58.7%、女性59.0%）となっています。

年齢別でみると、最も高い40～49歳が63.8%、最も低い70歳以上が53.7%となっており、10ポイント以上の差が生じています。

中学校区別でみると、最も高い依佐美中学校区が64.8%、最も低い富士松中学校区が55.8%となっています。

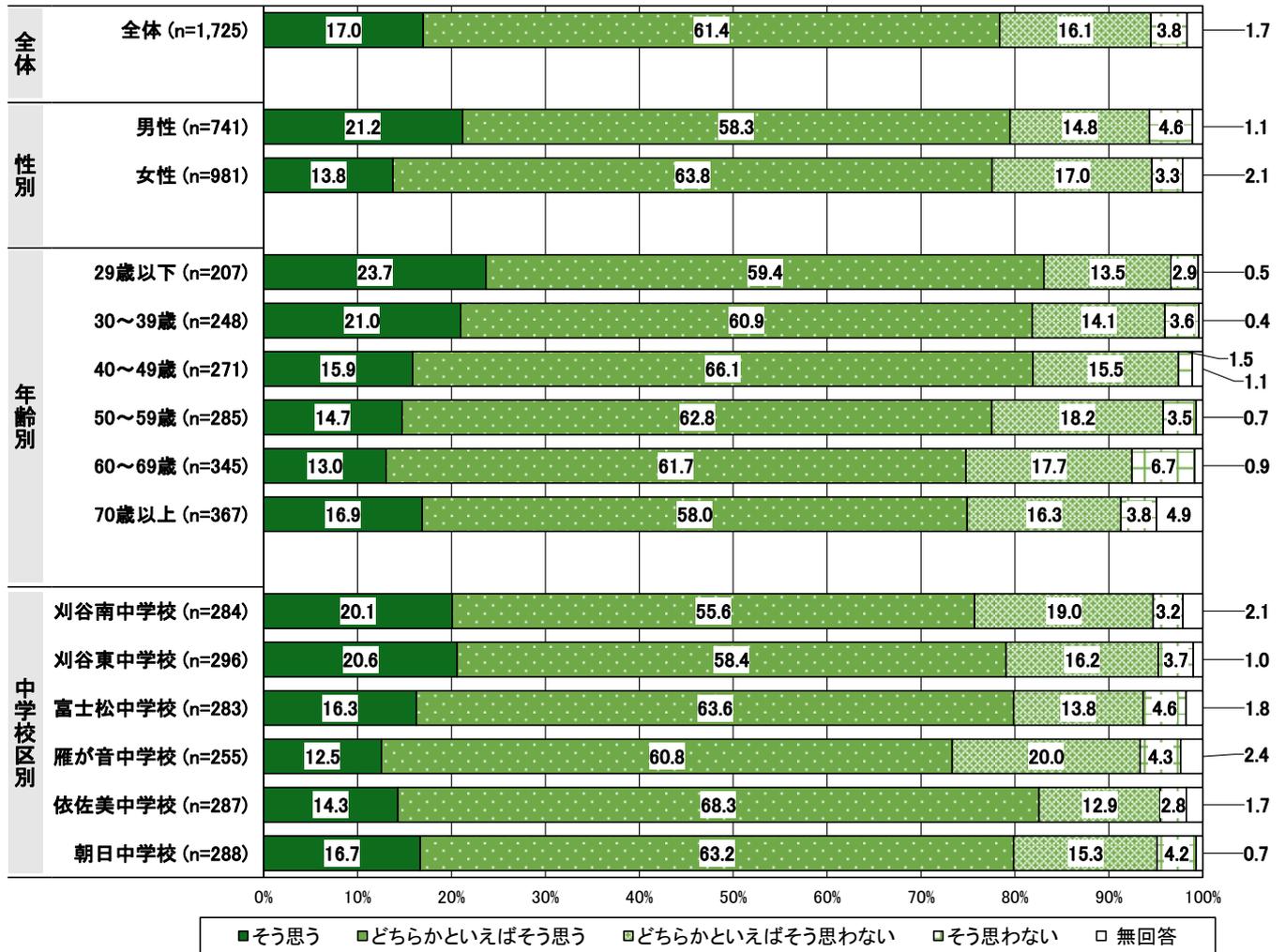


④健全な財政維持

「刈谷市では、健全な財政状況を維持していると思う」市民の割合は、「そう思う」が17.0%、「どちらかといえばそう思う」が61.4%、あわせて78.4%（男性79.5%、女性77.6%）となっています。

年齢別でみると、最も高い29歳以下が83.1%、最も低い60～69歳が74.7%となっています。

中学校区別でみると、最も高い依佐美中学校区が82.6%、最も低い雁が音中学校区が73.3%となっています。

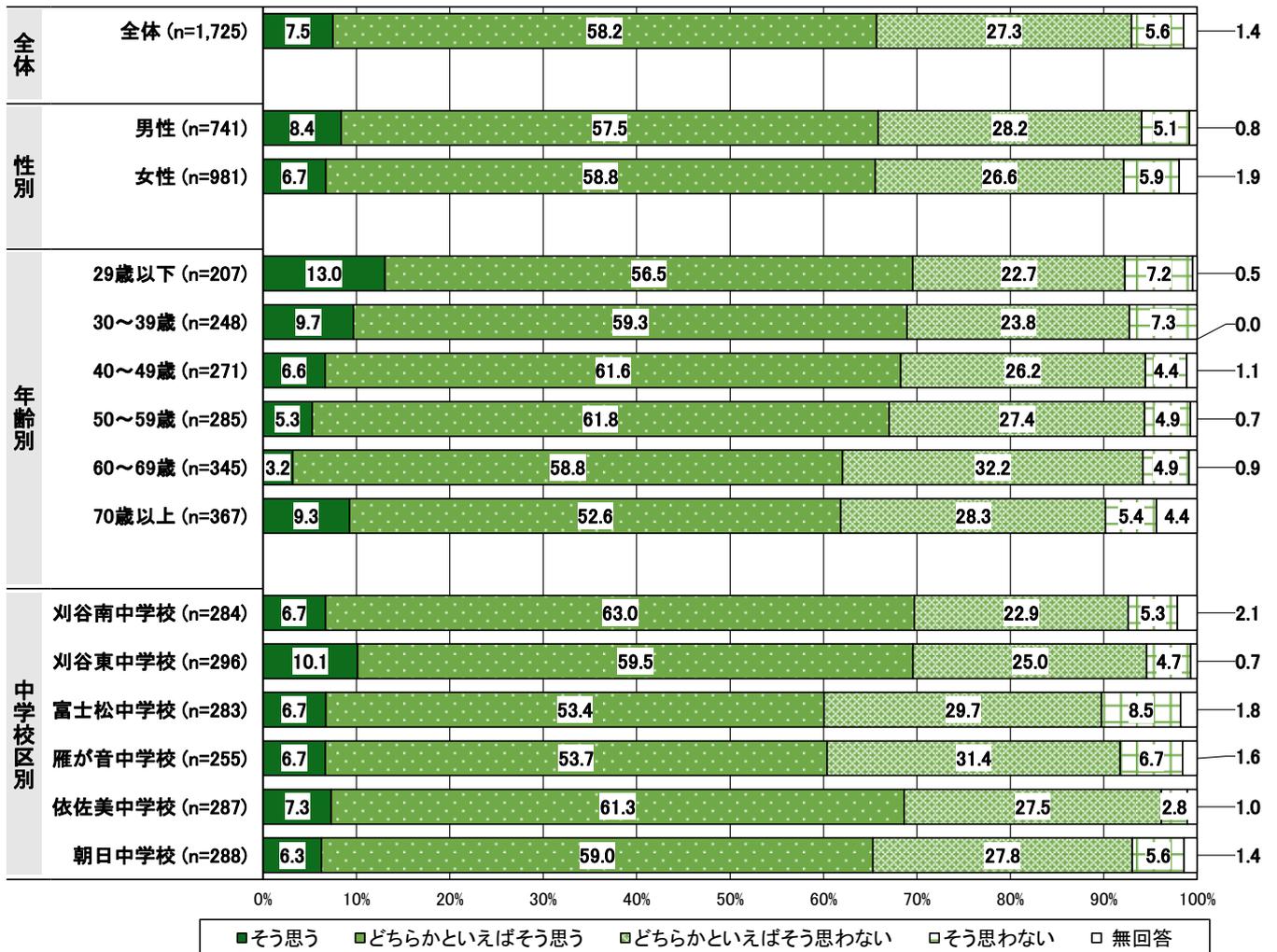


⑤市民一人ひとりの意識やモラル

「刈谷市は、市民一人ひとりの意識やモラルが高いと思う」市民の割合は、「そう思う」が7.5%、「どちらかといえばそう思う」が58.2%、あわせて65.7%（男性65.9%、女性65.5%）となっています。

年齢別でみると、最も高い29歳以下が69.5%、最も低い70歳以上が61.9%となっています。

中学校区別でみると、最も高い刈谷南中学校区が69.7%、最も低い富士松中学校区が60.1%となっています。

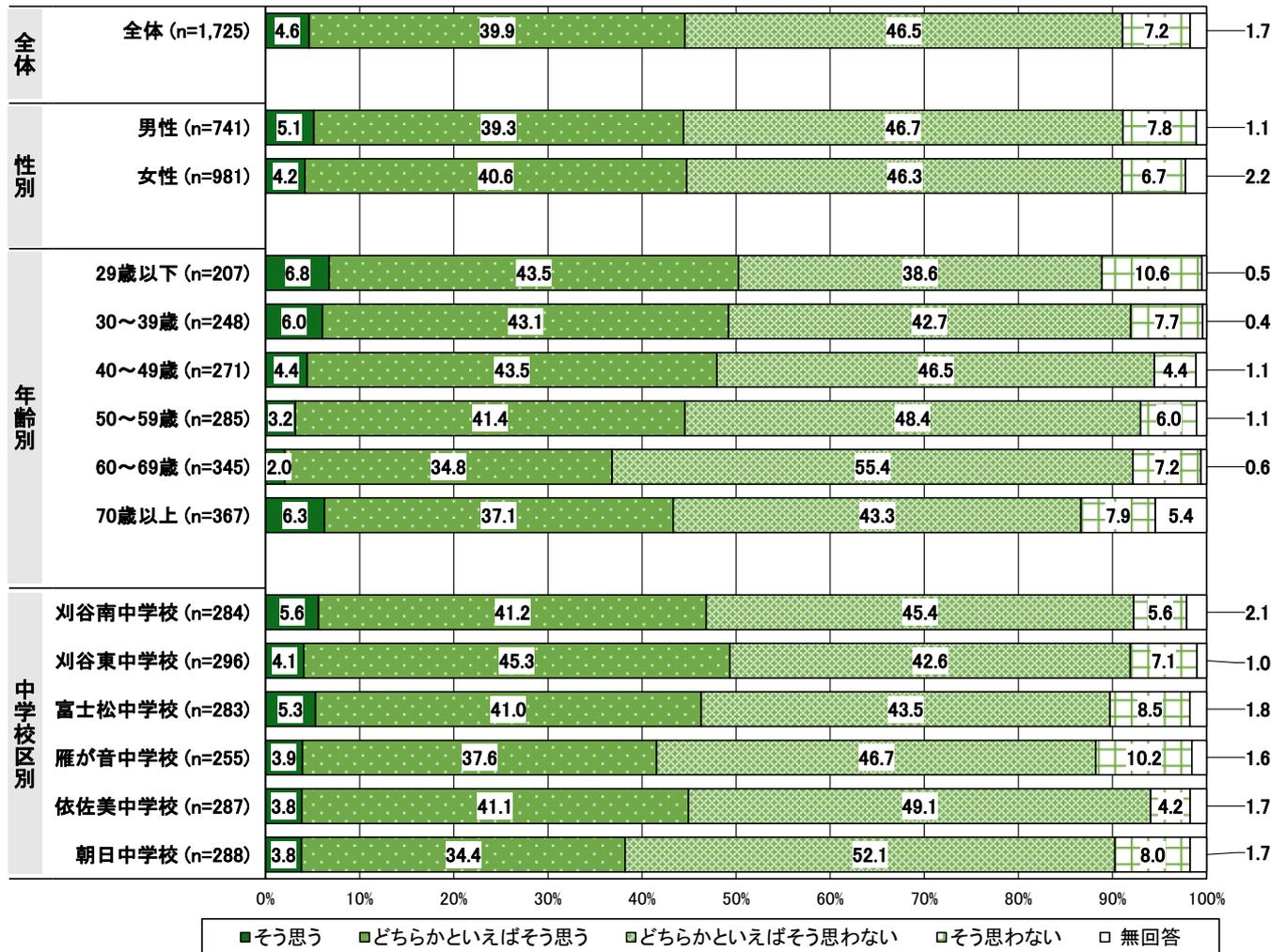


⑥地域交流や世代・分野間交流の活発さ

「刈谷市は、地域での交流や世代・分野などの垣根を越えた交流が活発であると思う」市民の割合は、「そう思う」が4.6%、「どちらかといえばそう思う」が39.9%、あわせて44.5%（男性44.4%、女性44.8%）となっています。

年齢別でみると、最も高い29歳以下が50.3%、最も低い60～69歳が36.8%となっており、10ポイント以上の差が生じています。

中学校区別でみると、最も高い刈谷東中学校区が49.4%、最も低い朝日中学校区が38.2%となっており、10ポイント以上の差が生じています。



3. 新型コロナウイルス感染症の影響について

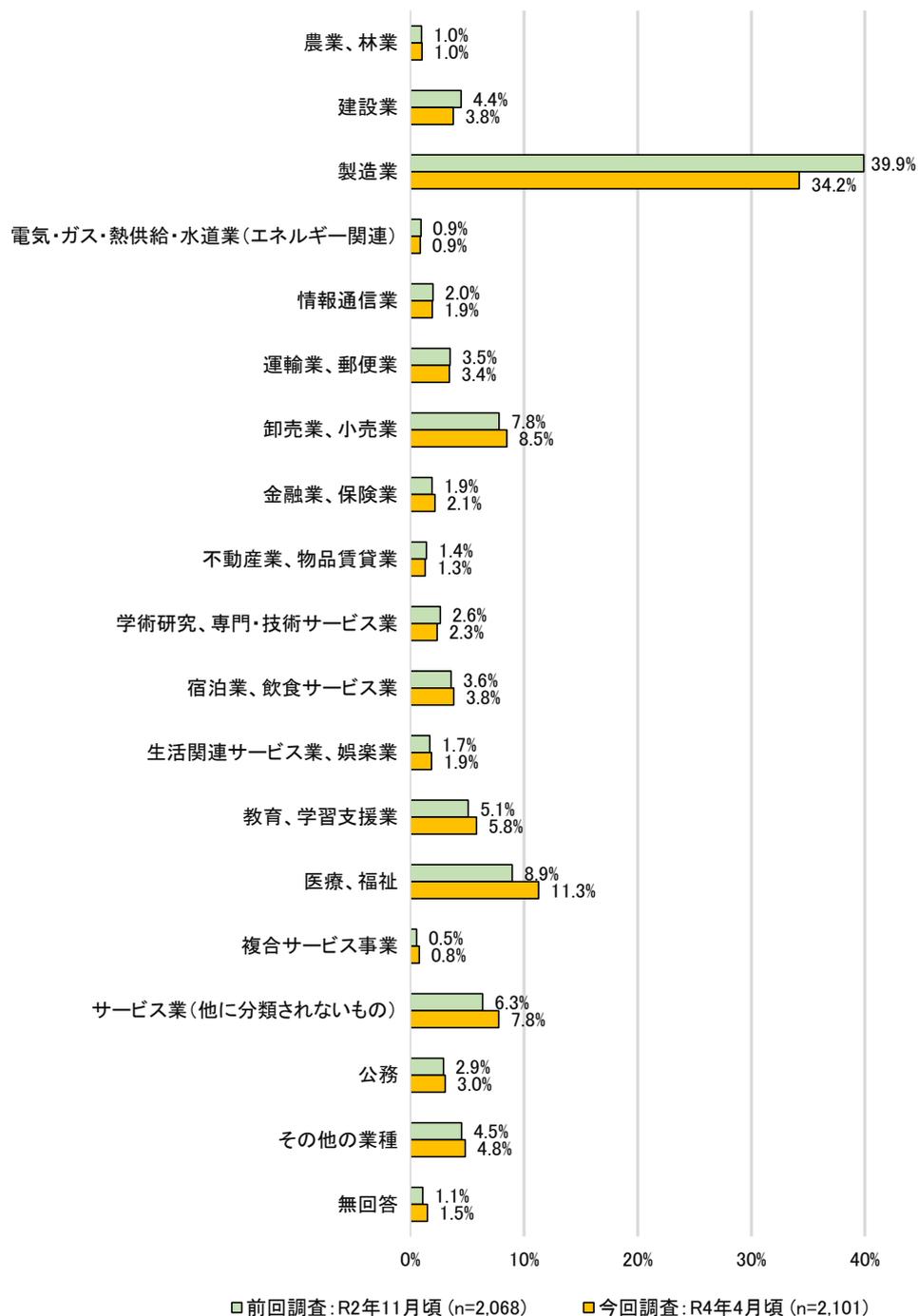
3 - 1. 回答者の業種

市政評価：設問 48、現状把握：設問 64

※設問6『あなたの職業は?』に対し、「1.自営業(農林業等従事者も含む)」「2.正規の職員・従業員(公務員、専門職含む)」「3.派遣・契約社員」「4.パート・アルバイト」「5.会社員などの役員」と回答した方

最も多いのは、「製造業」34.2%、次いで「医療、福祉」11.3%、「卸売業、小売業」8.5%の順となっています。

図 回答者の業種 調査結果比較

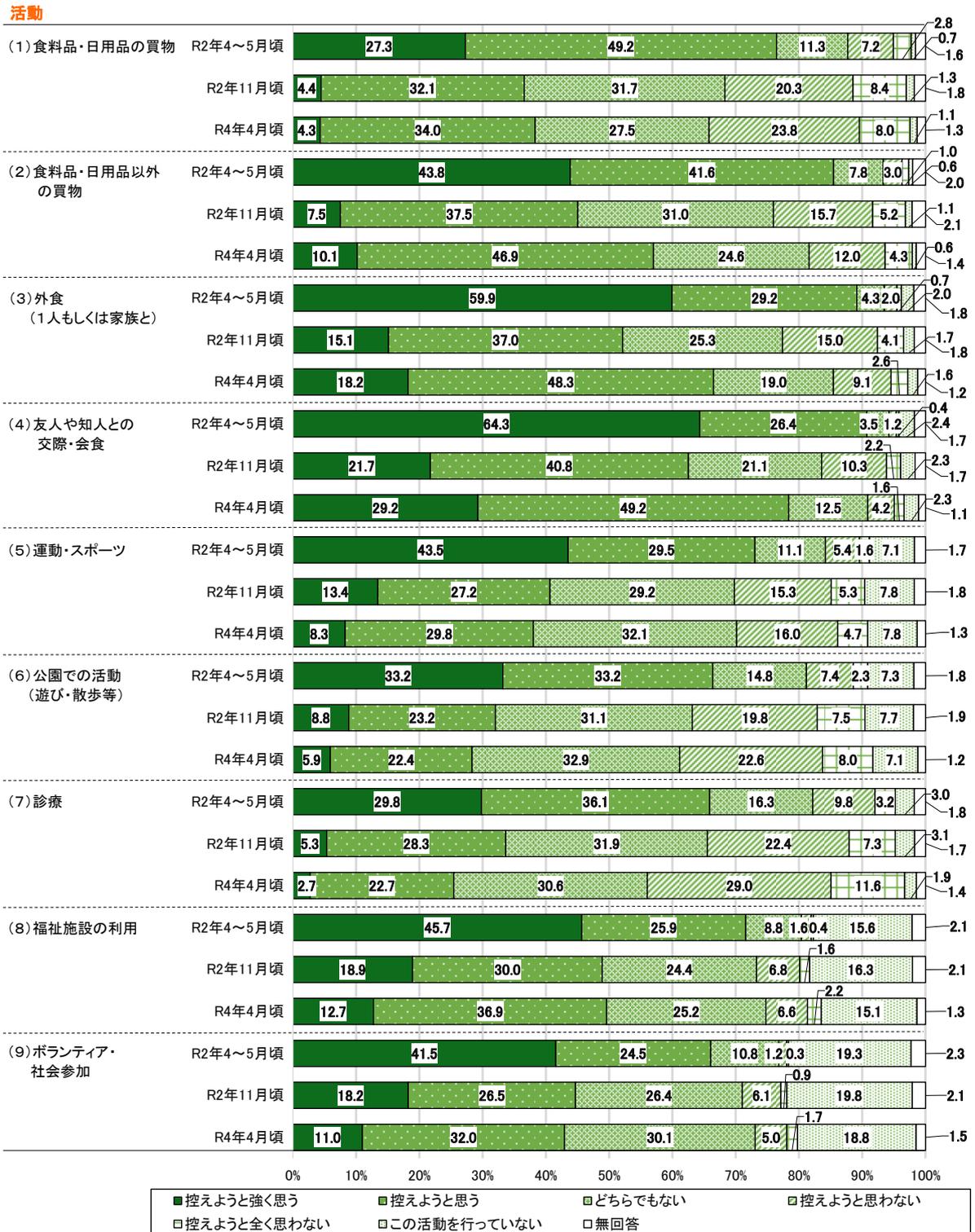


3 - 2. コロナ禍における「活動」や「場所への外出」に対する意識変化

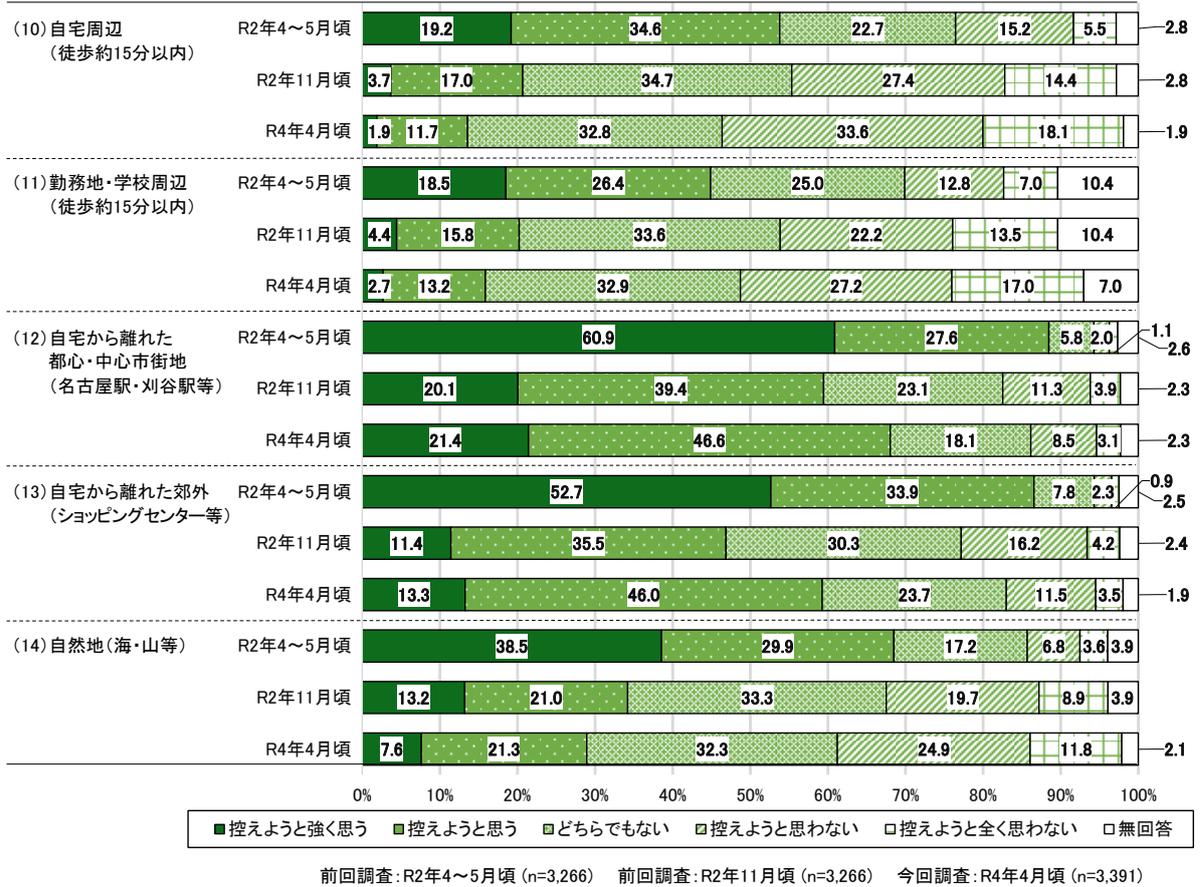
市政評価：設問 49、現状把握：設問 65

感染拡大前と比較して、「活動」や「場所への外出」を控えようと思ったか尋ねたところ、以下のような回答が得られました。

図 コロナ禍における「活動」や「場所への外出」に対する意識変化 調査結果比較



場所への外出



※以下、性別、年齢別、中学校区別を、「控えようと強く思う」と「控えようと思う」をあわせた数値で比較

(1)食料品・日用品の買物

(全体)

3時点（令和2年4月～5月頃⇒令和2年11月頃⇒令和4年4月頃）での推移をみると、76.5%から36.5%まで大きく減り、その後は38.3%と大きな変化はありません。

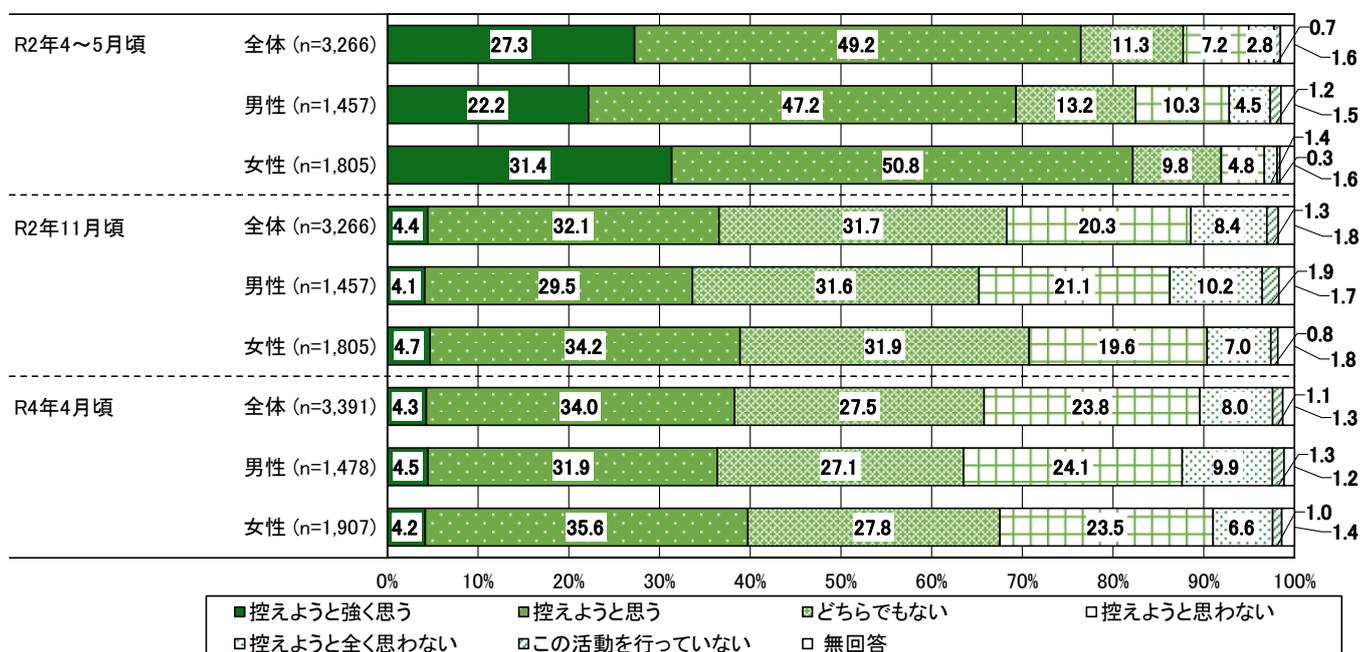
(性別)

性別で見ると、令和4年4月頃は、男性が36.4%、女性が39.8%となっています。

性別の3時点（令和2年4月～5月頃⇒令和2年11月頃⇒令和4年4月頃）での推移は以下の通りです。

男性では、69.4%から33.6%まで大きく減り、その後は36.4%と大きな変化はありません。

女性では、82.2%から38.9%まで大きく減り、その後は39.8%と大きな変化はありません。

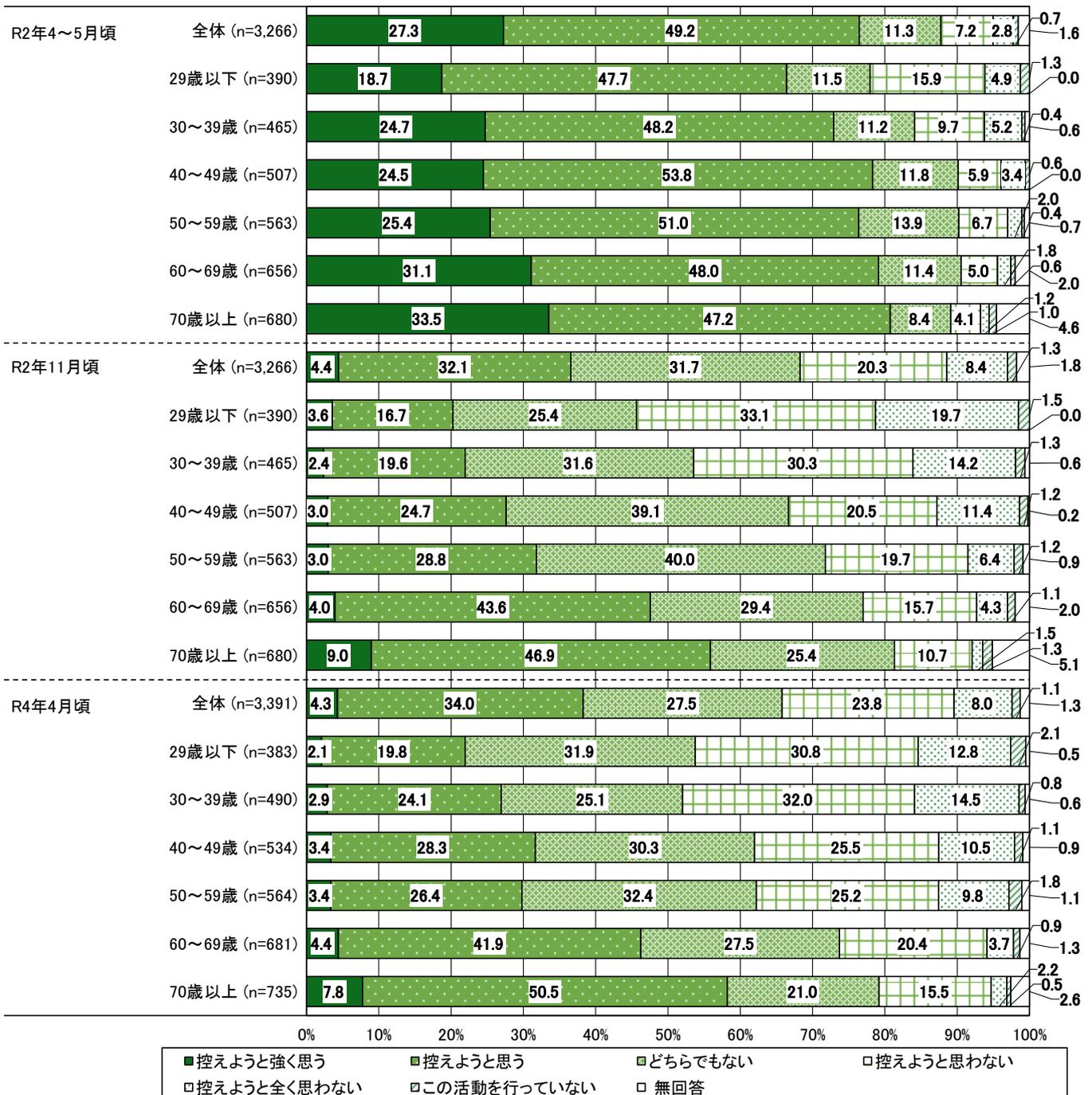


(年齢別)

年齢別でみると、令和4年4月頃は、最も高い70歳以上が58.3%、最も低い29歳以下が21.9%となっており、30ポイント以上の差が生じています。

年齢別の3時点（令和2年4月～5月頃⇒令和2年11月頃⇒令和4年4月頃）での推移は以下の通りです。

- 29歳以下では、66.4%から20.3%まで大きく減り、その後は21.9%と大きな変化はありません。
- 30～39歳では、72.9%から22.0%まで大きく減り、その後は27.0%とやや増えています。
- 40～49歳では、78.3%から27.7%まで大きく減り、その後は31.7%と大きな変化はありません。
- 50～59歳では、76.4%から31.8%まで大きく減り、その後は29.8%と大きな変化はありません。
- 60～69歳では、79.1%から47.6%まで大きく減り、その後は46.3%と大きな変化はありません。
- 70歳以上では、80.7%から55.9%まで減り、その後は58.3%と大きな変化はありません。

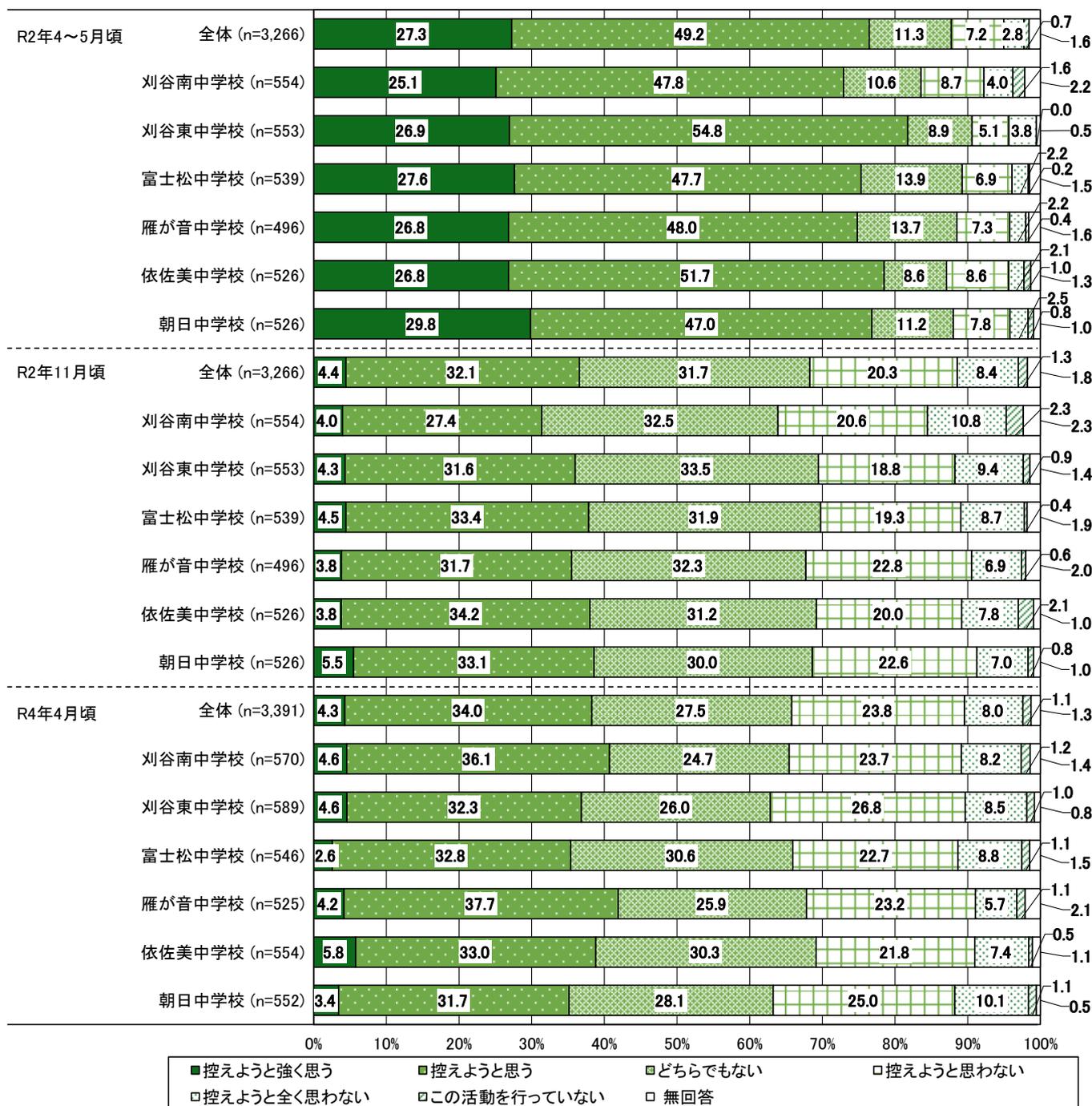


(中学校区別)

中学校区別でみると、令和4年4月頃は、最も高い雁が音中学校区が41.9%、最も低い朝日中学校区が35.1%となっています。

中学校区別の3時点（令和2年4月～5月頃⇒令和2年11月頃⇒令和4年4月頃）での推移は以下の通りです。

刈谷南中学校区では、72.9%から31.4%まで大きく減り、その後は40.7%とやや増えています。
 刈谷東中学校区では、81.7%から35.9%まで大きく減り、その後は36.9%と大きな変化はありません。
 富士松中学校区では、75.3%から37.9%まで大きく減り、その後は35.4%と大きな変化はありません。
 雁が音中学校区では、74.8%から35.5%まで大きく減り、その後は41.9%とやや増えています。
 依佐美中学校区では、78.5%から38.0%まで大きく減り、その後は38.8%と大きな変化はありません。
 朝日中学校区では、76.8%から38.6%まで大きく減り、その後は35.1%と大きな変化はありません。



(2) 食料品・日用品以外の買物

(全体)

3時点（令和2年4月～5月頃⇒令和2年11月頃⇒令和4年4月頃）での推移をみると、85.4%から45.0%まで大きく減り、その後は57.0%と増えています。

(性別)

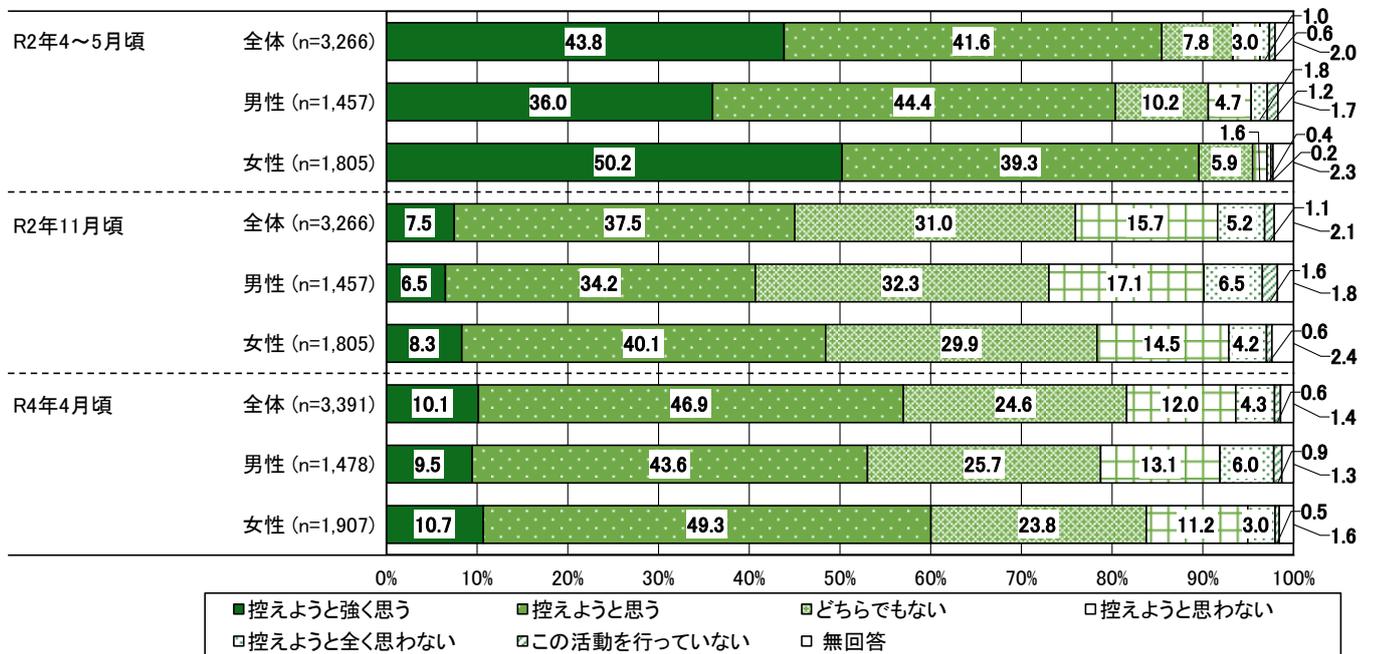
性別でみると、令和4年4月頃は、男性が53.1%、女性が60.0%となっています。

性別の3時点（令和2年4月～5月頃⇒令和2年11月頃⇒令和4年4月頃）での推移は以下の通りです。

男性では、80.4%から40.7%まで大きく減り、その後は53.1%と増えています。

女性では、89.5%から48.4%まで大きく減り、その後は60.0%と増えています。

(性別)

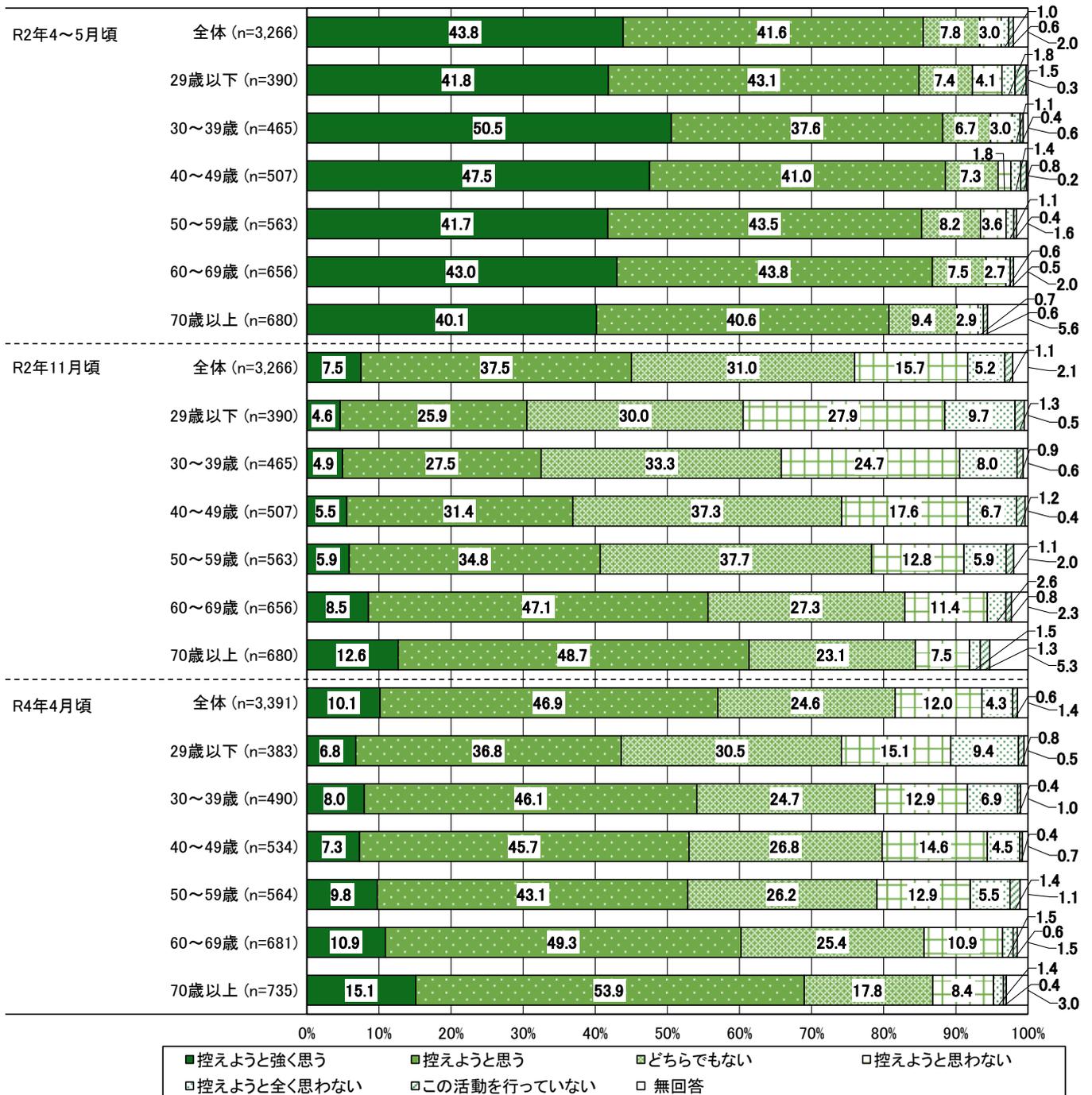


(年齢別)

年齢別でみると、令和4年4月頃は、最も高い70歳以上が69.0%、最も低い29歳以下が43.6%となっており、20ポイント以上の差が生じています。

年齢別の3時点（令和2年4月～5月頃⇒令和2年11月頃⇒令和4年4月頃）での推移は以下の通りです。

- 29歳以下では、84.9%から30.5%まで大きく減り、その後は43.6%と増えています。
- 30～39歳では、88.1%から32.4%まで大きく減り、その後は54.1%と増えています。
- 40～49歳では、88.5%から36.9%まで大きく減り、その後は53.0%と増えています。
- 50～59歳では、85.2%から40.7%まで大きく減り、その後は52.9%と増えています。
- 60～69歳では、86.8%から55.6%まで大きく減り、その後は60.2%と大きな変化はありません。
- 70歳以上では、80.7%から61.3%まで減り、その後は69.0%とやや増えています。

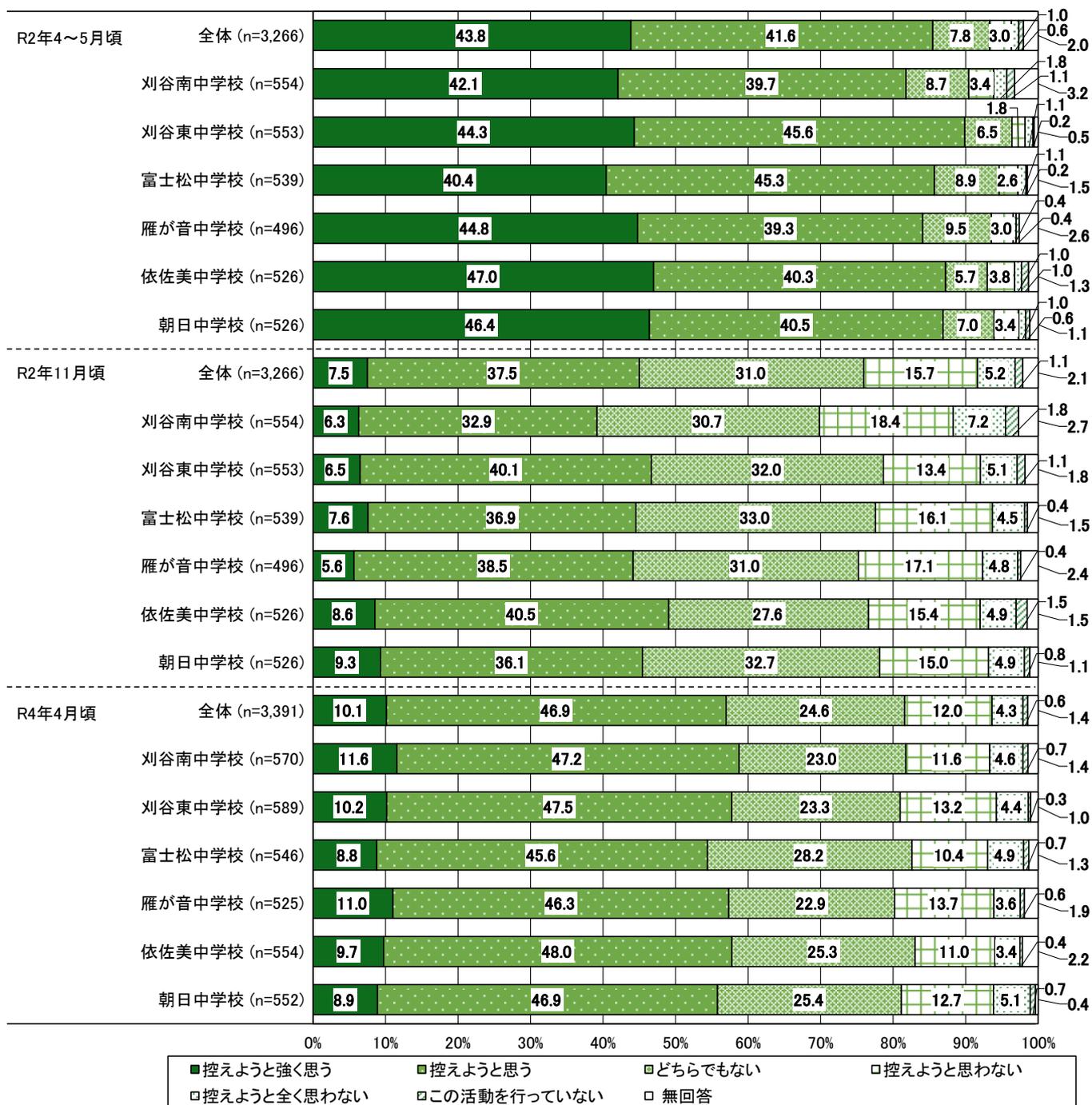


(中学校区別)

中学校区別でみると、令和4年4月頃は、最も高い刈谷南中学校区が58.8%、最も低い富士松中学校区が54.4%となっています。

中学校区別の3時点（令和2年4月～5月頃⇒令和2年11月頃⇒令和4年4月頃）での推移は以下の通りです。

刈谷南中学校区では、81.8%から39.2%まで大きく減り、その後は58.8%と増えています。
 刈谷東中学校区では、89.9%から46.6%まで大きく減り、その後は57.7%と増えています。
 富士松中学校区では、85.7%から44.5%まで大きく減り、その後は54.4%とやや増えています。
 雁が音中学校区では、84.1%から44.1%まで大きく減り、その後は57.3%と増えています。
 依佐美中学校区では、87.3%から49.1%まで大きく減り、その後は57.7%とやや増えています。
 朝日中学校区では、86.9%から45.4%まで大きく減り、その後は55.8%と増えています。



(3) 外食(1人もしくは家族と)

(全体)

3時点(令和2年4月～5月頃⇒令和2年11月頃⇒令和4年4月頃)での推移をみると、89.1%から52.1%まで大きく減り、その後は66.5%と増えています。

(性別)

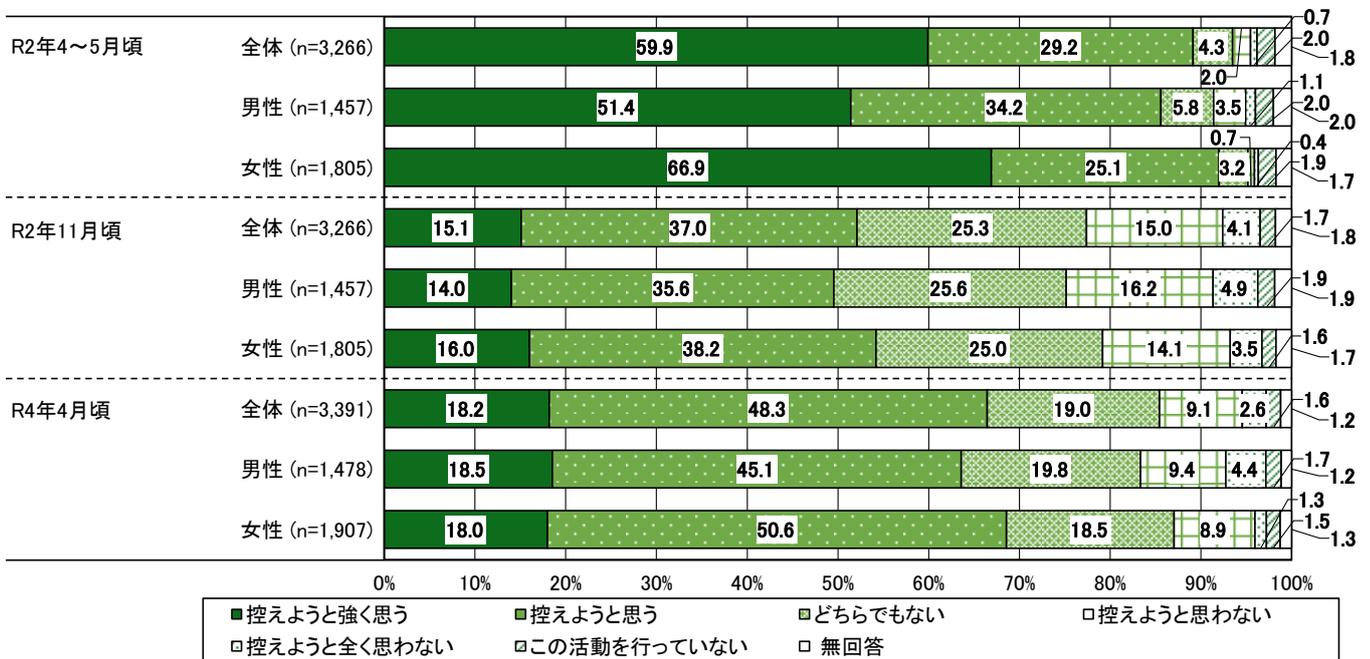
性別でみると、令和4年4月頃は、男性が63.6%、女性が68.6%となっています。

性別の3時点(令和2年4月～5月頃⇒令和2年11月頃⇒令和4年4月頃)での推移は以下の通りです。

男性では、85.6%から49.6%まで大きく減り、その後は63.6%と増えています。

女性では、92.0%から54.2%まで大きく減り、その後は68.6%と増えています。

(性別)

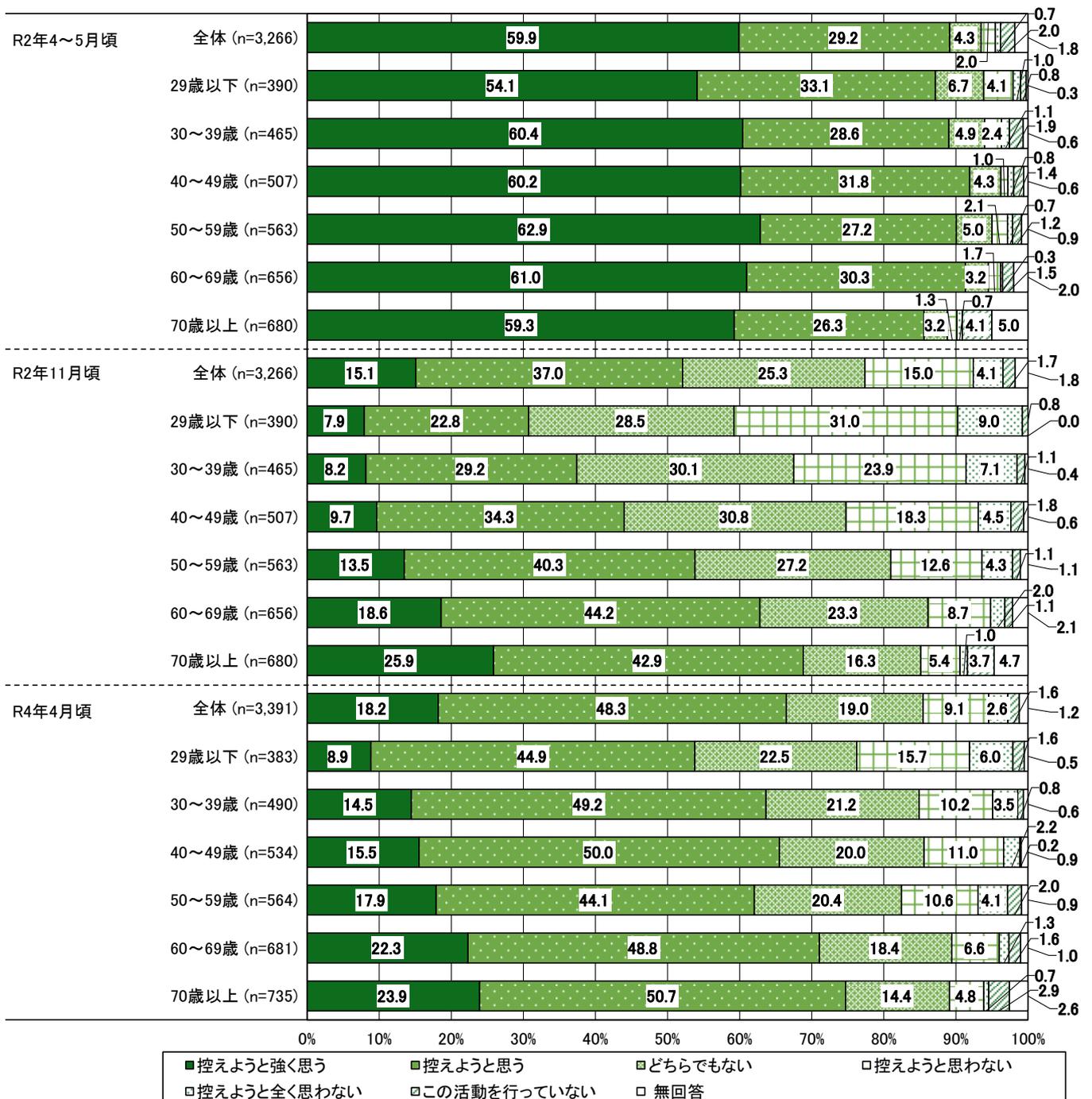


(年齢別)

年齢別でみると、令和4年4月頃は、最も高い70歳以上が74.6%、最も低い29歳以下が53.8%となっており、20ポイント以上の差が生じています。

年齢別の3時点（令和2年4月～5月頃⇒令和2年11月頃⇒令和4年4月頃）での推移は以下の通りです。

- 29歳以下では、87.2%から30.7%まで大きく減り、その後は53.8%と増えています。
- 30～39歳では、89.0%から37.4%まで大きく減り、その後は63.7%と増えています。
- 40～49歳では、92.0%から44.0%まで大きく減り、その後は65.5%と増えています。
- 50～59歳では、90.1%から53.8%まで大きく減り、その後は62.0%とやや増えています。
- 60～69歳では、91.3%から62.8%まで減り、その後は71.1%とやや増えています。
- 70歳以上では、85.6%から68.8%まで減り、その後は74.6%とやや増えています。

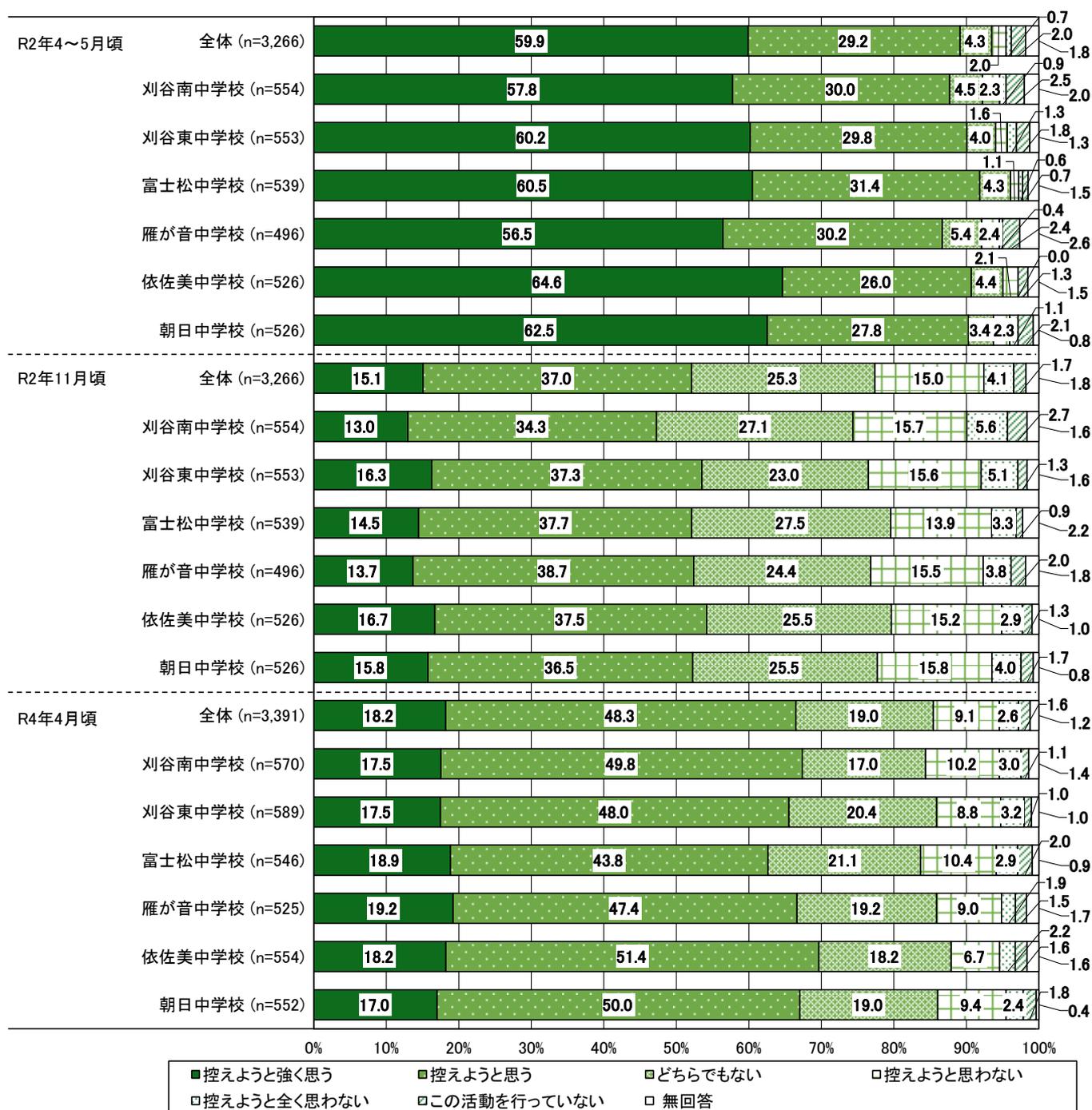


(中学校区別)

中学校区別でみると、令和4年4月頃は、最も高い依佐美中学校が69.6%、最も低い富士松中学校区が62.7%となっています。

中学校区別の3時点（令和2年4月～5月頃⇒令和2年11月頃⇒令和4年4月頃）での推移は以下の通りです。

刈谷南中学校区では、87.8%から47.3%まで大きく減り、その後は67.3%と増えています。
 刈谷東中学校区では、90.0%から53.6%まで大きく減り、その後は65.5%と増えています。
 富士松中学校区では、91.9%から52.2%まで大きく減り、その後は62.7%と増えています。
 雁が音中学校区では、86.7%から52.4%まで大きく減り、その後は66.6%と増えています。
 依佐美中学校区では、90.6%から54.2%まで大きく減り、その後は69.6%と増えています。
 朝日中学校区では、90.3%から52.3%まで大きく減り、その後は67.0%と増えています。



(4) 友人や知人との交際・会食

(全体)

3時点（令和2年4月～5月頃⇒令和2年11月頃⇒令和4年4月頃）での推移をみると、90.7%から62.5%まで減り、その後は78.4%と増えています。

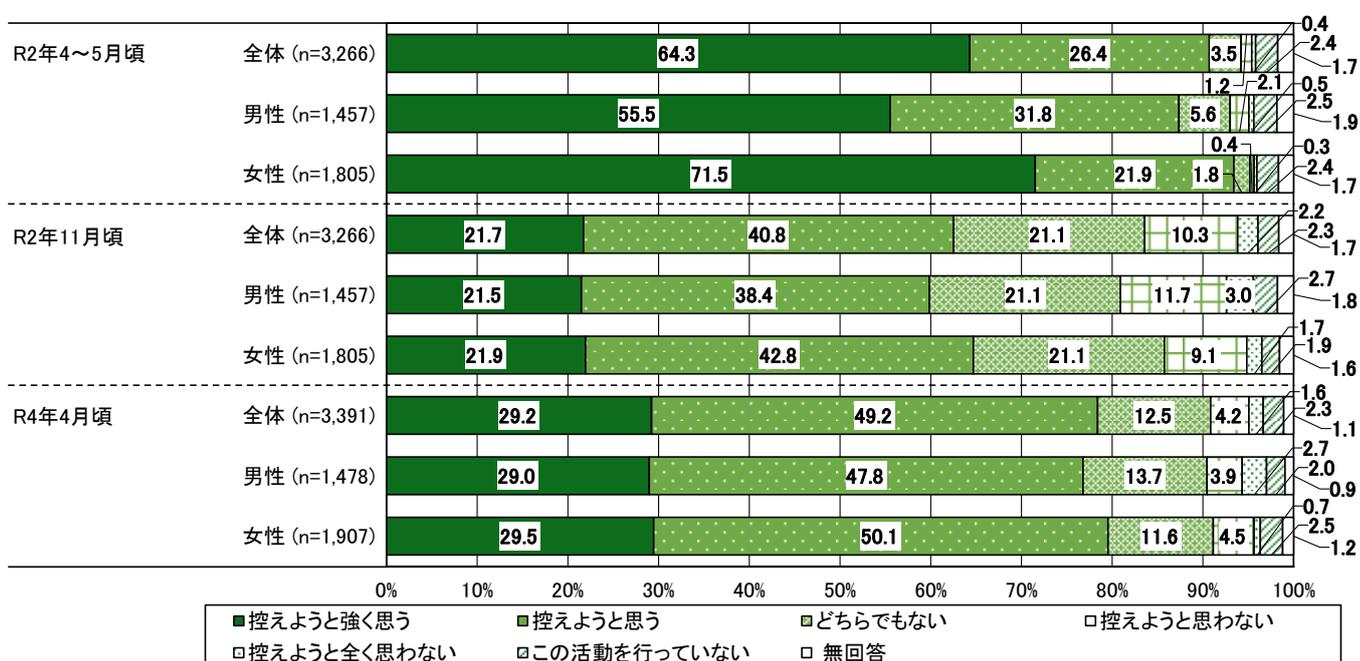
(性別)

性別で見ると、令和4年4月頃は、男性が76.8%、女性が79.6%となっています。

性別の3時点（令和2年4月～5月頃⇒令和2年11月頃⇒令和4年4月頃）での推移は以下の通りです。

男性では、87.3%から59.9%まで減り、その後は76.8%と増えています。

女性では、93.4%から64.7%まで減り、その後は79.6%と増えています。

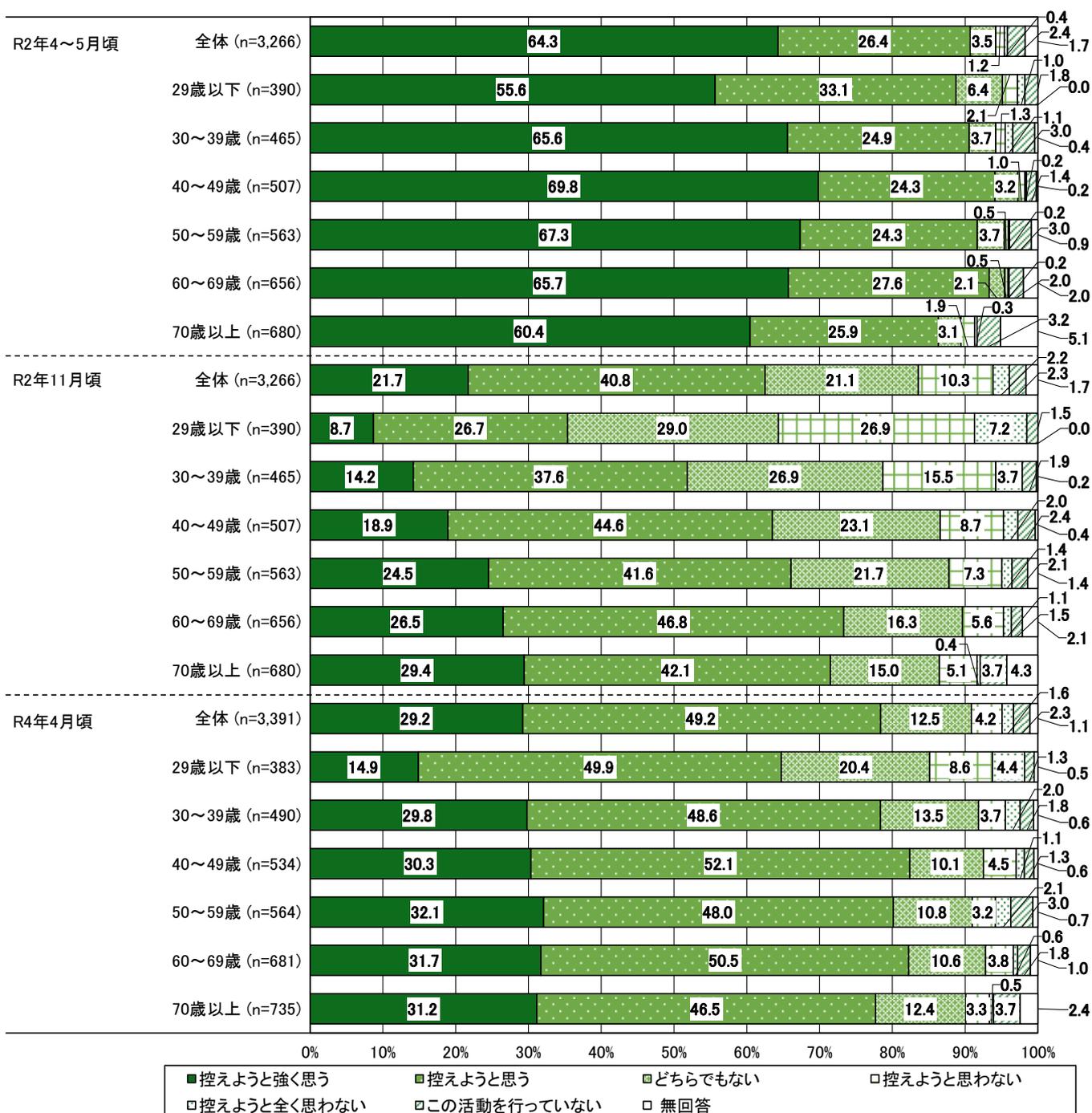


(年齢別)

年齢別でみると、令和4年4月頃は、最も高い40～49歳が82.4%、最も低い29歳以下が64.8%となっており、10ポイント以上の差が生じています。

年齢別の3時点（令和2年4月～5月頃⇒令和2年11月頃⇒令和4年4月頃）での推移は以下の通りです。

- 29歳以下では、88.7%から35.4%まで大きく減り、その後は64.8%と増えています。
- 30～39歳では、90.5%から51.8%まで大きく減り、その後は78.4%と増えています。
- 40～49歳では、94.1%から63.5%まで大きく減り、その後は82.4%と増えています。
- 50～59歳では、91.6%から66.1%まで減り、その後は80.1%と増えています。
- 60～69歳では、93.3%から73.3%まで減り、その後は82.2%とやや増えています。
- 70歳以上では、86.3%から71.5%まで減り、その後は77.7%とやや増えています。

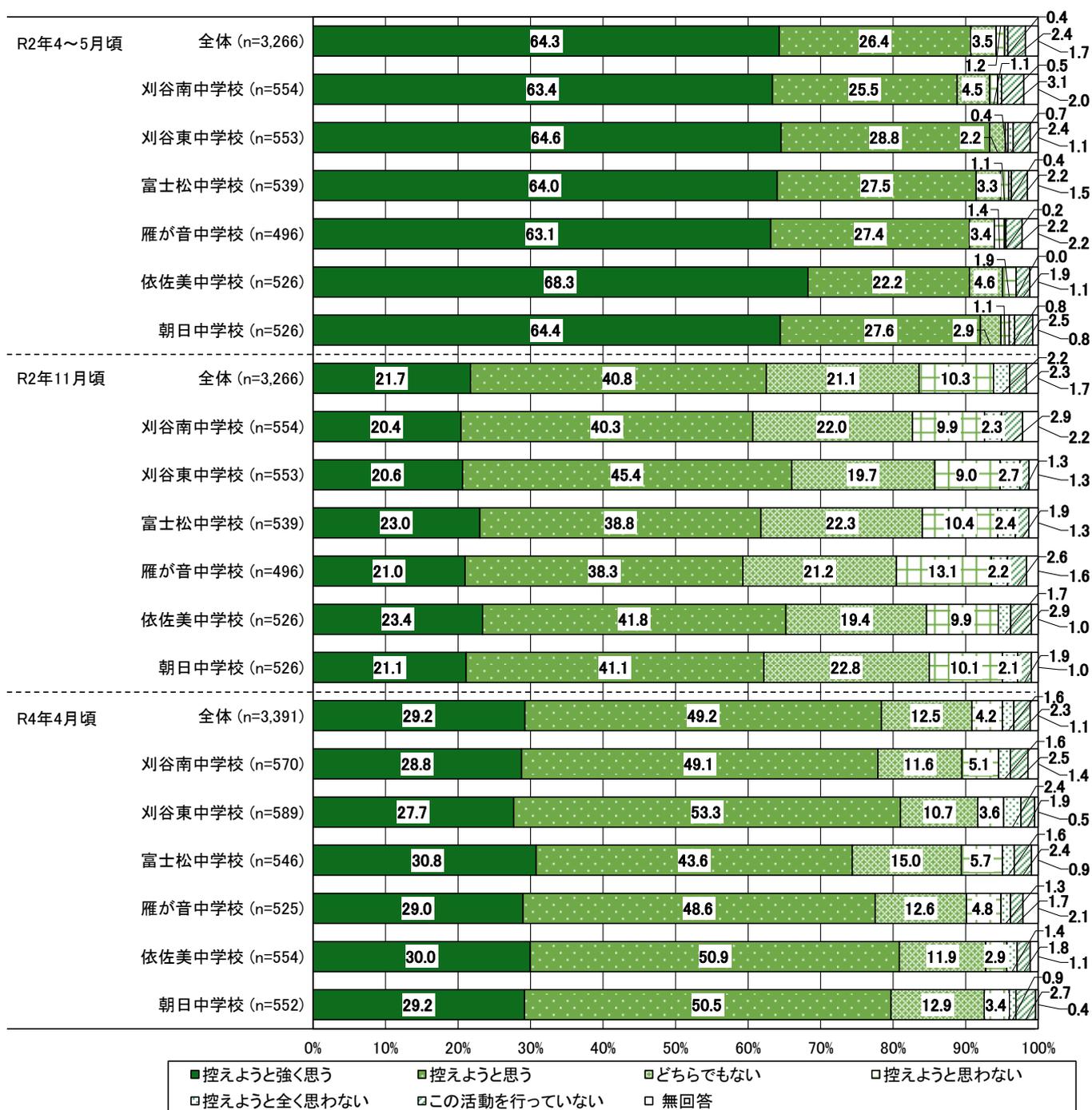


(中学校区別)

中学校区別でみると、令和4年4月頃は、最も高い刈谷東中学校区が81.0%、最も低い富士松中学校区が74.4%となっています。

中学校区別の3時点（令和2年4月～5月頃⇒令和2年11月頃⇒令和4年4月頃）での推移は以下の通りです。

刈谷南中学校区では、88.9%から60.7%まで減り、その後は77.9%と増えています。
 刈谷東中学校区では、93.4%から66.0%まで減り、その後は81.0%と増えています。
 富士松中学校区では、91.5%から61.8%まで減り、その後は74.4%と増えています。
 雁が音中学校区では、90.5%から59.3%まで大きく減り、その後は77.6%と増えています。
 依佐美中学校区では、90.5%から65.2%まで減り、その後は80.9%と増えています。
 朝日中学校区では、92.0%から62.2%まで減り、その後は79.7%と増えています。



(5)運動・スポーツ

(全体)

3時点（令和2年4月～5月頃⇒令和2年11月頃⇒令和4年4月頃）での推移をみると、73.0%から40.6%まで大きく減り、その後は38.1%と大きな変化はありません。

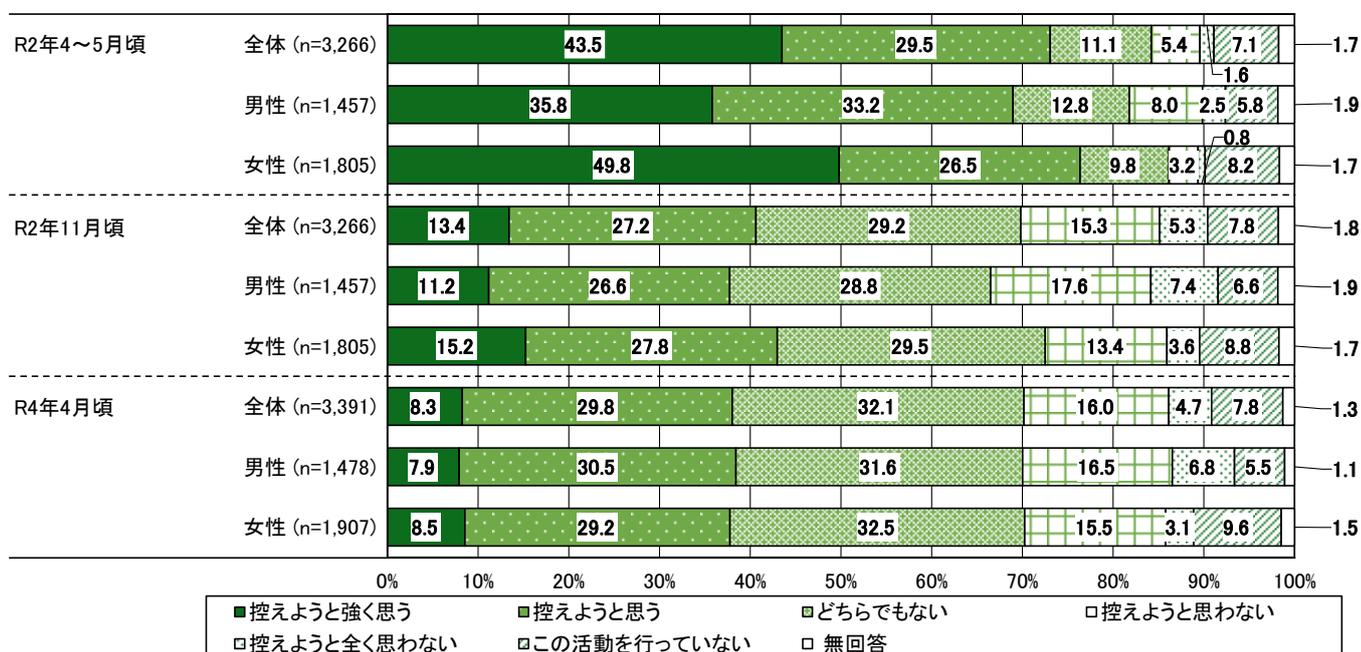
(性別)

性別で見ると、令和4年4月頃は、男性が38.4%、女性が37.7%となっています。

性別の3時点（令和2年4月～5月頃⇒令和2年11月頃⇒令和4年4月頃）での推移は以下の通りです。

男性では、69.0%から37.8%まで大きく減り、その後は38.4%と大きな変化はありません。

女性では、76.3%から43.0%まで大きく減り、その後は37.7%とやや減っています。

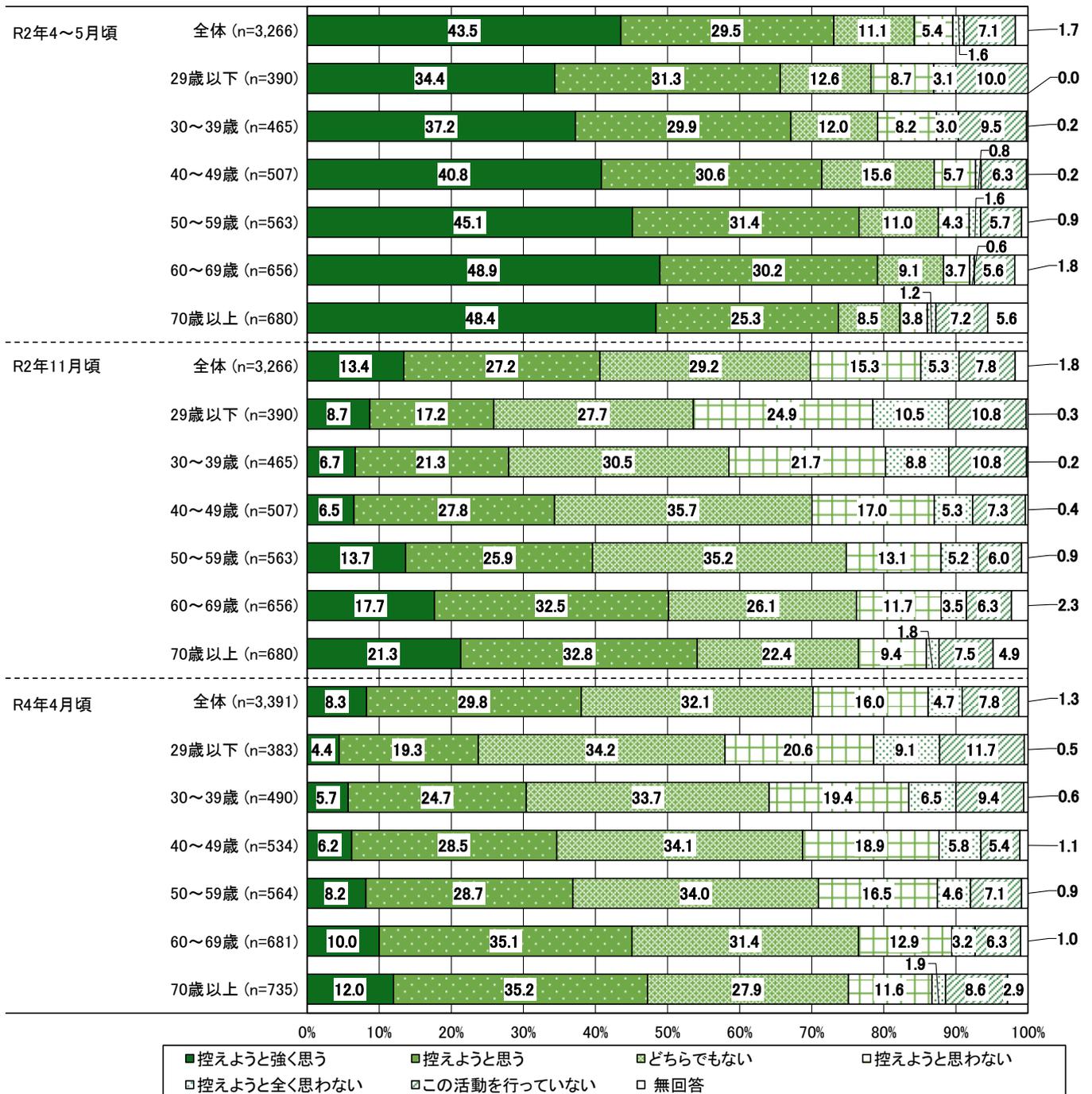


(年齢別)

年齢別でみると、令和4年4月頃は、最も高い70歳以上が47.2%、最も低い29歳以下が23.7%となっており、20ポイント以上の差が生じています。

年齢別の3時点（令和2年4月～5月頃⇒令和2年11月頃⇒令和4年4月頃）での推移は以下の通りです。

29歳以下では、65.7%から25.9%まで大きく減り、その後は23.7%と大きな変化はありません。
 30～39歳では、67.1%から28.0%まで大きく減り、その後は30.4%と大きな変化はありません。
 40～49歳では、71.4%から34.3%まで大きく減り、その後は34.7%と大きな変化はありません。
 50～59歳では、76.5%から39.6%まで大きく減り、その後は36.9%と大きな変化はありません。
 60～69歳では、79.1%から50.2%まで減り、その後は45.1%とやや減っています。
 70歳以上では、73.7%から54.1%まで減り、その後は47.2%とやや減っています。

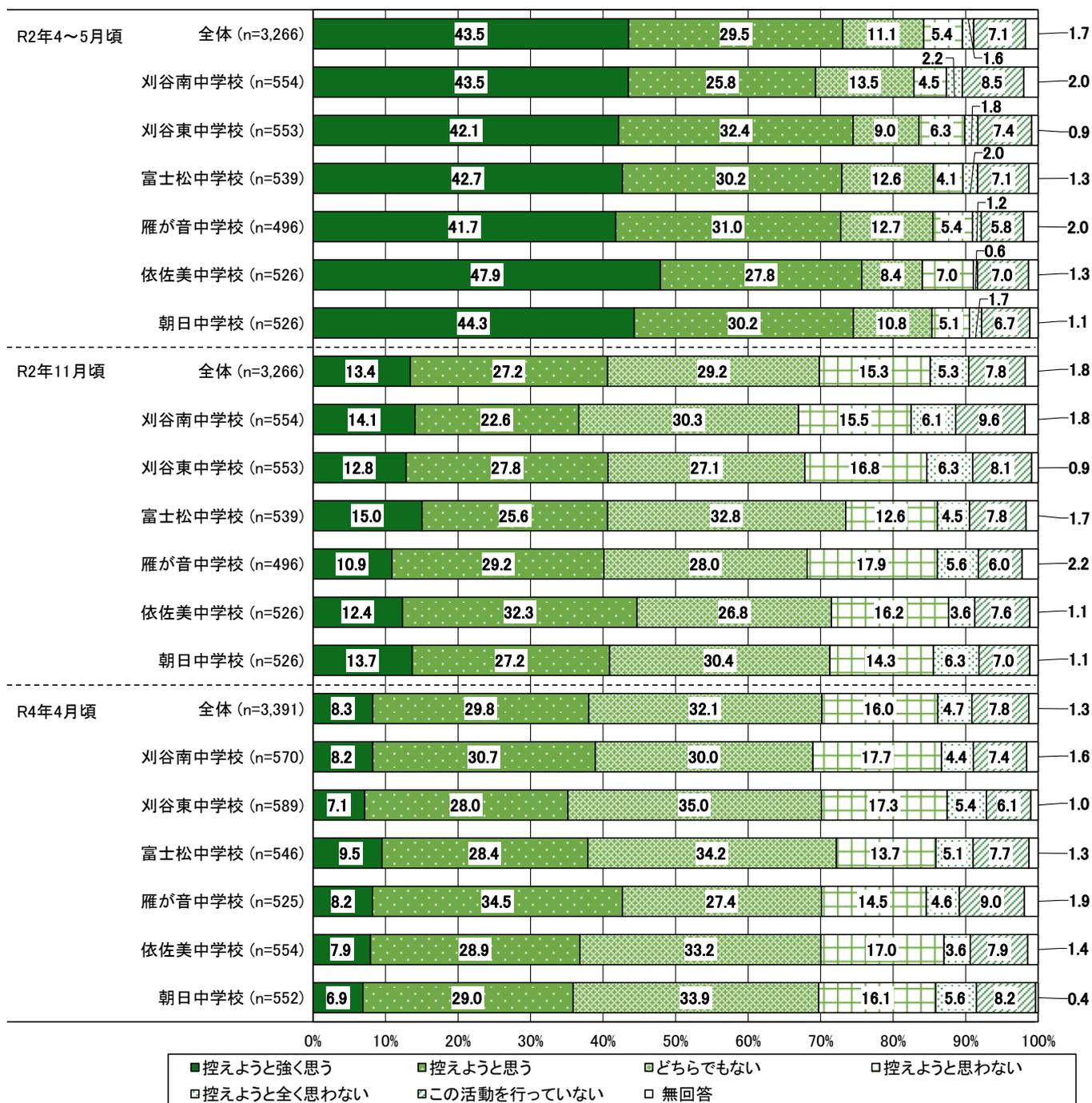


(中学校区別)

中学校区別でみると、令和4年4月頃は、最も高い雁が音中学校区が42.7%、最も低い刈谷東中学校区が35.1%となっています。

中学校区別の3時点（令和2年4月～5月頃⇒令和2年11月頃⇒令和4年4月頃）での推移は以下の通りです。

刈谷南中学校区では、69.3%から36.7%まで大きく減り、その後は38.9%と大きな変化はありません。
 刈谷東中学校区では、74.5%から40.6%まで大きく減り、その後は35.1%とやや減っています。
 富士松中学校区では、72.9%から40.6%まで大きく減り、その後は37.9%と大きな変化はありません。
 雁が音中学校区では、72.7%から40.1%まで大きく減り、その後は42.7%と大きな変化はありません。
 依佐美中学校区では、75.7%から44.7%まで大きく減り、その後は36.8%とやや減っています。
 朝日中学校区では、74.5%から40.9%まで大きく減り、その後は35.9%とやや減っています。



(6)公園での活動(遊び・散歩等)

(全体)

3時点(令和2年4月～5月頃⇒令和2年11月頃⇒令和4年4月頃)での推移をみると、66.4%から32.0%まで大きく減り、その後は28.3%と大きな変化はありません。

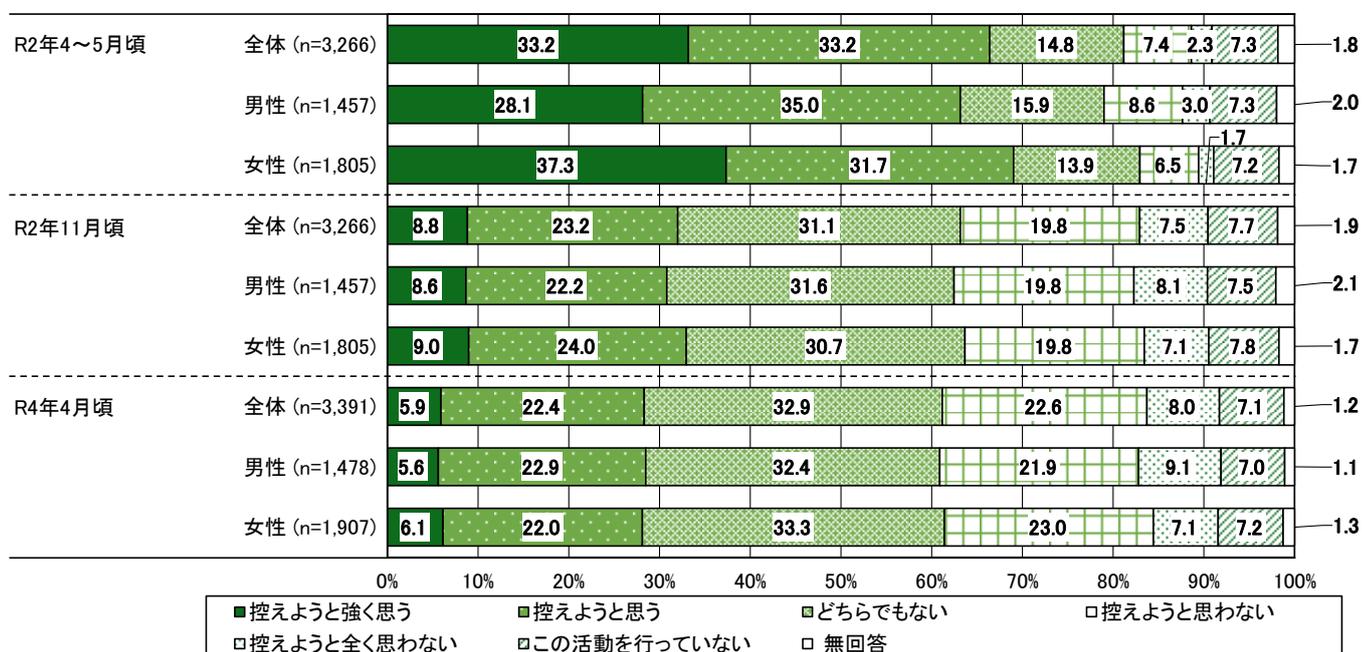
(性別)

性別で見ると、令和4年4月頃は、男性が28.5%、女性が28.1%となっています。

性別の3時点(令和2年4月～5月頃⇒令和2年11月頃⇒令和4年4月頃)での推移は以下の通りです。

男性では、63.1%から30.8%まで大きく減り、その後は28.5%と大きな変化はありません。

女性では、69.0%から33.0%まで大きく減り、その後は28.1%と大きな変化はありません。

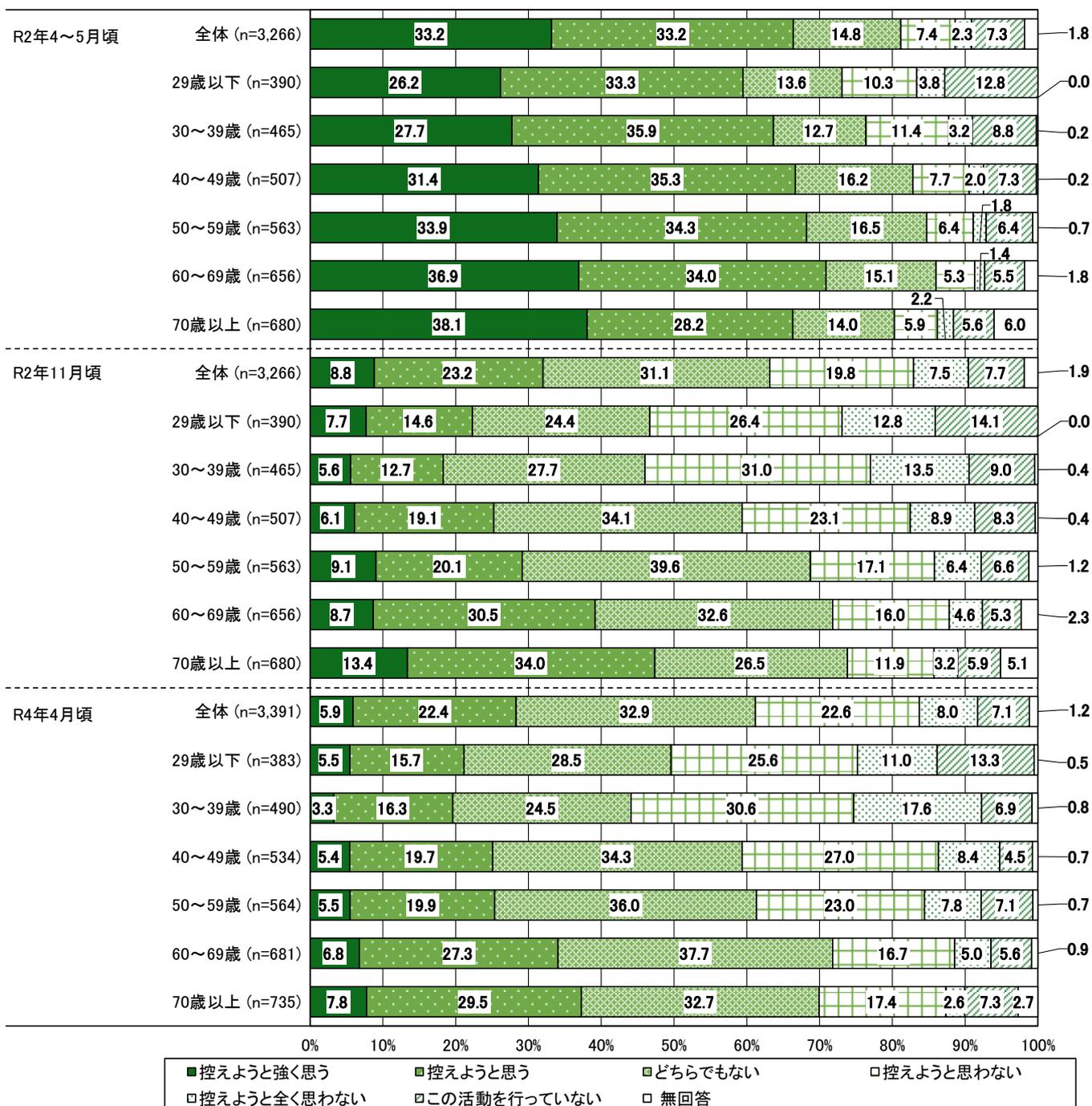


(年齢別)

年齢別で見ると、令和4年4月頃は、最も高い70歳以上が37.3%、最も低い30～39歳が19.6%となっており、10ポイント以上の差が生じています。

年齢別の3時点（令和2年4月～5月頃⇒令和2年11月頃⇒令和4年4月頃）での推移は以下の通りです。

29歳以下では、59.5%から22.3%まで大きく減り、その後は21.2%と大きな変化はありません。
 30～39歳では、63.6%から18.3%まで大きく減り、その後は19.6%と大きな変化はありません。
 40～49歳では、66.7%から25.2%まで大きく減り、その後は25.1%と大きな変化はありません。
 50～59歳では、68.2%から29.2%まで大きく減り、その後は25.4%と大きな変化はありません。
 60～69歳では、70.9%から39.2%まで大きく減り、その後は34.1%とやや減っています。
 70歳以上では、66.3%から47.4%まで減り、その後は37.3%と減っています。

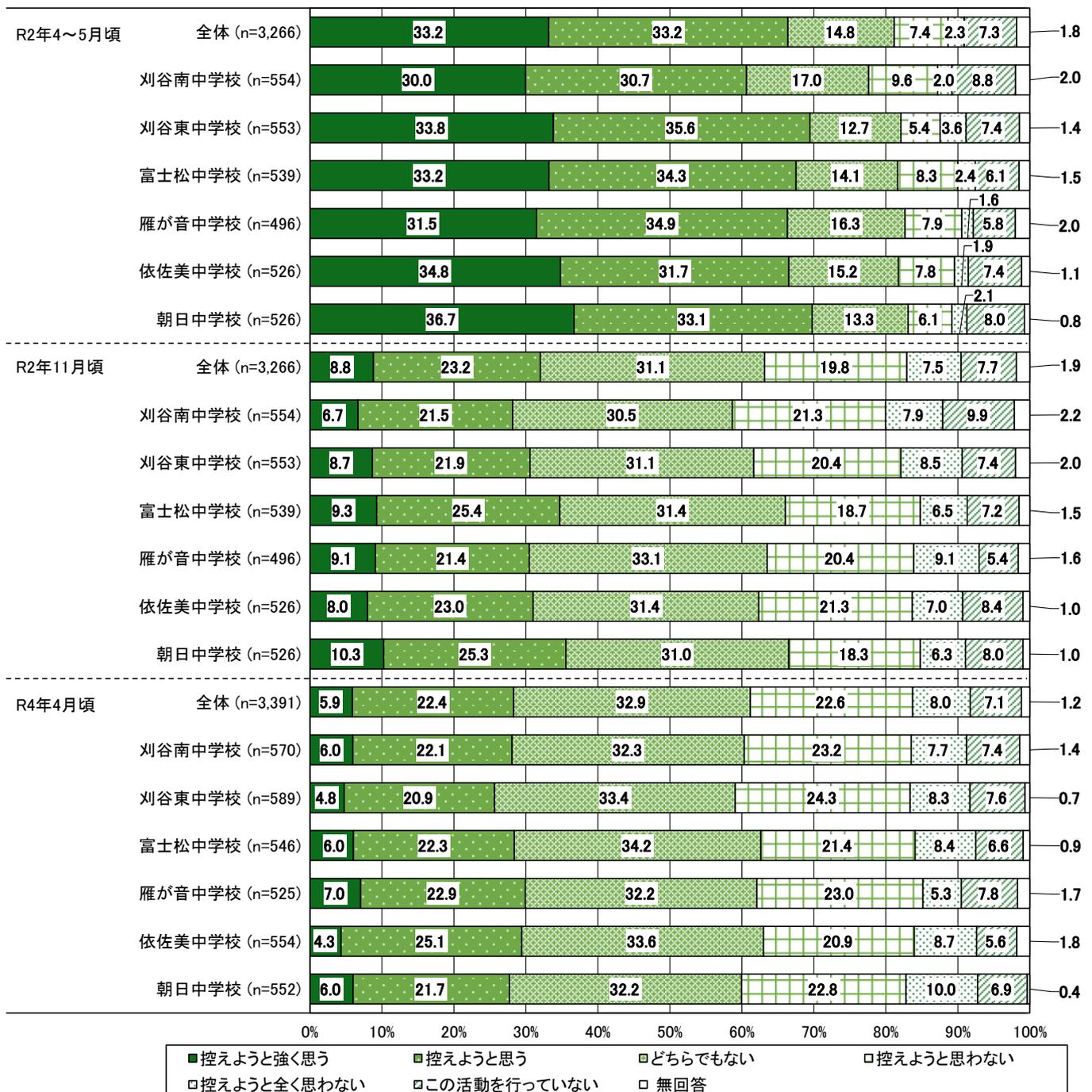


(中学校区別)

中学校区別でみると、令和4年4月頃は、最も高い雁が音中学校区が29.9%、最も低い刈谷東中学校区が25.7%となっています。

中学校区別の3時点（令和2年4月～5月頃⇒令和2年11月頃⇒令和4年4月頃）での推移は以下の通りです。

刈谷南中学校区では、60.7%から28.2%まで大きく減り、その後は28.1%と大きな変化はありません。
 刈谷東中学校区では、69.4%から30.6%まで大きく減り、その後は25.7%と大きな変化はありません。
 富士松中学校区では、67.5%から34.7%まで大きく減り、その後は28.3%とやや減っています。
 雁が音中学校区では、66.4%から30.5%まで大きく減り、その後は29.9%と大きな変化はありません。
 依佐美中学校区では、66.5%から31.0%まで大きく減り、その後は29.4%と大きな変化はありません。
 朝日中学校区では、69.8%から35.6%まで大きく減り、その後は27.7%とやや減っています。



(7) 診療

(全体)

3時点（令和2年4月～5月頃⇒令和2年11月頃⇒令和4年4月頃）での推移をみると、65.9%から33.6%まで大きく減り、その後は25.4%とやや減っています。

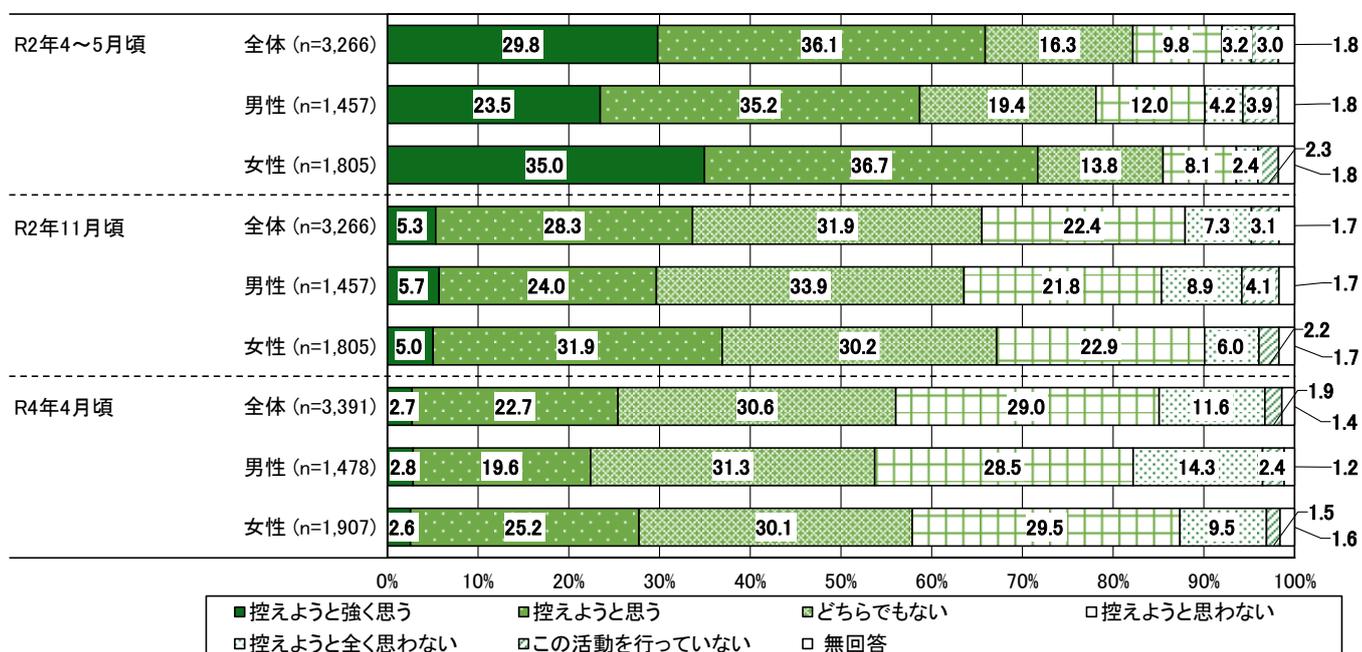
(性別)

性別で見ると、令和4年4月頃は、男性が22.4%、女性が27.8%となっています。

性別の3時点（令和2年4月～5月頃⇒令和2年11月頃⇒令和4年4月頃）での推移は以下の通りです。

男性では、58.7%から29.7%まで減り、その後は22.4%とやや減っています。

女性では、71.7%から36.9%まで大きく減り、その後は27.8%とやや減っています。

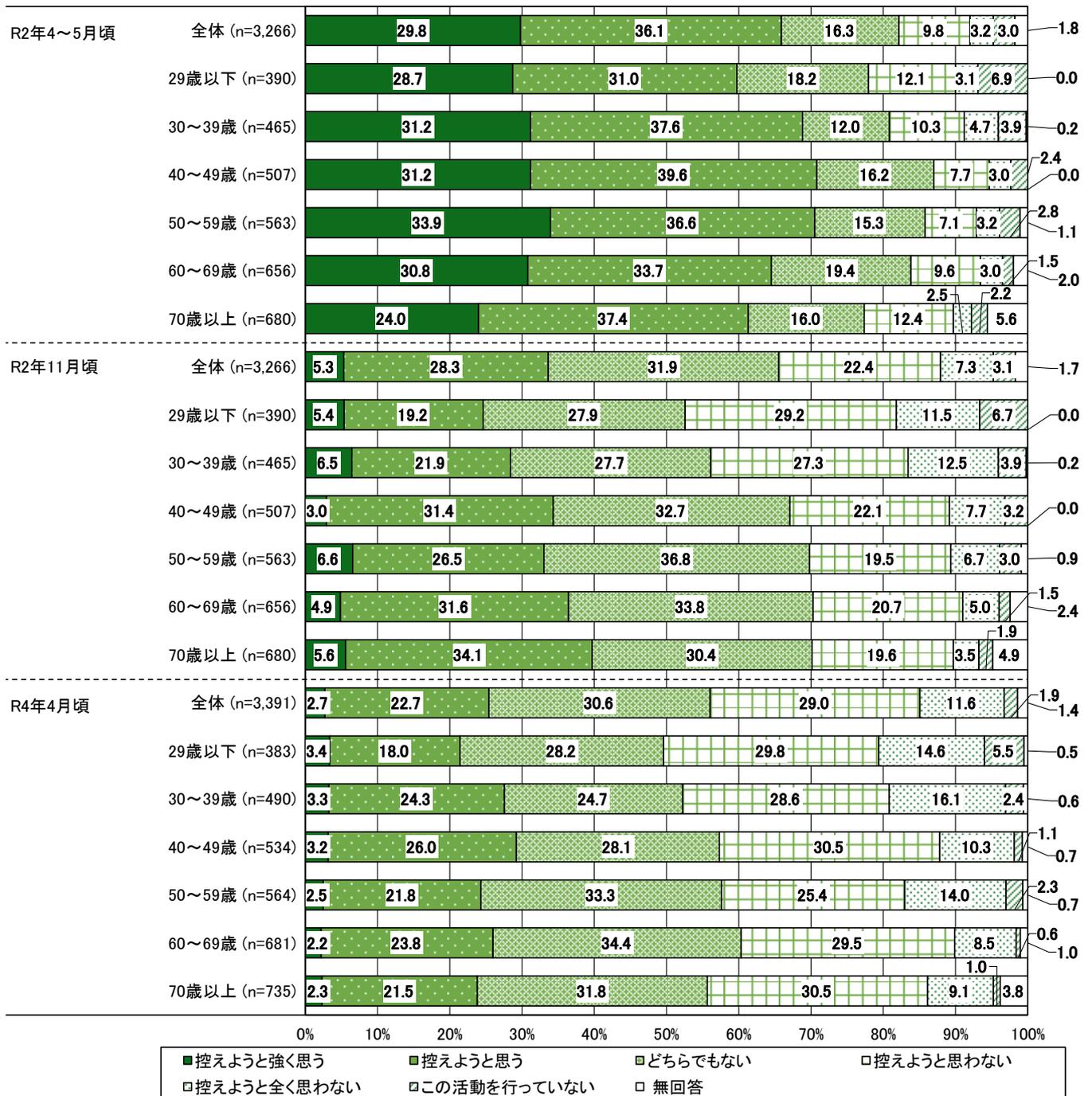


(年齢別)

年齢別でみると、令和4年4月頃は、最も高い40～49歳が29.2%、最も低い29歳以下が21.4%となっています。

年齢別の3時点（令和2年4月～5月頃⇒令和2年11月頃⇒令和4年4月頃）での推移は以下の通りです。

- 29歳以下では、59.7%から24.6%まで大きく減り、その後は21.4%と大きな変化はありません。
- 30～39歳では、68.8%から28.4%まで大きく減り、その後は27.6%と大きな変化はありません。
- 40～49歳では、70.8%から34.4%まで大きく減り、その後は29.2%とやや減っています。
- 50～59歳では、70.5%から33.1%まで大きく減り、その後は24.3%とやや減っています。
- 60～69歳では、64.5%から36.5%まで減り、その後は26.0%と減っています。
- 70歳以上では、61.4%から39.7%まで減り、その後は23.8%と減っています。

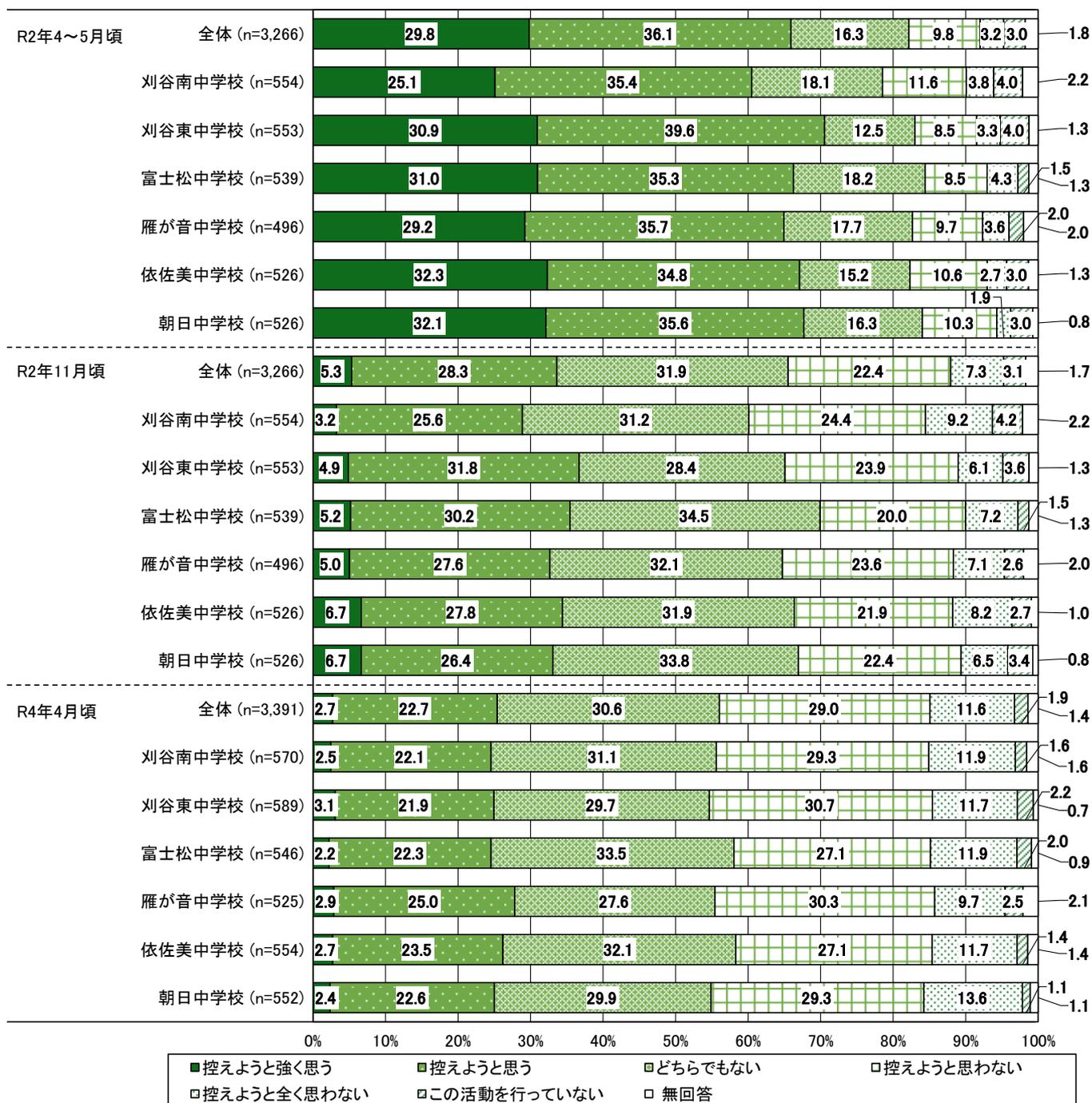


(中学校区別)

中学校区別でみると、令和4年4月頃は、最も高い雁が音中学校区が27.9%、最も低い富士松中学校区が24.5%となっています。

中学校区別の3時点（令和2年4月～5月頃⇒令和2年11月頃⇒令和4年4月頃）での推移は以下の通りです。

刈谷南中学校区では、60.5%から28.8%まで大きく減り、その後は24.6%と大きな変化はありません。
 刈谷東中学校区では、70.5%から36.7%まで大きく減り、その後は25.0%と減っています。
 富士松中学校区では、66.3%から35.4%まで大きく減り、その後は24.5%と減っています。
 雁が音中学校区では、64.9%から32.6%まで大きく減り、その後は27.9%と大きな変化はありません。
 依佐美中学校区では、67.1%から34.5%まで大きく減り、その後は26.2%とやや減っています。
 朝日中学校区では、67.7%から33.1%まで大きく減り、その後は25.0%とやや減っています。



(8) 福祉施設利用

(全体)

3時点（令和2年4月～5月頃⇒令和2年11月頃⇒令和4年4月頃）での推移をみると、71.6%から48.9%まで減り、その後は49.6%と大きな変化はありません。

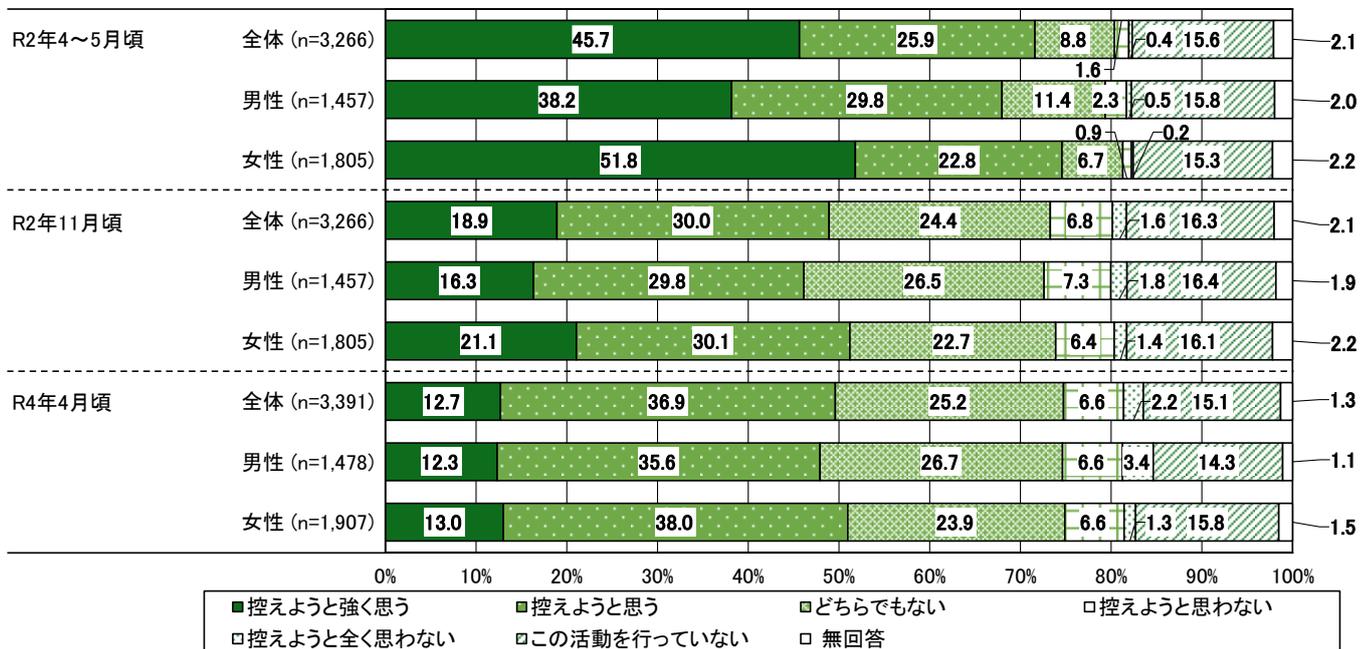
(性別)

性別で見ると、令和4年4月頃は、男性が47.9%、女性が51.0%となっています。

性別の3時点（令和2年4月～5月頃⇒令和2年11月頃⇒令和4年4月頃）での推移は以下の通りです。

男性では、68.0%から46.1%まで減り、その後は47.9%と大きな変化はありません。

女性では、74.6%から51.2%まで減り、その後は51.0%と大きな変化はありません。

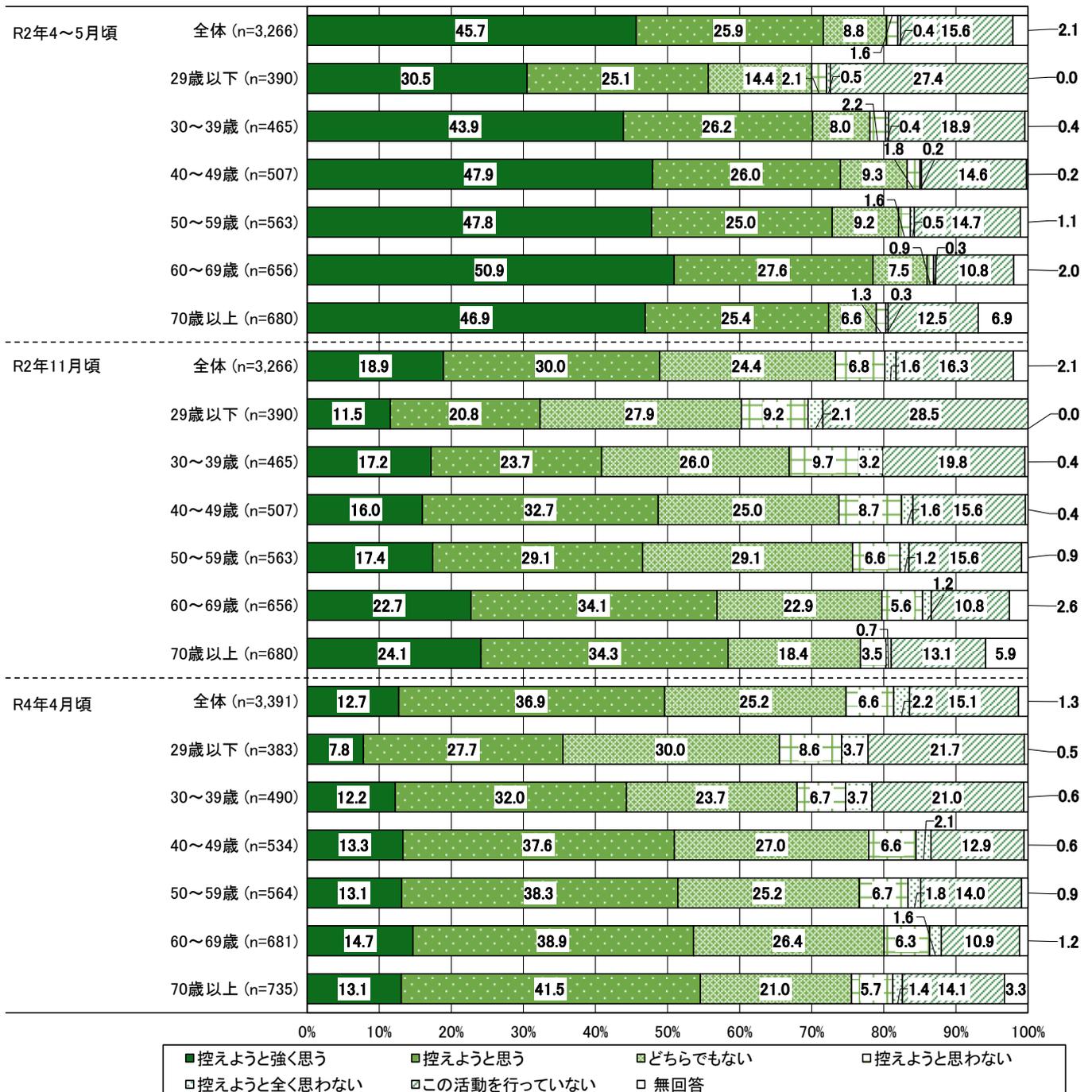


(年齢別)

年齢別でみると、令和4年4月頃は、最も高い70歳以上が54.6%、最も低い29歳以下が35.5%となっており、10ポイント以上の差が生じています。

年齢別の3時点（令和2年4月～5月頃⇒令和2年11月頃⇒令和4年4月頃）での推移は以下の通りです。

29歳以下では、55.6%から32.3%まで減り、その後は35.5%と大きな変化はありません。
 30～39歳では、70.1%から40.9%まで減り、その後は44.2%と大きな変化はありません。
 40～49歳では、73.9%から48.7%まで減り、その後は50.9%と大きな変化はありません。
 50～59歳では、72.8%から46.5%まで減り、その後は51.4%と大きな変化はありません。
 60～69歳では、78.5%から56.8%まで減り、その後は53.6%と大きな変化はありません。
 70歳以上では、72.3%から58.4%まで減り、その後は54.6%と大きな変化はありません。

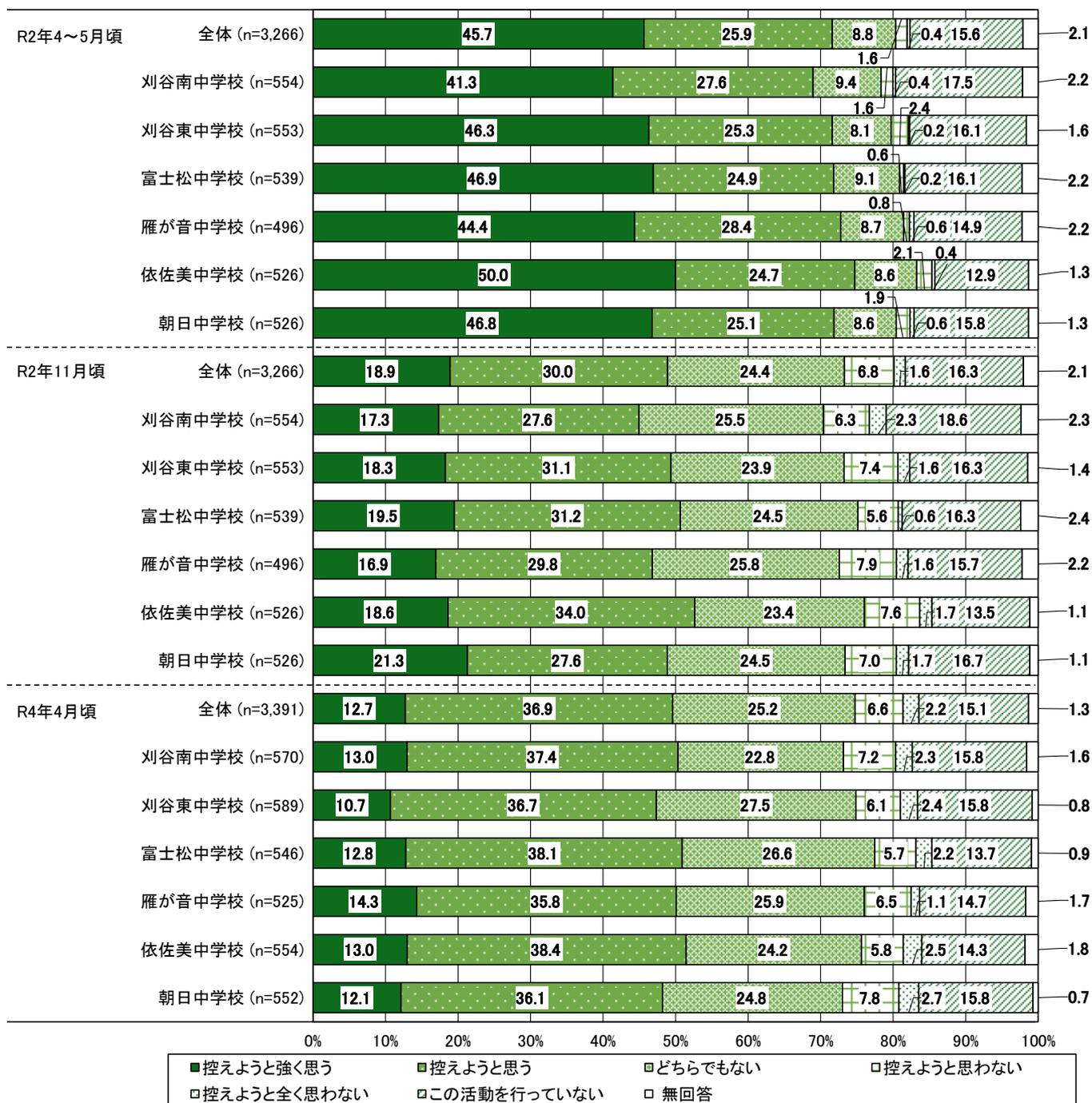


(中学校区別)

中学校区別でみると、令和4年4月頃は、最も高い依佐美中学校区が51.4%、最も低い刈谷東中学校区が47.4%となっています。

中学校区別の3時点（令和2年4月～5月頃⇒令和2年11月頃⇒令和4年4月頃）での推移は以下の通りです。

刈谷南中学校区では、68.9%から44.9%まで減り、その後は50.4%とやや増えています。
 刈谷東中学校区では、71.6%から49.4%まで減り、その後は47.4%と大きな変化はありません。
 富士松中学校区では、71.8%から50.7%まで減り、その後は50.9%と大きな変化はありません。
 雁が音中学校区では、72.8%から46.7%まで減り、その後は50.1%と大きな変化はありません。
 依佐美中学校区では、74.7%から52.6%まで減り、その後は51.4%と大きな変化はありません。
 朝日中学校区では、71.9%から48.9%まで減り、その後は48.2%と大きな変化はありません。



(9) ボランティア

(全体)

3時点（令和2年4月～5月頃⇒令和2年11月頃⇒令和4年4月頃）での推移をみると、66.0%から44.7%まで減り、その後は43.0%と大きな変化はありません。

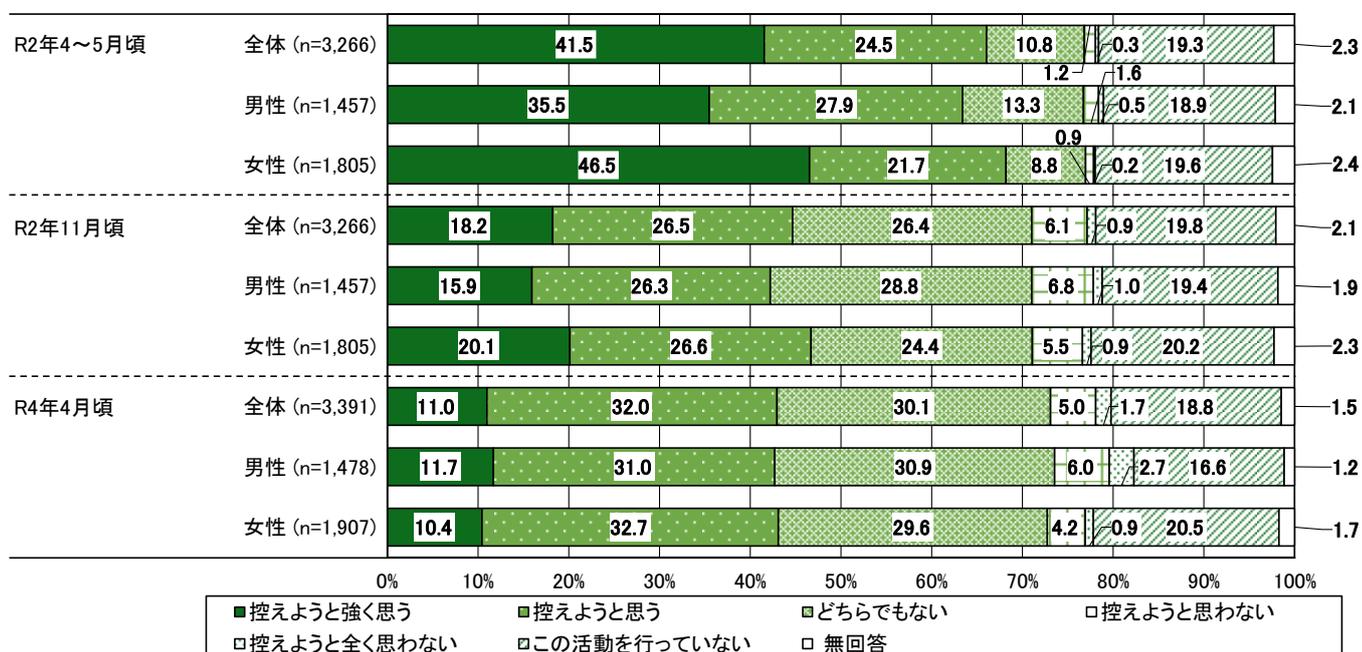
(性別)

性別で見ると、令和4年4月頃は、男性が42.7%、女性が43.1%となっています。

性別の3時点（令和2年4月～5月頃⇒令和2年11月頃⇒令和4年4月頃）での推移は以下の通りです。

男性では、63.4%から42.2%まで減り、その後は42.7%と大きな変化はありません。

女性では、68.2%から46.7%まで減り、その後は43.1%と大きな変化はありません。

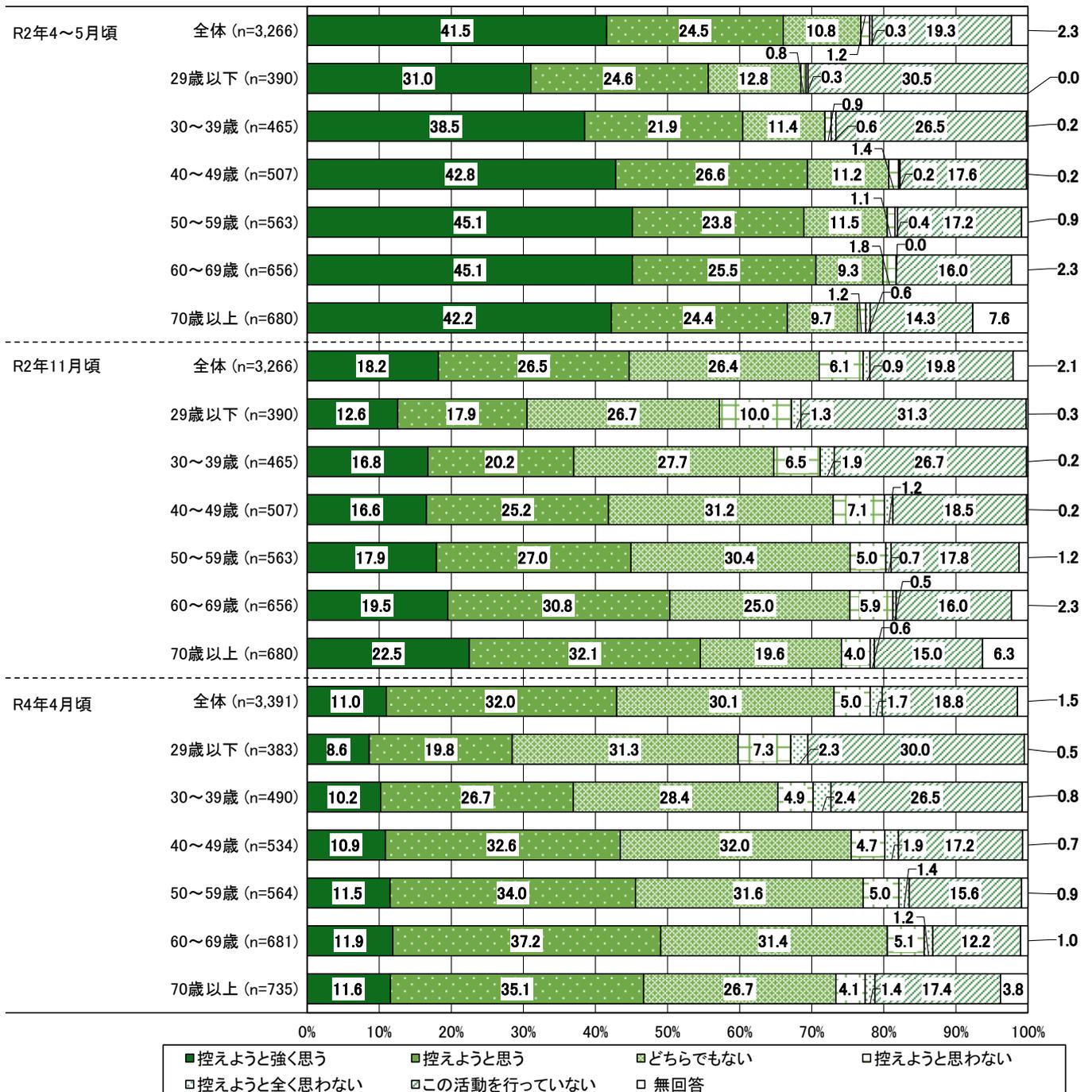


(年齢別)

年齢別でみると、令和4年4月頃は、最も高い60～69歳が49.1%、最も低い29歳以下が28.4%となっており、20ポイント以上の差が生じています。

年齢別の3時点（令和2年4月～5月頃⇒令和2年11月頃⇒令和4年4月頃）での推移は以下の通りです。

29歳以下では、55.6%から30.5%まで減り、その後は28.4%と大きな変化はありません。
 30～39歳では、60.4%から37.0%まで減り、その後は36.9%と大きな変化はありません。
 40～49歳では、69.4%から41.8%まで減り、その後は43.5%と大きな変化はありません。
 50～59歳では、68.9%から44.9%まで減り、その後は45.5%と大きな変化はありません。
 60～69歳では、70.6%から50.3%まで減り、その後は49.1%と大きな変化はありません。
 70歳以上では、66.6%から54.6%まで減り、その後は46.7%とやや減っています。

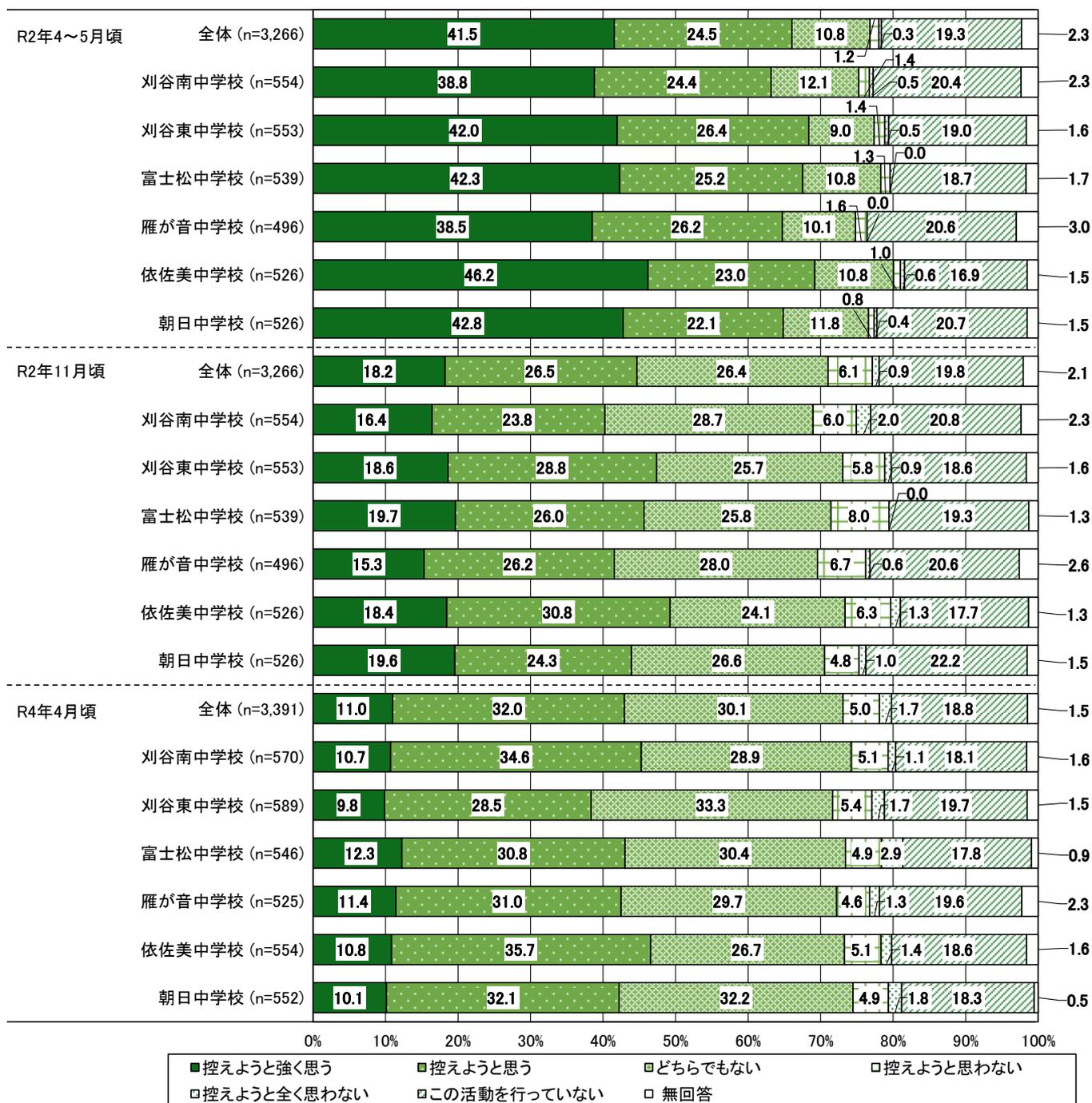


(中学校区別)

中学校区別でみると、令和4年4月頃は、最も高い依佐美中学校区が46.5%、最も低い刈谷東中学校区が38.3%となっています。

中学校区別の3時点（令和2年4月～5月頃⇒令和2年11月頃⇒令和4年4月頃）での推移は以下の通りです。

刈谷南中学校区では、63.2%から40.2%まで減り、その後は45.3%とやや増えています。
 刈谷東中学校区では、68.4%から47.4%まで減り、その後は38.3%とやや減っています。
 富士松中学校区では、67.5%から45.7%まで減り、その後は43.1%と大きな変化はありません。
 雁が音中学校区では、64.7%から41.5%まで減り、その後は42.4%と大きな変化はありません。
 依佐美中学校区では、69.2%から49.2%まで減り、その後は46.5%と大きな変化はありません。
 朝日中学校区では、64.9%から43.9%まで減り、その後は42.2%と大きな変化はありません。



(10) 自宅周辺(徒歩約15分以内)

(全体)

3時点（令和2年4月～5月頃⇒令和2年11月頃⇒令和4年4月頃）での推移をみると、53.8%から20.7%まで大きく減り、その後は13.6%とやや減っています。

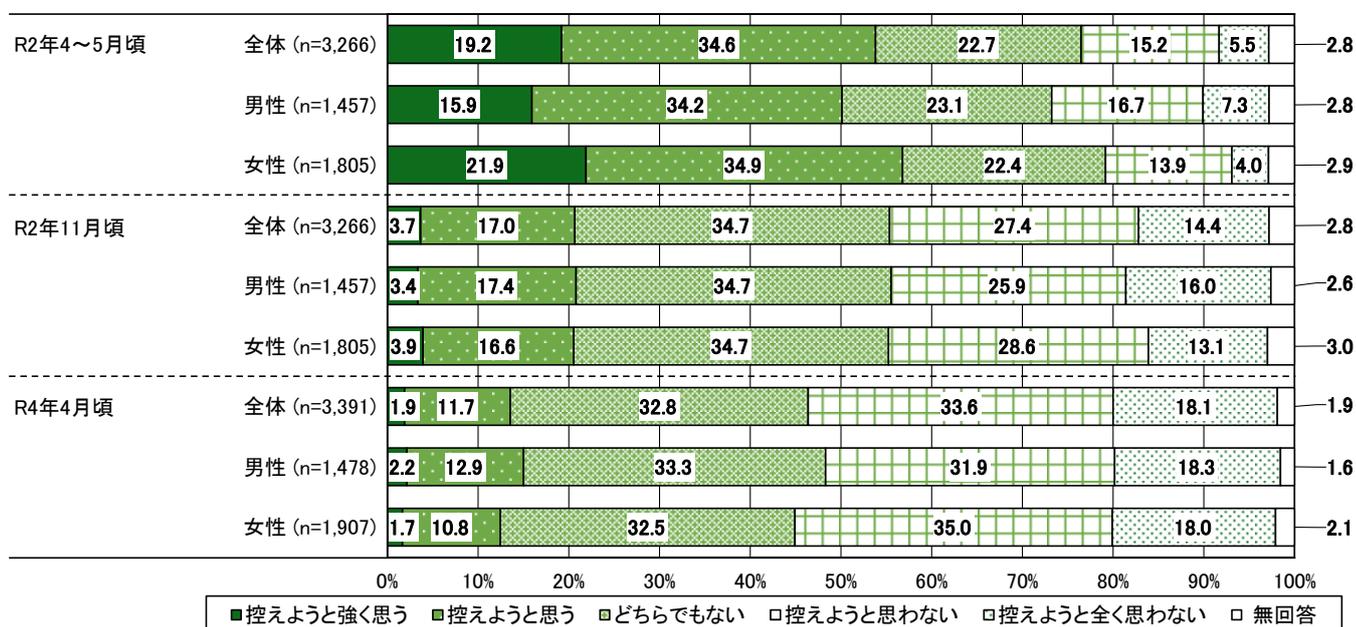
(性別)

性別で見ると、令和4年4月頃は、男性が15.1%、女性が12.5%となっています。

性別の3時点（令和2年4月～5月頃⇒令和2年11月頃⇒令和4年4月頃）での推移は以下の通りです。

男性では、50.1%から20.8%まで減り、その後は15.1%とやや減っています。

女性では、56.8%から20.5%まで大きく減り、その後は12.5%とやや減っています。

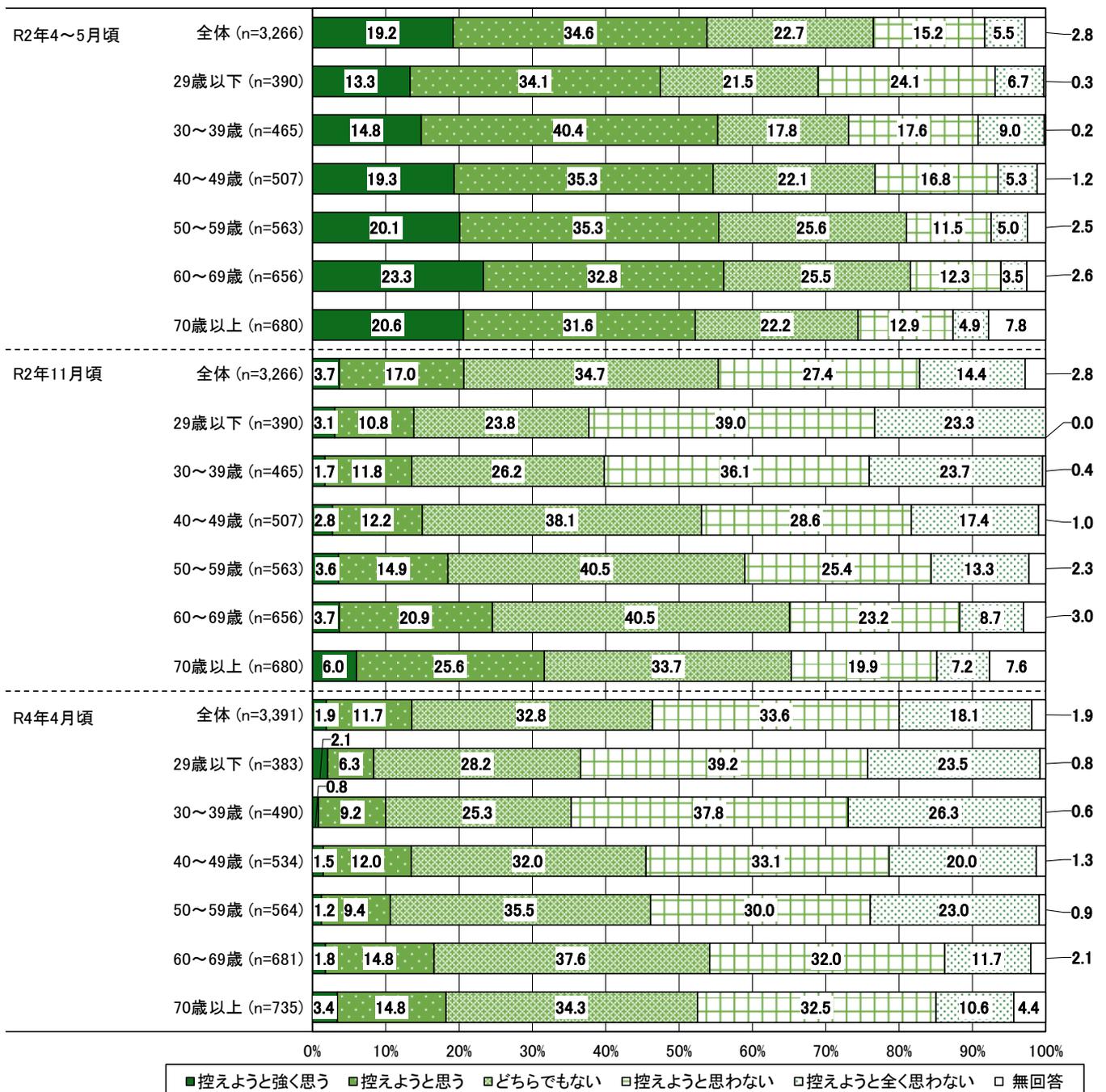


(年齢別)

年齢別でみると、令和4年4月頃は、最も高い70歳以上が18.2%、最も低い29歳以下が8.4%となっています。

年齢別の3時点（令和2年4月～5月頃⇒令和2年11月頃⇒令和4年4月頃）での推移は以下の通りです。

- 29歳以下では、47.4%から13.9%まで大きく減り、その後は8.4%とやや減っています。
- 30～39歳では、55.2%から13.5%まで大きく減り、その後は10.0%と大きな変化はありません。
- 40～49歳では、54.6%から15.0%まで大きく減り、その後は13.5%と大きな変化はありません。
- 50～59歳では、55.4%から18.5%まで大きく減り、その後は10.6%とやや減っています。
- 60～69歳では、56.1%から24.6%まで大きく減り、その後は16.6%とやや減っています。
- 70歳以上では、52.2%から31.6%まで減り、その後は18.2%と減っています。

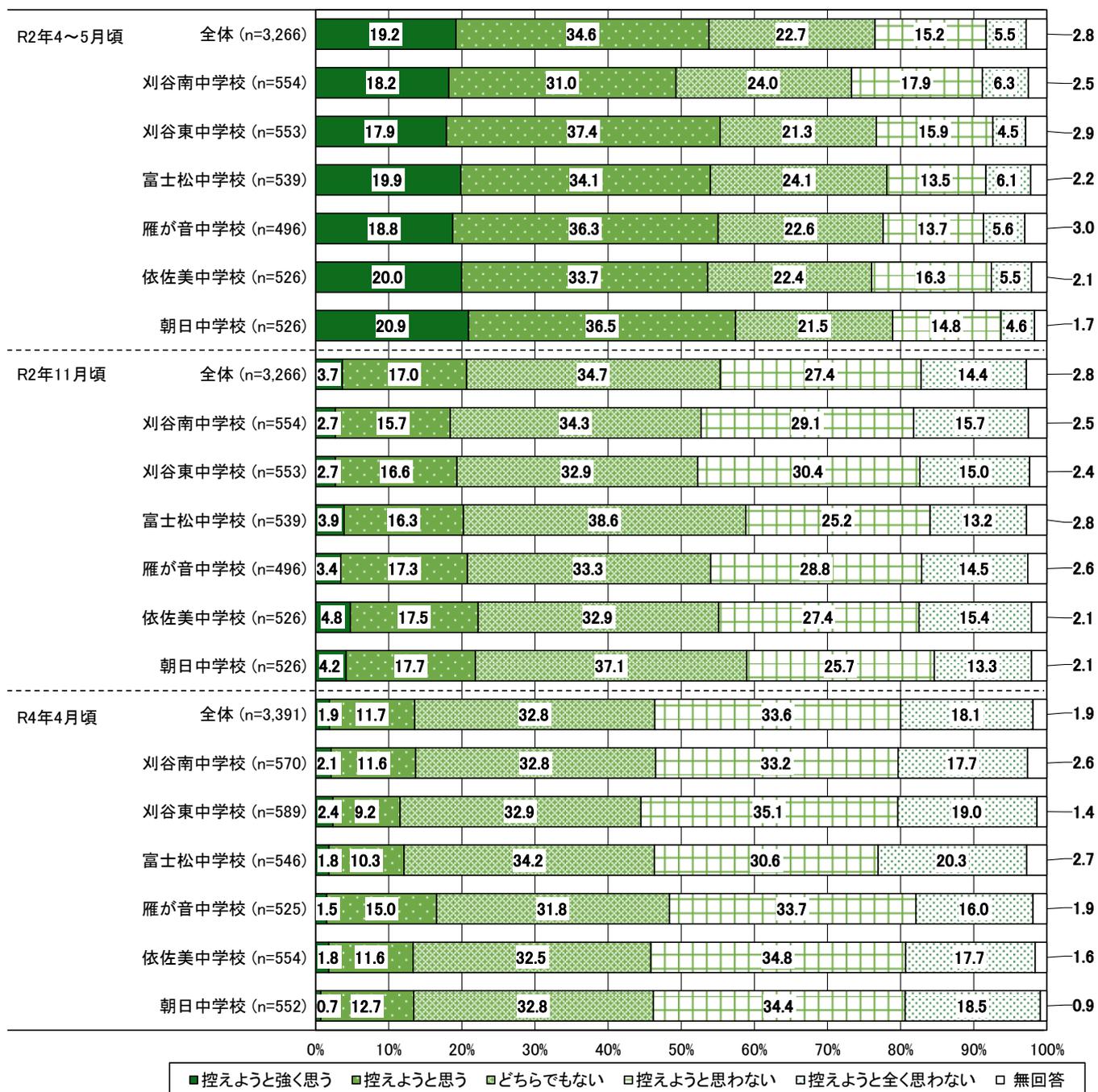


(中学校区別)

中学校区別でみると、令和4年4月頃は、最も高い雁が音中学校区が16.5%、最も低い刈谷東中学校区が11.6%となっています。

中学校区別の3時点（令和2年4月～5月頃⇒令和2年11月頃⇒令和4年4月頃）での推移は以下の通りです。

刈谷南中学校区では、49.2%から18.4%まで大きく減り、その後は13.7%と大きな変化はありません。
 刈谷東中学校区では、55.3%から19.3%まで大きく減り、その後は11.6%とやや減っています。
 富士松中学校区では、54.0%から20.2%まで大きく減り、その後は12.1%とやや減っています。
 雁が音中学校区では、55.1%から20.7%まで大きく減り、その後は16.5%と大きな変化はありません。
 依佐美中学校区では、53.7%から22.3%まで大きく減り、その後は13.4%とやや減っています。
 朝日中学校区では、57.4%から21.9%まで大きく減り、その後は13.4%とやや減っています。



(11)勤務地・学校周辺(徒歩約15分以内)

(全体)

3時点(令和2年4月～5月頃⇒令和2年11月頃⇒令和4年4月頃)での推移をみると、44.9%から20.2%まで減り、その後は15.9%と大きな変化はありません。

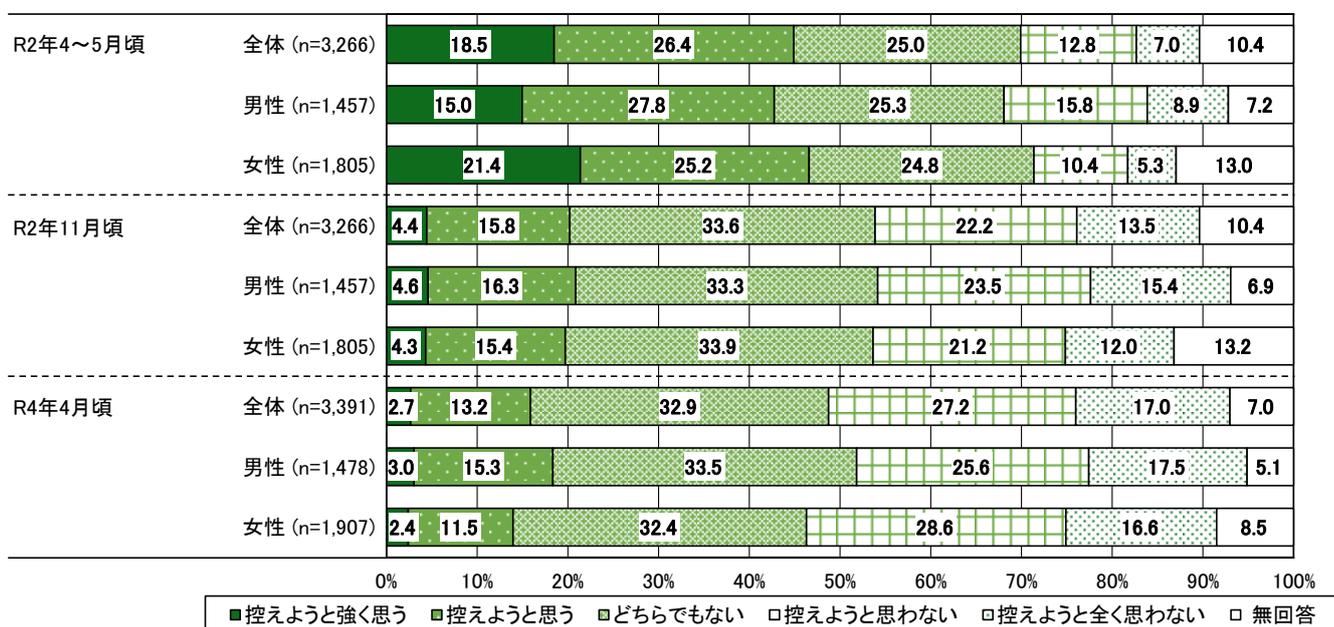
(性別)

性別でみると、令和4年4月頃は、男性が18.3%、女性が13.9%となっています。

性別の3時点(令和2年4月～5月頃⇒令和2年11月頃⇒令和4年4月頃)での推移は以下の通りです。

男性では、42.8%から20.9%まで減り、その後は18.3%と大きな変化はありません。

女性では、46.6%から19.7%まで減り、その後は13.9%とやや減っています。

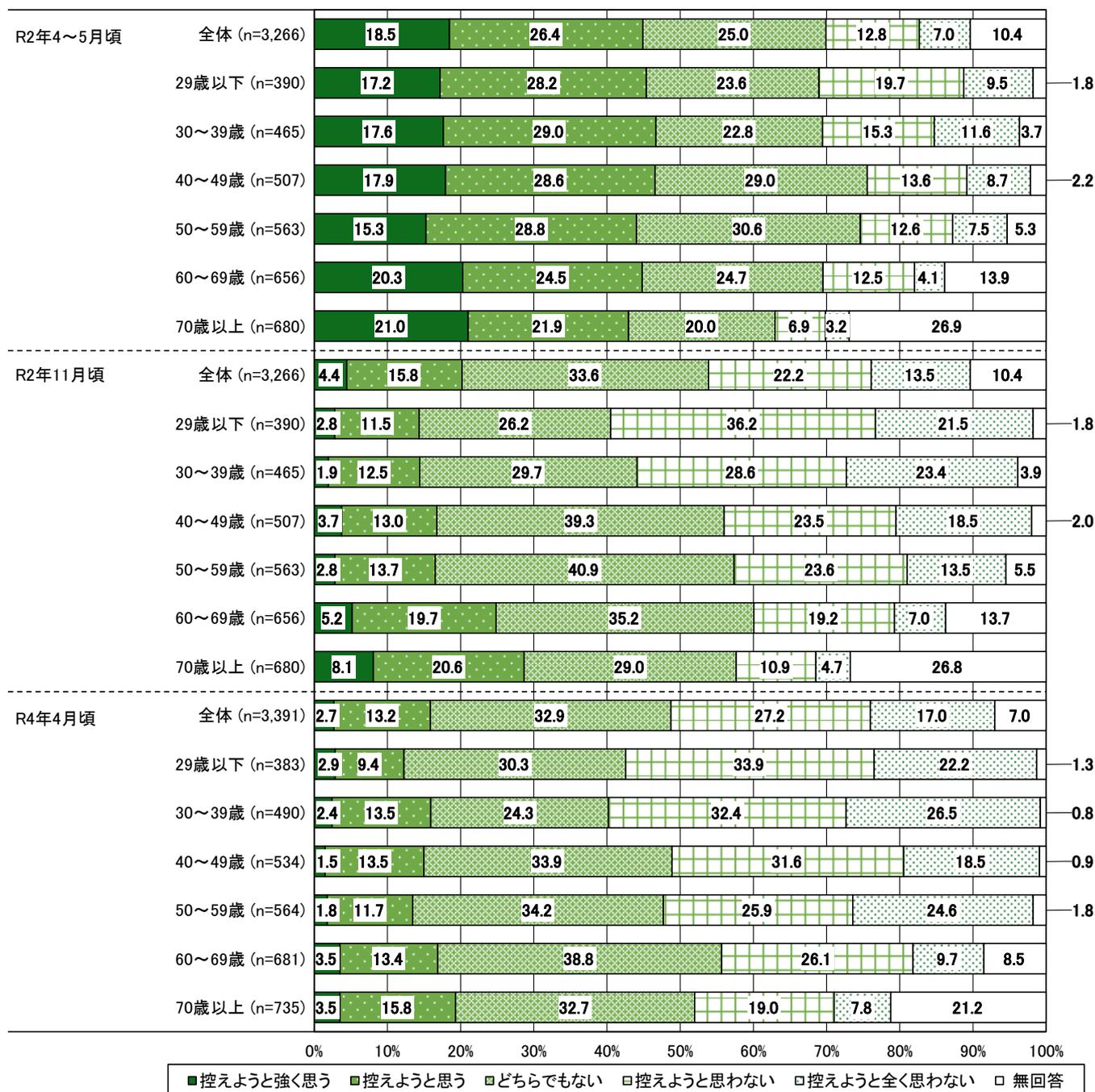


(年齢別)

年齢別でみると、令和4年4月頃は、最も高い70歳以上が19.3%、最も低い29歳以下が12.3%となっています。

年齢別の3時点（令和2年4月～5月頃⇒令和2年11月頃⇒令和4年4月頃）での推移は以下の通りです。

- 29歳以下では、45.4%から14.3%まで大きく減り、その後は12.3%と大きな変化はありません。
- 30～39歳では、46.6%から14.4%まで大きく減り、その後は15.9%と大きな変化はありません。
- 40～49歳では、46.5%から16.7%まで減り、その後は15.0%と大きな変化はありません。
- 50～59歳では、44.1%から16.5%まで減り、その後は13.5%と大きな変化はありません。
- 60～69歳では、44.8%から24.9%まで減り、その後は16.9%とやや減っています。
- 70歳以上では、42.9%から28.7%まで減り、その後は19.3%とやや減っています。

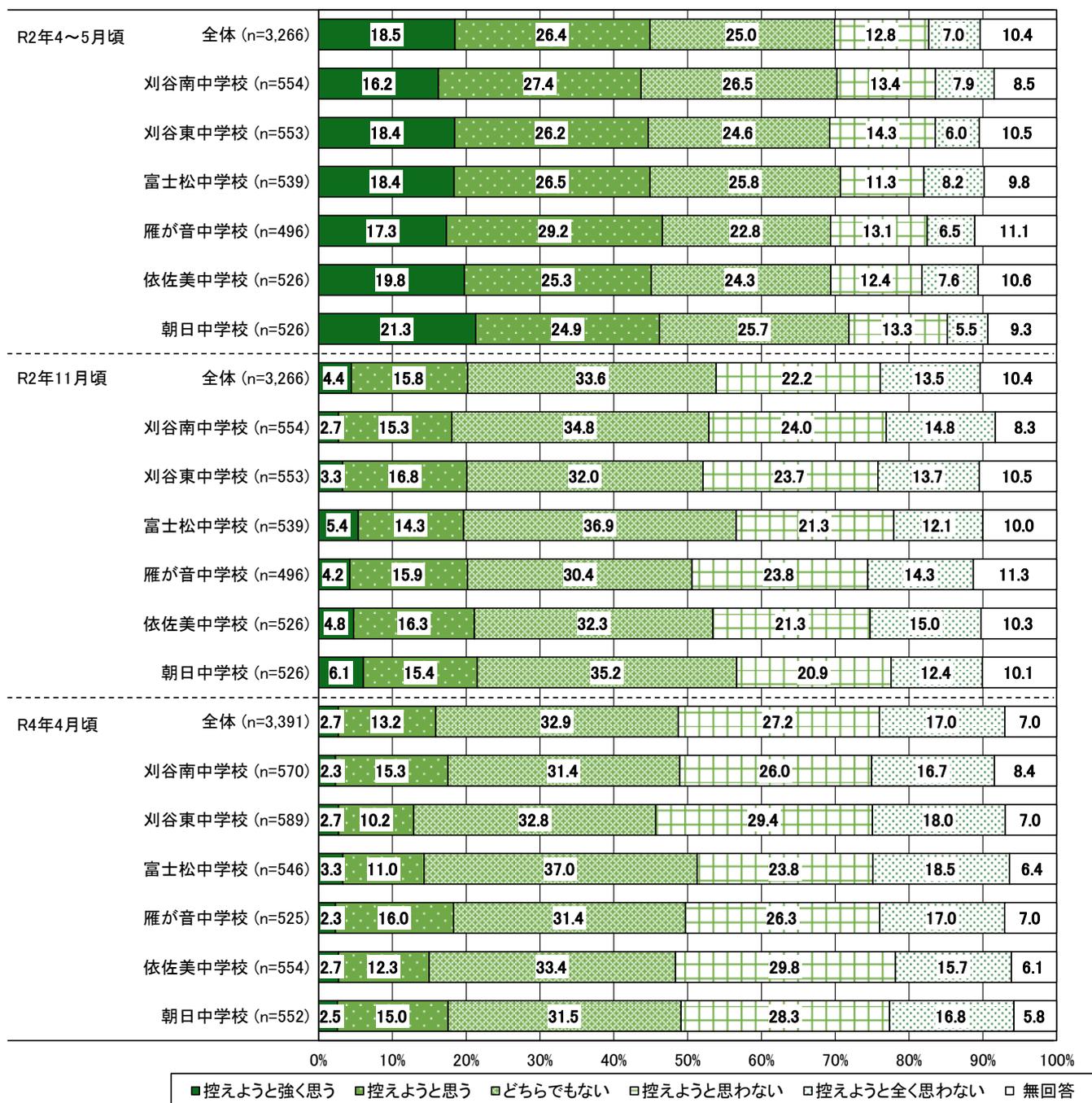


(中学校区別)

中学校区別でみると、令和4年4月頃は、最も高い雁が音中学校区が18.3%、最も低い刈谷東中学校区が12.9%となっています。

中学校区別の3時点（令和2年4月～5月頃⇒令和2年11月頃⇒令和4年4月頃）での推移は以下の通りです。

刈谷南中学校区では、43.6%から18.0%まで減り、その後は17.6%と大きな変化はありません。
 刈谷東中学校区では、44.6%から20.1%まで減り、その後は12.9%とやや減っています。
 富士松中学校区では、44.9%から19.7%まで減り、その後は14.3%とやや減っています。
 雁が音中学校区では、46.5%から20.1%まで減り、その後は18.3%と大きな変化はありません。
 依佐美中学校区では、45.1%から21.1%まで減り、その後は15.0%とやや減っています。
 朝日中学校区では、46.2%から21.5%まで減り、その後は17.5%と大きな変化はありません。



(12) 自宅から離れた都心・中心市街地(名古屋駅・刈谷駅等)

(全体)

3時点(令和2年4月～5月頃⇒令和2年11月頃⇒令和4年4月頃)での推移をみると、88.5%から59.5%まで減り、その後は68.0%とやや増えています。

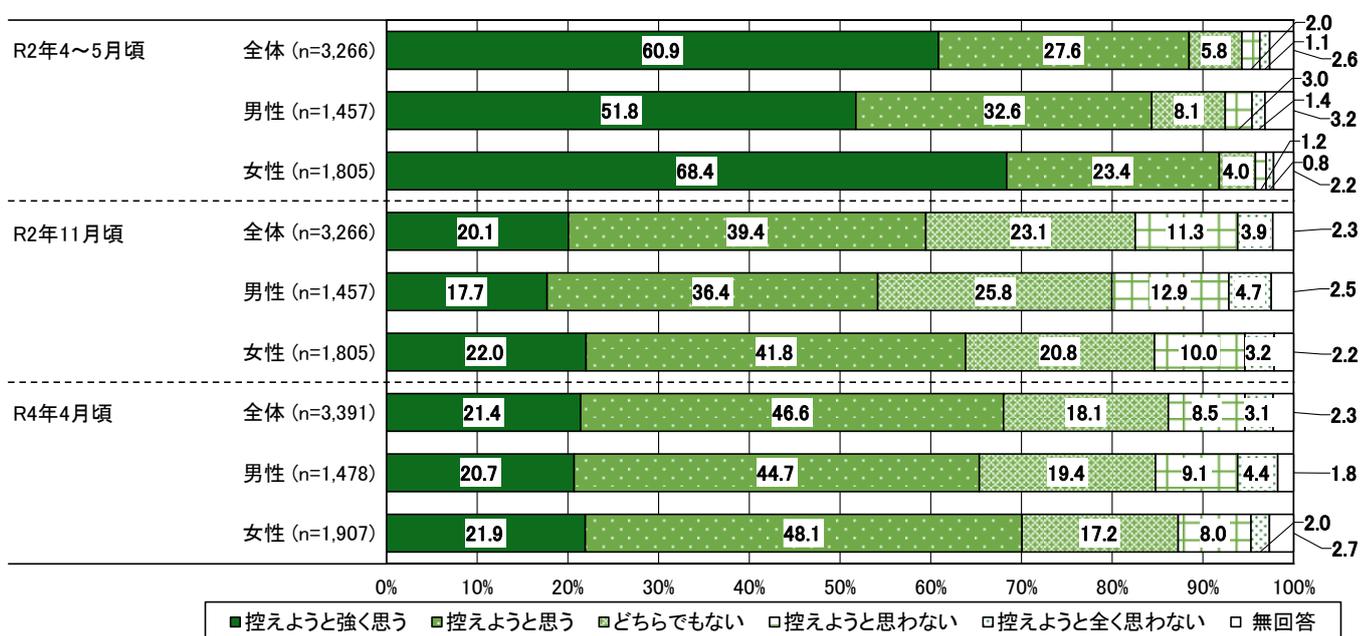
(性別)

性別で見ると、令和4年4月頃は、男性が65.4%、女性が70.0%となっています。

性別の3時点(令和2年4月～5月頃⇒令和2年11月頃⇒令和4年4月頃)での推移は以下の通りです。

男性では、84.4%から54.1%まで大きく減り、その後は65.4%と増えています。

女性では、91.8%から63.8%まで減り、その後は70.0%とやや増えています。

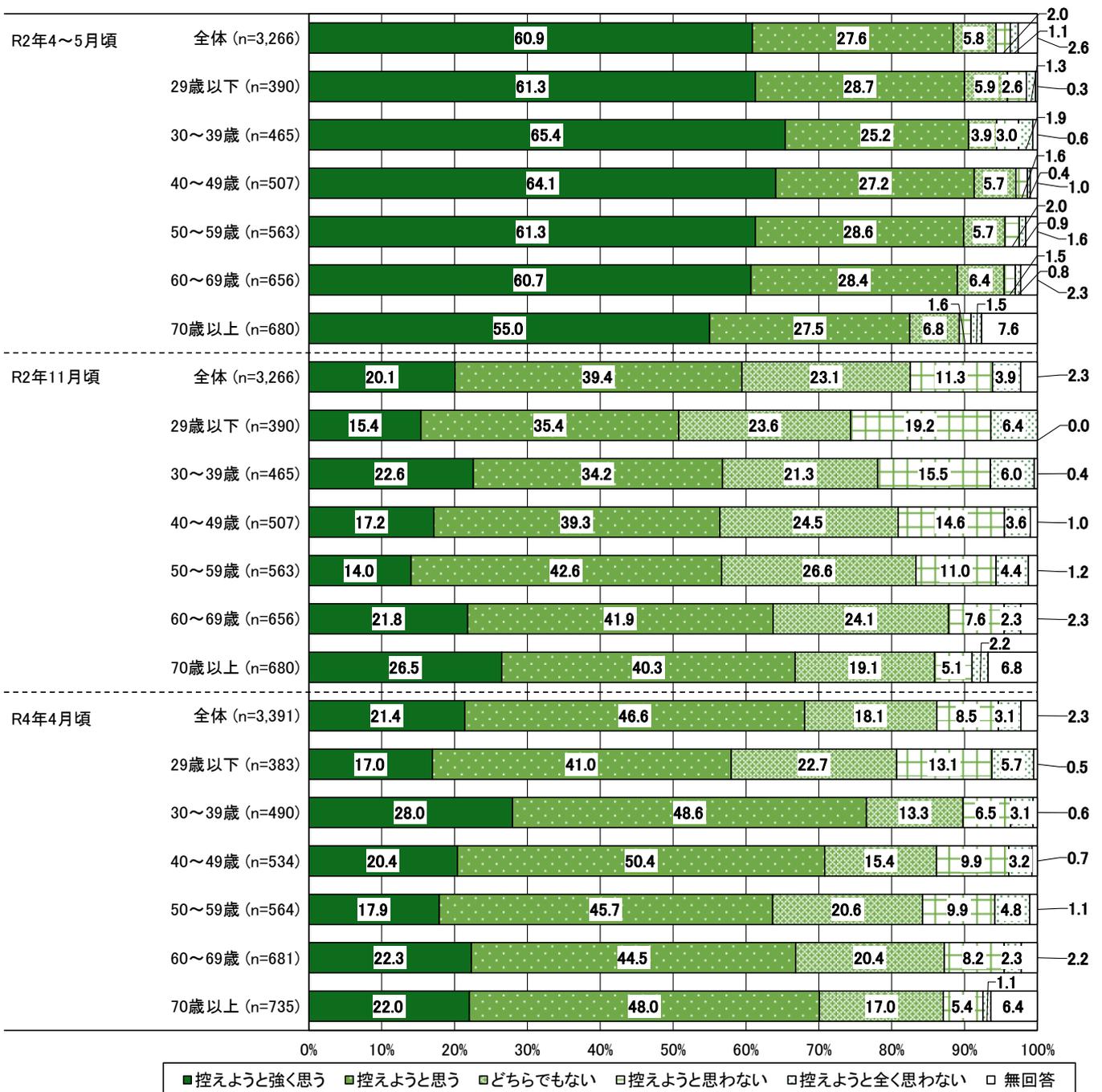


(年齢別)

年齢別でみると、令和4年4月頃は、最も高い30～39歳が76.6%、最も低い29歳以下が58.0%となっており、10ポイント以上の差が生じています。

年齢別の3時点（令和2年4月～5月頃⇒令和2年11月頃⇒令和4年4月頃）での推移は以下の通りです。

- 29歳以下では、90.0%から50.8%まで大きく減り、その後は58.0%とやや増えています。
- 30～39歳では、90.6%から56.8%まで大きく減り、その後は76.6%と増えています。
- 40～49歳では、91.3%から56.5%まで大きく減り、その後は70.8%と増えています。
- 50～59歳では、89.9%から56.6%まで大きく減り、その後は63.6%とやや増えています。
- 60～69歳では、89.1%から63.7%まで減り、その後は66.8%と大きな変化はありません。
- 70歳以上では、82.5%から66.8%まで減り、その後は70.0%と大きな変化はありません。

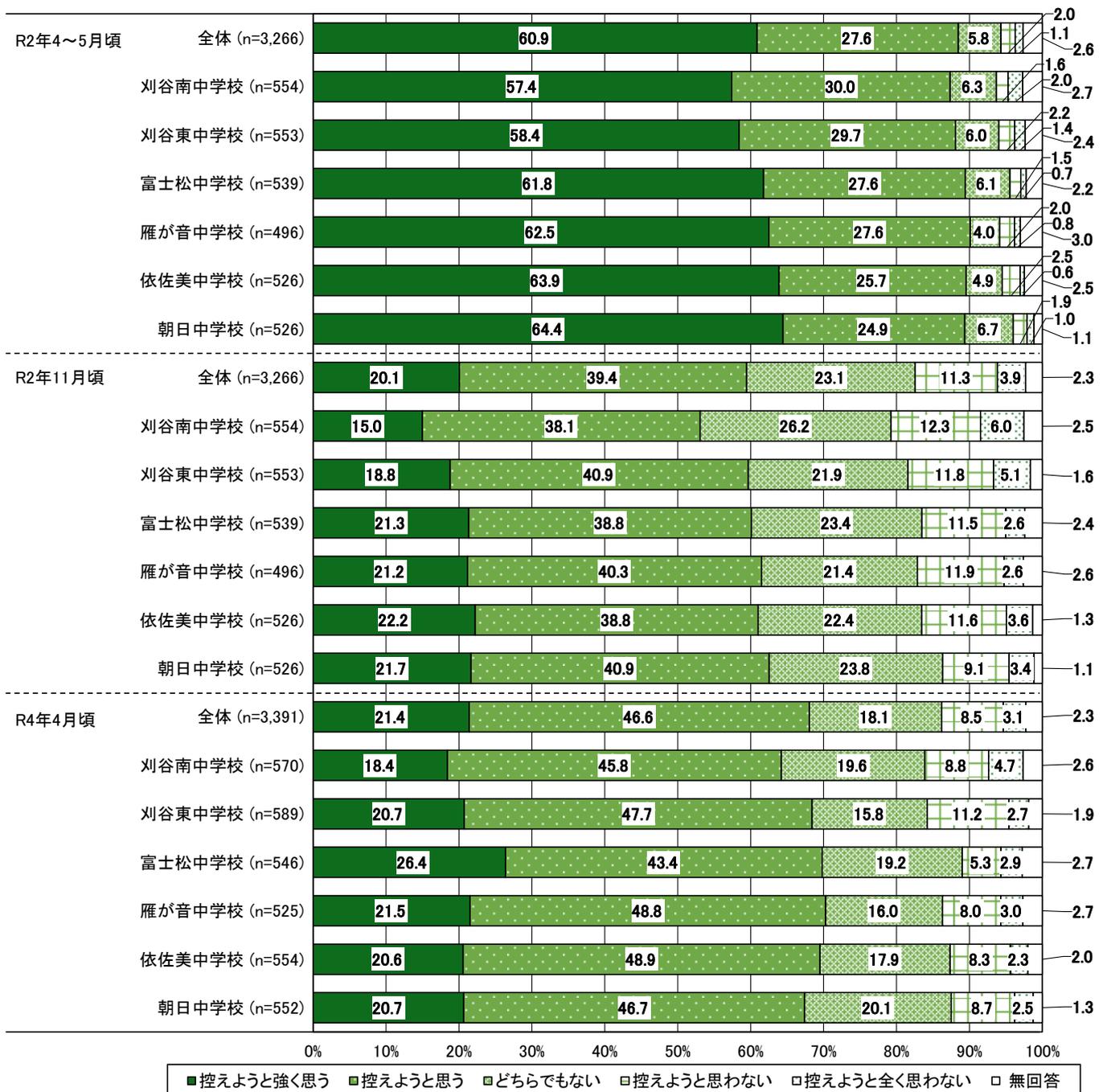


(中学校区別)

中学校区別でみると、令和4年4月頃は、最も高い雁が音中学校区が70.3%、最も低い刈谷南中学校区が64.2%となっています。

中学校区別の3時点（令和2年4月～5月頃⇒令和2年11月頃⇒令和4年4月頃）での推移は以下の通りです。

刈谷南中学校区では、87.4%から53.1%まで大きく減り、その後は64.2%と増えています。
 刈谷東中学校区では、88.1%から59.7%まで減り、その後は68.4%とやや増えています。
 富士松中学校区では、89.4%から60.1%まで減り、その後は69.8%とやや増えています。
 雁が音中学校区では、90.1%から61.5%まで減り、その後は70.3%とやや増えています。
 依佐美中学校区では、89.6%から61.0%まで減り、その後は69.5%とやや増えています。
 朝日中学校区では、89.3%から62.6%まで減り、その後は67.4%と大きな変化はありません。



(13) 自宅から離れた郊外(ショッピングセンター等)

(全体)

3時点(令和2年4月～5月頃⇒令和2年11月頃⇒令和4年4月頃)での推移をみると、86.6%から46.9%まで大きく減り、その後は59.3%と増えています。

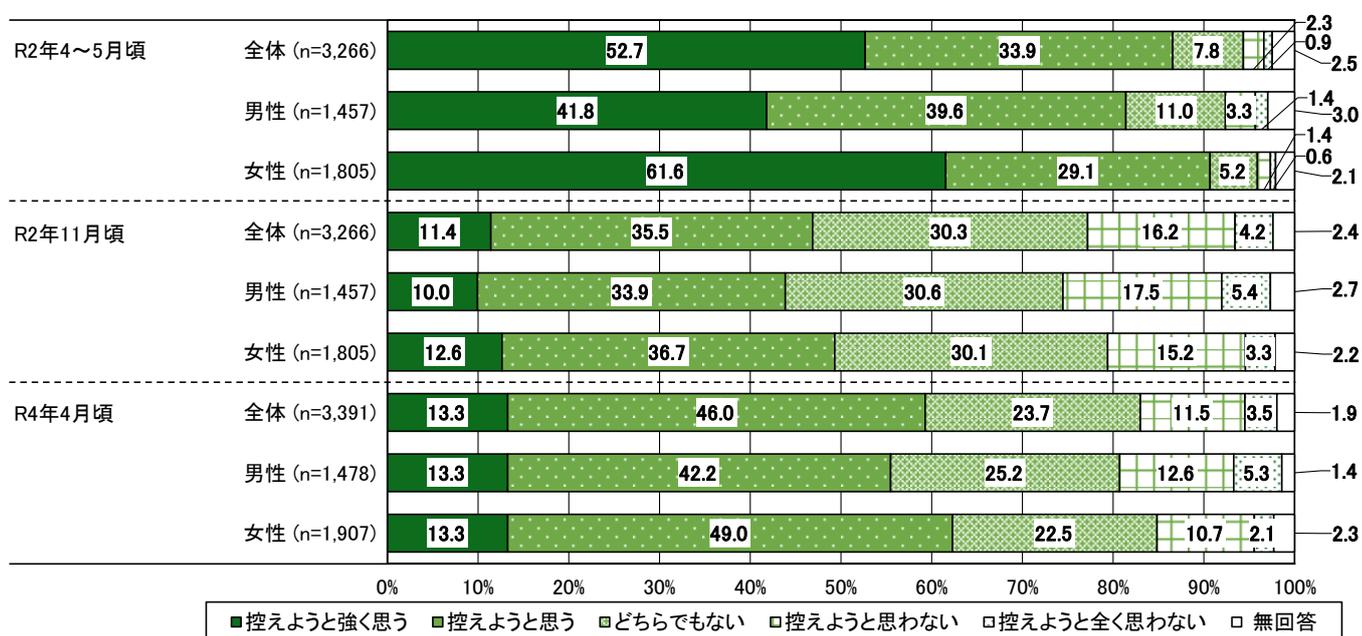
(性別)

性別で見ると、令和4年4月頃は、男性が55.5%、女性が62.3%となっています。

性別の3時点(令和2年4月～5月頃⇒令和2年11月頃⇒令和4年4月頃)での推移は以下の通りです。

男性では、81.4%から43.9%まで大きく減り、その後は55.5%と増えています。

女性では、90.7%から49.3%まで大きく減り、その後は62.3%と増えています。

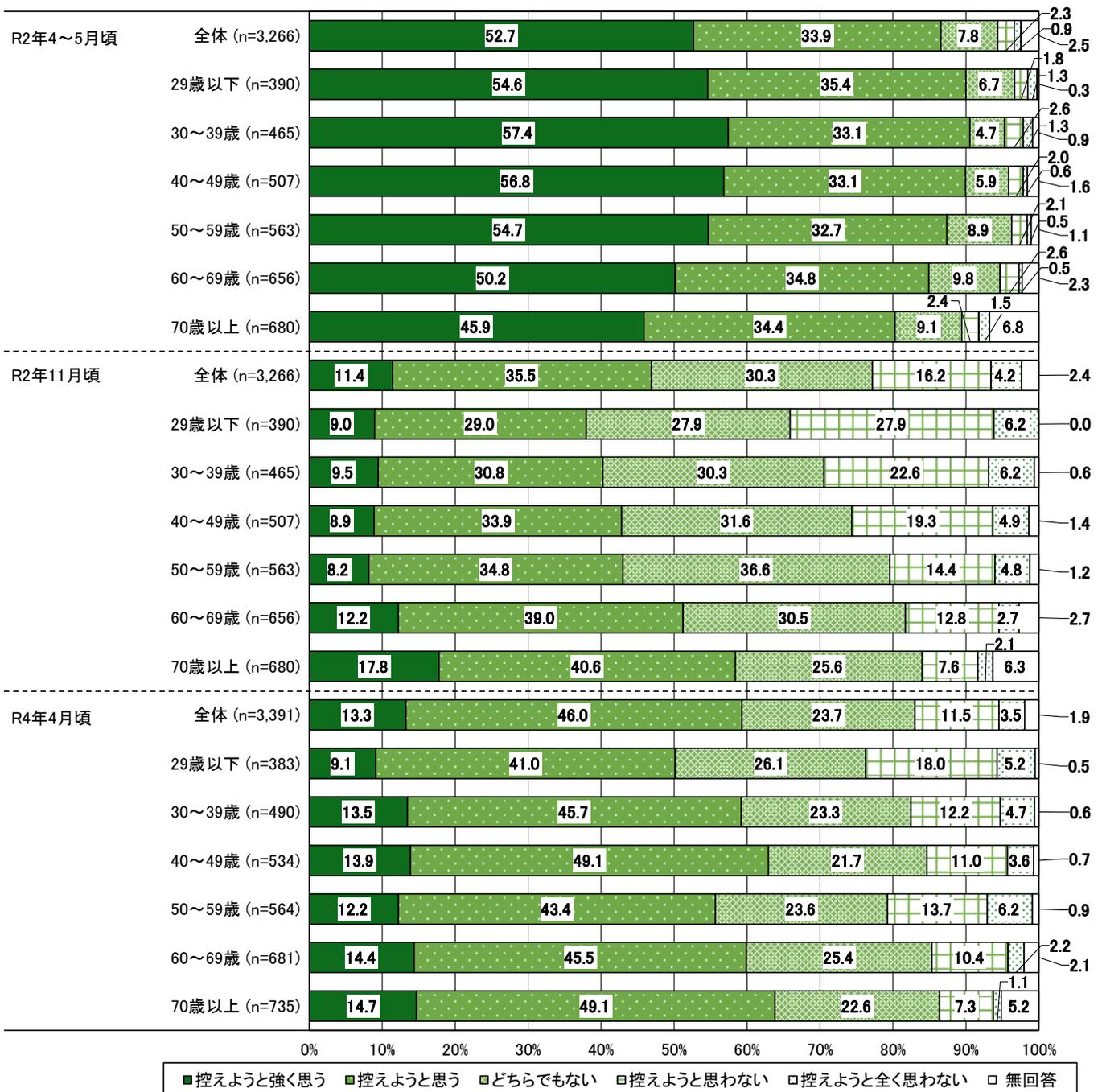


(年齢別)

年齢別でみると、令和4年4月頃は、最も高い70歳以上が63.8%、最も低い29歳以下が50.1%となっており、10ポイント以上の差が生じています。

年齢別の3時点（令和2年4月～5月頃⇒令和2年11月頃⇒令和4年4月頃）での推移は以下の通りです。

- 29歳以下では、90.0%から38.0%まで大きく減り、その後は50.1%と増えています。
- 30～39歳では、90.5%から40.3%まで大きく減り、その後は59.2%と増えています。
- 40～49歳では、89.9%から42.8%まで大きく減り、その後は63.0%と増えています。
- 50～59歳では、87.4%から43.0%まで大きく減り、その後は55.6%と増えています。
- 60～69歳では、85.0%から51.2%まで大きく減り、その後は59.9%とやや増えています。
- 70歳以上では、80.3%から58.4%まで減り、その後は63.8%とやや増えています。

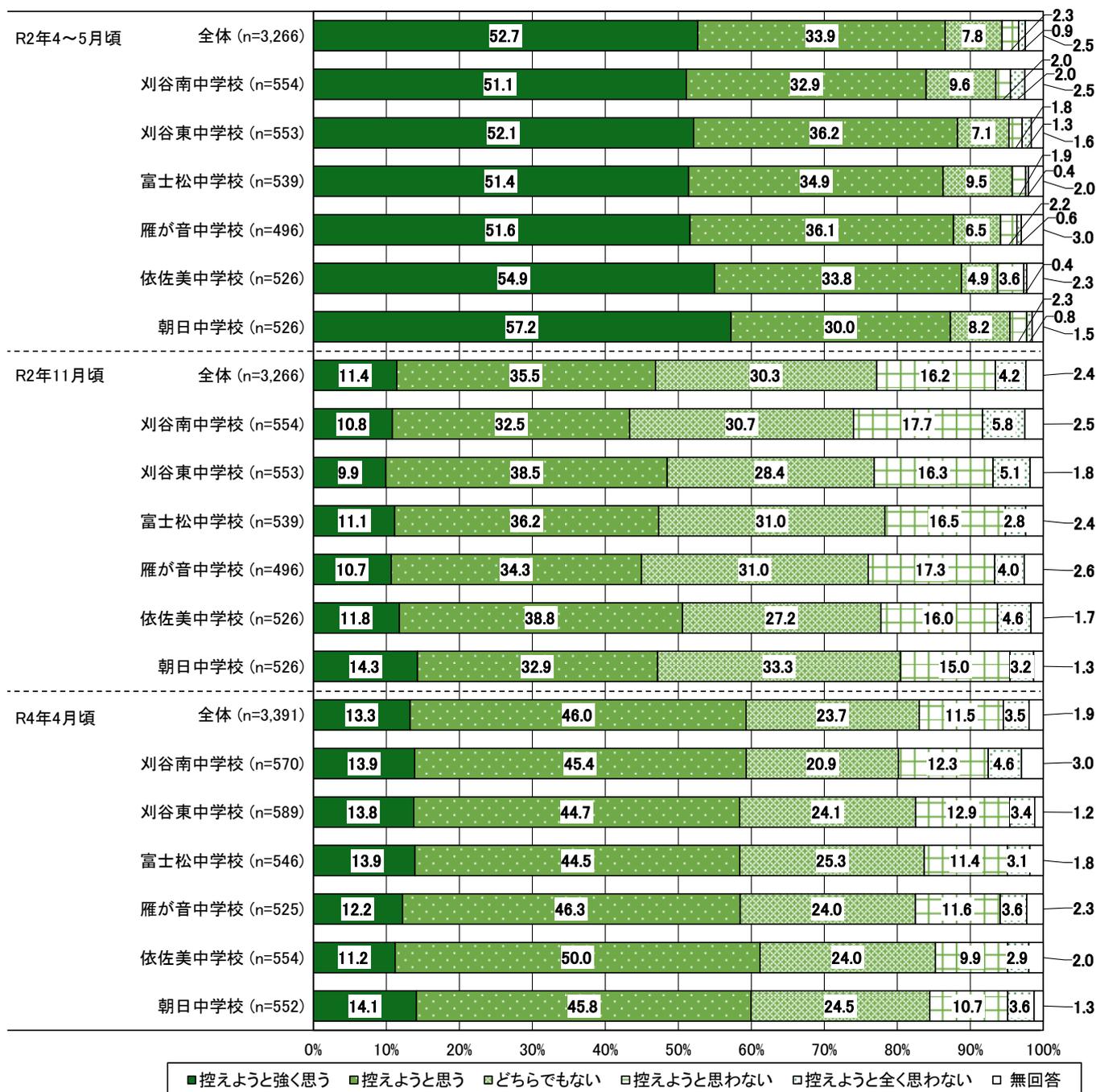


(中学校区別)

中学校区別でみると、令和4年4月頃は、最も高い依佐美中学校区が61.2%、最も低い富士松中学校区が58.4%となっています。

中学校区別の3時点（令和2年4月～5月頃⇒令和2年11月頃⇒令和4年4月頃）での推移は以下の通りです。

刈谷南中学校区では、84.0%から43.3%まで大きく減り、その後は59.3%と増えています。
 刈谷東中学校区では、88.3%から48.4%まで大きく減り、その後は58.5%と増えています。
 富士松中学校区では、86.3%から47.3%まで大きく減り、その後は58.4%と増えています。
 雁が音中学校区では、87.7%から45.0%まで大きく減り、その後は58.5%と増えています。
 依佐美中学校区では、88.7%から50.6%まで大きく減り、その後は61.2%と増えています。
 朝日中学校区では、87.2%から47.2%まで大きく減り、その後は59.9%と増えています。



(14) 自然地(海・山等)

(全体)

3時点(令和2年4月～5月頃⇒令和2年11月頃⇒令和4年4月頃)での推移をみると、68.4%から34.2%まで大きく減り、その後は28.9%とやや減っています。

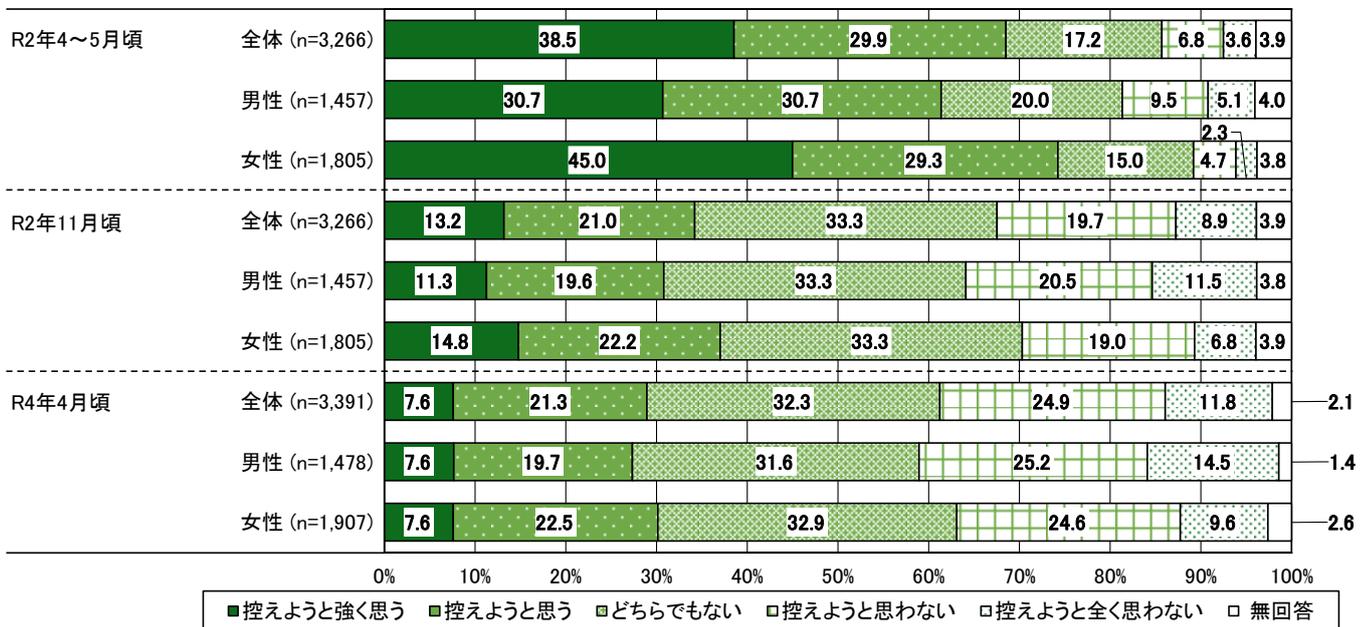
(性別)

性別で見ると、令和4年4月頃は、男性が27.3%、女性が30.1%となっています。

性別の3時点(令和2年4月～5月頃⇒令和2年11月頃⇒令和4年4月頃)での推移は以下の通りです。

男性では、61.4%から30.9%まで大きく減り、その後は27.3%と大きな変化はありません。

女性では、74.3%から37.0%まで大きく減り、その後は30.1%とやや減っています。

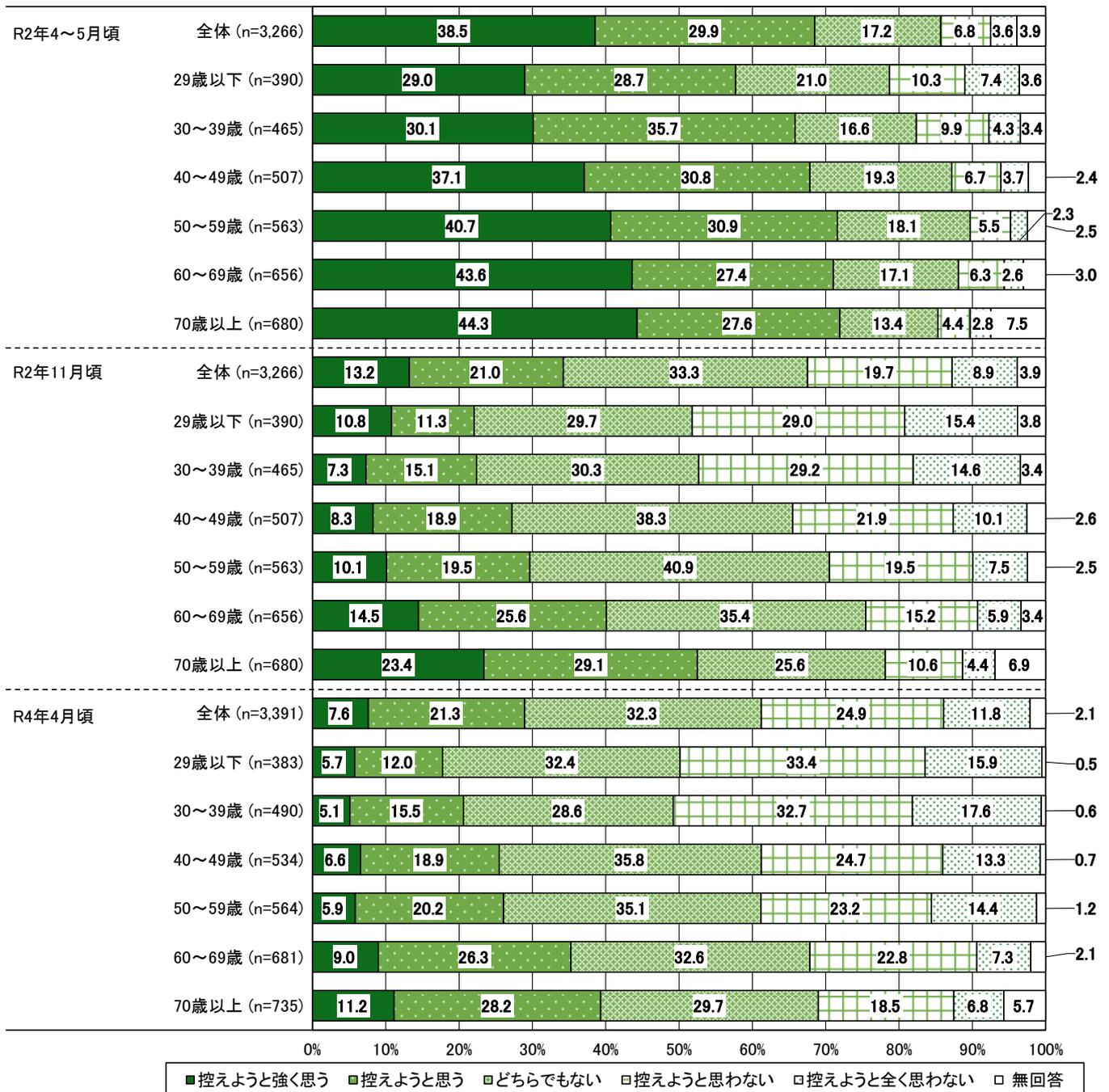


(年齢別)

年齢別でみると、令和4年4月頃は、最も高い70歳以上が39.4%、最も低い29歳以下が17.7%となっており、20ポイント以上の差が生じています。

年齢別の3時点（令和2年4月～5月頃⇒令和2年11月頃⇒令和4年4月頃）での推移は以下の通りです。

29歳以下では、57.7%から22.1%まで大きく減り、その後は17.7%と大きな変化はありません。
 30～39歳では、65.8%から22.4%まで大きく減り、その後は20.6%と大きな変化はありません。
 40～49歳では、67.9%から27.2%まで大きく減り、その後は25.5%と大きな変化はありません。
 50～59歳では、71.6%から29.6%まで大きく減り、その後は26.1%と大きな変化はありません。
 60～69歳では、71.0%から40.1%まで大きく減り、その後は35.3%と大きな変化はありません。
 70歳以上では、71.9%から52.5%まで減り、その後は39.4%と減っています。

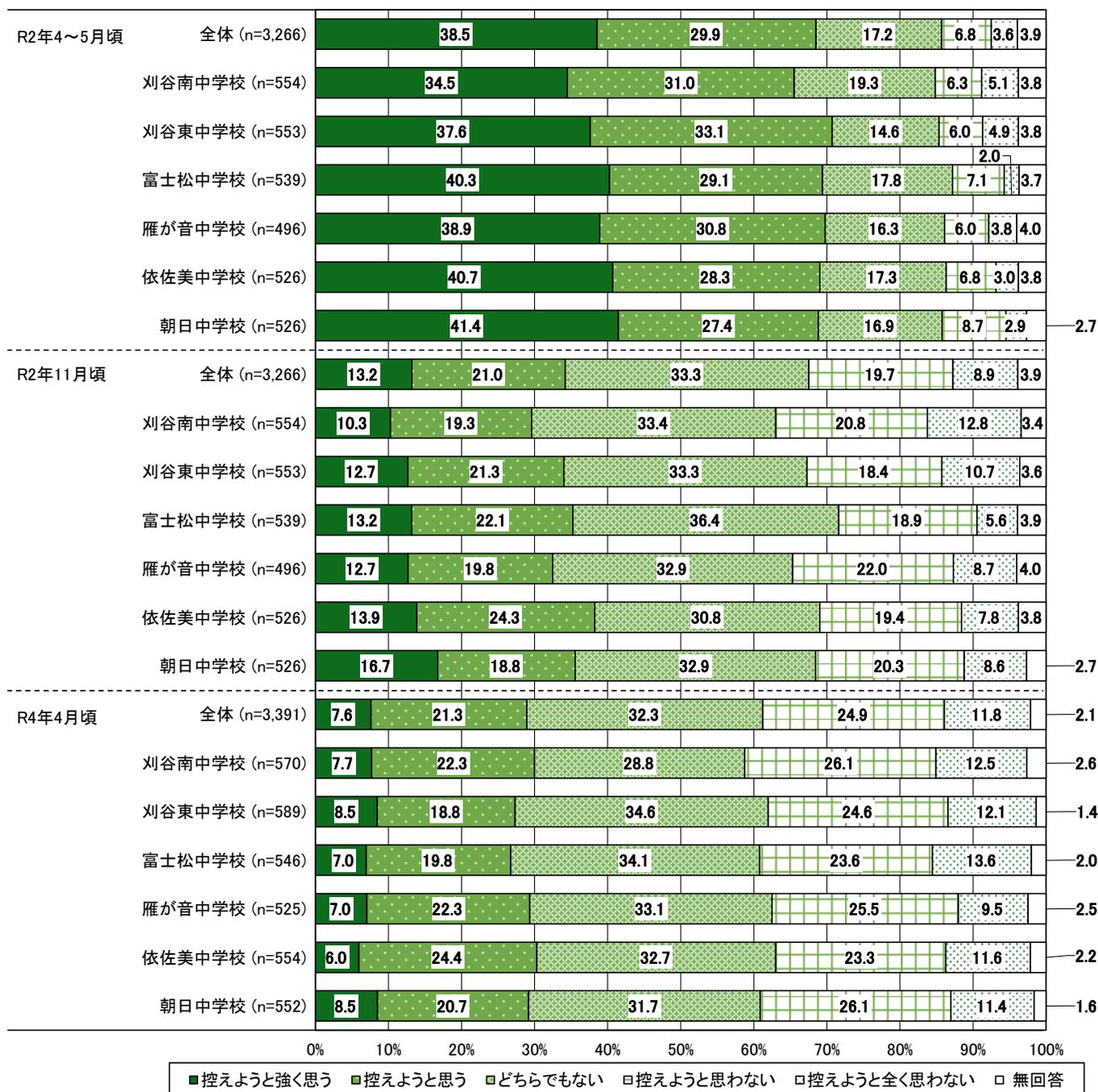


(中学校区別)

中学校区別でみると、令和4年4月頃は、最も高い依佐美中学校区が30.4%、最も低い富士松中学校区が26.8%となっています。

中学校区別の3時点（令和2年4月～5月頃⇒令和2年11月頃⇒令和4年4月頃）での推移は以下の通りです。

刈谷南中学校区では、65.5%から29.6%まで大きく減り、その後は30.0%と大きな変化はありません。
 刈谷東中学校区では、70.7%から34.0%まで大きく減り、その後は27.3%とやや減っています。
 富士松中学校区では、69.4%から35.3%まで大きく減り、その後は26.8%とやや減っています。
 雁が音中学校区では、69.7%から32.5%まで大きく減り、その後は29.3%と大きな変化はありません。
 依佐美中学校区では、69.0%から38.2%まで大きく減り、その後は30.4%とやや減っています。
 朝日中学校区では、68.8%から35.5%まで大きく減り、その後は29.2%とやや減っています。



3 - 3. コロナ禍における行動変化

(1)「通勤や通学」

市政評価：設問 50、現状把握：設問 66

※設問6『あなたの職業は？』に対し、「1.自営業(農林業等従事者も含む)」「2.正規の職員・従業員(公務員、専門職含む)」「3.派遣・契約社員」「4.パート・アルバイト」「5.会社員などの役員」「6.学生・専門学校生」と回答した方

(全体)

「通勤や通学」について、令和2年4月～5月頃は、「感染拡大前とそれほど大きく変わっていない」が51.2%である一方、「何らかの変化があった」（「テレワークやオンライン授業などデジタル技術の活用により、通勤や通学をすることがほとんど無くなった」、「テレワークやオンライン授業などデジタル技術の活用により、通勤や通学をすることが感染拡大前より少なくなった」、「勤務先の稼働時間の縮小や休校など通勤・通学先の都合により、通勤や通学をすることが無くなった、もしくは感染拡大前より少なくなった」の合計をいう）が40.5%となっています。

令和2年11月頃は、「感染拡大前とそれほど大きく変わっていない」が73.8%である一方、「何らかの変化があった」が18.5%となっています。

令和4年4月頃は、「感染拡大前とそれほど大きく変わっていない」が70.4%である一方、「何らかの変化があった」が22.4%となっています。

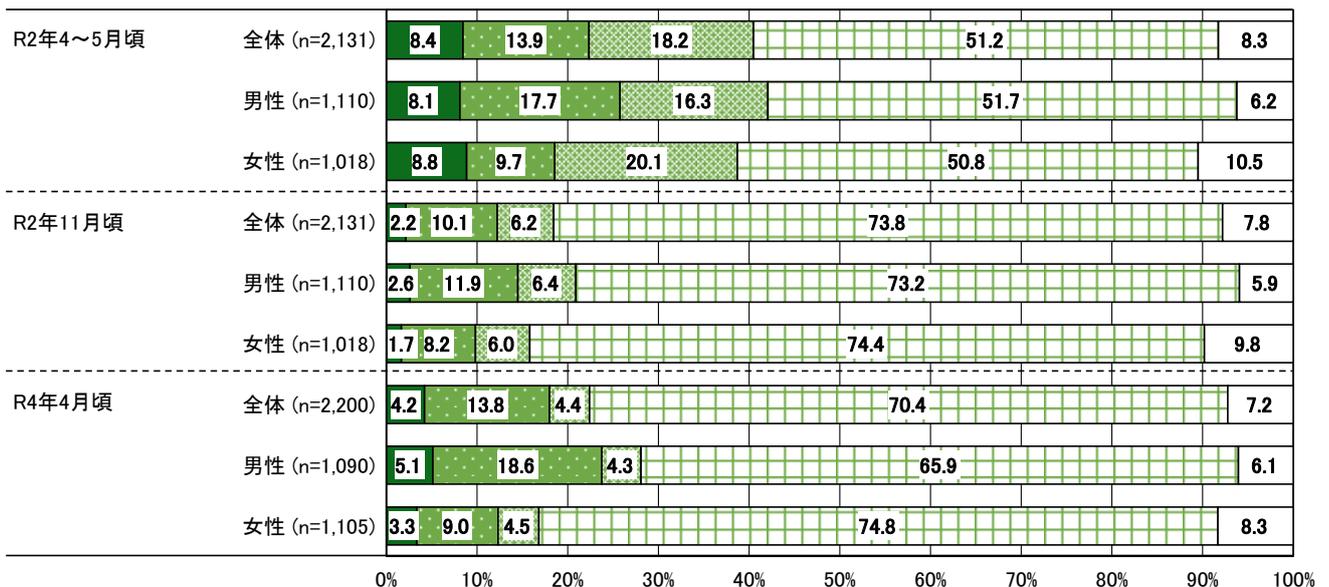
(性別)

「何らかの変化があった」回答を性別でみると、令和4年4月頃は、男性が28.0%、女性が16.8%となっており、10ポイント以上の差が生じています。

性別の3時点（令和2年4月～5月頃⇒令和2年11月頃⇒令和4年4月頃）での推移は以下の通りです。

男性では、42.1%から20.9%まで減り、その後は28.0%とやや増えています。

女性では、38.6%から15.9%まで減り、その後は16.8%と大きな変化はありません。



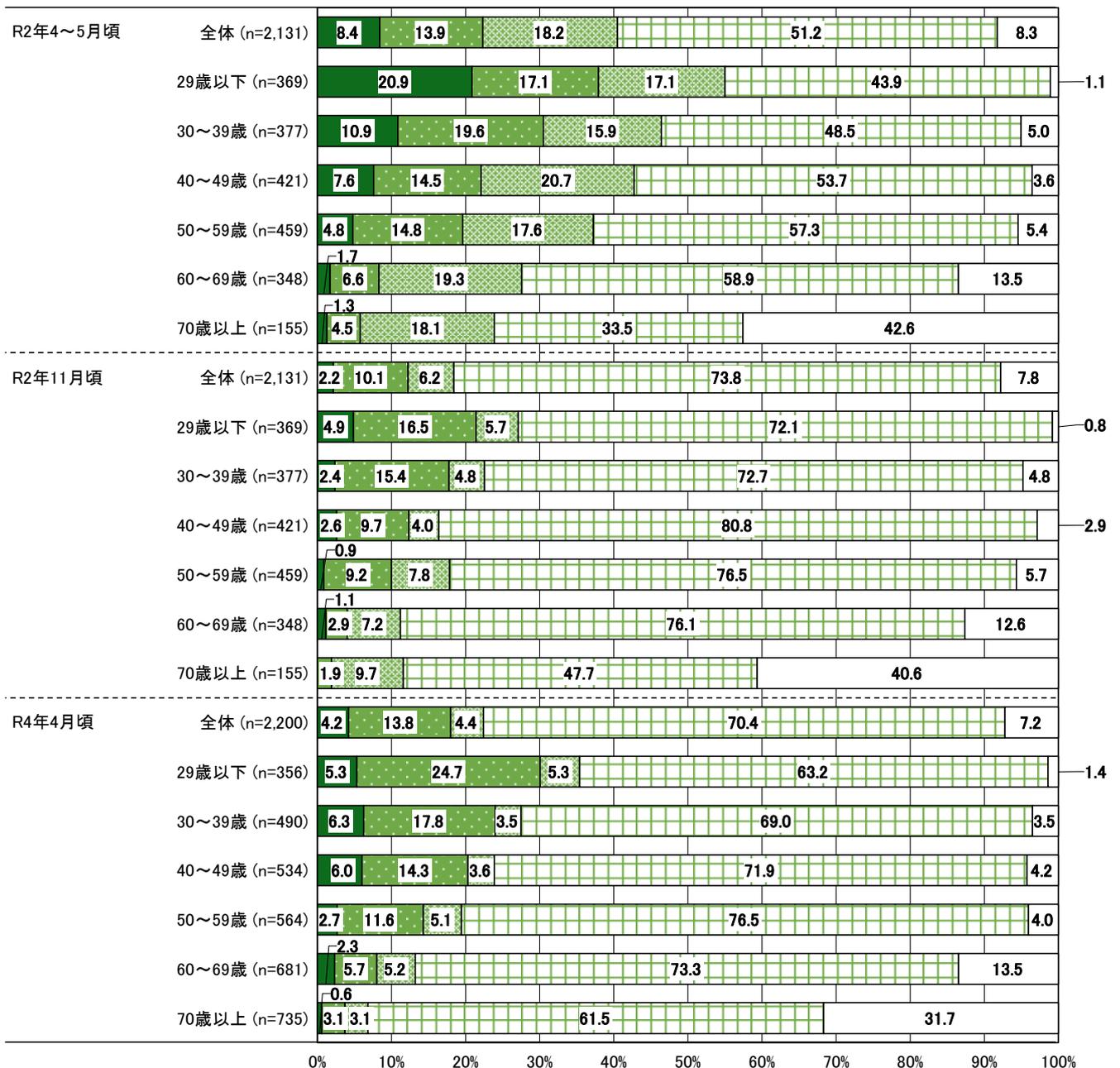
- テレワークやオンライン授業などデジタル技術の活用により、通勤や通学をすることがほとんど無くなった
- テレワークやオンライン授業などデジタル技術の活用により、通勤や通学をすることが感染拡大前より少なくなった
- 勤務先の稼働時間の縮小や休校など通勤・通学先の都合により、通勤や通学をすることが無くなった、もしくは感染拡大前より少なくなった
- 感染拡大前とそれほど大きく変わっていない
- 無回答

(年齢別)

「何らかの変化があった」回答を年齢別で見ると、令和4年4月頃は、最も高い29歳以下が35.3%、最も低い70歳以上が6.8%となっており、20ポイント以上の差が生じています。

年齢別の3時点（令和2年4月～5月頃⇒令和2年11月頃⇒令和4年4月頃）での推移は以下の通りです。

- 29歳以下では、55.1%から27.1%まで減り、その後は35.3%とやや増えています。
- 30～39歳では、46.4%から22.6%まで減り、その後は27.6%とやや増えています。
- 40～49歳では、42.8%から16.3%まで減り、その後は23.9%とやや増えています。
- 50～59歳では、37.2%から17.9%まで減り、その後は19.4%と大きな変化はありません。
- 60～69歳では、27.6%から11.2%まで減り、その後は13.2%と大きな変化はありません。
- 70歳以上では、23.9%から11.6%まで減り、その後は6.8%と大きな変化はありません。



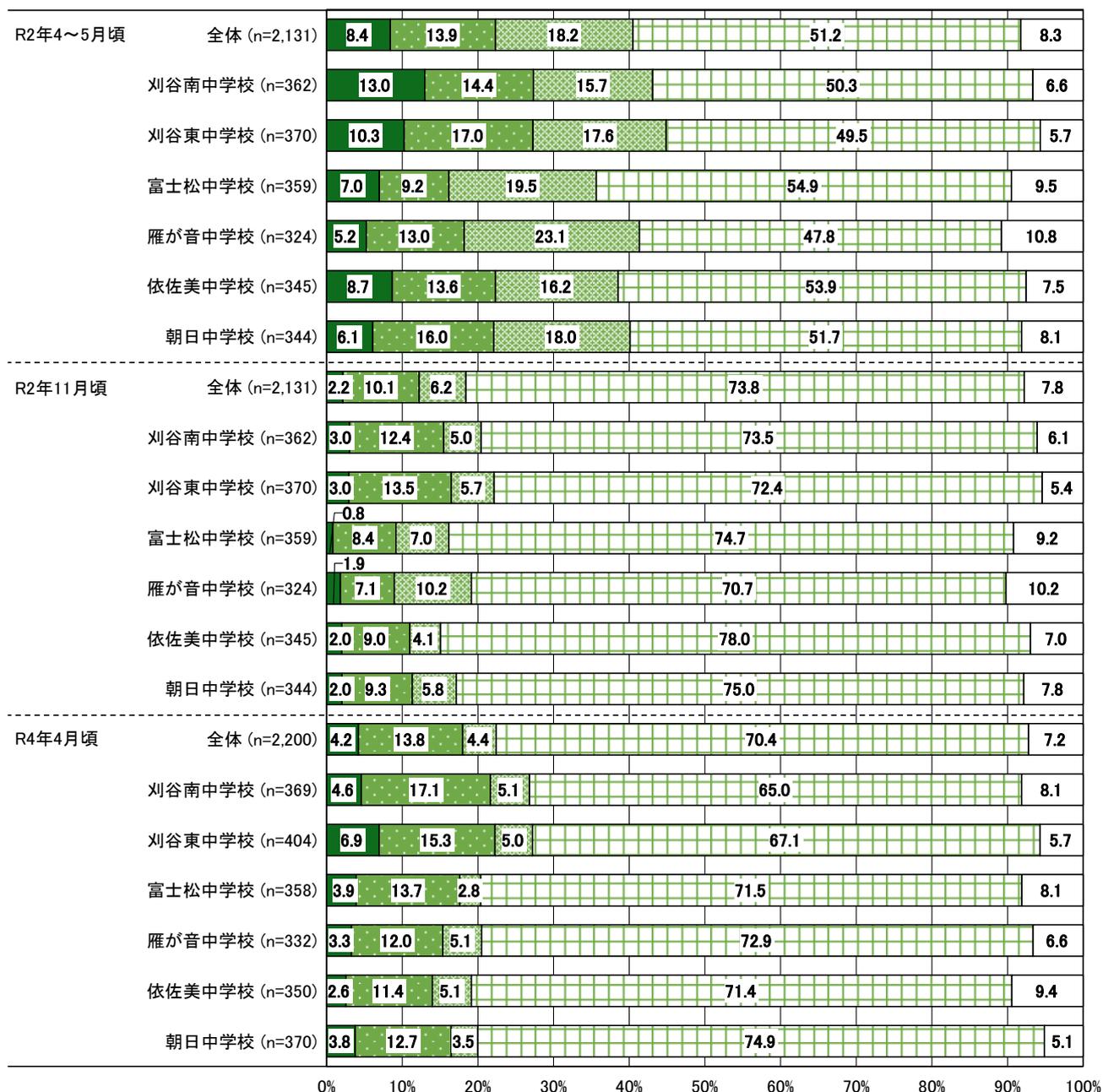
■ テレワークやオンライン授業などデジタル技術の活用により、通勤や通学をすることがほとんど無くなった
 ■ テレワークやオンライン授業などデジタル技術の活用により、通勤や通学をすることが感染拡大前より少なくなった
 ■ 勤務先の稼働時間の縮小や休校など通勤・通学先の都合により、通勤や通学をすることが無くなった、もしくは感染拡大前より少なくなった
 □ 感染拡大前とそれほど大きく変わっていない
 □ 無回答

(中学校区別)

「何らかの変化があった」回答を中学校区別でみると、令和4年4月頃は、最も高い刈谷東中学校区が27.2%、最も低い依佐美中学校区が19.1%となっています。

中学校区別の3時点（令和2年4月～5月頃⇒令和2年11月頃⇒令和4年4月頃）での推移は以下の通りです。

刈谷南中学校区では、43.1%から20.4%まで減り、その後は26.8%とやや増えています。
 刈谷東中学校区では、44.9%から22.2%まで減り、その後は27.2%とやや増えています。
 富士松中学校区では、35.7%から16.2%まで減り、その後は20.4%と大きな変化はありません。
 雁が音中学校区では、41.3%から19.2%まで減り、その後は20.4%と大きな変化はありません。
 依佐美中学校区では、38.5%から15.1%まで減り、その後は19.1%と大きな変化はありません。
 朝日中学校区では、40.1%から17.1%まで減り、その後は20.0%と大きな変化はありません。



- テレワークやオンライン授業などデジタル技術の活用により、通勤や通学をすることがほとんど無くなった
- テレワークやオンライン授業などデジタル技術の活用により、通勤や通学をすることが感染拡大前より少なくなった
- 勤務先の稼働時間の縮小や休校など通勤・通学先の都合により、通勤や通学をすることが無くなった、もしくは感染拡大前より少なくなった
- 感染拡大前とそれほど大きく変わっていない
- 無回答

(2)「余暇を過ごす場所」

市政評価：設問 51、現状把握：設問 67

(全体)

「余暇を過ごす場所」について、令和2年4月～5月頃は、最も高い「外出を控え、自宅で過ごすことが増えた」が80.5%、最も低い「県内のレジャー施設を利用することが増え、県外に出る機会が減った」が2.8%となっています。

令和2年11月頃は、「外出を控え、自宅で過ごすことが増えた」が33.3%と大きく減った一方、「県内のレジャー施設を利用することが増え、県外に出る機会が減った」が10.7%とやや増えています。

令和4年4月頃は、「外出を控え、自宅で過ごすことが増えた」が65.1%で大きく増えた一方、「県内のレジャー施設を利用することが増え、県外に出る機会が減った」は11.5%で大きな変化はありません。

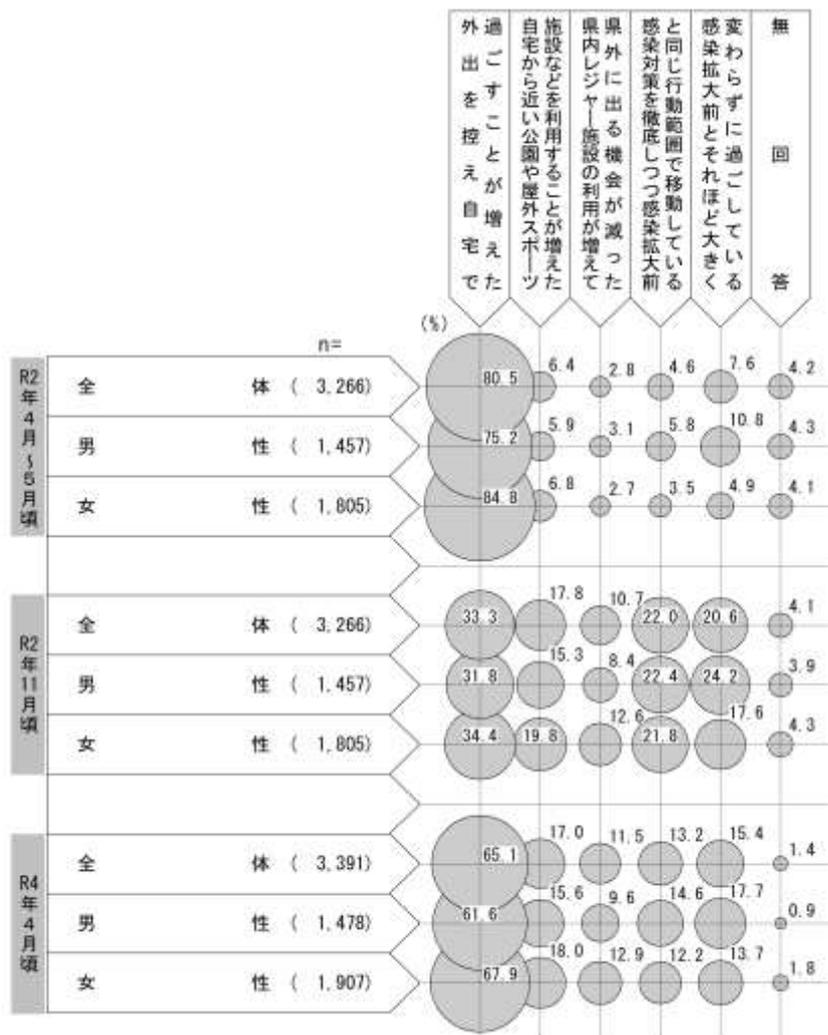
(性別)

「外出を控え、自宅で過ごすことが増えた」という回答を性別でみると、令和4年4月頃は、男性が61.6%、女性が67.9%となっています。

性別の3時点（令和2年4月～5月頃⇒令和2年11月頃⇒令和4年4月頃）での推移は以下の通りです。

男性では、75.2%から31.8%まで大きく減り、その後は61.6%と増えています。

女性では、84.8%から34.4%まで大きく減り、その後は67.9%と大きく増えています。

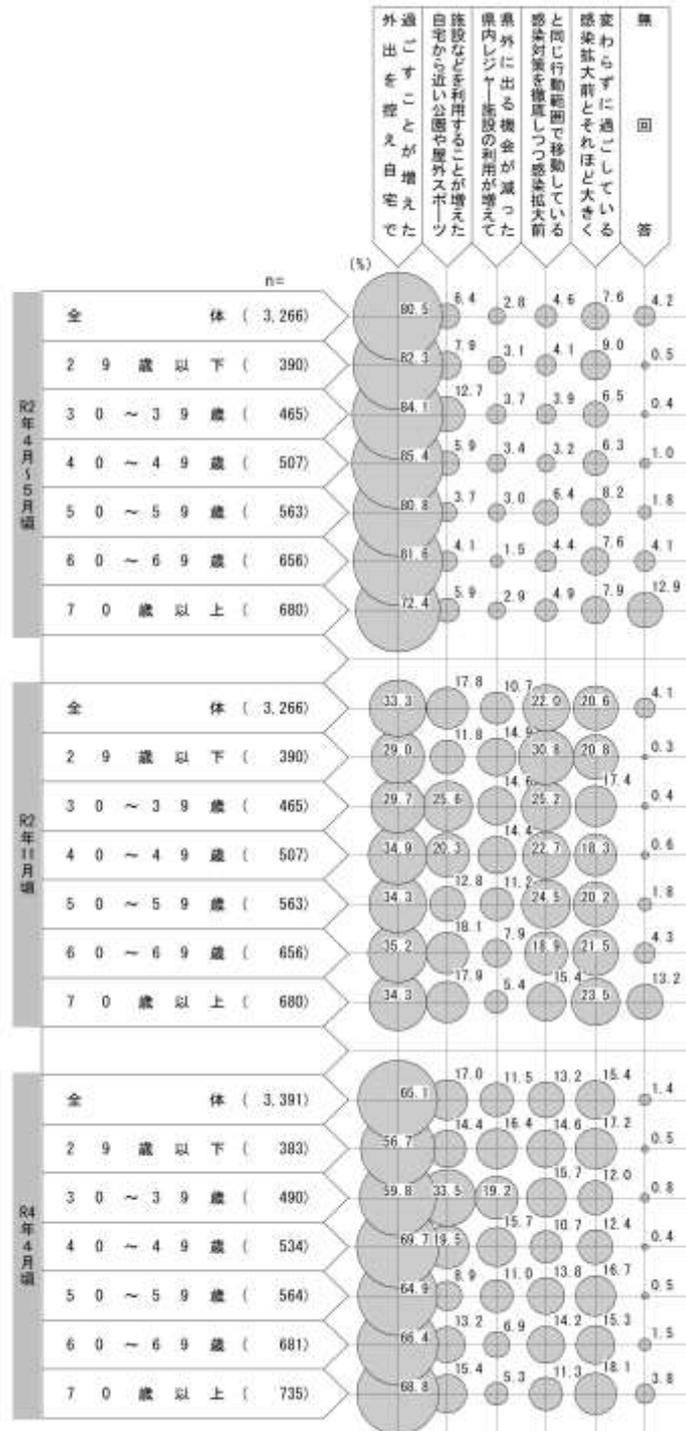


(年齢別)

「外出を控え、自宅で過ごすことが増えた」という回答を年齢別でみると、令和4年4月頃は、最も高い40～49歳が69.7%、最も低い29歳以下が56.7%となっており、10ポイント以上の差が生じています。

年齢別の3時点（令和2年4月～5月頃⇒令和2年11月頃⇒令和4年4月頃）での推移は以下の通りです。

- 29歳以下では、82.3%から29.0%まで大きく減り、その後は59.8%と増えています。
- 30～39歳では、84.1%から29.7%まで大きく減り、その後は33.5%と大きく増えています。
- 40～49歳では、85.4%から34.9%まで大きく減り、その後は69.7%と大きく増えています。
- 50～59歳では、80.8%から34.3%まで大きく減り、その後は64.9%と大きく増えています。
- 60～69歳では、81.5%から35.2%まで大きく減り、その後は66.4%と大きく増えています。
- 70歳以上では、72.4%から34.3%まで大きく減り、その後は68.8%と大きく増えています。

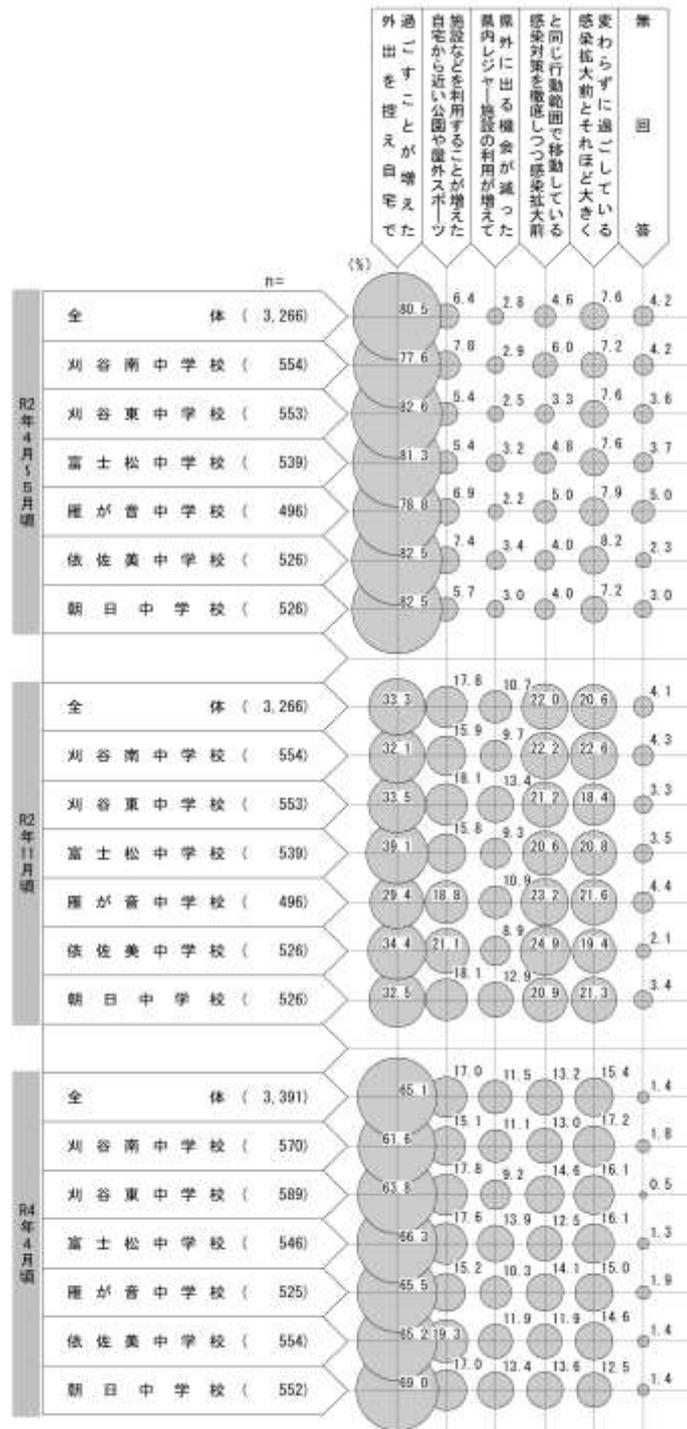


(中学校区別)

「外出を控え、自宅で過ごすことが増えた」という回答を中学校区別でみると、令和4年4月頃は、最も高い朝日中学校区が69.0%、最も低い刈谷南中学校区が61.6%となっています。

中学校区別の3時点（令和2年4月～5月頃⇒令和2年11月頃⇒令和4年4月頃）での推移は以下の通りです。

刈谷南中学校区では、77.6%から32.1%まで大きく減り、その後は61.6%と増えています。
 刈谷東中学校区では、82.6%から33.5%まで大きく減り、その後は63.8%と大きく増えています。
 富士松中学校区では、81.3%から39.1%まで大きく減り、その後は66.3%と増えています。
 雁が音中学校区では、78.8%から29.4%まで大きく減り、その後は65.5%と大きく増えています。
 依佐美中学校区では、82.5%から34.4%まで大きく減り、その後は65.2%と大きく増えています。
 朝日中学校区では、82.5%から32.5%まで大きく減り、その後は69.0%と大きく増えています。



(3)「食事」

市政評価：設問 52、現状把握：設問 68

(全体)

「食事」について、令和2年4月～5月頃は、最も高い「外食を控え、自宅で食事をする機会が増えた」が76.9%、最も低い「市内飲食店を応援するため、市内店舗での食事や店舗受取（テイクアウト）を利用するようになった」が3.9%となっています。

令和2年11月頃は、「外食を控え、自宅で食事をする機会が増えた」が32.1%と大きく減った一方、「市内飲食店を応援するため、市内店舗での食事や店舗受取（テイクアウト）を利用するようになった」が13.8%とやや増えています。

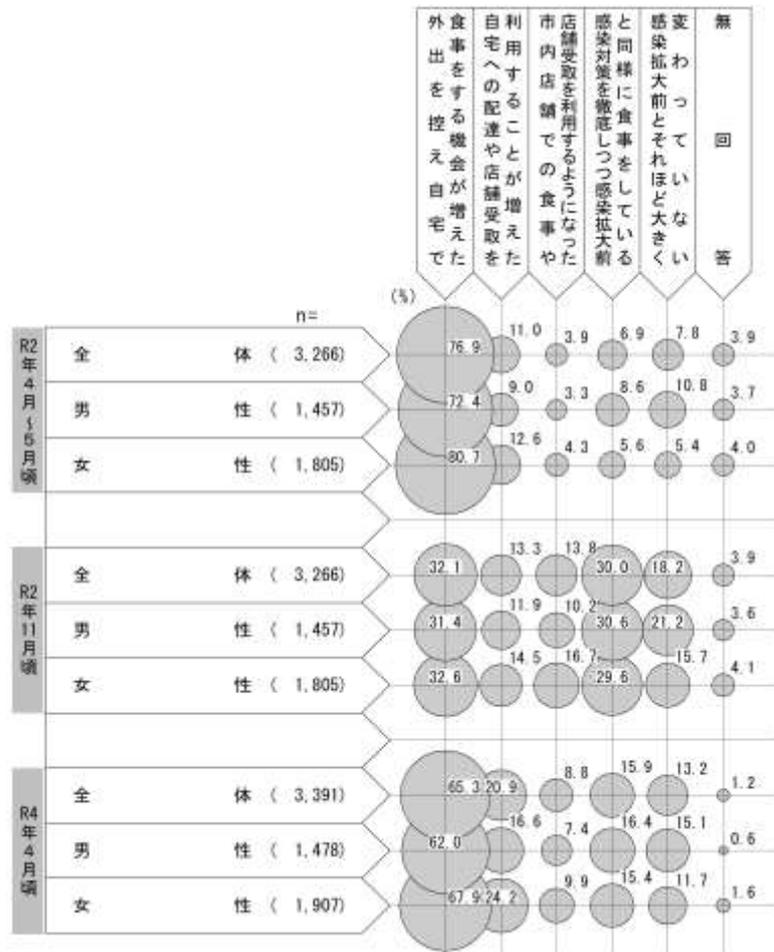
令和4年4月頃は、「外食を控え、自宅で食事をする機会が増えた」が65.3%で大きく増えた一方、「市内飲食店を応援するため、市内店舗での食事や店舗受取（テイクアウト）を利用するようになった」は8.8%でやや減っています。

(性別)

「外食を控え、自宅で食事をする機会が増えた」という回答を性別で見ると、令和4年4月頃は、男性が62.0%、女性が67.9%となっています。

性別の3時点（令和2年4月～5月頃⇒令和2年11月頃⇒令和4年4月頃）での推移は以下の通りです。

男性では、72.4%から31.4%まで大きく減り、その後は62.0%と大きく増えています。
女性では、80.7%から32.6%まで大きく減り、その後は67.9%と大きく増えています。

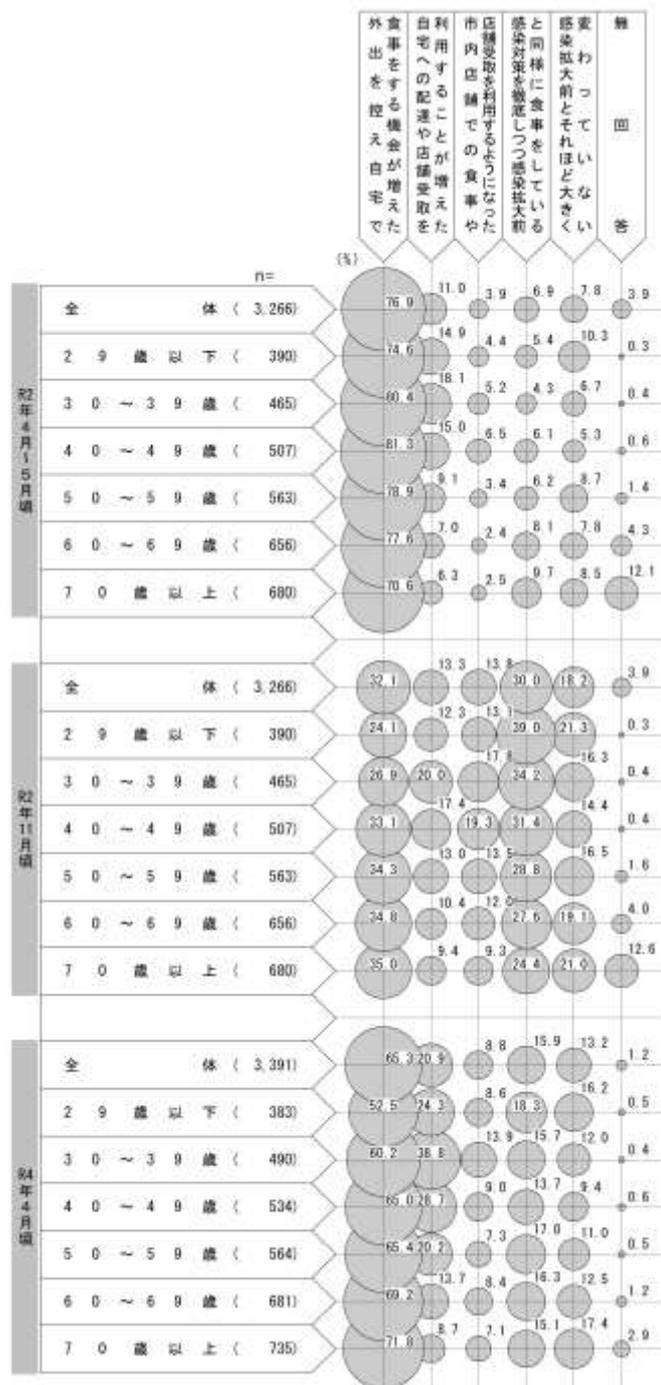


(年齢別)

「外食を控え、自宅で食事をする機会が増えた」という回答を年齢別でみると、令和4年4月頃は、最も高い70歳以上が71.8%、最も低い29歳以下が52.5%となっており、10ポイント以上の差が生じています。

年齢別の3時点（令和2年4月～5月頃⇒令和2年11月頃⇒令和4年4月頃）での推移は以下の通りです。

- 29歳以下では、74.6%から24.1%まで大きく減り、その後は52.5%と増えています。
- 30～39歳では、80.4%から26.9%まで大きく減り、その後は60.2%と大きく増えています。
- 40～49歳では、81.3%から33.1%まで大きく減り、その後は65.0%と大きく増えています。
- 50～59歳では、78.9%から34.3%まで大きく減り、その後は65.4%と大きく増えています。
- 60～69歳では、77.6%から34.8%まで大きく減り、その後は69.2%と大きく増えています。
- 70歳以上では、70.6%から35.0%まで大きく減り、その後は71.8%と大きく増えています。

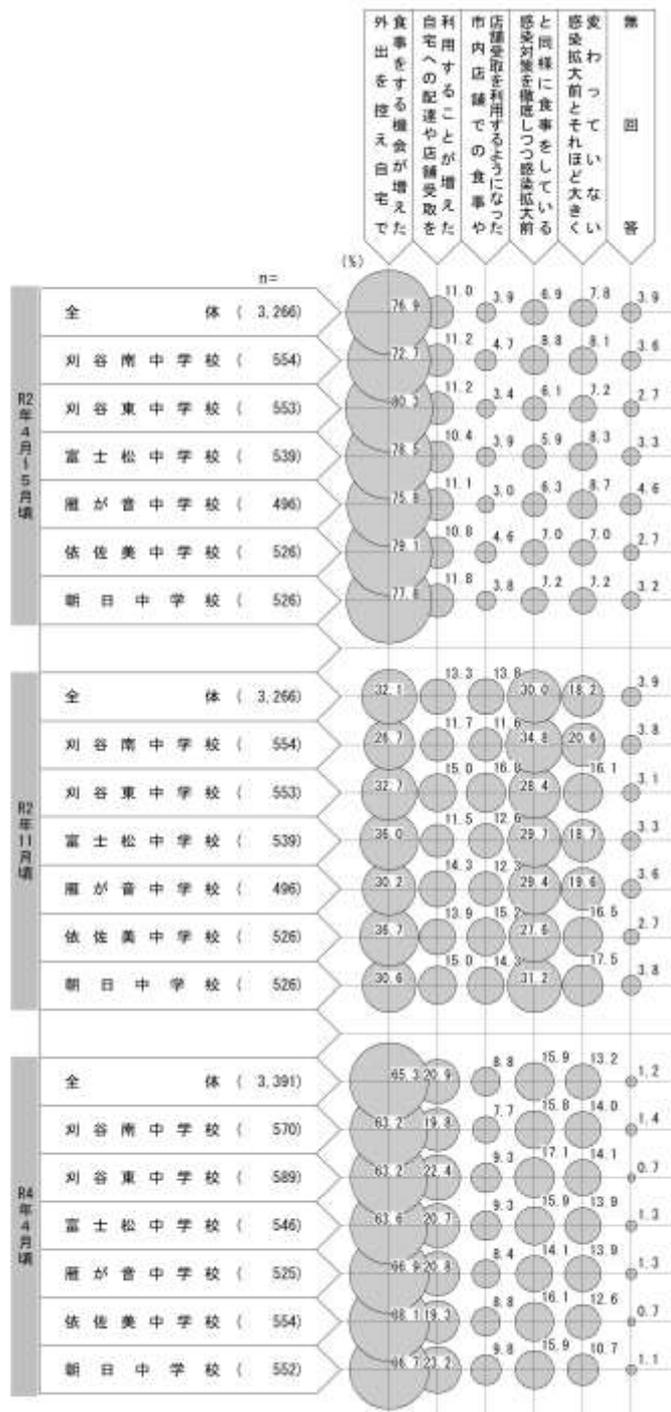


(中学校区別)

「外食を控え、自宅で食事をする機会が増えた」という回答を中学校区別でみると、令和4年4月頃は、最も高い依佐美中学校区が68.1%、最も低い刈谷南中学校区及び刈谷東中学校区が63.2%となっています。

中学校区別の3時点（令和2年4月～5月頃⇒令和2年11月頃⇒令和4年4月頃）での推移は以下の通りです。

刈谷南中学校区では、72.7%から26.7%まで大きく減り、その後は63.2%と大きく増えています。
 刈谷東中学校区では、90.3%から32.7%まで大きく減り、その後は63.2%と大きく増えています。
 富士松中学校区では、78.5%から36.0%まで大きく減り、その後は63.6%と増えています。
 雁が音中学校区では、75.8%から30.2%まで大きく減り、その後は66.9%と大きく増えています。
 依佐美中学校区では、79.1%から36.7%まで大きく減り、その後は68.1%と大きく増えています。
 朝日中学校区では、77.8%から30.6%まで大きく減り、その後は66.7%と大きく増えています。



(4)「新型コロナウイルス感染症に関する情報」や「刈谷市・国・県の支援策などの情報」の入手方法

市政評価：設問 53、現状把握：設問 69

(全体)

『新型コロナウイルス感染症に関する情報』や『刈谷市・国・県の支援策などの情報』の入手方法について、令和2年11月頃は、「テレビ」が63.1%で最も高く、「刈谷市からの情報」（「刈谷市ホームページ」、「刈谷市SNS」、「かりや市民だより」の合計をいう）は48.3%となっています。

令和4年4月頃は、「テレビ」が53.2%で最も高く、「刈谷市からの情報」は65.1%で増えています。

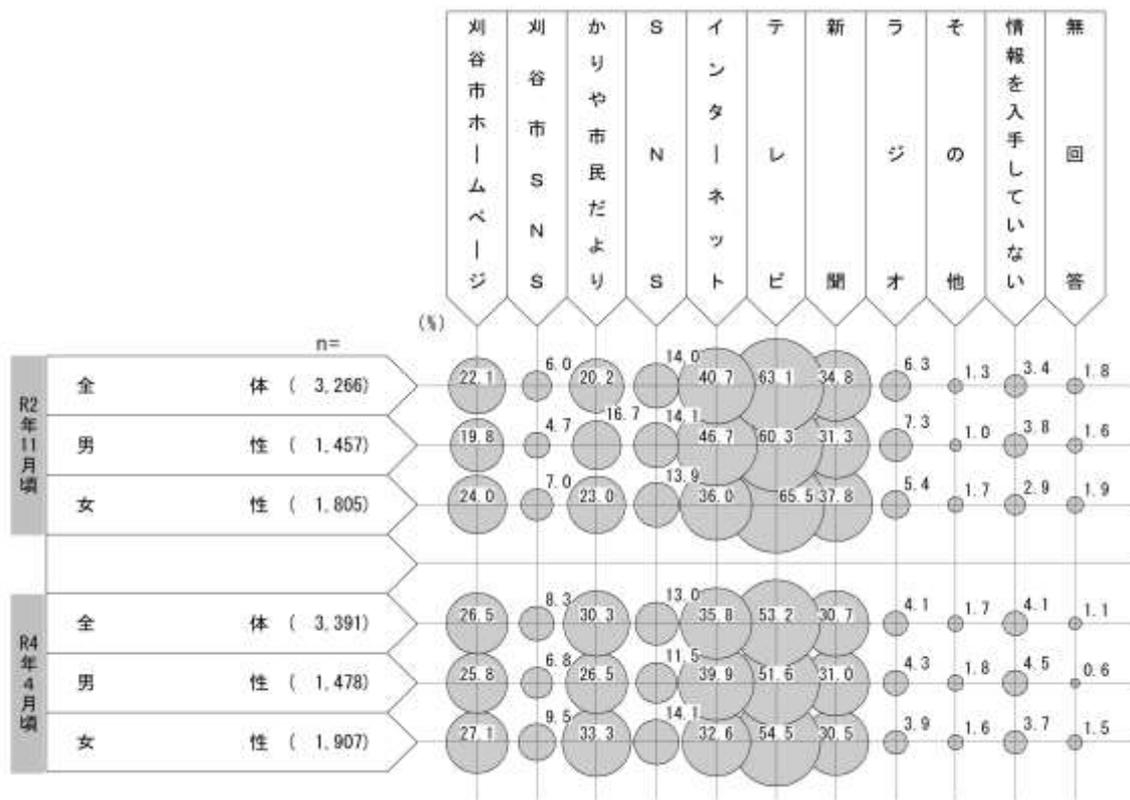
(性別)

「刈谷市からの情報」という回答を性別でみると、令和4年4月頃は、男性が59.1%、女性が69.9%となっており、10ポイント以上の差が生じています。

性別の2時点（令和2年11月頃⇒令和4年4月頃）での推移は以下の通りです。

男性では、41.2%から59.1%と増えています。

女性では、54.0%から69.9%と増えています。

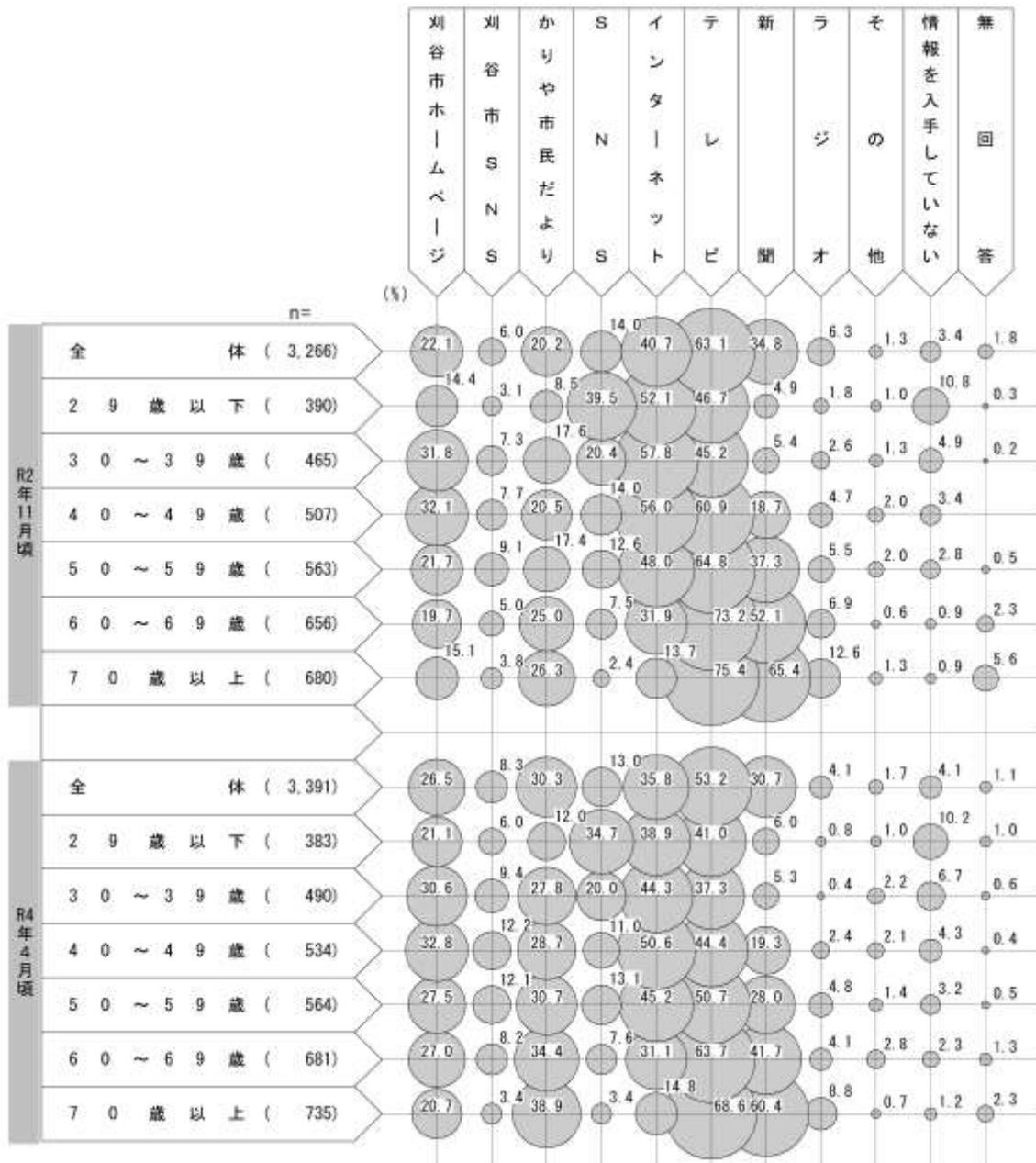


(年齢別)

「刈谷市からの情報」という回答を年齢別でみると、令和4年4月頃は、最も高い40～49歳が73.7%、最も低い29歳以下が39.1%となっており、30ポイント以上の差が生じています。

年齢別の2時点（令和2年11月頃⇒令和4年4月頃）での推移は以下の通りです。

- 29歳以下では、26.0%から39.1%と増えています。
- 30～39歳では、56.7%から67.8%と増えています。
- 40～49歳では、60.3%から73.7%と増えています。
- 50～59歳では、48.2%から70.3%と増えています。
- 60～69歳では、49.7%から69.6%と増えています。
- 70歳以上では、45.2%から63.0%と増えています。

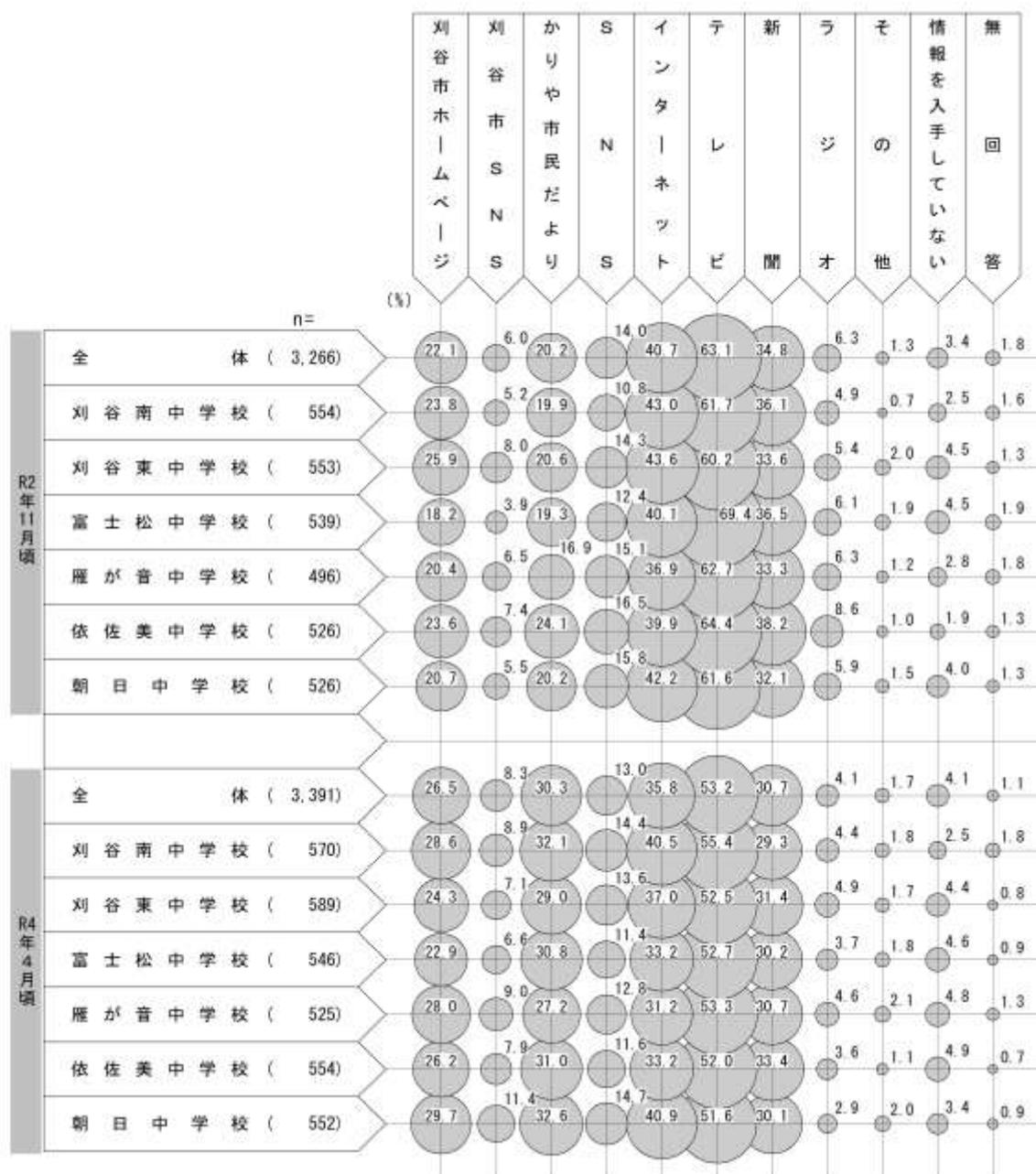


(中学校区別)

「刈谷市からの情報」という回答を中学校区別でみると、令和4年4月頃は、最も高い朝日中学校区が73.7%、最も低い富士松中学校区が60.3%となっており、10ポイント以上の差が生じています。

中学校区別の2時点（令和2年11月頃⇒令和4年4月頃）での推移は以下の通りです。

- 刈谷南中学校区では、48.9%から69.6%と増えています。
- 刈谷東中学校区では、54.5%から60.4%とやや増えています。
- 富士松中学校区では、41.4%から60.3%と増えています。
- 雁が音中学校区では、43.8%から64.2%と増えています。
- 依佐美中学校区では、55.1%から65.1%と増えています。
- 朝日中学校区では、46.4%から73.7%と増えています。



(5)「普段から利用している SNS」

市政評価：設問 54、現状把握：設問 70

(全体)

「普段から利用している SNS」について、令和 2 年 11 月頃は、「LINE」が 64.5%で最も高く、「SNS を利用していない」は 22.8%となっています。

令和 4 年 4 月頃は、「LINE」が 72.8%で最も高く、「SNS を利用していない」は 17.1%でやや減っています。

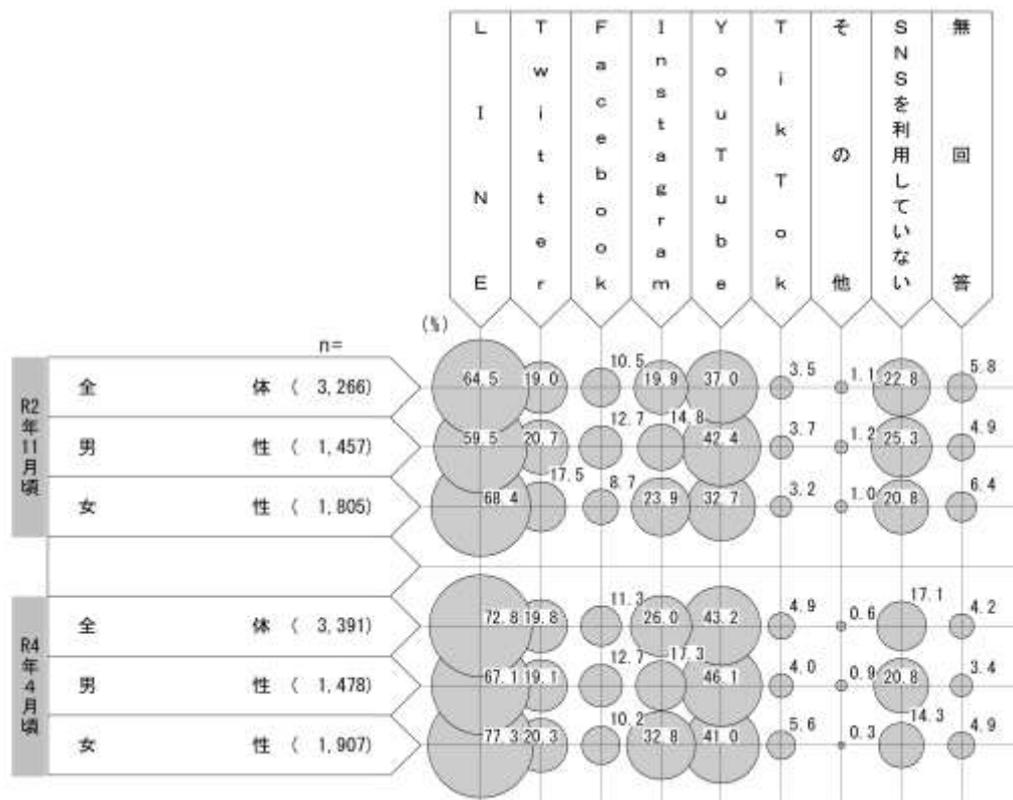
(性別)

「LINE」という回答を性別で見ると、令和 4 年 4 月頃は、男性が 67.1%、女性が 77.3%となっており、10 ポイント以上の差が生じています。

性別の 2 時点（令和 2 年 11 月頃⇒令和 4 年 4 月頃）での推移は以下の通りです。

男性では、59.5%から 67.1%とやや増えています。

女性では、68.4%から 77.3%とやや増えています。

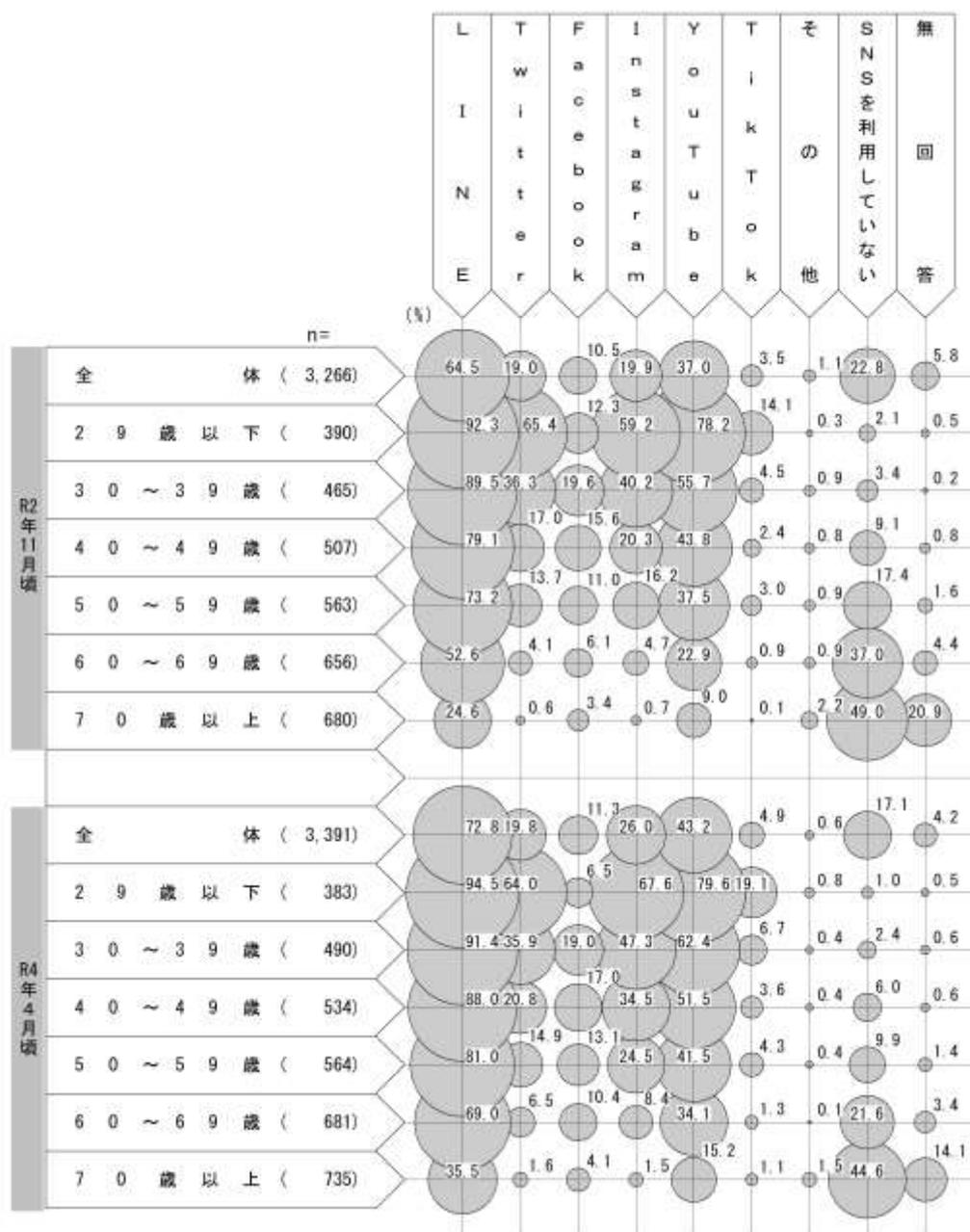


(年齢別)

「LINE」という回答を年齢別でみると、令和4年4月頃は、最も高い29歳以下が94.5%、最も低い70歳以上が35.5%となっており、50ポイント以上の差が生じています。

年齢別の2時点（令和2年11月頃⇒令和4年4月頃）での推移は以下の通りです。

- 29歳以下では、92.3%から94.5%と大きな変化はありません。
- 30～39歳では、89.5%から91.4%と大きな変化はありません。
- 40～49歳では、79.1%から88.0%とやや増えています。
- 50～59歳では、73.2%から81.0%とやや増えています。
- 60～69歳では、52.6%から69.0%と増えています。
- 70歳以上では、24.6%から35.5%と増えています。

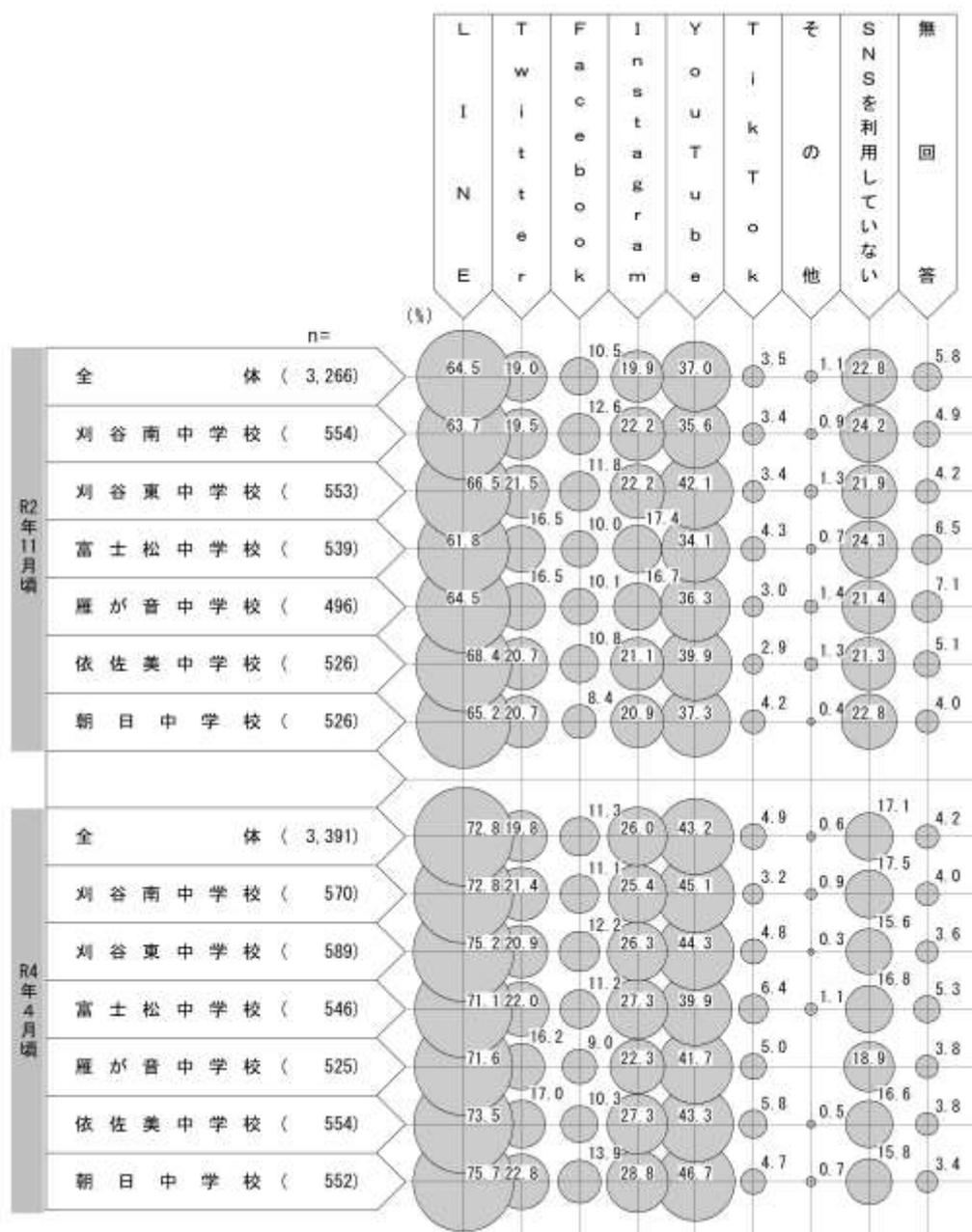


(中学校区別)

「LINE」という回答を中学校区別でみると、令和4年4月頃は、最も高い朝日中学校区が75.7%、最も低い富士松中学校区が71.1%となっています。

中学校区別の2時点（令和2年11月頃⇒令和4年4月頃）での推移は以下の通りです。

刈谷南中学校区では、63.7%から72.8%とやや増えています。
 刈谷東中学校区では、66.5%から75.2%とやや増えています。
 富士松中学校区では、61.8%から71.1%とやや増えています。
 雁が音中学校区では、64.5%から71.6%とやや増えています。
 依佐美中学校区では、68.4%から73.5%とやや増えています。
 朝日中学校区では、65.2%から75.7%と増えています。



(6)「代金の支払方法」

市政評価：設問 55、現状把握：設問 71

(全体)

「代金の支払方法」について、令和2年11月頃は、「現金にて支払をしている」が74.8%で最も高くなっています。

令和4年4月頃は、「現金にて支払をしている」が70.5%で最も高く、大きな変化はありません。

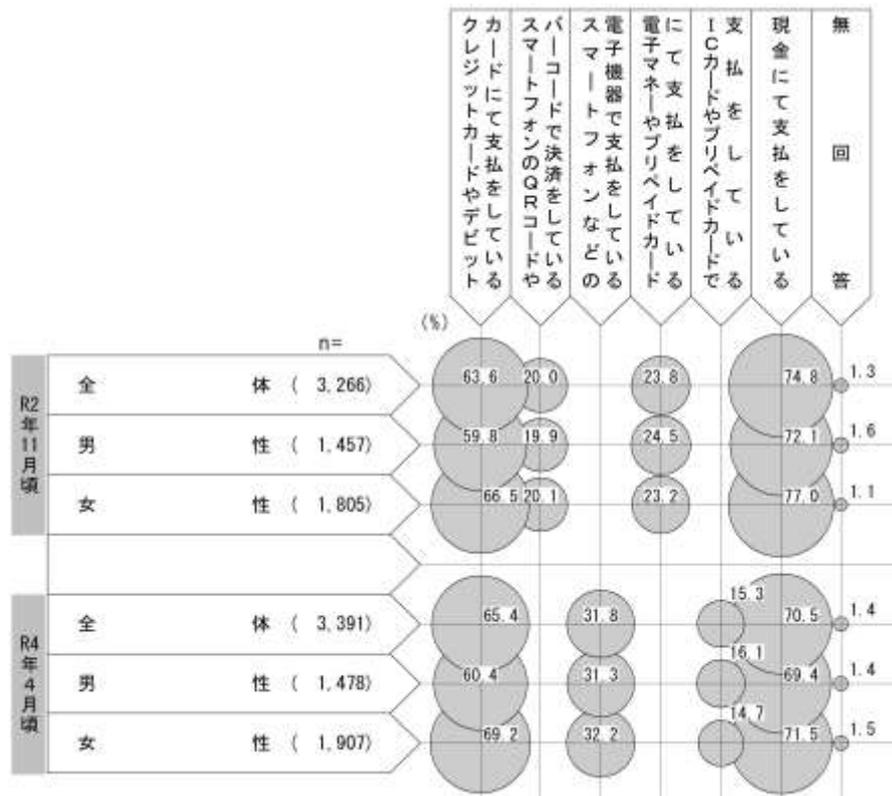
(性別)

「現金にて支払をしている」という回答を性別でみると、令和4年4月頃は、男性が69.4%、女性が71.5%となっています。

性別の2時点（令和2年11月頃⇒令和4年4月頃）での推移は以下の通りです。

男性では、72.1%から69.4%と大きな変化はありません。

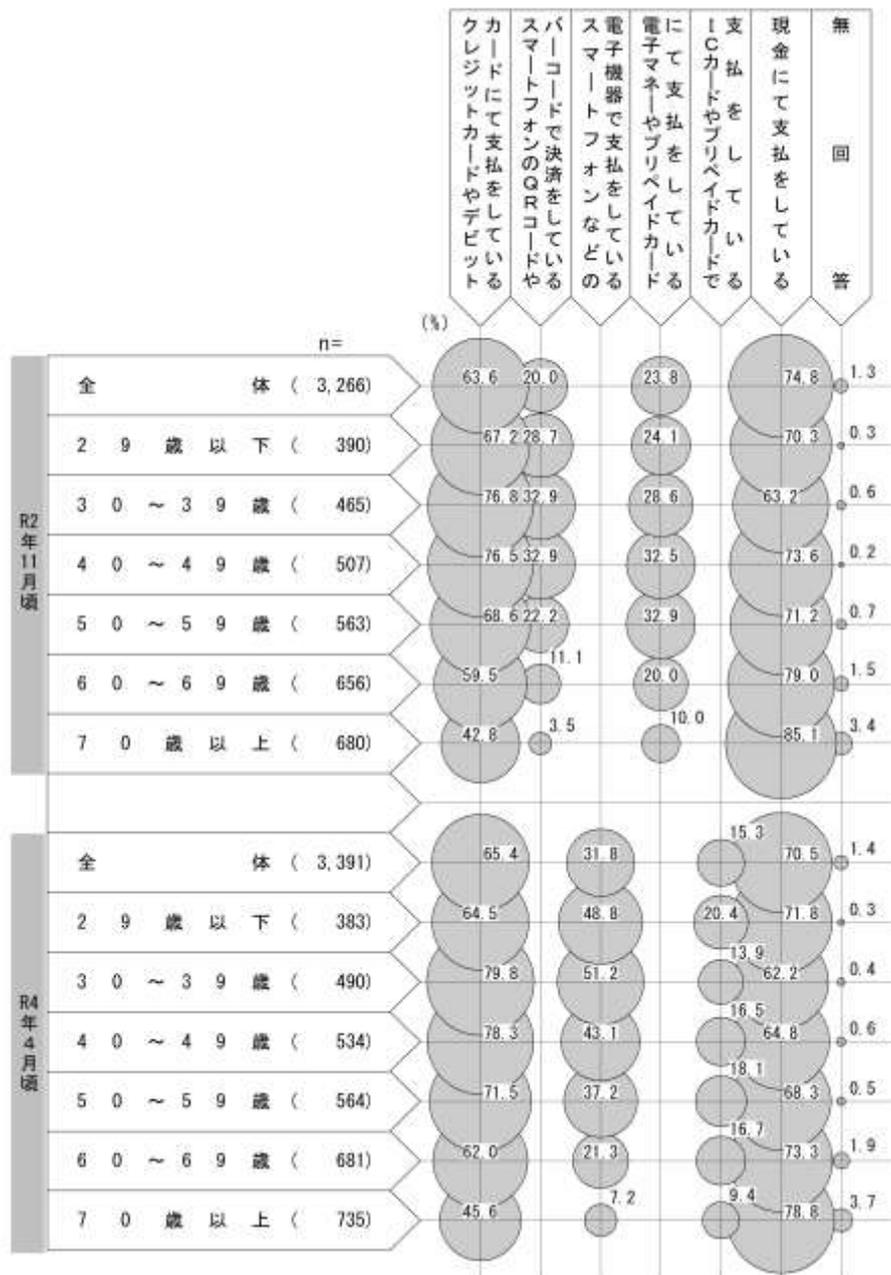
女性では、77.0%から71.5%とやや減っています。



(年齢別)

「現金にて支払をしている」という回答を年齢別でみると、令和4年4月頃は、最も高い70歳以上が78.8%、最も低い30～39歳が62.2%となっており、10ポイント以上の差が生じています。年齢別の2時点（令和2年11月頃⇒令和4年4月頃）での推移は以下の通りです。

- 29歳以下では、70.3%から71.8%と大きな変化はありません。
- 30～39歳では、63.2%から62.2%と大きな変化はありません。
- 40～49歳では、73.6%から64.8%とやや減っています。
- 50～59歳では、71.2%から68.3%と大きな変化はありません。
- 60～69歳では、79.0%から73.3%とやや減っています。
- 70歳以上では、85.1%から78.8%とやや減っています。

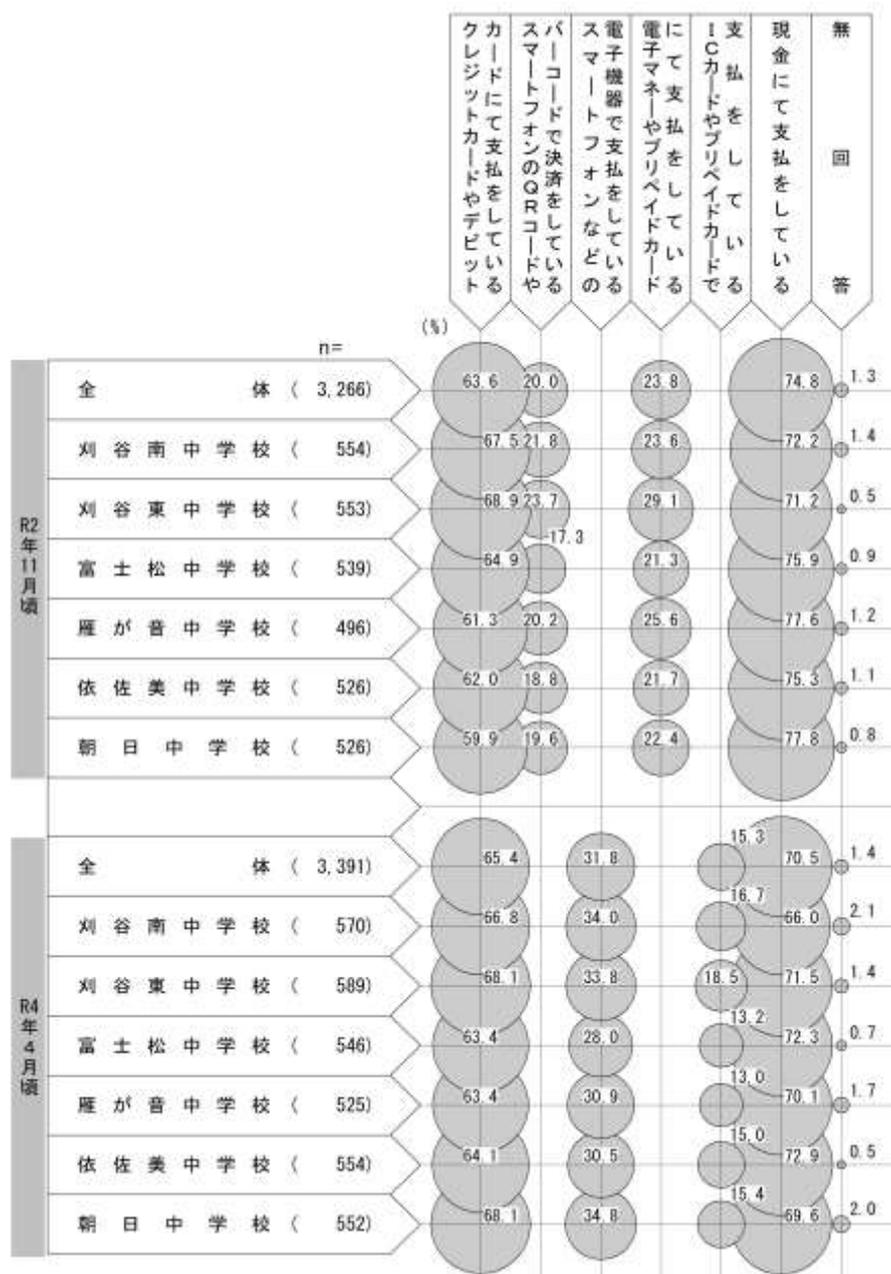


(中学校区別)

「現金にて支払をしている」という回答を中学校区別でみると、令和4年4月頃は、最も高い依佐美中学校区が72.9%、最も低い刈谷南中学校区が66.0%となっています。

中学校区別の2時点（令和2年11月頃⇒令和4年4月頃）での推移は以下の通りです。

- 刈谷南中学校区では、72.2%から66.0%とやや減っています。
- 刈谷東中学校区では、71.2%から71.5%と大きな変化はありません。
- 富士松中学校区では、75.9%から72.3%と大きな変化はありません。
- 雁が音中学校区では、77.6%から70.1%とやや減っています。
- 依佐美中学校区では、75.3%から72.9%と大きな変化はありません。
- 朝日中学校区では、77.8%から69.6%とやや減っています。



3 - 4. コロナ禍における課題と行政支援

(1) コロナ禍における「困りごと」や「不安に感じていること」

市政評価：設問 56、現状把握：設問 72

(全体)

「コロナ禍における『困りごと』や『不安に感じていること』」について、令和2年11月頃は、「自身・家族の新型コロナウイルス感染」が41.8%で最も高く、「自身・家族の健康（身体面）」が39.8%、「人との交流機会の減少」が37.1%で続いています。

令和4年4月頃は、「人との交流機会の減少」が41.3%で最も高く、「自身・家族の新型コロナウイルス感染」が38.3%、「自身・家族の健康（身体面）」が37.8%で続いています。

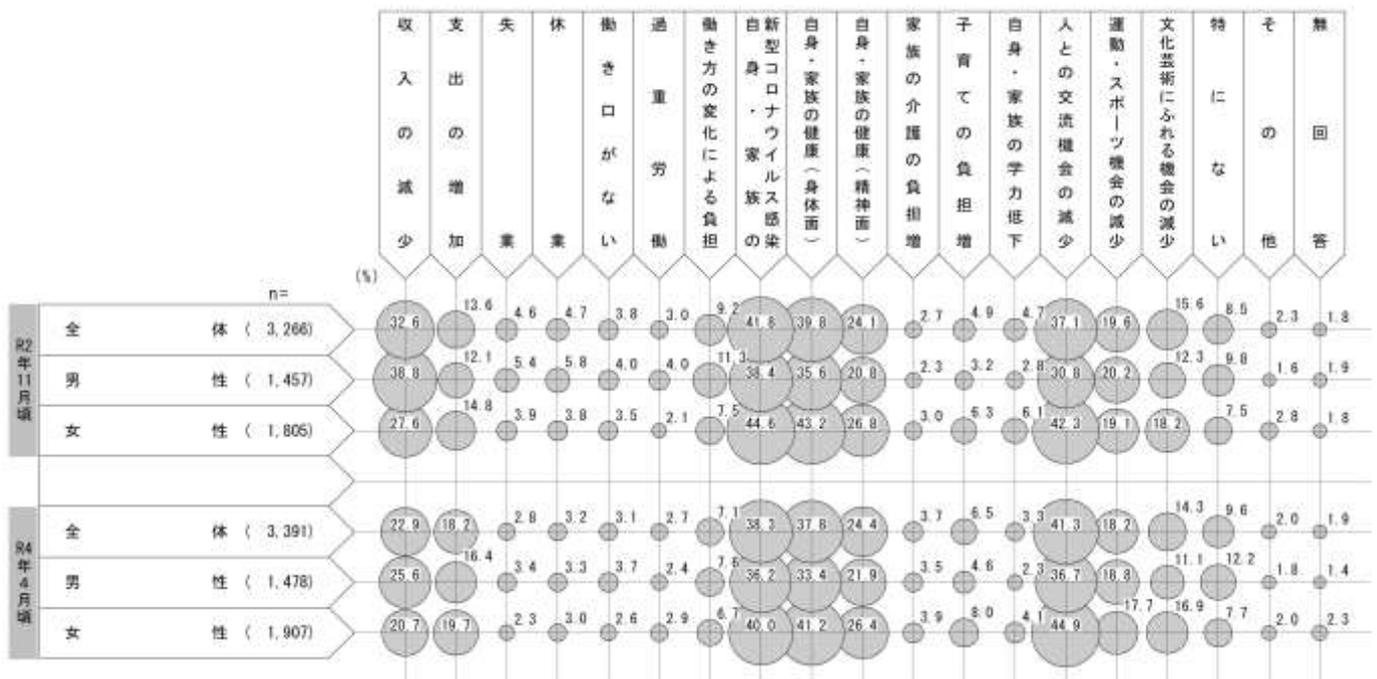
(性別)

「人との交流機会の減少」という回答を性別で見ると、令和4年4月頃は、男性が36.7%、女性が44.9%となっています。

性別の2時点（令和2年11月頃⇒令和4年4月頃）での推移は以下の通りです。

男性では、30.8%から36.7%とやや増えています。

女性では、42.3%から44.9%と大きな変化はありません。

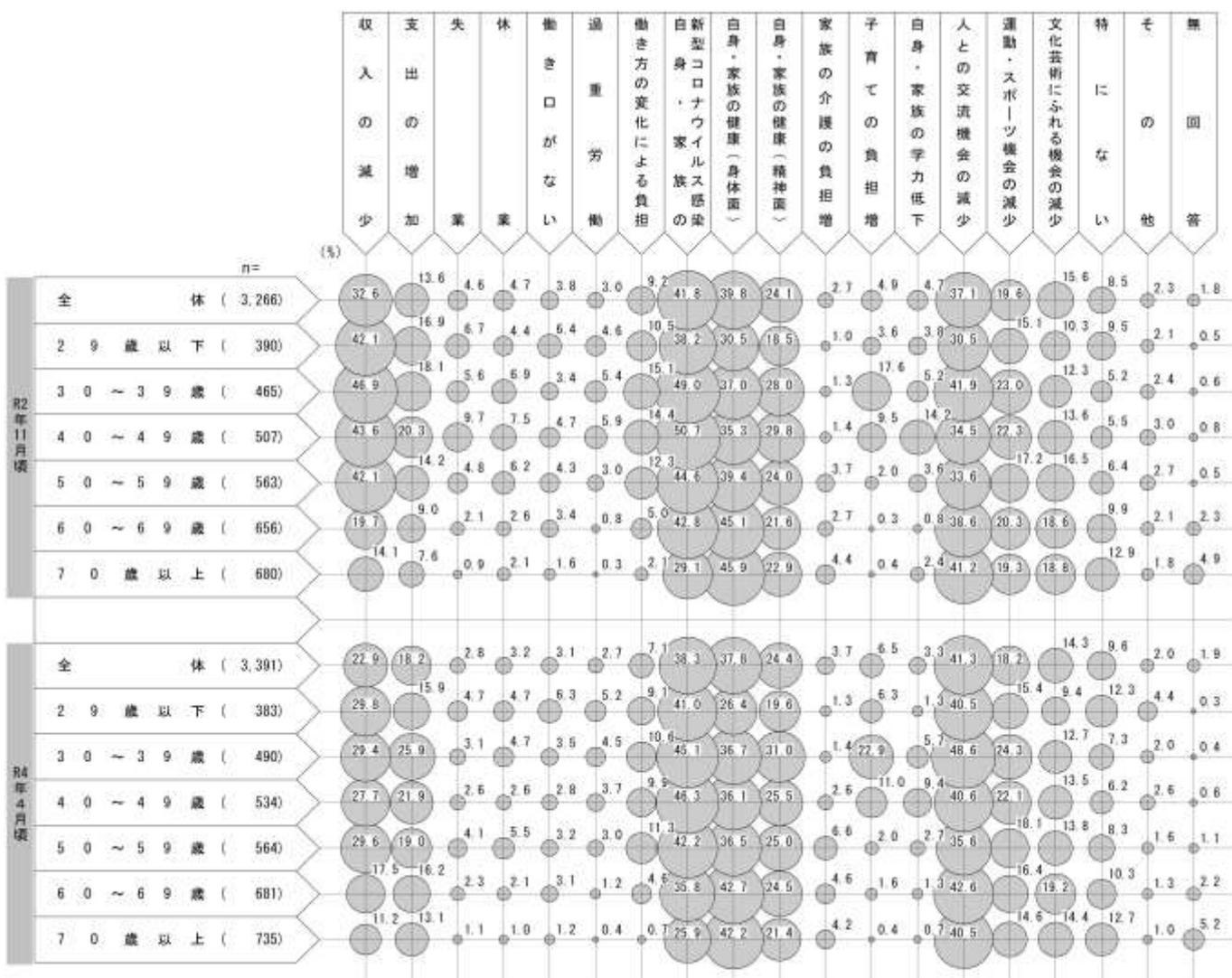


(年齢別)

「人との交流機会の減少」という回答を年齢別でみると、令和4年4月頃は、最も高い30～39歳が48.6%、最も低い50～59歳が35.6%となっており、10ポイント以上の差が生じています。

年齢別の2時点（令和2年11月頃⇒令和4年4月頃）での推移は以下の通りです。

- 29歳以下では、30.5%から40.5%と増えています。
- 30～39歳では、41.9%から48.6%とやや増えています。
- 40～49歳では、34.5%から40.6%とやや増えています。
- 50～59歳では、33.6%から35.6%と大きな変化はありません。
- 60～69歳では、38.6%から42.6%と大きな変化はありません。
- 70歳以上では、41.2%から40.5%と大きな変化はありません。



(2)新型コロナウイルス感染症の対策としての「今後の行政支援等」について、重要だと思うもの

市政評価：設問 57、現状把握：設問 73

(全体)

「新型コロナウイルス感染症の対策としての『今後の行政支援等』について、重要だと思うもの」について、令和2年11月頃は、「災害時の感染症対策」が41.3%で最も高く、「中小企業等（飲食店を含む）の事業継続支援」が40.7%、「学校教育の学習支援」が36.7%で続いています。

令和4年4月頃は、「学校教育の学習支援」が36.7%で最も高く、「災害時の感染症対策」が36.5%、「低所得者への支援」が32.6%で続いています。

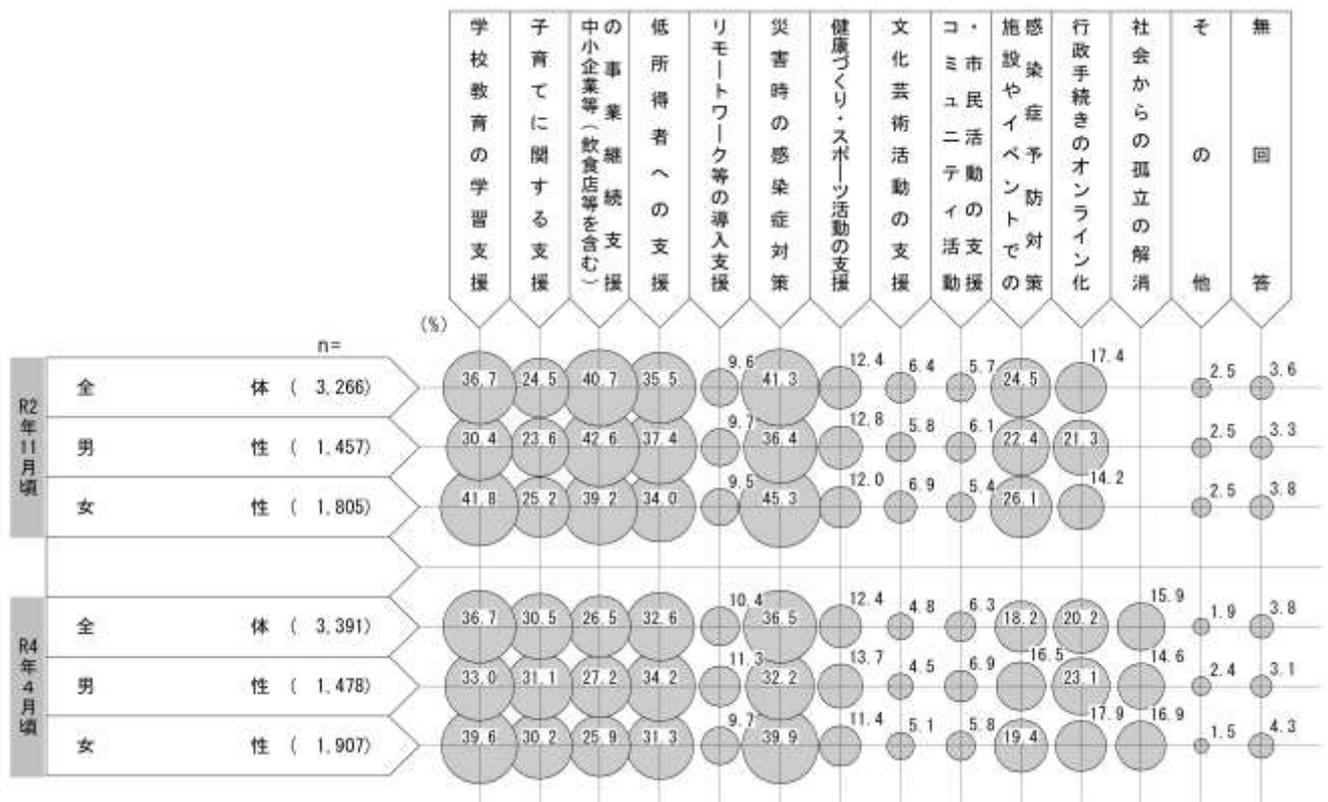
(性別)

「学校教育の学習支援」という回答を性別でみると、令和4年4月頃は、男性が33.0%、女性が39.6%となっています。

性別の2時点（令和2年11月頃⇒令和4年4月頃）での推移は以下の通りです。

男性では、30.4%から33.0%と大きな変化はありません。

女性では、41.8%から39.6%と大きな変化はありません。

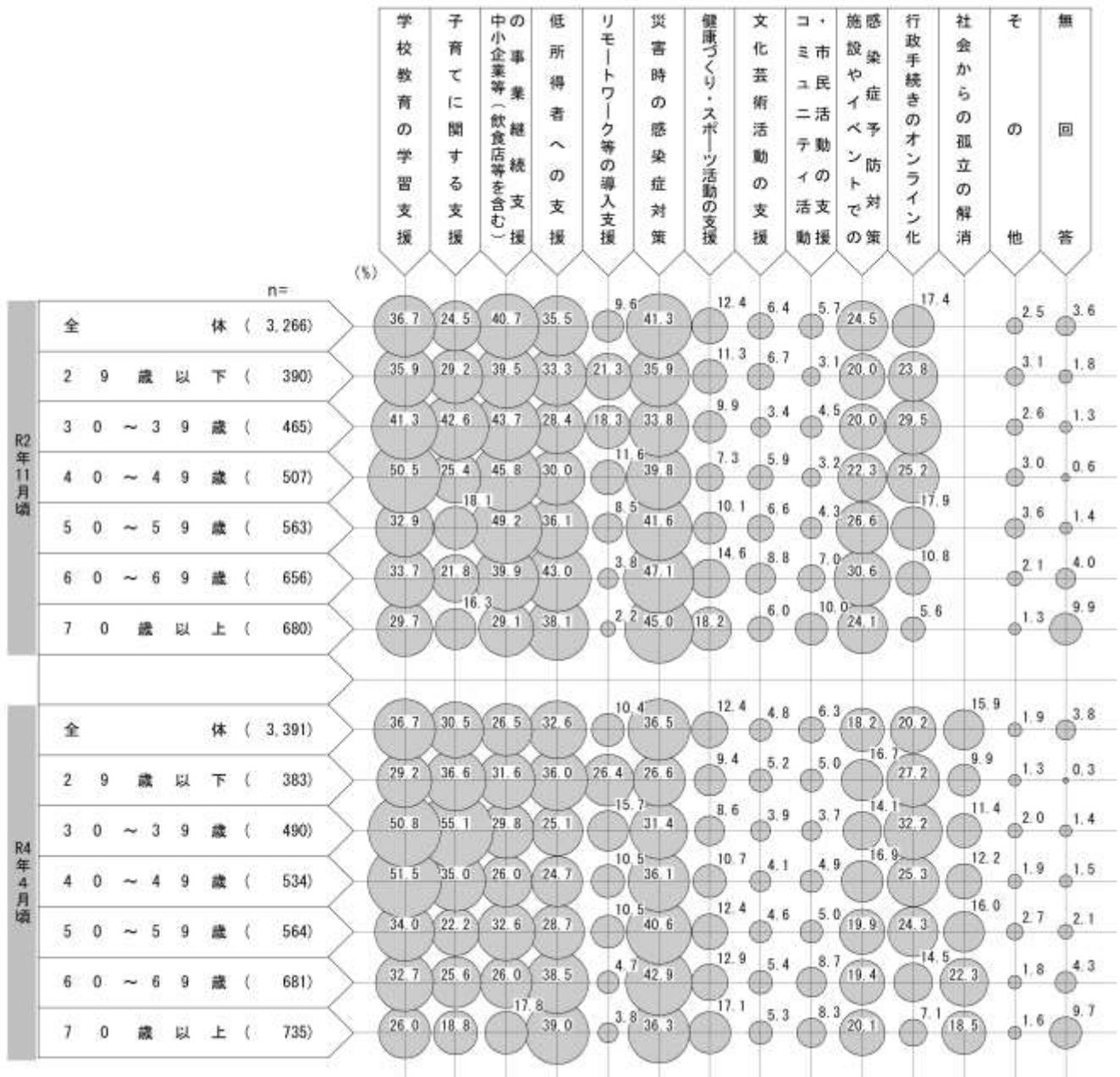


(年齢別)

「学校教育の学習支援」という回答を年齢別でみると、令和4年4月頃は、最も高い40～49歳が51.5%、最も低い70歳以上が26.0%となっており、20ポイント以上の差が生じています。

年齢別の2時点（令和2年11月頃⇒令和4年4月頃）での推移は以下の通りです。

- 29歳以下では、35.9%から29.2%とやや減っています。
- 30～39歳では、41.3%から50.8%とやや増えています。
- 40～49歳では、50.5%から51.5%と大きな変化はありません。
- 50～59歳では、32.9%から34.0%と大きな変化はありません。
- 60～69歳では、33.7%から32.7%と大きな変化はありません。
- 70歳以上では、29.7%から26.0%と大きな変化はありません。

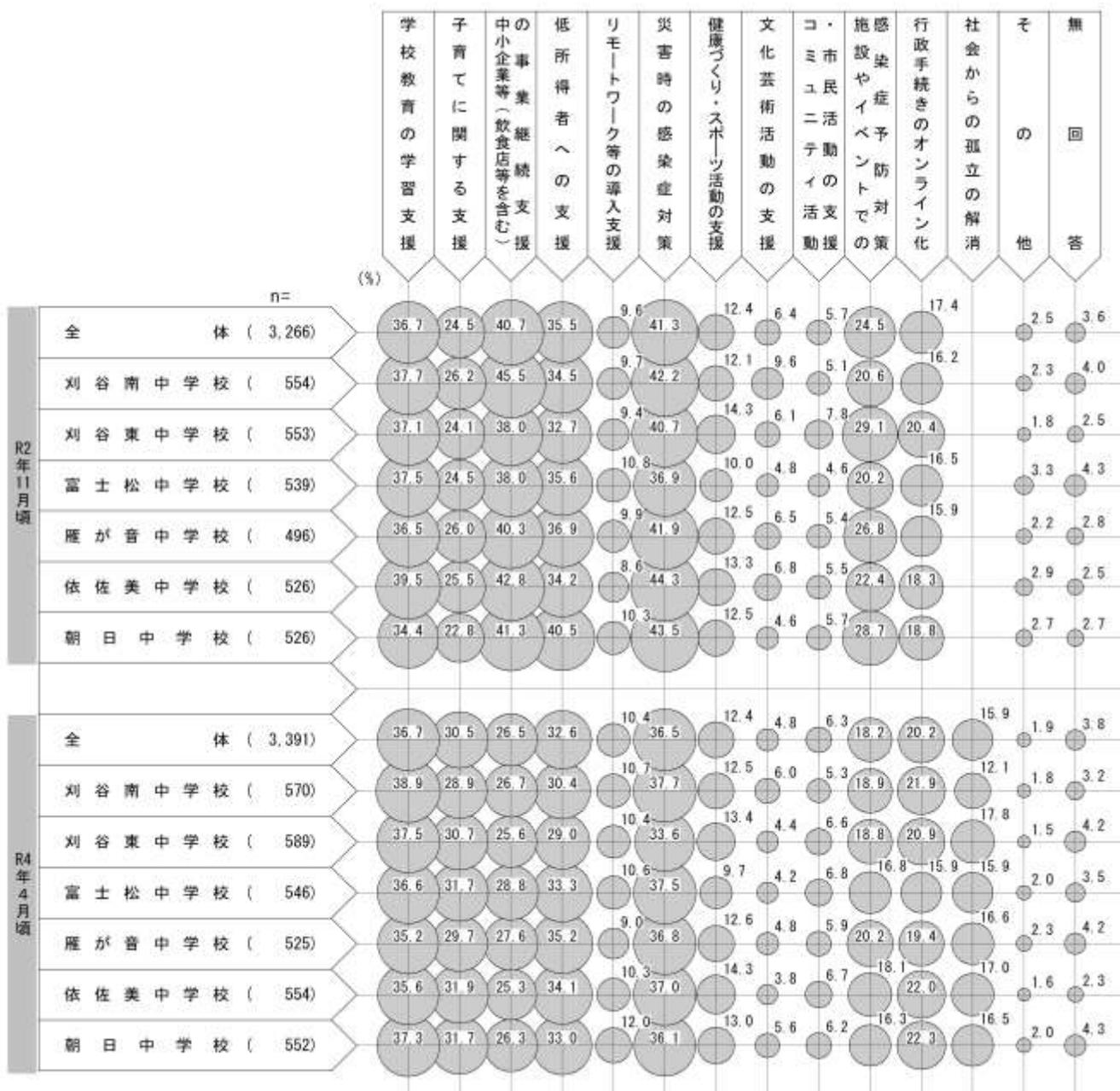


(中学校区別)

「学校教育の学習支援」という回答を中学校区別でみると、令和4年4月頃は、最も高い刈谷南中学校区が38.9%、最も低い雁が音中学校区が35.2%となっています。

中学校区別の2時点（令和2年11月頃⇒令和4年4月頃）での推移は以下の通りです。

刈谷南中学校区では、37.7%から38.9%と大きな変化はありません。
 刈谷東中学校区では、37.1%から37.5%と大きな変化はありません。
 富士松中学校区では、37.5%から36.6%と大きな変化はありません。
 雁が音中学校区では、36.5%から35.2%と大きな変化はありません。
 依佐美中学校区では、39.5%から35.6%と大きな変化はありません。
 朝日中学校区では、34.4%から37.3%と大きな変化はありません。



4. 児童・生徒の意識や行動に関するアンケート

4 - 1. 回答者の属性

回答者の総数は2,566人、小学校5年生が1,356人で52.8%、中学校2年生が1,210人で47.2%となっています。なお、学校別の回答者数の内訳は次のとおりです。

表 学校別回答者数

	配布数	回収数	構成比
全体（児童・生徒）	2,898	2,566	100.0%
亀城小学校	112	98	3.8%
小高原小学校	108	95	3.7%
日高小学校	112	101	3.9%
衣浦小学校	86	82	3.2%
住吉小学校	121	106	4.1%
かりがね小学校	154	134	5.2%
平成小学校	75	74	2.9%
富士松南小学校	132	118	4.6%
富士松北小学校	62	59	2.3%
富士松東小学校	81	61	2.4%
小垣江小学校	105	91	3.5%
小垣江東小学校	35	30	1.2%
双葉小学校	100	86	3.4%
東刈谷小学校	107	104	4.1%
朝日小学校	119	117	4.6%
刈谷特別支援学校	4	0	0.0%
小学校5年生	1,513	1,356	52.8%
刈谷南中学校	231	200	7.8%
刈谷東中学校	205	180	7.0%
富士松中学校	224	197	7.7%
雁が音中学校	255	228	8.9%
依佐美中学校	228	201	7.8%
朝日中学校	236	204	8.0%
刈谷特別支援学校	6	0	0.0%
中学校2年生	1,385	1,210	47.2%

4 - 2. 刈谷市の全体的な印象

(1) 住みやすさの評価

「刈谷市を住みやすいまちだと思いますか」との質問に対し、「住みやすい」が66.3%、「まあまあ住みやすい」が31.1%、あわせて97.4%が「刈谷市は住みやすい」と回答しています。

性別でみると、「刈谷市は住みやすい」（「住みやすい」と「まあまあ住みやすい」の合計をいう）と回答した割合は、男子が97.0%、女子が97.8%となっています。

学年別でみると、「刈谷市は住みやすい」と回答した割合は、小学5年生で98.5%、中学2年生で96.1%となっています。

学校別でみると、すべての学校において、「刈谷市は住みやすい」と回答した割合は90%以上となっています。

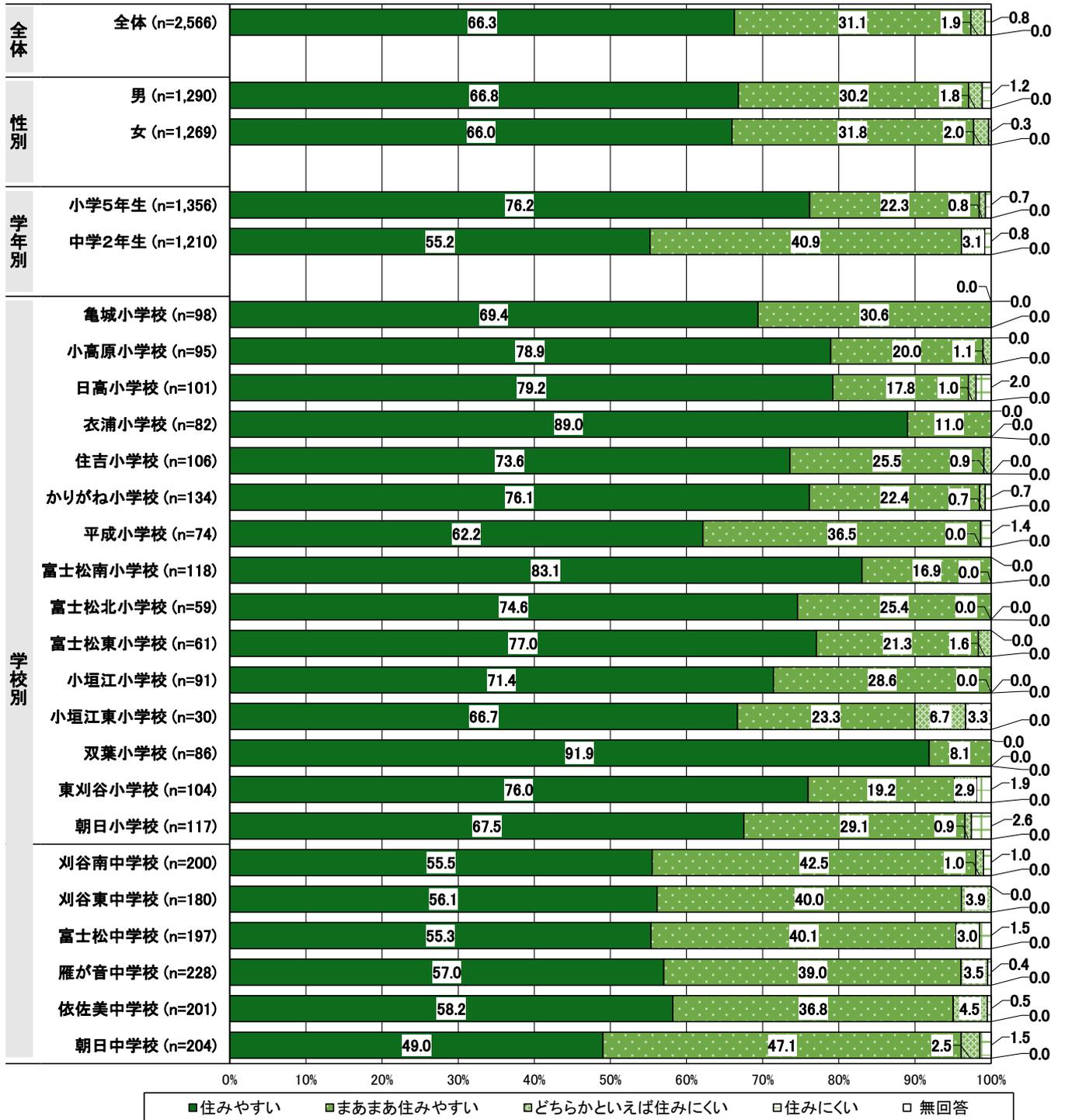
「住みやすい」と回答した割合に限ってみると、小学校では、最も高い双葉小学校が91.9%、最も低い平成小学校が62.2%となっており、20ポイント以上の差が生じています。

中学校では、最も高い依佐美中学校が58.2%、最も低い朝日中学校が49.0%となっています。

前回調査（令和2年度）と比べると、「刈谷市は住みやすい」と回答した割合は小学5年生で1.2ポイント増加しているものの、中学2年生では0.6ポイント減少しています。

経年比較

		平成				令和	
		24年度	26年度	28年度	30年度	2年度	4年度
全体	住みやすい	95.0%	96.9%	95.7%	95.9%	97.0%	97.4%
	住みにくい	3.6%	2.9%	4.2%	3.9%	2.9%	2.7%
小学5年生	住みやすい	95.9%	96.9%	96.2%	96.0%	97.3%	98.5%
	住みにくい	3.3%	2.9%	3.5%	3.8%	2.6%	1.5%
中学2年生	住みやすい	94.1%	97.1%	95.1%	95.8%	96.7%	96.1%
	住みにくい	4.0%	2.9%	4.8%	4.1%	3.3%	3.9%
《参考》 市民アンケート							
市民	住みやすい	84.5%	84.5%	82.4%	82.2%	84.7%	85.7%
	住みにくい	2.6%	3.2%	3.5%	4.1%	3.1%	2.6%



(2) これからの居留意向

「今後も刈谷市で住みたいと思いますか」との質問に対し、「住みたい」は 62.1%となっており、「市外に移りたい」の 11.0%を大きく上回っています。

性別でみると、「住みたい」と回答した割合は、男子が 60.8%、女子が 63.6%となっています。

学年別でみると、「住みたい」と回答した割合は、小学5年生が 71.2%、中学2年生が 52.0%となっており、10ポイント以上の差が生じています。

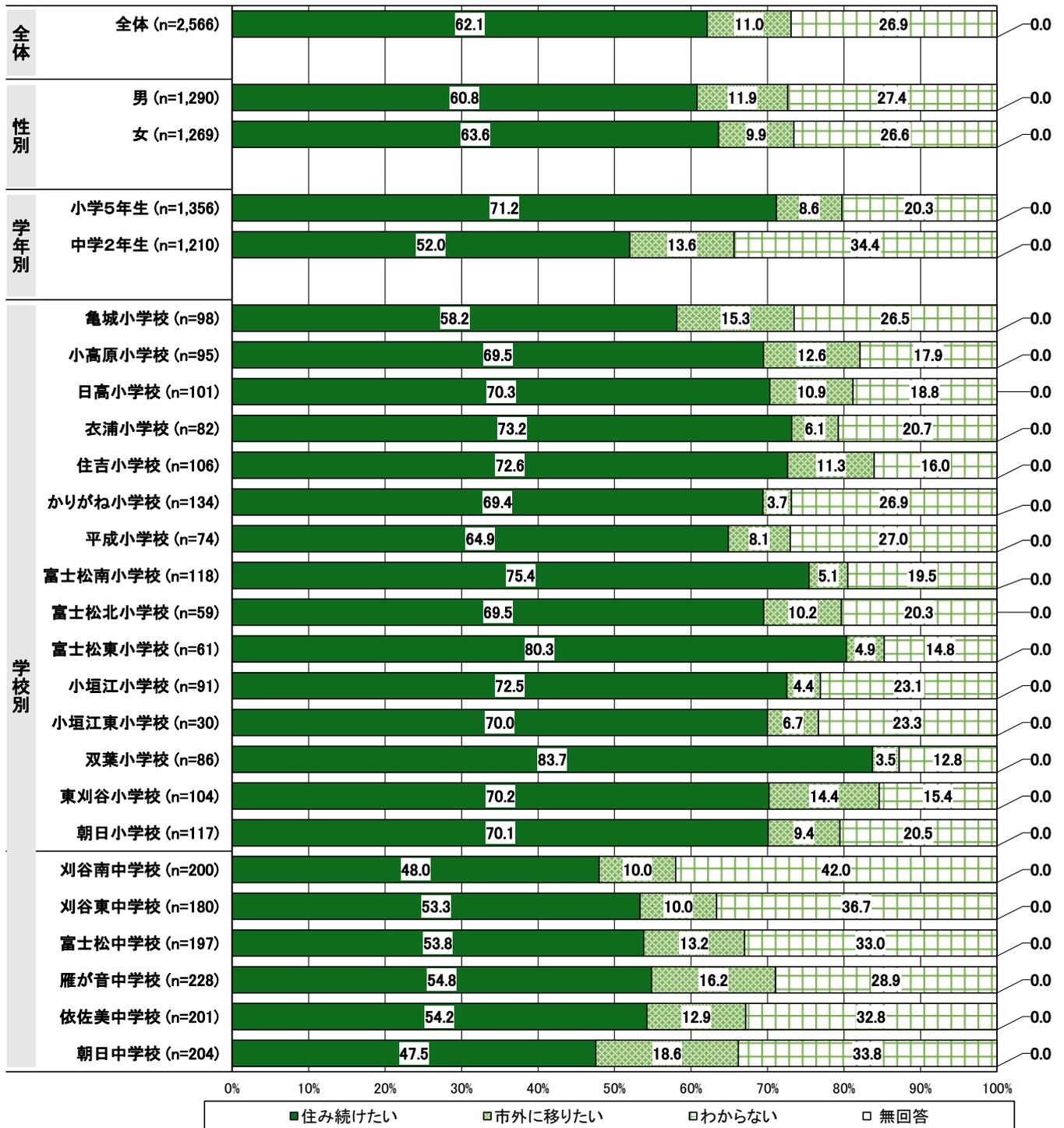
学校別でみると、「住みたい」と回答した割合は、小学校は、最も高い双葉小学校が 83.7%、最も低い亀城小学校が 58.2%となっており、20ポイント以上の差が生じています。

中学校では、最も高い雁が音中学校が 54.8%、最も低い朝日中学校が 47.5%となっています。

前回調査（令和2年度）と比較して、「住みたい」と回答した割合は、小学5年生では 11.0ポイントと大きく増加しており、中学2年生でも 6.7ポイントと増加しています。

経年比較

		平成				令和	
		24年度	26年度	28年度	30年度	2年度	4年度
全体	住みたい	57.0%	58.5%	59.5%	55.9%	52.9%	62.1%
	市外に移りたい	8.1%	7.3%	9.1%	10.7%	13.4%	11.0%
小学5年生	住みたい	63.9%	62.3%	66.4%	60.2%	60.2%	71.2%
	市外に移りたい	6.6%	7.1%	9.1%	9.4%	11.0%	8.6%
中学2年生	住みたい	50.6%	54.7%	52.8%	51.3%	45.3%	52.0%
	市外に移りたい	9.6%	7.5%	9.2%	12.1%	15.9%	13.6%
《参考》 市民アンケート							
市民	住みたい	89.6%	88.7%	87.1%	86.5%	87.0%	88.1%
	市外に移りたい	3.2%	3.1%	3.3%	3.7%	4.2%	3.9%



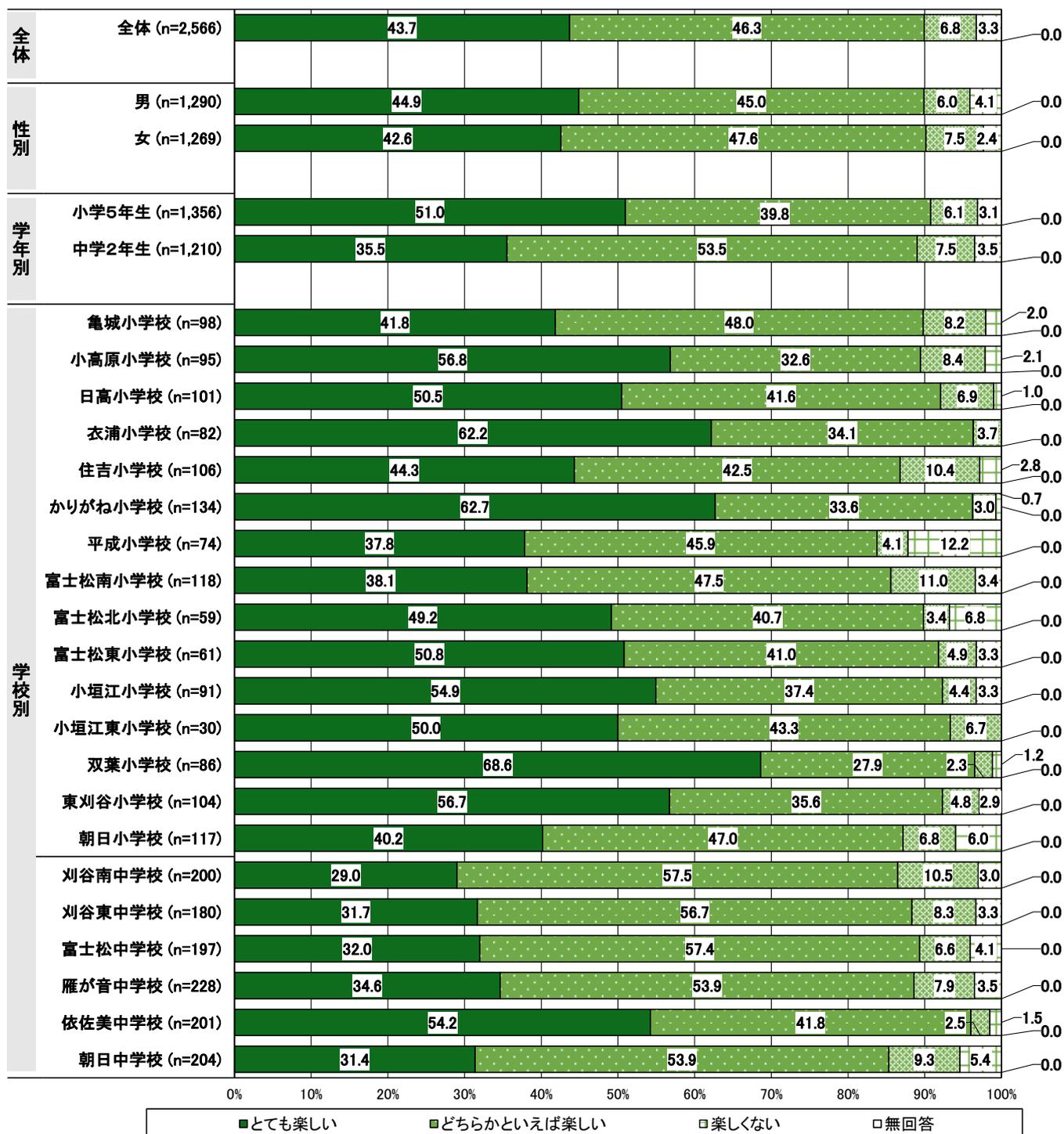
4 - 3. 個別設問の回答

(1) 学校について

「学校は楽しいですか」との質問に対し、「とても楽しい」が43.7%、「どちらかといえば楽しい」が46.3%で、あわせて90.0%が「学校は楽しい」と回答しています。

「とても楽しい」と回答した割合に限ってみると、性別では、男子が44.9%、女子が42.6%となっています。

学年別では、小学5年生が51.0%、中学2年生が35.5%となっており、10ポイント以上の差が生じています。

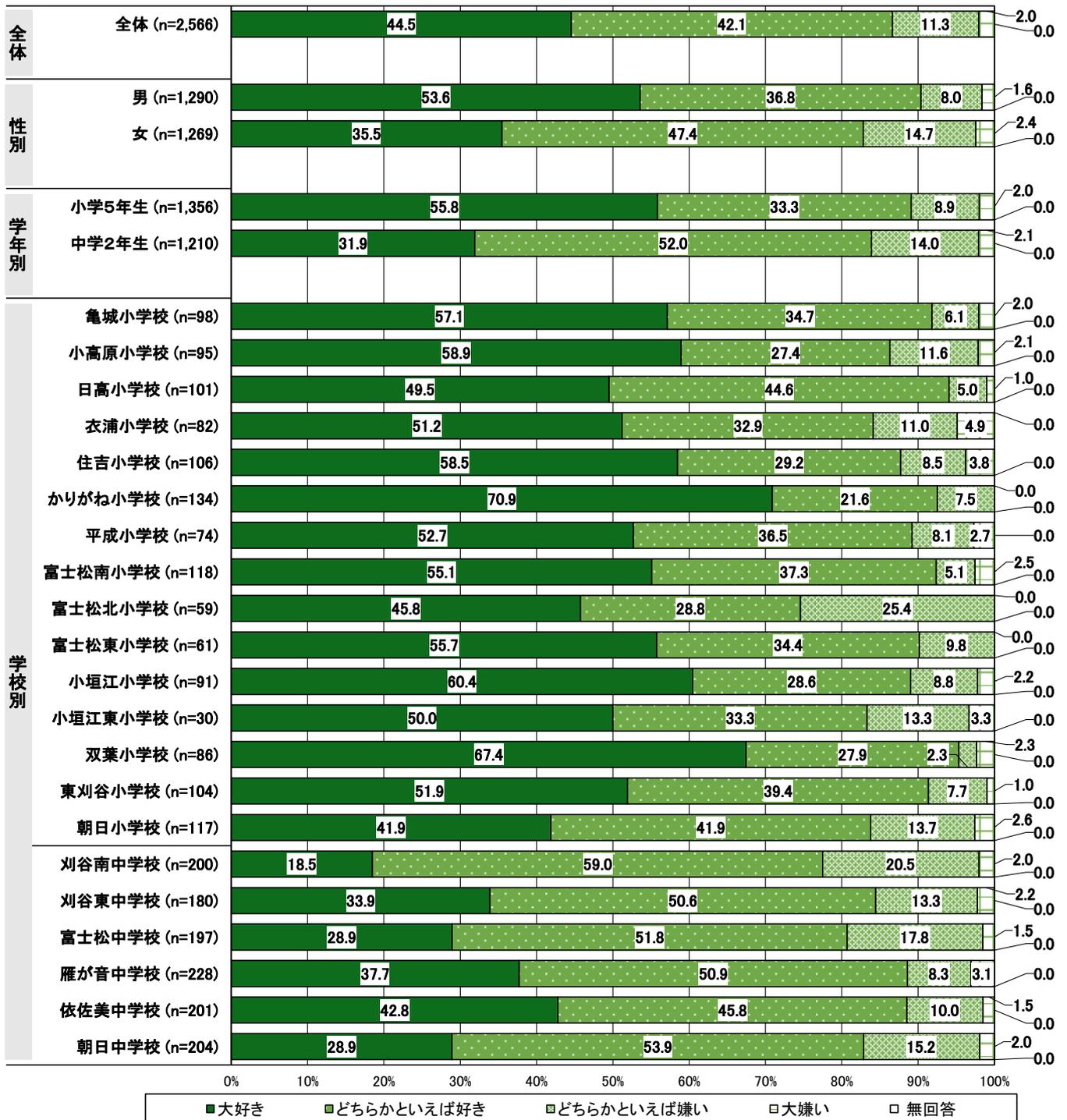


(2) 給食について

「給食は好きですか」との質問に対し、「大好き」が44.5%、「どちらかといえば好き」が42.1%、あわせて86.6%が「給食が好き」と回答しています。

「大好き」と回答した割合に限ってみると、性別では、男子が53.6%、女子が35.5%となっており、10ポイント以上の差が生じています。

学年別では、小学5年生が55.8%、中学2年生が31.9%となっており、20ポイント以上の差が生じています。

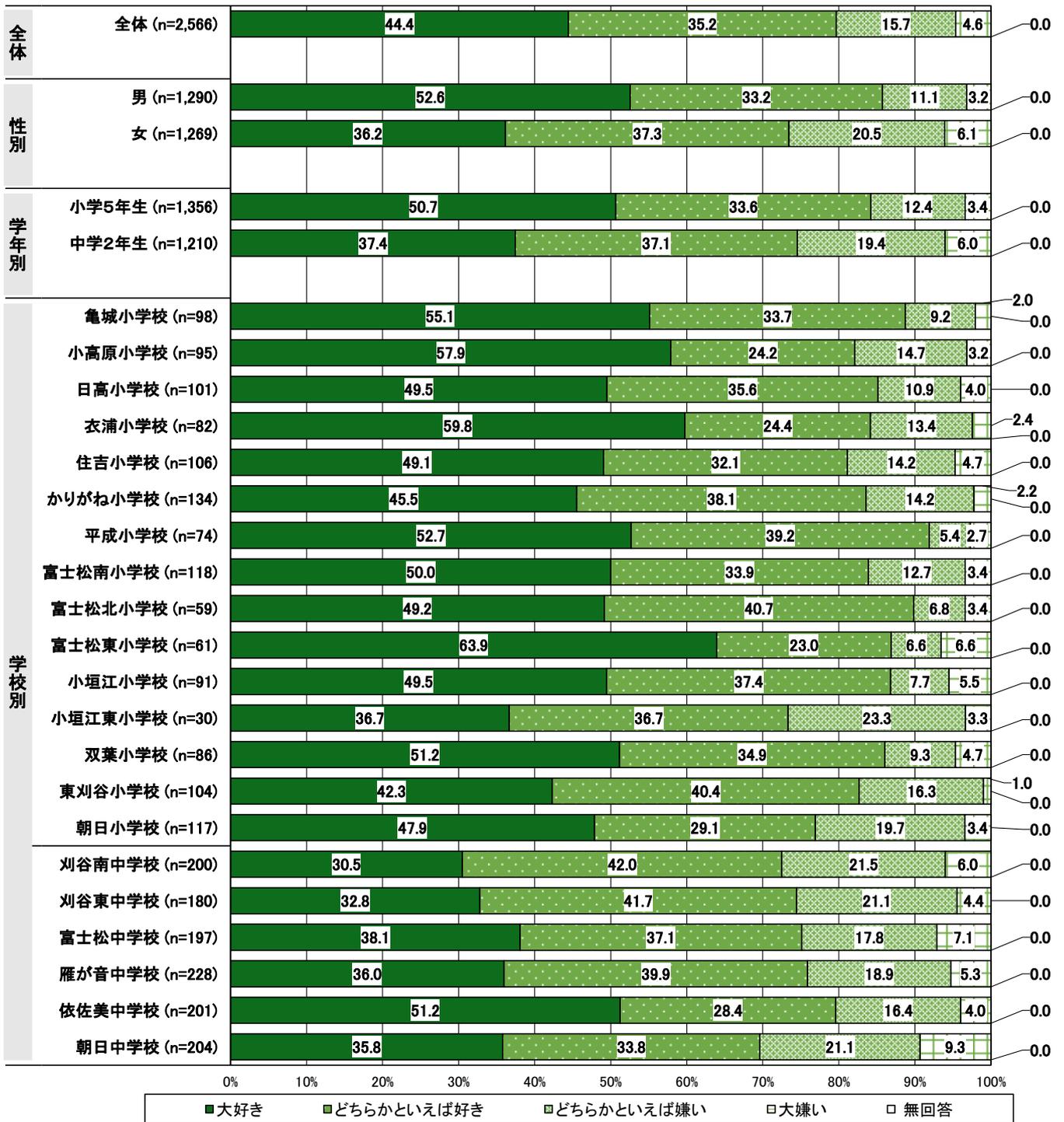


(3) スポーツについて

「スポーツは好きですか」との質問に対し、「大好き」が44.4%、「どちらかといえば好き」が35.2%、あわせて79.6%が「スポーツは好き」と回答しています。

「大好き」と回答した割合に限ってみると、性別では、男子が52.6%、女子が36.2%となっており、10ポイント以上の差が生じています。

学年別では、小学5年生が50.7%、中学2年生が37.4%となっており、10ポイント以上の差が生じています。

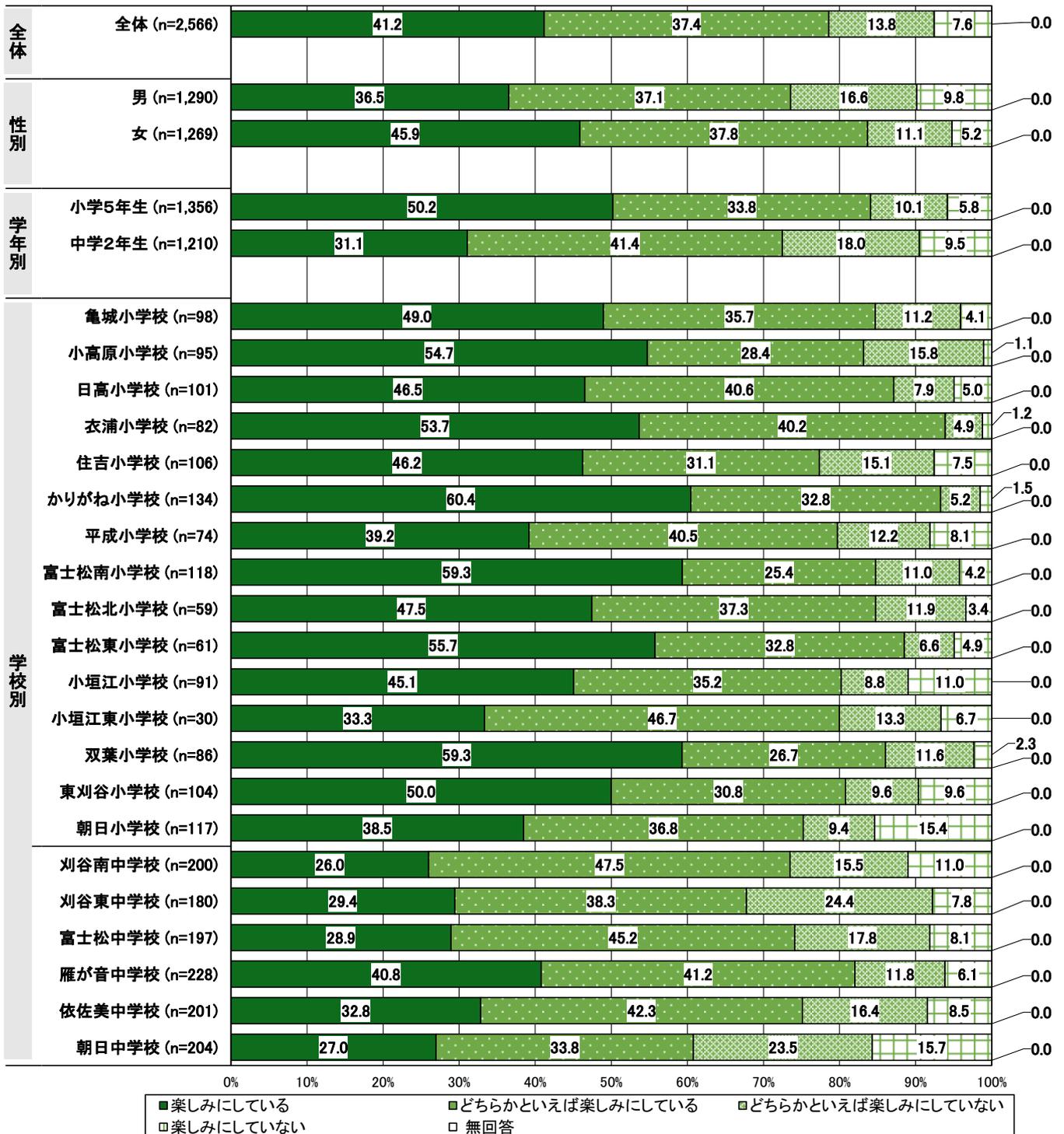


(4) 地域の祭りや行事などについて

「地域の祭りや行事などを楽しみにしていますか」との質問に対し、「楽しみにしている」が41.2%、「どちらかといえば楽しみにしている」が37.4%、あわせて78.6%が楽しみにしていると回答しています。

「楽しみにしている」と回答した割合に限ってみると、性別では、男子が36.5%、女子が45.9%となっています。

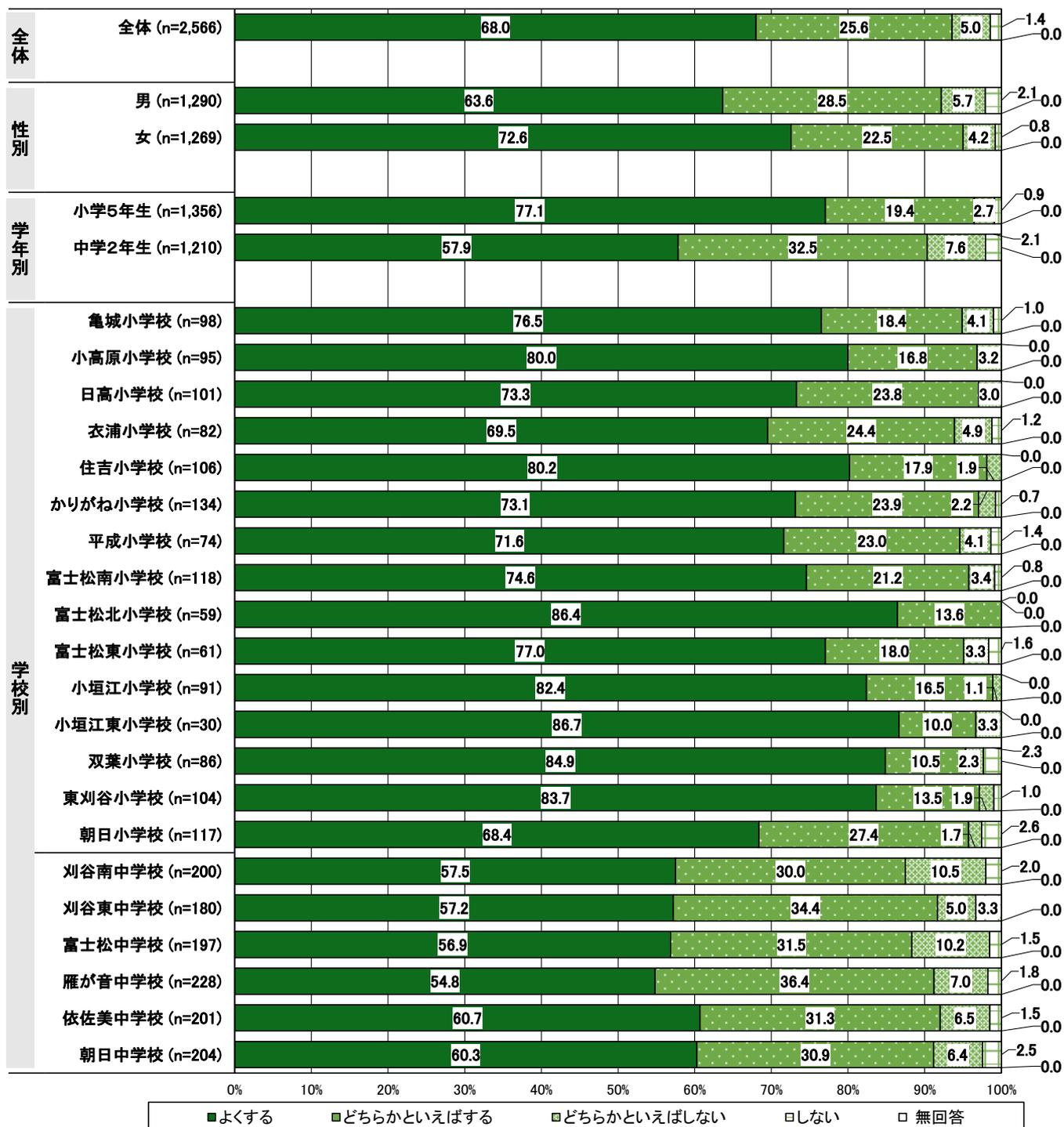
学年別では、小学5年生が50.2%、中学2年生が31.1%となっており、10ポイント以上の差が生じています。



(5) 家族との会話

「日ごろから、家族とよく話をしますか」との質問に対し、「よくする」が68.0%、「どちらかといえばする」が25.6%、あわせて93.6%が「話をする」と回答しています。

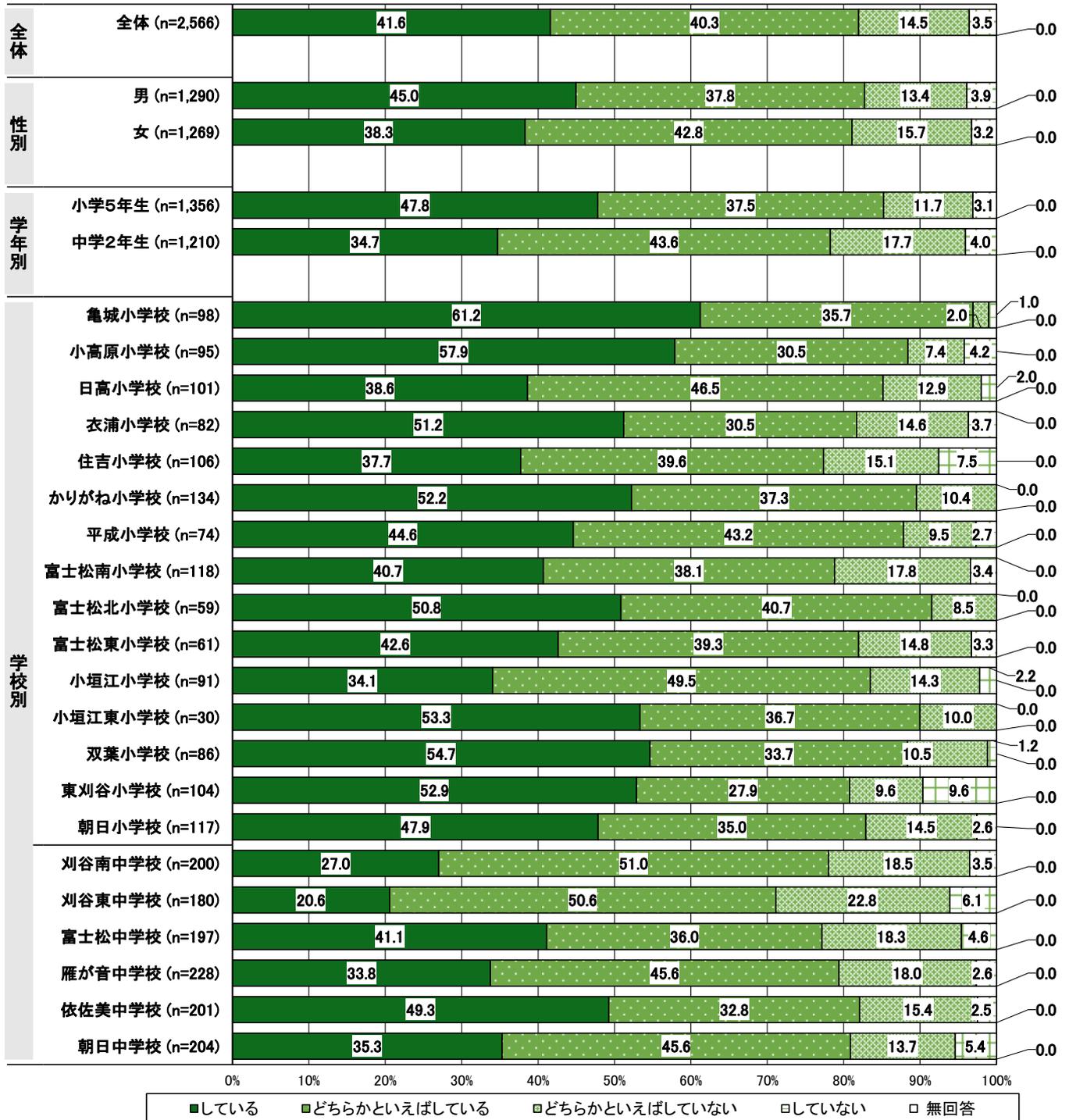
「よくする」と回答した割合に限ってみると、性別では、男子が63.6%、女子が72.6%となっています。学年別では、小学5年生が77.1%、中学2年生が57.9%となっており、10ポイント以上の差が生じています。



(6) 近所の人とのあいさつ

「近所の人をみかけたらあいさつをしていますか」との質問に対し、「している」が41.6%、「どちらかといえばしている」が40.3%、あわせて81.9%が「あいさつをしている」と回答しています。

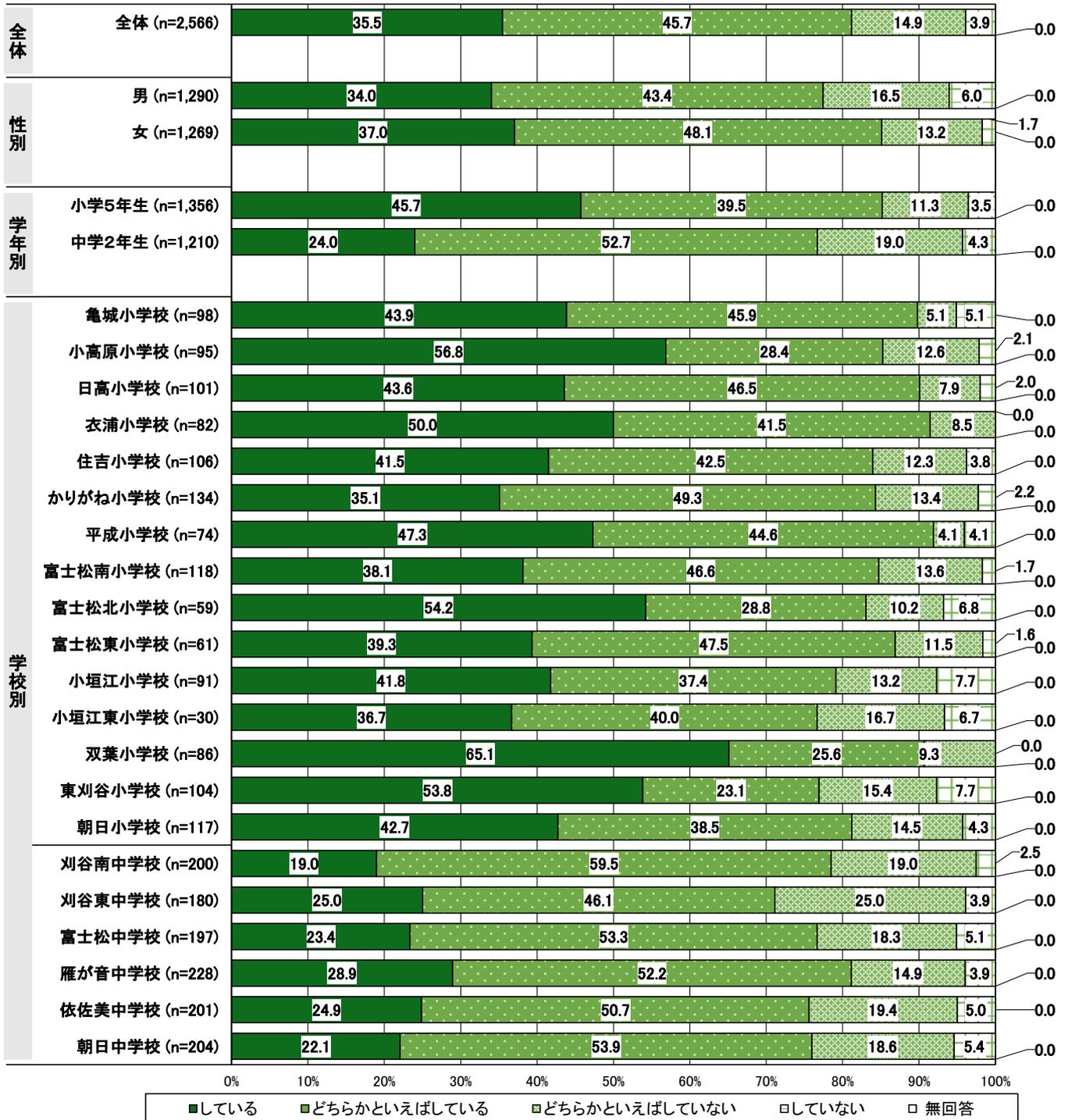
「している」と回答した割合に限ってみると、性別では、男子が45.0%、女子が38.3%となっています。学年別では、小学5年生が47.8%、中学2年生が34.7%となっており、10ポイント以上の差が生じています。



(7) 電気や水の使い方への心がけ

「電気や水などを使いすぎないように気にしていますか」との質問に対し、「している」が35.5%、「どちらかといえばしている」が45.7%、あわせて81.2%が「気にしている」と回答しています。

「している」と回答した割合に限ってみると、性別では、男子が34.0%、女子が37.0%となっています。学年別では、小学5年生が45.7%、中学2年生が24.0%となっており、20ポイント以上の差が生じています。

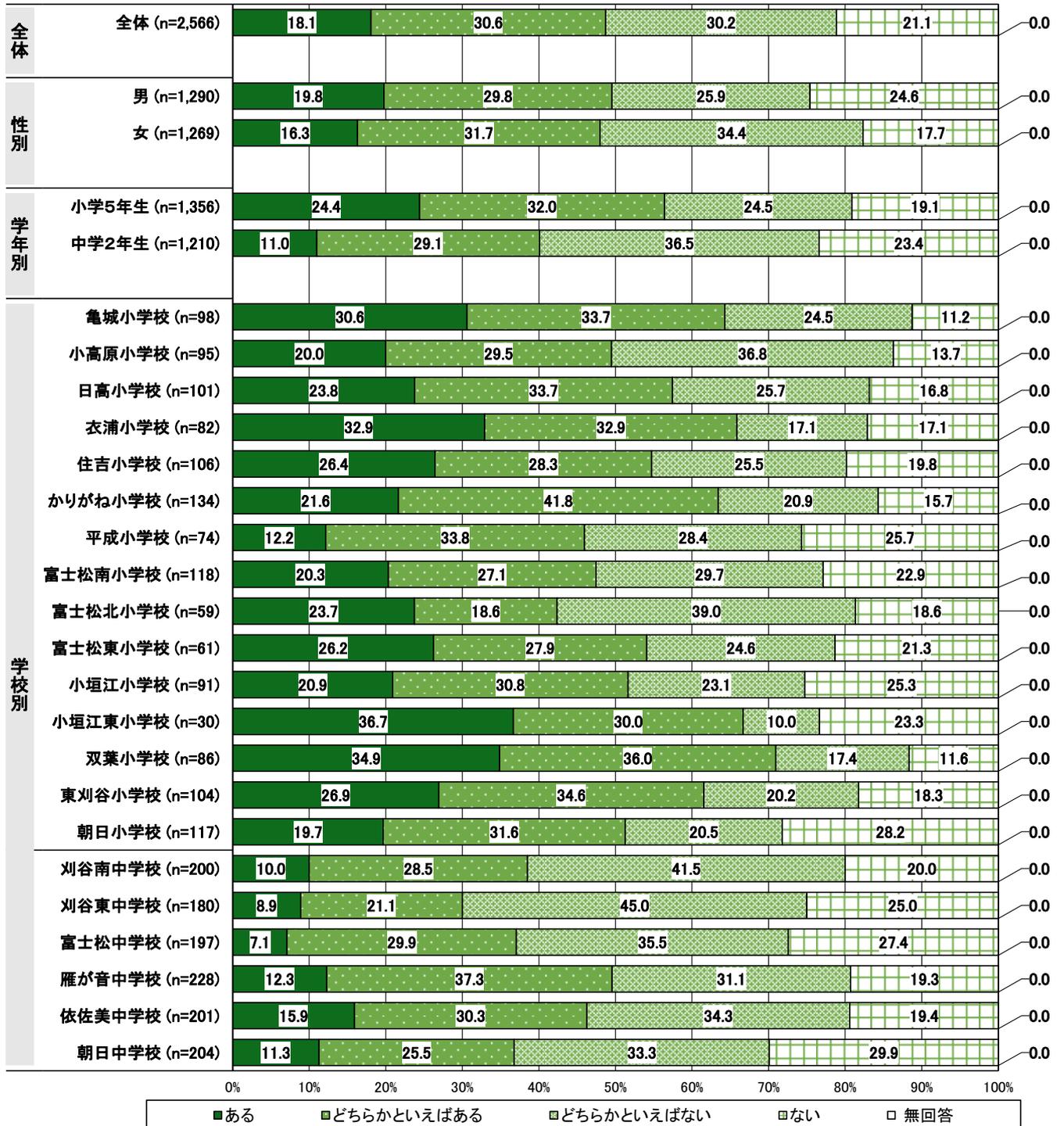


(8) 刈谷のまちの歴史への興味

「刈谷のまちの歴史に興味がありますか」という質問に対し、「ある」が18.1%、「どちらかといえばある」が30.6%、あわせて48.7%が「興味がある」と回答しています。

「ある」と回答した割合に限ってみると、性別では、男子が19.8%、女子が16.3%となっています。

学年別では、小学5年生が24.4%、中学2年生が11.0%となっており、10ポイント以上の差が生じています。

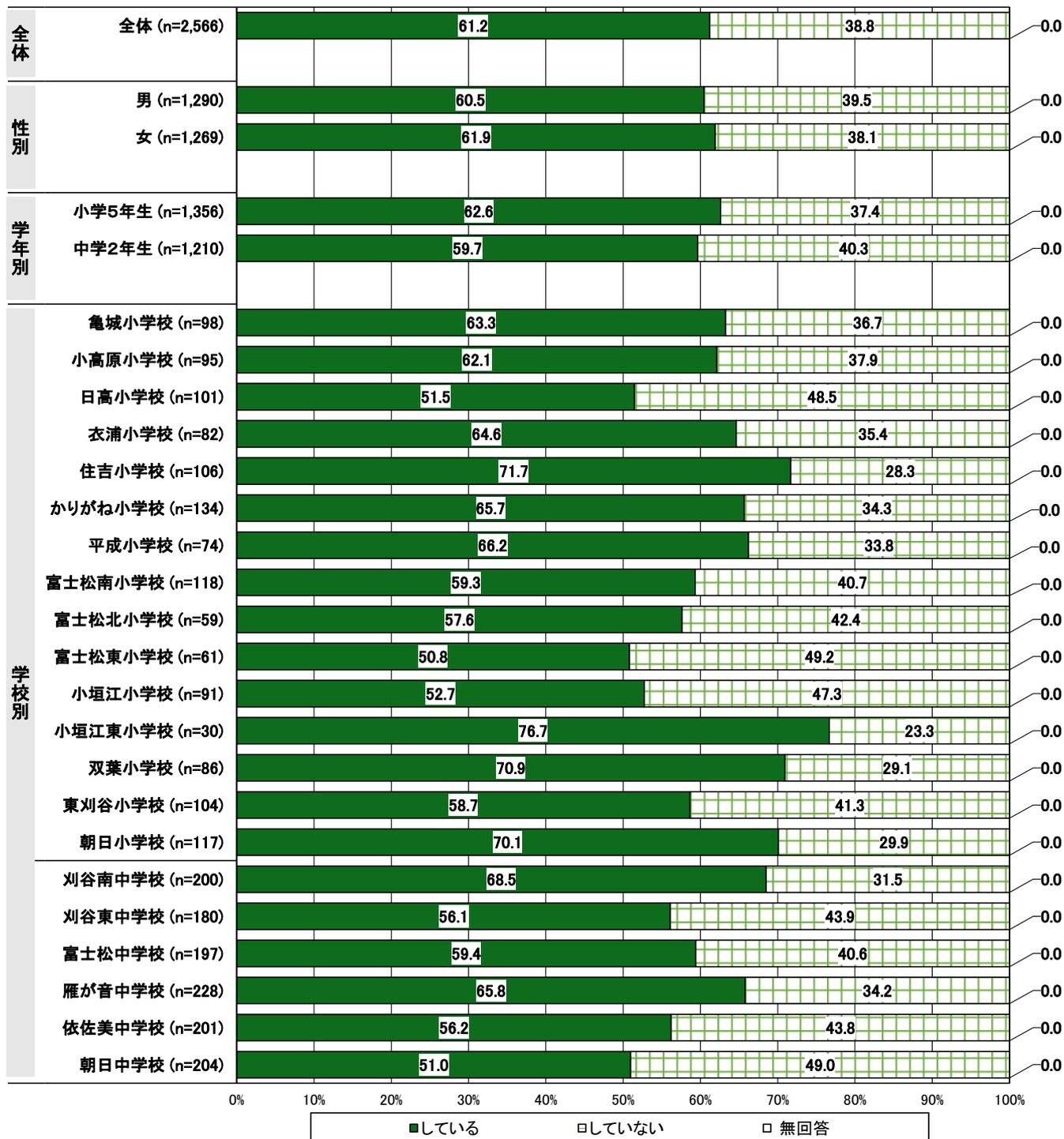


(9) 災害への備え

「地震など大きな災害が起きたときに備えて家族と話し合ったり、家族で準備をしていますか」との質問に対し、「している」が61.2%、「していない」が38.8%となっています。

性別でみると、「している」と回答した割合は、男子が60.5%、女子が61.9%となっています。

学年別でみると、「している」と回答した割合は、小学5年生が62.6%、中学2年生が59.7%となっています。

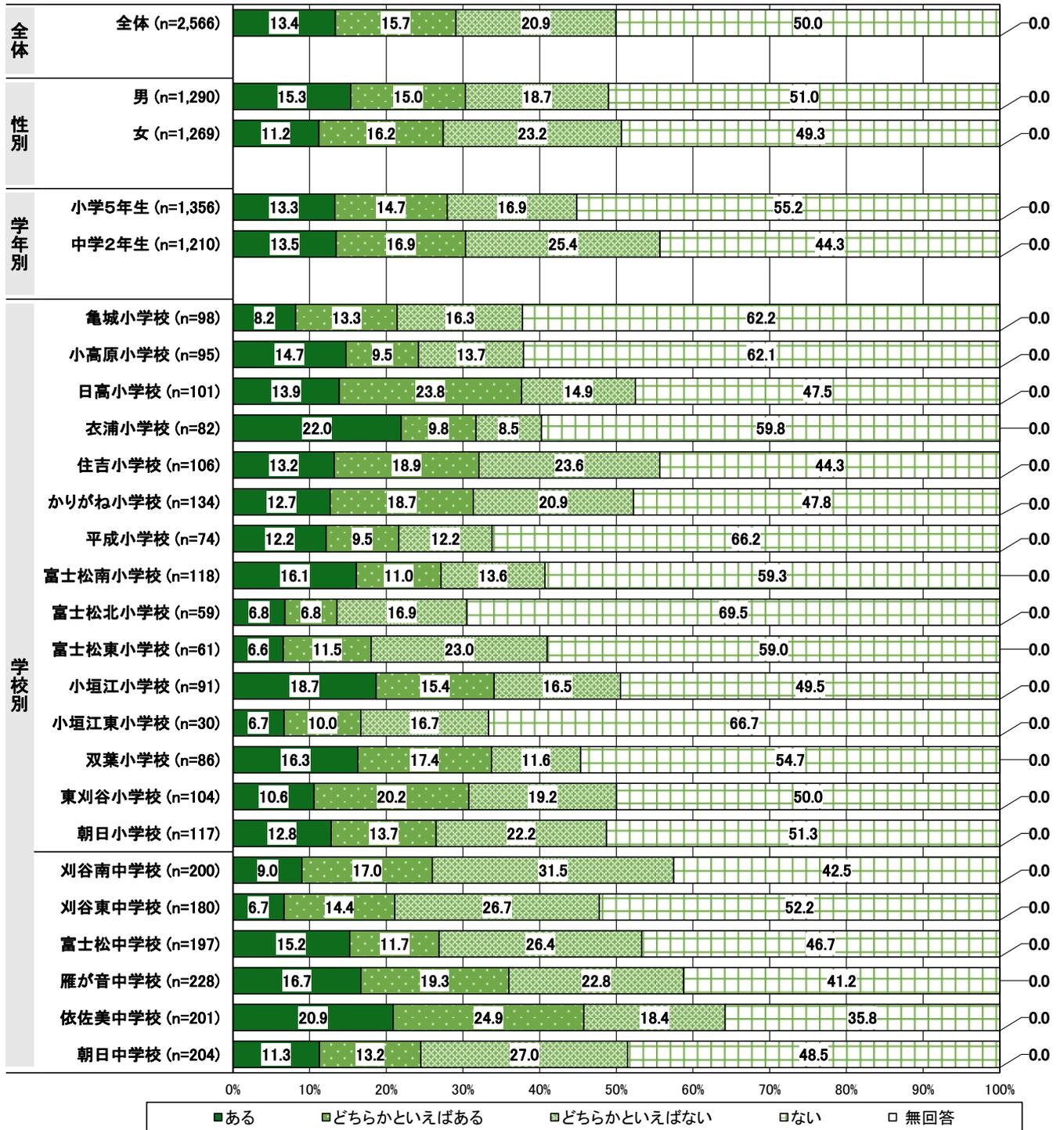


(10) 登下校や外出時の危険について

「登下校や外出した時に危険を感じたことはありますか」との質問に対し、「ある」が13.4%、「どちらかといえばある」が15.7%、あわせて29.1%が「危険を感じたことがある」と回答しています。

性別でみると、「危険を感じたことがある」と回答した割合は、男子が30.3%、女子が27.4%となっています。

学年別でみると、「危険を感じたことがある」と回答した割合は、小学5年生が28.0%、中学2年生が30.4%となっています。

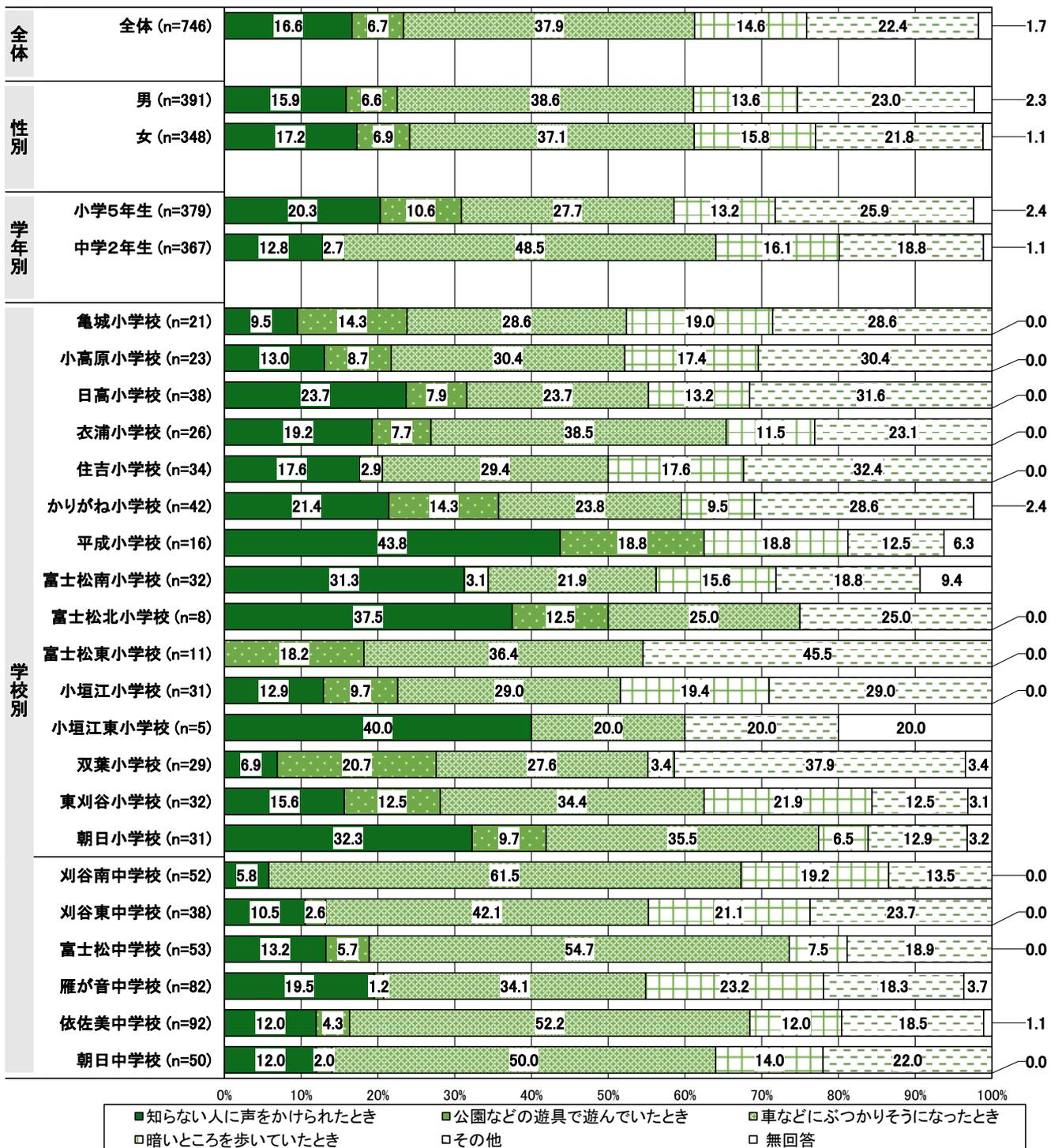


(11) 危険の種類

「危険に感じたことがある」と回答した児童・生徒に対し、「危険を感じたことがある場合、どんな時に危険を感じましたか」と尋ねたところ、「車などにぶつかりそうになったとき」が 37.9%で最も高く、次いで「知らない人に声をかけられたとき」が 16.6%、「暗いところを歩いていたとき」が 14.6%で続いています。

「車などにぶつかりそうになったとき」と回答した割合に限ってみると、性別では、男子が 38.6%、女子が 37.1%となっています。

学年別では、小学5年生が 27.7%、中学2年生が 48.5%となっており、20ポイント以上の差が生じています。

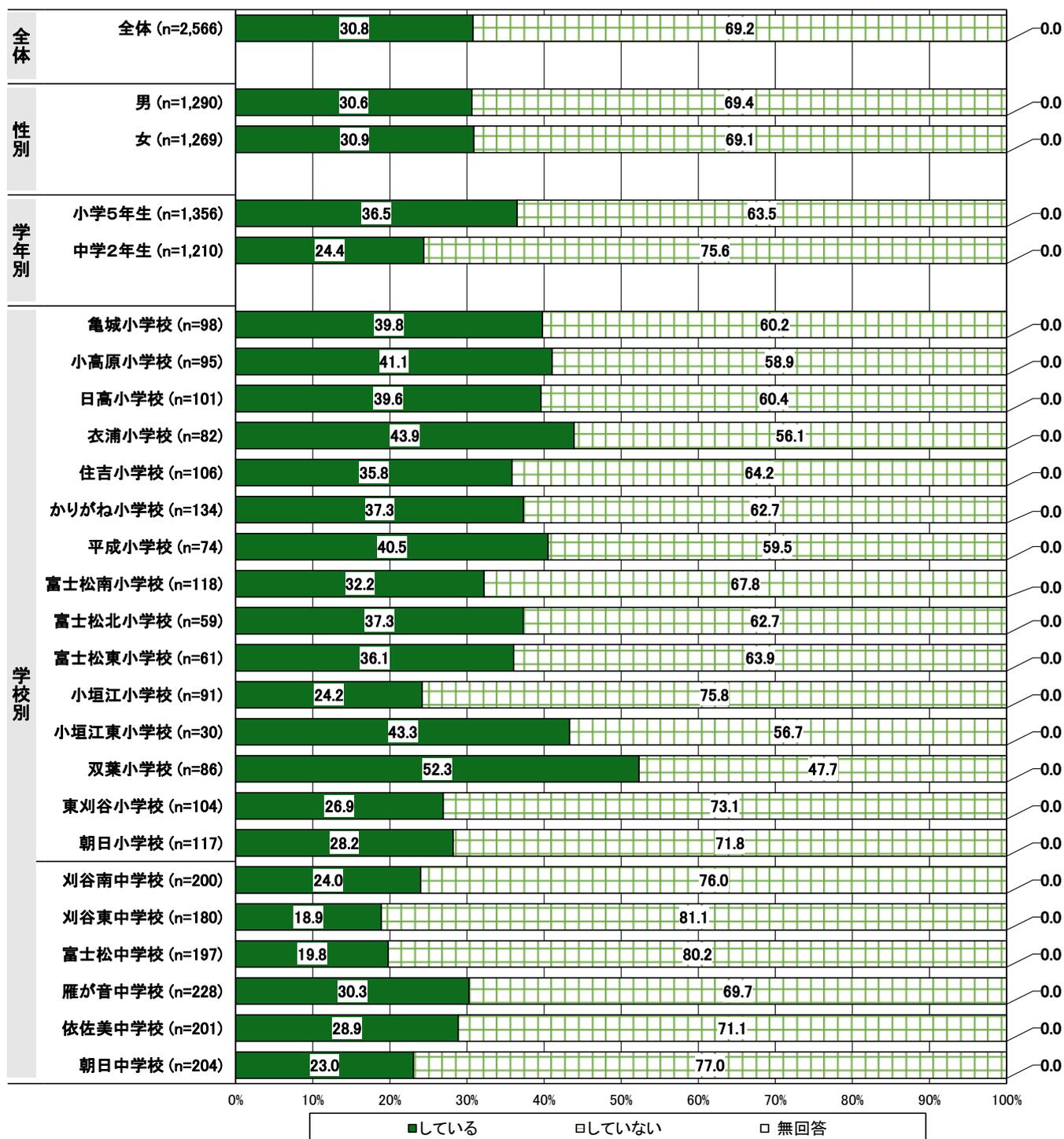


(12) ボランティア活動への参加

「自分からすすんでボランティア活動（まちをきれいにしたり、困っている人を助ける活動）をしていますか」との質問に対し、「している」が30.8%、「していない」が69.2%となっています。

性別でみると、「している」と回答した割合は、男子が30.6%、女子が30.9%となっています。

学年別でみると、「している」と回答した割合は、小学5年生が36.5%、中学2年生は24.4%となっており、10ポイント以上の差が生じています。

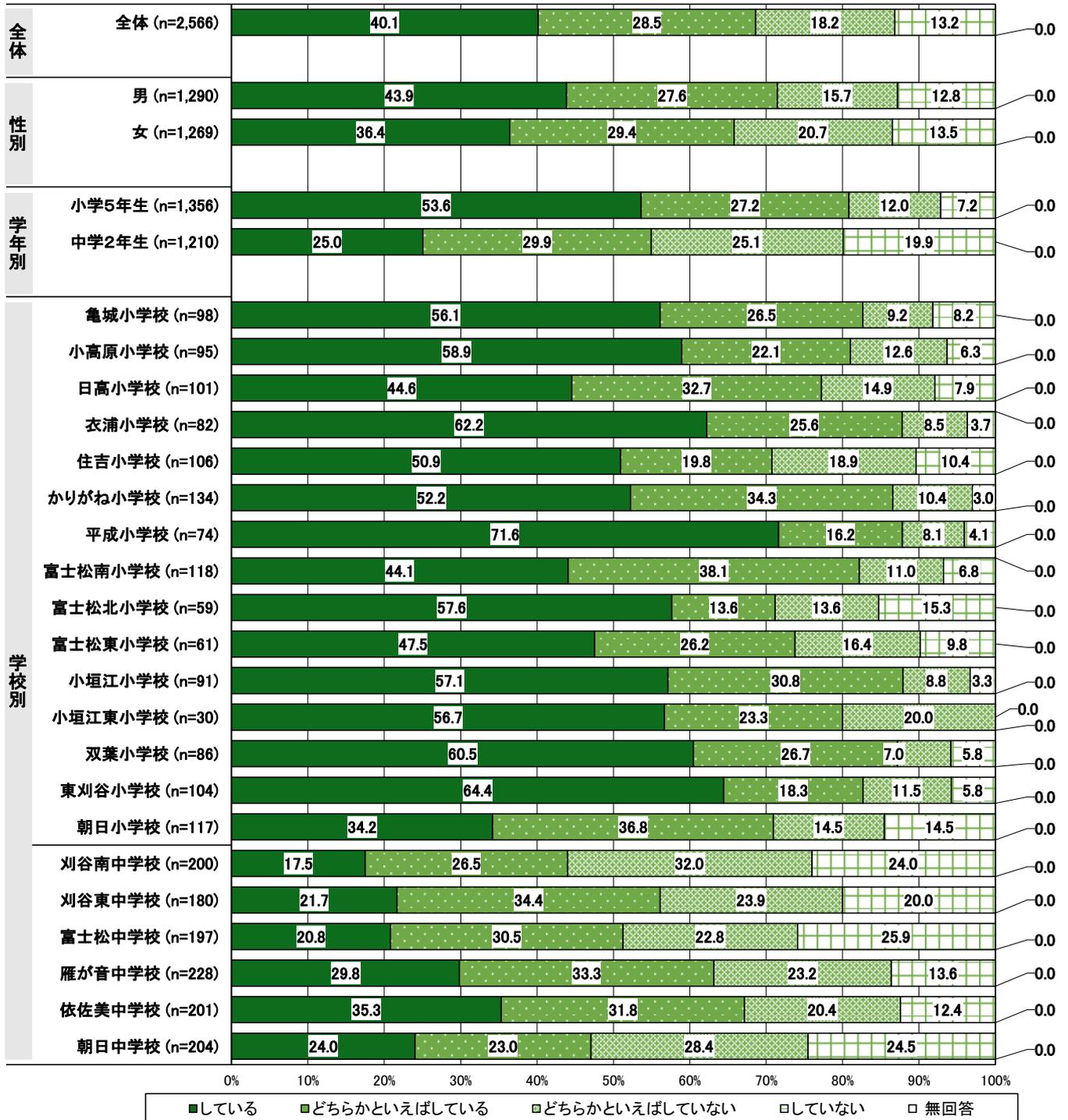


(13) 公園の利用

「近所の公園をよく利用していますか」との質問に対し、「している」が40.1%、「どちらかといえばしている」が28.5%であり、あわせて68.6%が「利用している」と回答しています。

性別でみると、「している」と回答した割合は、男子が43.9%、女子が36.4%となっています。

学年別でみると、「している」と回答した割合は、小学5年生が53.6%、中学2年生が25.0%となっており、20ポイント以上の差が生じています。



(14) 将来の夢や希望について

「将来の夢や目標はありますか」との質問に対し、「ある」が53.9%、「どちらかといえばある」が23.5%であり、あわせて77.4%が「ある」と回答しています。

性別でみると、「夢や希望がある」と回答した割合は、男子が74.7%、女子が80.2%となっています。

学年別でみると、「夢や希望がある」と回答した割合は、小学5年生が86.9%、中学2年生が66.8%となっており、20ポイント以上の差が生じています。

